資料編

I

事業・運営実績

(1) 事業実績リスト（2013～2022年度）

2013年度から2022年度まで自主事業の実績をまとめた（実施回数や入場者数でカウントができない、または記録が残されていないものには「-」、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う中止により実施できなかったものには「*」を記入）。10年間を総計すると、事業数は433事業、実施回数（1事業で複数の公演やワークショップを開催した場合に複数回数をカウント）は1,999回、入場者数は45万3,821人となっている。

事業分類	事業名	実施回数	入場者数
2013年度			
オープニング式典・記念公演事業	プラットオープニング式典・記念公演事業（「三番叟/狂言棒しばり」出演：野村万作・萬斎、「ジャズピアノ・コンサート」演奏：小曽根真）	1	800
音楽文化の振興事業	宮川彬良presents「劇場へ行こう！」	1	703
音楽文化の振興事業	春風亭小朝プロデュースニューイヤー「三つの夢コンサート」	1	655
音楽文化の振興事業	美しきトリオ室内楽コンサート	1	356
舞台芸術の振興事業	日本横断大連勝コンドルズ「GRANDSLAM」	1	620
舞台芸術の振興事業	彩の国シェイクスピア・シリーズ第27弾「ヘンリー四世」	3	2,420
舞台芸術の振興事業	フランス印象派ダンス Trip Triptych	1	702
舞台芸術の振興事業	穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「父よ！」	5	1,010
舞台芸術の振興事業	穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「父よ！」神奈川公演（KAAT神奈川芸術劇場主催）	3	427
舞台芸術の振興事業	穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「父よ！」東京公演（世田谷パブリックシアター提携）	7	1,312
舞台芸術の振興事業	あいちトリエンナーレ2013「日本の大人」	3	423
舞台芸術の振興事業	あいちトリエンナーレ2013　モバイル・トリエンナーレ	-	2,186
舞台芸術の振興事業	二兎社「兄帰る」	1	733
舞台芸術の振興事業	地域の文化・芸術活動助成事業（連携プログラム）　親と子のためのファミリーミュージカル「ピノキオ～または白雪姫の悲劇～」	4	611
舞台芸術の振興事業	「ジャンヌ」	1	641
舞台芸術の振興事業	「寄席日和　～風間杜夫の会～」	1	646
舞台芸術の振興事業	とよはし演劇工房「失望のむこうがわ」	3	523
舞台芸術の振興事業	「おそるべき親たち」	1	517
舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2013「大道芸inとよはし」	2	5,000
伝統芸能の振興事業	高座開き「立川志の輔独演会」	1	777
伝統芸能の振興事業	松竹大歌舞伎「市川亀治郎改め四代目市川猿之助襲名披露」	2	1,376
人材育成事業	【豊橋市受託事業】インターンシップ制度活用事業	-	47
人材育成事業	【豊橋市受託事業】井上加奈子・平田満　演劇ワークショップ	1	18
人材育成事業	【豊橋市受託事業】中学校　教員のためのダンスワークショップ	1	36
人材育成事業	【豊橋市受託事業】小学校　演劇ワークショップ	3	108
人材育成事業	【豊橋市受託事業】美術造形ワークショップ	5	408
人材育成事業	【豊橋市受託事業】ダンストーク＆レクチャー	2	50
体験普及事業	平山素子ダンスワークショップショーイング	3	265
2014年度			
音楽文化の振興事業	小曽根 真コンサート it's OZONE TIME～クラシック×ジャズ 2つの顔	2	1,128
音楽文化の振興事業	ママ、ヴァイオリン上手「戸田弥生リサイタル」	1	146
音楽文化の振興事業	C.U.G.ジャズオーケストラ	1	731
音楽文化の振興事業	東京フィルハーモニー交響楽団演奏会（会場 ライフポートとよはし）	1	928
舞台芸術の振興事業	朗読劇「ベアトリーチェ・チェンチの肖像」	2	191
舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2014 「大道芸inとよはし」	2	10,000
舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2014　劇団コープス「ひつじ」	4	860
舞台芸術の振興事業	朗読劇「ヴィヨンの妻」	2	273
舞台芸術の振興事業	「ビッグ・フェラー」	2	1,274

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	「ビッグ・フェラー」プレ講座「翻訳家と演出家に聞いてみよう」	1	58
	舞台芸術の振興事業	地域の文化・芸術活動助成事業（連携プログラム） KUNIO11「ハムレット」	2	309
	舞台芸術の振興事業	コンドルズ「GIGANT～ギガント～」	1	654
	舞台芸術の振興事業	公共ホール演劇ネットワーク事業 こどもとおとなのためのお芝居「暗いところからやってくる」	4	452
	舞台芸術の振興事業	ミュージカル「王様と私」	3	2,272
	舞台芸術の振興事業	白石加代子「百物語」シリーズ 第三十二夜	2	1,067
	舞台芸術の振興事業	葛河思潮社「背信」	2	416
	舞台芸術の振興事業	とよはし演劇工房ONEOR8「世界は嘘で出来ている」	3	290
	舞台芸術の振興事業	二兎社「鷗外の怪談」	1	407
	舞台芸術の振興事業	高校生と創る演劇「穂の国の『転校生』」	5	821
	舞台芸術の振興事業	てがみ座「汽水域」	3	270
	舞台芸術の振興事業	さいたまゴールド・シアター「鴉よ、おれたちは弾丸をこめる」	2	785
	舞台芸術の振興事業	「海をゆく者」	2	1,491
	舞台芸術の振興事業	ダンス・スペース平山素子「POISON～シェイクスピアを喰らう～」	2	281
	舞台芸術の振興事業	ダンス・スペース平山素子関連事業「プラット演劇探検シリーズ」	4	28
	舞台芸術の振興事業	「狂人なおもて往生をとぐ ～昔、僕達は愛した～」	1	603
	舞台芸術の振興事業	市民と創るスケッチ群像劇「話しグルマ」	2	831
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	749
	伝統芸能の振興事業	松竹大歌舞伎「中村歌昇改め三代目中村又五郎襲名披露」	2	1,354
	伝統芸能の振興事業	国本武春の浪曲「大忠臣蔵」	1	317
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】インターンシップ事業	－	17
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アートマネージメント講座	7	56
	人材育成事業	演劇ワークショップ&レクチャー	9	237
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	－	－
	人材育成事業	若手音楽家育成コンサート	7	983
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	15	375
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】演劇アウトリーチ	13	397
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】美術アウトリーチ	2	218
	体験普及事業	ダンスレクチャー＆ワークショップ	5	97
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】舞踊アウトリーチ	6	80
	体験普及事業	劇場ツアー	5	50
	体験普及事業	ピアノ試し弾き	24	228
	体験普及事業	地域のアートイベント連携プログラム	2	－
2015年度				
	音楽文化の振興事業	谷川俊太郎・谷川賢作 朗読＆ピアノ「家族の肖像＆東海道を行く」	1	552
	音楽文化の振興事業	カニサレス・フラメンコ・カルテット・リサイタル	1	708
	音楽文化の振興事業	小曽根真クリスマス・ジャズセッション	1	694
	音楽文化の振興事業	日本フィルハーモニー交響楽団ニューイヤーコンサート（会場 ライフポートとよはし）	1	962
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2015「大道芸inとよはし」	2	13,000
	舞台芸術の振興事業	「ART アート」	1	745
	舞台芸術の振興事業	グループる・ばる「蜜柑とユウウツ～茨木のり子異聞～」	1	504
	舞台芸術の振興事業	公共ホール演劇ネットワーク事業ハイバイ「ヒッキー・カンクーントルネード」（うち1公演【学校鑑賞事業】）	3	474
	舞台芸術の振興事業	地域の文化・芸術活動助成事業（連携プログラム） マームとジプシー「cocoon」	3	483
	舞台芸術の振興事業	「マクベス」	2	1,535
	舞台芸術の振興事業	穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「父よ！」東京公演（東京芸術劇場共催）	10	1,609
	舞台芸術の振興事業	穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「父よ！」長野公演（長野市文化芸術振興財団主催）	1	294
	舞台芸術の振興事業	穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「父よ！」	4	645

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	キャラメルボックス グリーティングシアター「水平線の歩き方」(うち1公演【学校鑑賞事業】)	2	1,153
	舞台芸術の振興事業	彩の国シェイクスピア・シリーズ「ヴェローナの二紳士」	2	1,479
	舞台芸術の振興事業	「オレアナ」	2	1,165
	舞台芸術の振興事業	「熱海殺人事件」	2	1,469
	舞台芸術の振興事業	コンドルズ「コンドルズの“からだ遊び”って面白い！」	1	578
	舞台芸術の振興事業	二兎社「書く女」	1	749
	舞台芸術の振興事業	オイスターズ「この声」	2	194
	伝統芸能の振興事業	春風亭小朝独演会	1	757
	伝統芸能の振興事業	松竹大歌舞伎「中村翫雀改め四代目中村鴈治郎襲名披露」	2	1,137
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	761
	伝統芸能の振興事業	「野村万作・野村萬斎狂言公演」&【学校鑑賞事業】「狂言ワークショップ＆鑑賞公演」	1	1,495
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】芸術文化活動体験ワークショップ	38	1,311
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アーティストインレジデンス事業	59	2,988
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】まちなかアート普及教育事業	3	96
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサート	1	1,450
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」	7	4,749
	人材育成事業	高校生と創る演劇「赤鬼」	4	782
	人材育成事業	市民と創造する演劇「夏の夜の夢」	2	1,021
	人材育成事業	若手音楽家育成コンサート	12	972
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	−	−
	人材育成事業	演劇ワークショップ＆レクチャー（8コース）	17	310
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	20	391
	人材育成事業	インターンシップ	−	10
	体験普及事業	劇場ツアー	3	187
	体験普及事業	ピアノ試し弾き（7コース・17日間）	14	222
	体験普及事業	地域のアートイベント連携プログラム	2	−
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】市内小中学校教職員を対象としたワークショップ	6	114
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ	55	2,013
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校などの福祉施設へ出向いてのワークショップ	6	104
2016年度				
	舞台芸術の振興事業	あいちトリエンナーレ2016特別連携事業 「まちとつくる演劇」	7	1,500
	舞台芸術の振興事業	市民と創造する演劇「とよはし街の物語『はしっ子』」	2	373
	舞台芸術の振興事業	詩のリーディング「（お）もろい夫婦」	2	207
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2016「大道芸inとよはし」	2	20,000
	舞台芸術の振興事業	「猟銃」	2	1,292
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　カンパニーデラシネラ「ロミオとジュリエット」	5	709
	舞台芸術の振興事業	「マクベス」	2	1,473
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　口字ック「荒川、神キラーチューン」	2	331
	舞台芸術の振興事業	葛河思潮社「浮標」	1	436
	舞台芸術の振興事業	おいしいおかしいおしばい　「わかったさんのクッキー」	4	438
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」	2	376
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　木ノ下歌舞伎「勧進帳」	2	434
	舞台芸術の振興事業	「星回帰線」	2	1,429
	舞台芸術の振興事業	劇団スーパー・エキセントリック・シアター「土九六村へようこそ」	2	1,420
	舞台芸術の振興事業	国民文化祭・あいち2016 プラットで親子わくわく“からだ遊び!”「コンドルズの遊育計画」	2	745
	舞台芸術の振興事業	「かもめ」	3	2,246
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　KAKUTA「愚図」	2	274
	舞台芸術の振興事業	「歌い、継ぐ」～永六輔さん追悼コンサート～	1	454
	舞台芸術の振興事業	二兎社「ザ・空気」	1	743

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	ピーピング・トム「ファーザー」	1	361
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　マームとジプシー「てんとてんを、むすぶせん。からなる、立体。そのなかに、つまっている、いくつもの。ことなった、世界。および、ひかりについて。」	3	410
	伝統芸能の振興事業	春風亭小朝独演会	1	752
	伝統芸能の振興事業	松竹大歌舞伎「中村芝雀改め五代目中村雀右衛門襲名披露」	2	1,214
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	755
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会（日本舞踊の部）	1	427
	音楽文化の振興事業	小曽根真×ゴンサロ・ルバルカバ　ピアノデュオ	1	438
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】名古屋フィルハーモニー交響楽団	2	2,439
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】劇団四季ファミリーミュージカル「王子とこじき」	7	4,830
	人材育成事業	高校生と創る演劇「女子にしか言えない～プールの底で見た、私の幻燈～」	4	741
	人材育成事業	若手音楽家育成事業　「プラット・ワンコインコンサート」(11回公演)	11	1,984
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	21	691
	人材育成事業	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー	33	857
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】芸術文化活動育成事業	19	683
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アートによる魅力発信事業	35	1,966
	人材育成事業	ピアノ試し弾き会	12	296
	人材育成事業	インターンシップ事業	－	10
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	－	－
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小中学校教職員を対象としたワークショップ	3	63
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ		2,558
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校等へ出向いてのワークショップ		110
	地域文化活動の場の提供等	地域のアートイベント連携プログラム	2	－
2017年度				
	音楽文化の振興事業	PLAT開館5年を祝うトーク＆コンサート	1	626
	音楽文化の振興事業	小曽根真 featuring No Name Horses	1	648
	舞台芸術の振興事業	プラット開館5年記念事業 穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「荒れ野」	6	797
	舞台芸術の振興事業	プラット開館5年記念事業 穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「荒れ野」北九州公演（北九州芸術劇場主催）	2	272
	舞台芸術の振興事業	プラット開館5年記念事業 穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「荒れ野」東京公演	13	1,098
	舞台芸術の振興事業	プラット開館5年記念事業　穂の国とよはし芸術劇場プロデュース ミュージカル「ナイン・テイルズ～九尾狐の物語～」	3	1,614
	舞台芸術の振興事業	ナイン・テイルズ関連企画 宮川彬良×白井美貴子「ベテラン宣言！コンサート＆トーク」	1	103
	舞台芸術の振興事業	ナイン・テイルズ関連企画「動物の謝肉祭」	1	116
	舞台芸術の振興事業	市民と創造する演劇「とよはしの街の物語 」	2	681
	舞台芸術の振興事業	KAJALLA#2「裸の王様」	4	2,691
	舞台芸術の振興事業	「白蟻の巣」	1	566
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2017「大道芸inとよはし」	2	22,000
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ 綾田・ベンガル芝居「やんごとなき二人」	2	250
	舞台芸術の振興事業	「ハムレット」	3	2,377
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ アマヤドリ「非常の階段」	2	306
	舞台芸術の振興事業	「マリアの首　-幻に長崎を想う曲-」	1	424
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ 風琴工房「Penalty killing remix version」	2	302
	舞台芸術の振興事業	プラット親子わくわくプログラム　親子のためのファミリーミュージカル「ピノキオ～または白雪姫の悲劇～」	1	547
	舞台芸術の振興事業	地域の文化・芸術活動助成事業（連携プログラム） マームとジプシー 10th Anniversary Tour	4	687
	舞台芸術の振興事業	プラット親子わくわくプログラム　新国立劇場 こどものためのバレエ劇場「しらゆき姫」	1	733

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ チェルフィッチュ「三月の5日間 」リクリエーション	2	221
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ 北九州芸術劇場プロデュース「彼の地Ⅱ ～逢いたいひ、と。」	2	252
	舞台芸術の振興事業	世田谷パブリックシアター＆こまつ座「シャンハイムーン」	3	2,183
	舞台芸術の振興事業	CONTEMANSHIP KAJALLA#3「働けど働けど」	1	717
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会 日本舞踊の部	1	381
	伝統芸能の振興事業	春風亭小朝独演会	1	598
	伝統芸能の振興事業	人形浄瑠璃 文楽「本朝廿四孝」	2	590
	伝統芸能の振興事業	市川海老蔵「古典への誘い」	4	2,742
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	760
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】名古屋フィルハーモニー交響楽団	1	732
	人材育成事業	公共ホール現代ダンス活性化事業 PLATダンスプログラム 鈴木ユキオ「春の祭典」「Yoyesに捧ぐ」	3	402
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】劇団四季ファミリーミュージカル「嵐の中のこどもたち」	7	4,790
	人材育成事業	高校生と創る演劇「ガンボ！ それはフクザツな生まれの料理の名前 あるいはフクザツな生まれの あたしらの歌」	5	654
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】峯島望美オペラ公演「バスティアンとバスティエンヌ」	1	173
	人材育成事業	若手音楽家育成事業「プラットワンコインコンサート」	12	1,539
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	20	452
	人材育成事業	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー	21	458
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】芸術文化活動育成事業	17	689
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アートによる魅力発信事業	7	306
	人材育成事業	ピアノ試し弾き＆劇場ツアー	7	79
	人材育成事業	インターンシップ事業	－	15
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	－	－
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小中学校教職員を対象としたワークショップ	2	36
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ	80	3,023
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校等へ出向いてのワークショップ	6	121
	地域文化活動の場の提供等	地域のアートイベント連携プログラム	2	－
2018年度				
	音楽文化の振興事業	チャボロ・シュミット・トリオ「ジャズ・ナイト・イン・パリ」	1	405
	音楽文化の振興事業	ケルティック・クリスマス・コンサート	1	456
	舞台芸術の振興事業	市民と創造する演劇「リア王－どん底から笑ってリターン！－」	2	756
	舞台芸術の振興事業	KAJALLA#3「働けど働けど」	2	1,352
	舞台芸術の振興事業	「赤道の下のマクベス」	1	504
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2018「大道芸inとよはし」	－	27,000
	舞台芸術の振興事業	ナイロン100℃「百年の秘密」	2	891
	舞台芸術の振興事業	「1984」	1	746
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ FUKAIPRODUCE羽衣「春母夏母秋母冬母」	2	202
	舞台芸術の振興事業	「ハングマン」	2	696
	舞台芸術の振興事業	「マクガワン・トリロジー」	3	2,235
	舞台芸術の振興事業	ミュージカル・コメディ「キス・ミー・ケイト」	3	1,812
	舞台芸術の振興事業	PLATダンスプログラム 伊藤郁女「私は言葉を信じないので踊る」	2	218
	舞台芸術の振興事業	「消えていくなら朝」	1	371
	舞台芸術の振興事業	二兎社「ザ・空気ver.2 誰も書いてはならぬ」	2	1,319
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ 劇団こふく劇場「ただいま」	2	195
	舞台芸術の振興事業	PLAT親子わくわくプログラム「不思議の国のアリス」	4	630
	舞台芸術の振興事業	「チルドレン」	2	745
	舞台芸術の振興事業	地域の文化・芸術活動助成事業（連携プログラム） PLAT小劇場シリーズ プラット親子わくわくプログラム KAKUTA「ねこはしる」	2	276
	舞台芸術の振興事業	劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」	1	682
	舞台芸術の振興事業	「華氏451度」	2	694

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	「ゲゲゲの先生へ」	3	2,232
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　カンパニー・デラシネラ「ドン・キホーテ」	2	219
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　木ノ下歌舞伎「糸井版　摂州合邦辻」	2	508
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　MONO「はなにら」	2	294
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会　日本舞踊の部	1	343
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会　箏曲・長唄・尺八・民謡・大正琴の部	1	267
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会　詩吟の部	1	100
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会　民踊・新舞踊の部	1	338
	伝統芸能の振興事業	春風亭小朝独演会	1	471
	伝統芸能の振興事業	松竹大歌舞伎公演	2	1,172
	伝統芸能の振興事業	野村万作・野村萬斎　狂言公演	1	766
	伝統芸能の振興事業	林家正蔵独演会	1	369
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	774
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」	6	4,085
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】狂言ワークショップ	1	431
	人材育成事業	高校生と創る演劇「滅びの子らに星の祈りを～Dystopia before Utopia～」	4	634
	人材育成事業	地域創造ダンス活性化事業　アウトリーチ＆ワークショッププログラム	6	99
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】カンパニー・デラシネラ「ドン・キホーテ」	3	522
	人材育成事業	地域の表現活動人材養成プログラム	6	97
	人材育成事業	障害者アートのための研究・ワークショップ	5	201
	人材育成事業	若手音楽家育成事業「プラットワンコインコンサート」	8	1,279
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	23	212
	人材育成事業	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー	24	580
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アートによる魅力発信事業	4	337
	人材育成事業	ピアノ試し弾き＆劇場ツアー	－	150
	人材育成事業	インターンシップ事業	－	7
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	3	7,255
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】名古屋フィルハーモニー交響楽団	2	1,530
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小中学校教職員を対象としたワークショップ	1	14
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ	45	1,676
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校等へ出向いてのワークショップ	13	257
	地域文化活動の場の提供等	地域のアートイベント連携プログラム	2	3,325
2019年度				
	音楽文化の振興事業	世界最速ジプシー・ブラス「ファンファーレ・チォカリーア」	1	454
	音楽文化の振興事業	レ・タンブル＆ハルモニア・レニス 古楽器コンサート	1	153
	音楽文化の振興事業	【豊橋市受託事業】喜多三特別ライブin豊橋	1	400
	音楽文化の振興事業	小曽根真＆児玉桃　スペシャル・コンサート	1	469
	音楽文化の振興事業	【豊橋市受託事業】ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト2019	1	703
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「荒れ野」豊橋公演	4	585
	舞台芸術の振興事業	KAJALLA#4「怪獣たちの宴」	2	1,486
	舞台芸術の振興事業	「母と惑星について、および自転する女たちの記録」	2	1,295
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2019「大道芸inとよはし」	－	31,520
	舞台芸術の振興事業	「かもめ」	1	425
	舞台芸術の振興事業	「CITY」	2	1,461
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　プラット親子わくわくプログラム　KAKUTAのとびだす童話「ねこはしる」	3	422
	舞台芸術の振興事業	「お気に召すまま」	4	2,922
	舞台芸術の振興事業	「最貧前線　～宮崎駿の雑想ノートより～」	4	2,906
	舞台芸術の振興事業	「人形の家Part2」	1	673
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　庭劇団ペニノ「笑顔の砦」	2	294
	舞台芸術の振興事業	劇団四季ファミリーミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」	1	702

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	劇団スーパー・エキセントリック・シアター「ピースフルタウンへようこそ」	2	1,248
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　口字ック「掬う」	3	320
	舞台芸術の振興事業	穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「荒れ野」東京公演	8	1,181
	舞台芸術の振興事業	「ドクター・ホフマンのサナトリウム～カフカ第4の長編～」	4	2,735
	舞台芸術の振興事業	二兎社「私たちは何も知らない」	1	565
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会　日本舞踊の部	1	350
	伝統芸能の振興事業	春風亭小朝独演会	1	538
	伝統芸能の振興事業	野村万作・野村萬斎狂言公演2019 新作狂言「鮎」	2	1,451
	伝統芸能の振興事業	松竹大歌舞伎「松本幸四郎改め二代目松本白鸚襲名披露」	2	1,371
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	755
	伝統芸能の振興事業	人形浄瑠璃　文楽	2	633
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】名古屋フィルハーモニー交響楽団演奏会	1	828
	人材育成事業	プラット・ダンスレジデンス「ダンス保育園」	2	48
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】PLAT小劇場シリーズ 庭劇団ペニノ「笑顔の砦」	1	156
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】レ・タンブル＆ハルモニア・レニス古楽器コンサート	1	135
	人材育成事業	【学校鑑賞事業】劇団四季ファミリーミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」	6	4,184
	人材育成事業	高校生と創る演劇「転校生」	5	763
	人材育成事業	市民と創造する演劇「グッバイ・フランケンシュタイン -穂の国の怪物たち-」	2	261
	人材育成事業	若手音楽家育成事業「プラット・ワンコインコンサート」	9	1,156
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	24	525
	人材育成事業	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー	15	354
	人材育成事業	地域の表現活動人材養成プログラム	34	158
	人材育成事業	障害者アートのための研究・ワークショップ	4	60
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アートによる魅力発信事業　豊橋アーティスト・イン・レジデンス2019「ダンス・レジデンス」(5組)	5	235
	人材育成事業	ピアノ試し弾き会	7	96
	人材育成事業	インターンシップ事業	－	7
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	4	15,065
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ	56	2,379
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校等へ出向いてのワークショップ	13	290
	体験普及事業	小中学校教職員を対象としたワークショップ	2	35
	地域文化活動の場の提供等	地域のアートイベント連携プログラム（2事業）	2	3,189
2020年度				
	音楽文化の振興事業	井垣壮太ピアノコンサート	2	183
	音楽文化の振興事業	小曽根真　クリスマス・ジャズライブ	1	468
	音楽文化の振興事業	プラット親子わくわくプログラム　鈴木智子「クラシカルクロスオーバーの世界」	2	153
	舞台芸術の振興事業	「ガールズ＆ボーイズ」	*	*
	舞台芸術の振興事業	「欲望のみ」（プレビュー公演）	*	*
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　水戸芸術館ACM劇場＆ラコンチャン　近藤芳正Solo Work「ナイフ」	*	*
	舞台芸術の振興事業	「未練の幽霊と怪物 -『挫波』『敦賀』-」	*	*
	舞台芸術の振興事業	イキウメ「外の道」	*	*
	舞台芸術の振興事業	KAJALLA#5「無関心の旅人」	*	*
	舞台芸術の振興事業	プラット親子わくわくプログラム 「二分間の冒険」	*	*
	舞台芸術の振興事業	「NORA　人形の家」	*	*
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　地点「君の庭」【舞台版】	2	130
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　地点「君の庭」【オンライン版】	2	
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　KAKUTA「ひとよ」	2	575
	舞台芸術の振興事業	劇団四季ファミリーミュージカル「ジョン万次郎の夢」	*	*
	舞台芸術の振興事業	「ゲルニカ」	4	1,686
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2020「大道芸inとよはし」	5	1,139

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　アル☆カンパニー リーディング公演「POPPY!!!」	2	211
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　モダンスイマーズ新作時代劇「しがらみ紋次郎」	*	*
	舞台芸術の振興事業	Noism Company Niigata「春の祭典」／「FratresⅢ」（プレビュー公演）	1	276
	舞台芸術の振興事業	「ピーター＆ザ・スターキャッチャー」	1	260
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　マームとジプシー「BEACH BOOTS CYCLE」	*	*
	舞台芸術の振興事業	マームとジプシー　藤田貴大　オンライントーク【会場版】	1	14
	舞台芸術の振興事業	マームとジプシー　藤田貴大　オンライントーク【LIVE配信版】	1	
	舞台芸術の振興事業	二兎社「ザ・空気ver.3 そして彼は去った…」	2	632
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　木ノ下歌舞伎「義経千本桜 ― 渡海屋・大物浦 ― 」	3	285
	伝統芸能の振興事業	邦楽大会　日本舞踊の部	*	*
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	611
	伝統芸能の振興事業	人形浄瑠璃 文楽	2	449
	人材育成事業	公共ホール現代ダンス活性化事業「市民と創造するダンス公演」	*	*
	人材育成事業	【中学生公演鑑賞事業】井垣壮太ピアノコンサート	1	164
	人材育成事業	【小学生公演鑑賞事業】劇団四季ファミリーミュージカル	*	*
	人材育成事業	【小学生公演鑑賞事業】和太鼓志多ら 演奏会	3	1,528
	人材育成事業	高校生と創る演劇「Yに浮かぶ」	4	473
	人材育成事業	【中学生公演鑑賞事業】モダンスイマーズ新作時代劇「しがらみ紋次郎」	*	*
	人材育成事業	市民と創造する演劇「甘い丘」	3	282
	人材育成事業	若手音楽家育成事業「プラット・ワンコインコンサート」	4	328
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	2	16
	人材育成事業	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー	7	1,297
	人材育成事業	地域の表現活動人材養成プログラム	8	264
	人材育成事業	障害者アートのための研究・ワークショップ	2	118
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アートによる魅力発信事業	4	215
	人材育成事業	ピアノ試弾き会	16	128
	人材育成事業	インターンシップ事業	－	1
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	3	2,886
	人材育成事業	【中学生公演鑑賞事業】セントラル愛知交響楽団 演奏会	2	758
	人材育成事業	若手音楽家育成事業　演奏動画プロジェクト「オンライン・ミニコンサート」	5	
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ	25	727
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校・学級へ出向いてのワークショップ	13	213
	地域文化活動の場の提供等	地域のアートイベント連携プログラム	*	*
2021年度				
	音楽文化の振興事業	ぷらっと文化祭「Art Platter」「陽気にスウィング」ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド	1	314
	音楽文化の振興事業	ぷらっと文化祭「Art Platter」 アコースティック・ライブ	1	113
	音楽文化の振興事業	ハルモニア・レニス「シェイクスピアの旋律」	1	85
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2021「大道芸inとよはし」	2	1,451
	舞台芸術の振興事業	チェルフィッチュの〈映像演劇〉 「風景、世界、アクシデント、すべてこの部屋の外側の出来事」	7	244
	舞台芸術の振興事業	「東京ゴッドファーザーズ」	3	1,223
	舞台芸術の振興事業	彩の国さいたまシェイクスピアシリーズ「終わりよければすべてよし」	4	2,655
	舞台芸術の振興事業	「未練の幽霊と怪物 -『挫波』『敦賀』-」	2	1,045
	舞台芸術の振興事業	イキウメ「外の道」	1	406
	舞台芸術の振興事業	プラット親子わくわくプログラム　マームとジプシー「めにみえない　みみにしたい」	3	294
	舞台芸術の振興事業	「もしも命が描けたら」	4	2,511
	舞台芸術の振興事業	ぷらっと文化祭「Art Platter」PLAT小劇場シリーズ　KAKUTA「或る、ノライヌ」	3	257
	舞台芸術の振興事業	「近松心中物語」	*	*
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　マームとジプシー「BEACH BOOTS CYCLE」	4	400
	舞台芸術の振興事業	劇団スーパー・エキセントリック・シアター「太秦ラプソディ」	2	828

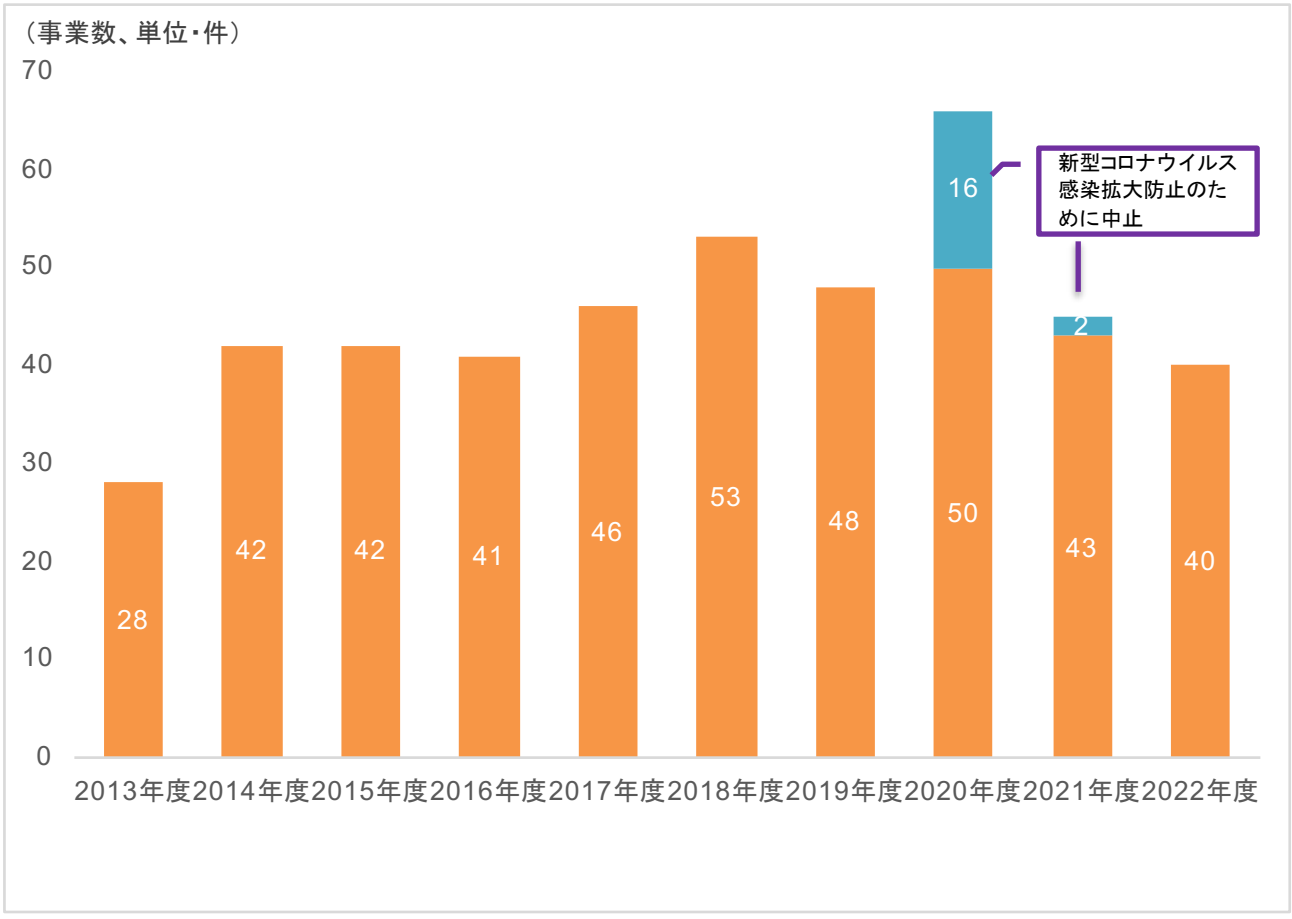
	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	舞台芸術の振興事業	アル☆カンパニー「POPPY!!!」	2	213
	舞台芸術の振興事業	「ザ・ドクター」	3	1,669
	舞台芸術の振興事業	二兎社「鷗外の怪談」	2	645
	舞台芸術の振興事業	PLAT小劇場シリーズ　水戸芸術館ACM劇場＆ラコンチャン　近藤芳正 Solo Work「ナイフ」	2	307
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2021「大道芸inとよはし」YouTube視聴		
	伝統芸能の振興事業	春風亭小朝独演会	1	352
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔独演会	1	713
	伝統芸能の振興事業	ぷらっと文化祭「Art Platter」 柳家喬太郎独演会	1	525
	伝統芸能の振興事業	野村万作・野村萬斎狂言公演2021	2	1,228
	人材育成事業	【中学生学校鑑賞用映像収録】セントラル愛知交響楽団演奏会	1	映像収録
	人材育成事業	【小学校学校鑑賞用映像収録】和太鼓　志多ら　コンサート	1	映像収録
	人材育成事業	高校生と創る演劇「ミライハ」	4	421
	人材育成事業	2021年度公共ホール現代ダンス活性化事業　市民と創造するダンス公演『舞踏 豊橋妖怪百物語』	1	187
	人材育成事業	市民と創造する演劇「階層」～チェルフィッチュの〈映像演劇〉の手法による～」	25	340
	人材育成事業	若手音楽家育成事業「プラット・ワンコインコンサート」ほか	9	990
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	17	194
	人材育成事業	ワークショップ縁日	1	250
	人材育成事業	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー	23	512
	人材育成事業	地域の表現活動人材養成プログラム	5	581
	人材育成事業	障がい者アートのための研究・ワークショップ	3	73
	人材育成事業	【豊橋市受託事業】アートによる魅力発信事業「豊橋アーティスト・イン・レジデンス　ダンス・レジデンス」（4組）	4	194
	人材育成事業	ピアノ試弾き会	22	241
	人材育成事業	インターンシップ事業	－	23
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	1	2,107
	人材育成事業	地域創造「ステージラボ豊橋セッション」（3コース）	4	140
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ（23校41クラス）	46	1,171
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校等へ出向いてのワークショップ（6校）	6	103
	地域文化活動の場の提供等	地域のアートイベント連携プログラム	*	*
2022年度				
	舞台芸術の振興事業	とよはしアートフェスティバル2022「大道芸inとよはし」	8	1,777
	舞台芸術の振興事業	【共催公演】セールスマンの死	4	2,534
	舞台芸術の振興事業	「ロビー・ヒーロー」	2	595
	舞台芸術の振興事業	PLATダンス・レジデンス作品集	2	137
	舞台芸術の振興事業	「黄昏」	2	480
	舞台芸術の振興事業	イキウメ「関数ドミノ」	1	491
	舞台芸術の振興事業	オフィス3〇〇「私の恋人 beyond」	2	1,318
	舞台芸術の振興事業	マームとジプシー「cocoon」	2	607
	舞台芸術の振興事業	プラット親子わくわくプログラム2022「ククノチ テクテク マナツノ ボウケン」	2	142
	舞台芸術の振興事業	舞台手話通訳付き公演「楽屋 -流れ去るものはやがてなつかしき-」	2	276
	舞台芸術の振興事業	ミュージカル「夜の女たち」	3	1,815
	舞台芸術の振興事業	「住所まちがい」	3	1,720
	舞台芸術の振興事業	「凍える」	4	2,091
	舞台芸術の振興事業	劇団チョコレートケーキ「帰還不能点」	2	402
	舞台芸術の振興事業	二兎社「歌わせたい男たち」	2	820
	舞台芸術の振興事業	木ノ下歌舞伎「桜姫東文章」	2	750
	舞台芸術の振興事業	ピーピング・トム「マザー」	1	408
	舞台芸術の振興事業	MONO「なるべく派手な服を着る」	2	247
	舞台芸術の振興事業	東京芸術祭2022　映像演劇「階層」（東京芸術祭主催）	6	503
	伝統芸能の振興事業	立川志の輔 独演会	1	748

	事業分類	事業名	実施回数	入場者数
	伝統芸能の振興事業	ぷらっと落語会	1	407
	音楽文化の振興事業	小曽根真　ニューイヤー・ジャズライブ　ディキシーランド・メモリーズ	1	631
	人材育成事業	【中学生学校鑑賞公演】PLATダンス・レジデンス作品集	1	137
	人材育成事業	高校生と創る演劇「せんをかく」	4	478
	人材育成事業	市民と創造する演劇「悲劇なんてまともじゃない」	2	499
	人材育成事業	若手音楽家育成事業「ワンコインコンサート」	9	1,020
	人材育成事業	【中学生学校鑑賞公演】若手音楽家育成事業「新津くらら ヴァイオリンリサイタル」	1	179
	人材育成事業	若手音楽家育成事業「新津くらら ヴァイオリンリサイタル」	1	73
	人材育成事業	ワークショップファシリテーター養成講座	18	277
	人材育成事業	ワークショップ縁日	1	250
	人材育成事業	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー	18	395
	人材育成事業	地域の表現活動人材養成プログラム	9	86
	人材育成事業	障がい者アートのための研究・ワークショップ	6	140
	人材育成事業	プラット・ダンスレジデンス（4組）	4	97
	人材育成事業	インターンシップ事業	－	1
	人材育成事業	東三河高等学校演劇部活動支援	3	6,066
	人材育成事業	【中学生学校鑑賞公演】セントラル愛知交響楽団演奏会	1	955
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】小学校・中学校へ出向いてのワークショップ（25校）	52	1,483
	体験普及事業	【豊橋市受託事業】特別支援学校等へ出向いてのワークショップ（16校）	11	219
	地域文化活動の場の提供等	地域のアートイベント連携プログラム	1	250

(2) 年度別の事業数の推移

10年間の事業数は総計で433事業で、年度別の推移を見ると、最も多い事業数の年度は2018年度で53事業、次いで2020年度の50事業、2019年度の48事業となっている。なお、2020度に関しては50事業のうち16事業、2021年度に関しては2事業が新型コロナウイルス感染拡大防止のために公演等が中止となっている。

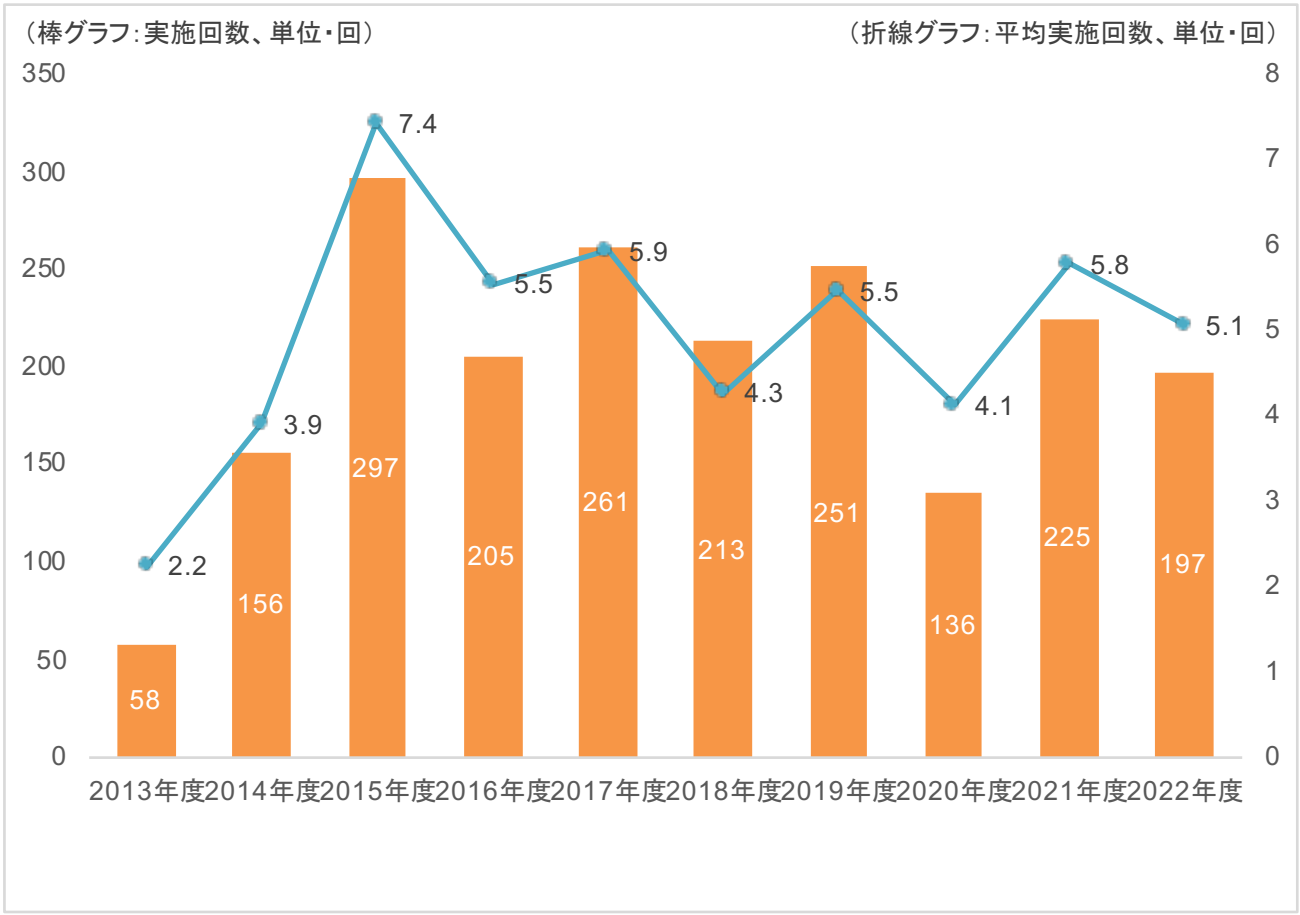
年度	事業数（中止を含めず）	中止の事業数	事業数
2013年度	28		28
2014年度	42		42
2015年度	42		42
2016年度	41		41
2017年度	46		46
2018年度	53		53
2019年度	48		48
2020年度	50	16	66
2021年度	43	2	45
2022年度	40		40
総計	433	18	451



(3) 年度別の事業の実施回数・平均実施回数

10年間433事業の実施回数は総計1,999回で、平均すると1事業あたり5.1回の実施回数となっている。最も多い実施回数の年度は平成27年度の297回で、1事業あたりの平均回数は7.4回となっている。2020年度以降、新型コロナウイルスの影響で大きく実施回数は低下したが、2021年度の実施回数は2019年度の水準近くまで回復している。

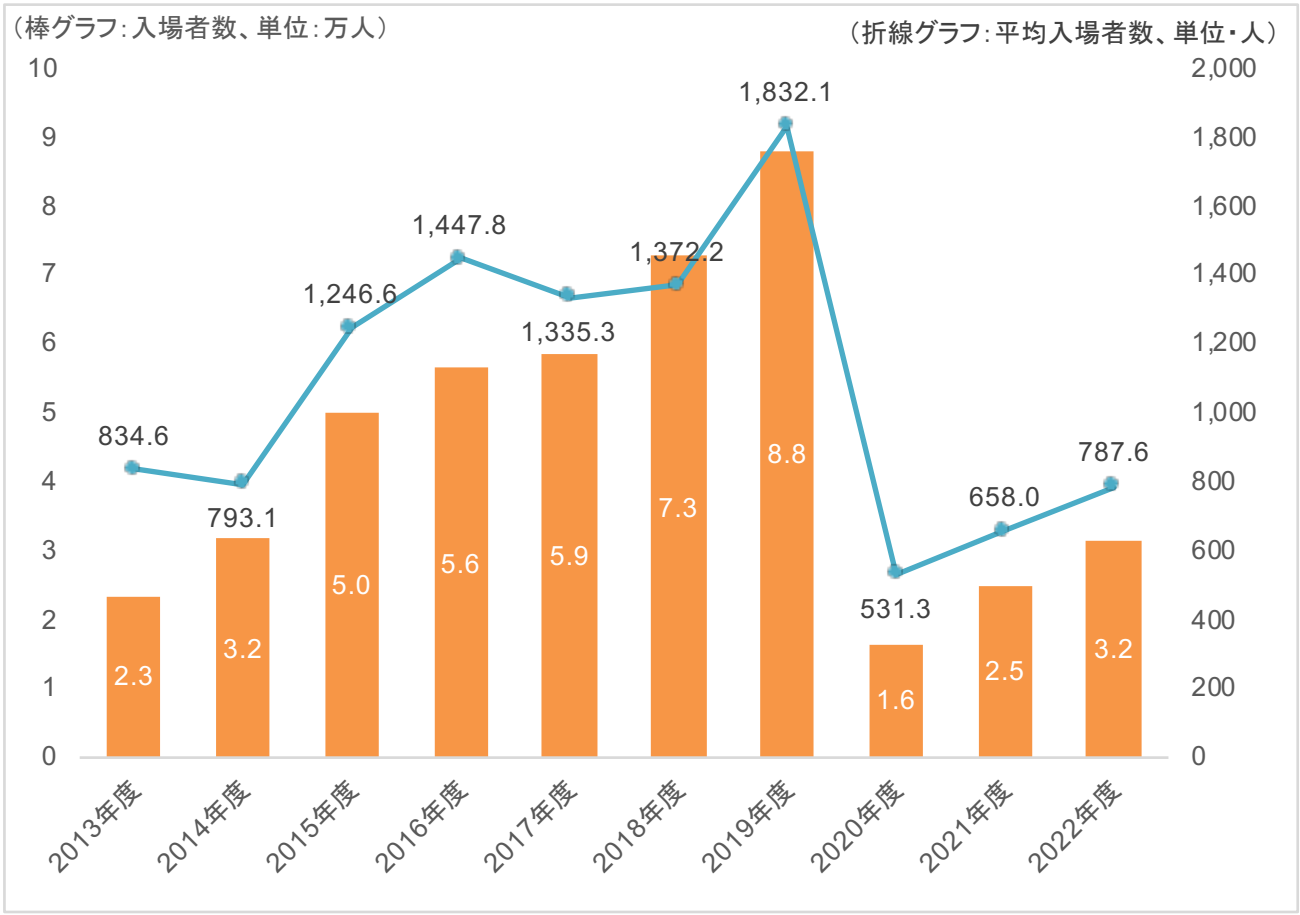
	実施回数　合計	実施回数　平均
2013年度	58	2.2
2014年度	156	3.9
2015年度	297	7.4
2016年度	205	5.5
2017年度	261	5.9
2018年度	213	4.3
2019年度	251	5.5
2020年度	136	4.1
2021年度	225	5.8
2022年度	197	5.1
総計	1,999	5.1



(4) 事業の年度別の入場者数・平均入場者数

10年間433事業の入場者数は総計45万3,821人で、平均すると1事業あたり1,131.7人となっている。最も多い入場者数の年度は2019年度の8万7,941人で、1事業の平均入場者数は1,832.1人となっている。2013年度の開館から2019度までは入場者数は増加が続いた。2020年度以降、新型コロナウイルスの影響で大きく入場者数が落ち込んだものの、令和4年度の入場者数は開館2年目の2014年度の水準まで回復している。

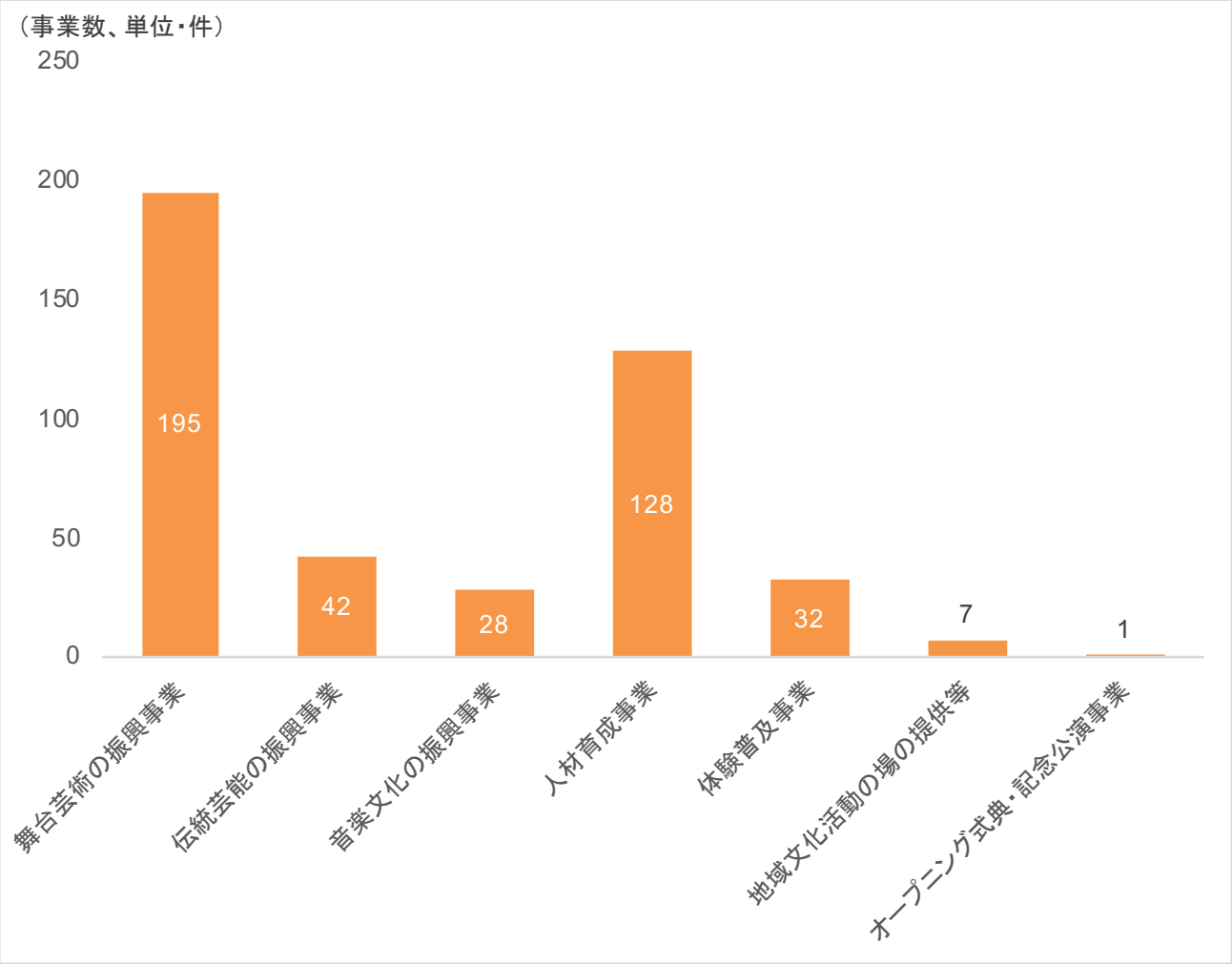
	入場者数　合計	入場者数　平均
2013年度	23,370	834.6
2014年度	31,724	793.1
2015年度	49,862	1,246.6
2016年度	56,465	1,447.8
2017年度	58,751	1,335.3
2018年度	72,729	1,372.2
2019年度	87,941	1,832.1
2020年度	16,470	531.3
2021年度	25,005	658.0
2022年度	31,504	787.6
総計	453,821	1,131.7



(5) 事業方針別の事業数の比較

433事業を事業方針の区分ごとに集計したところ、最も多い事業は「舞台芸術の振興事業」で195事業、次いで「人材育成事業」が128事業、「伝統芸能の振興事業」が42事業、「体験普及事業」が32事業、「音楽文化の振興事業」が28事業となっている。

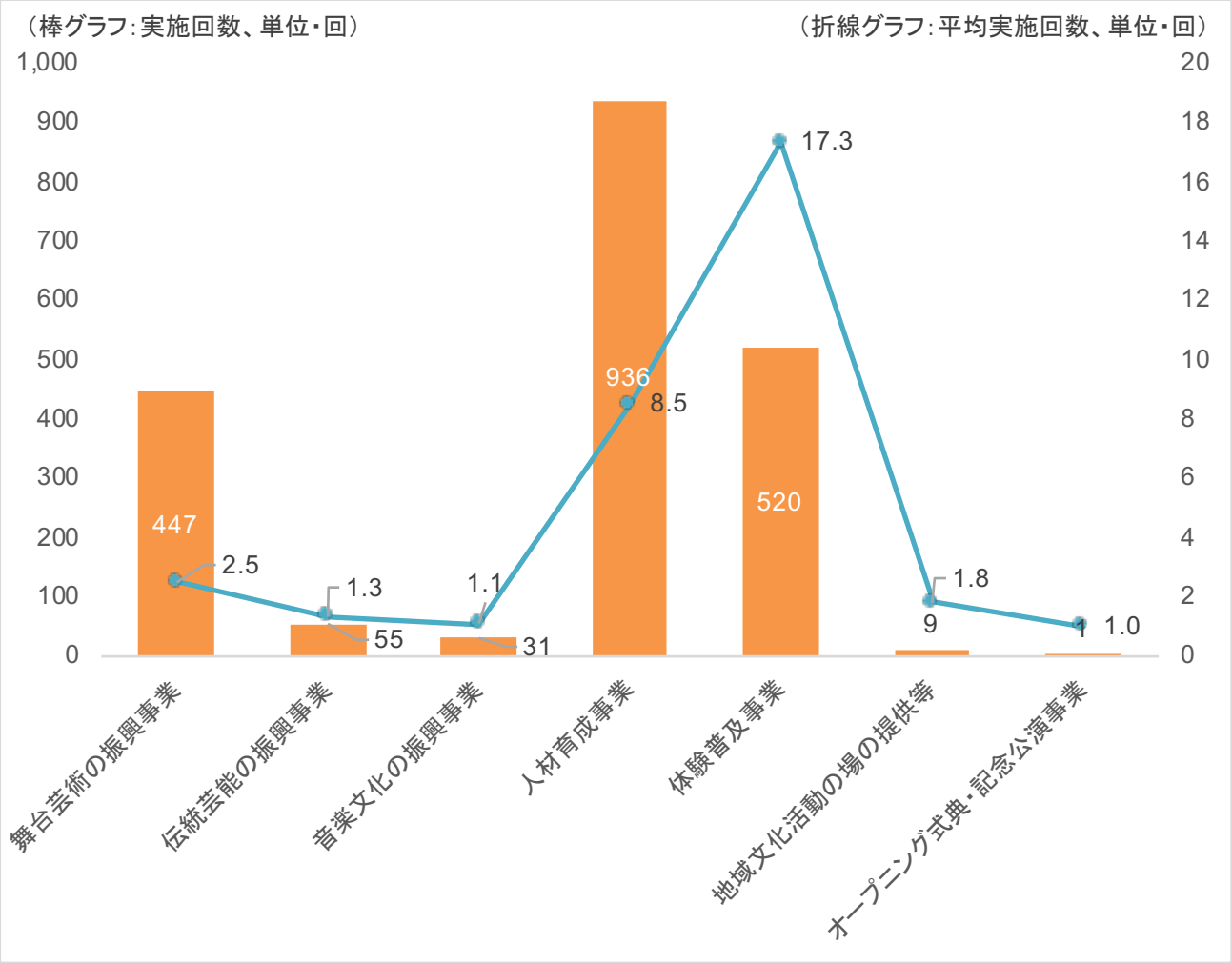
	事業数
舞台芸術の振興事業	195
伝統芸能の振興事業	42
音楽文化の振興事業	28
人材育成事業	128
体験普及事業	32
地域文化活動の場の提供等	7
オープニング式典・記念公演事業	1
総計	433



(6) 事業方針別の実施回数・平均実施回数

事業方針の区分ごとに実施回数を集計すると、最も多い実施回数の事業方針は「人材育成事業」の936回、次いで「体験普及事業」が520回、「舞台芸術の振興事業」が447回となっている。なお、1事業あたりの実施回数の平均が最も多い事業方針は「体験普及事業」で、1事業あたり17.3回となっている。

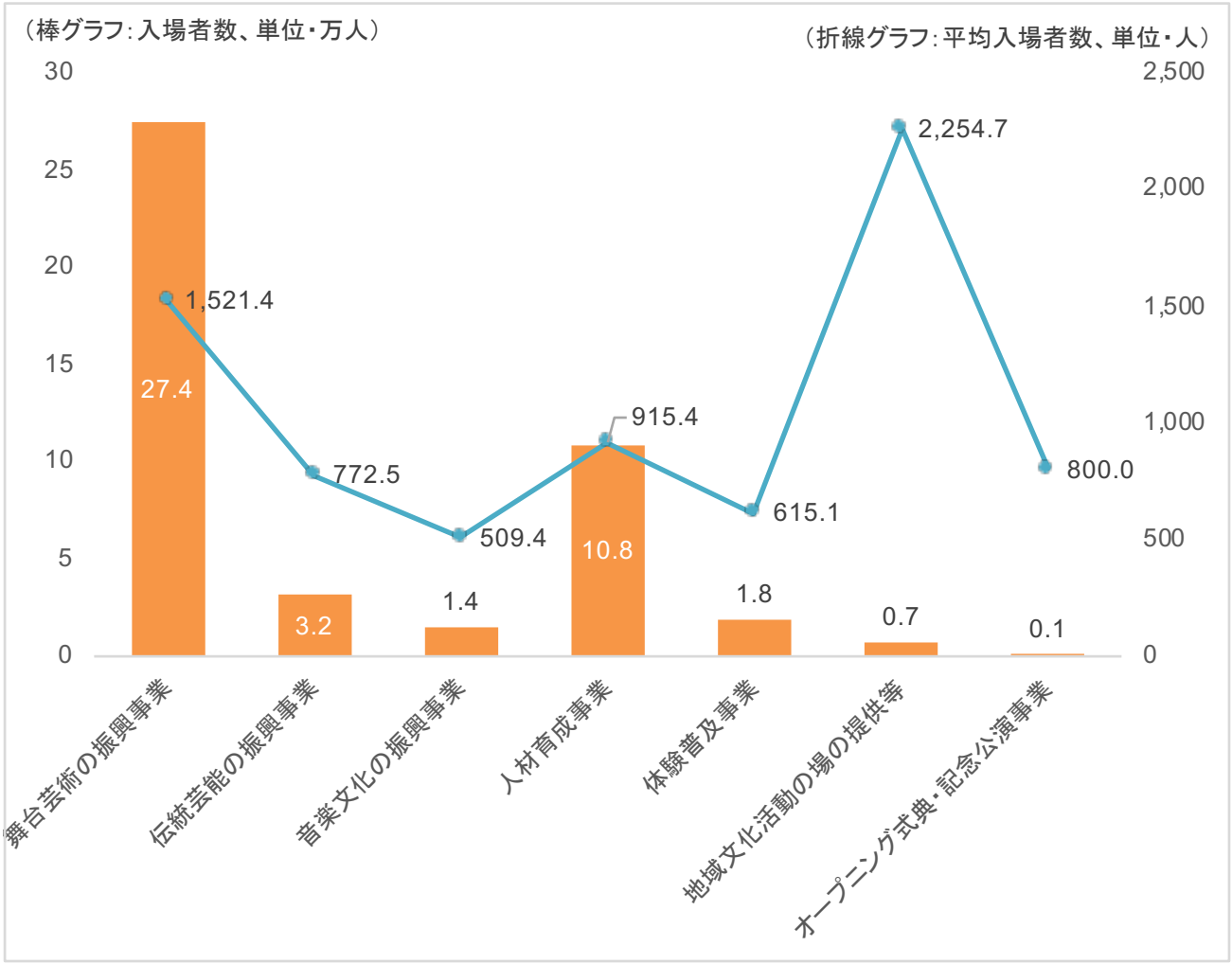
	実施回数　合計	実施回数　平均
舞台芸術の振興事業	447	2.5
伝統芸能の振興事業	55	1.3
音楽文化の振興事業	31	1.1
人材育成事業	936	8.5
体験普及事業	520	17.3
地域文化活動の場の提供等	9	1.8
オープニング式典・記念公演事業	1	1.0
総計	1,999	5.1



(7) 事業方針別の入場者数・平均入場者数

事業方針の区分ごとに入場者数を集計すると、最も多い入場者数の事業方針は「舞台芸術の振興事業」の27万3,854人、次いで「人材育成事業」が10万8,015人、「伝統芸能の振興事業」が3万1,673人となっている。なお、1事業あたりの入場者数の平均が最も多い事業方針は「地域文化活動の場の提供」で、1事業あたり2,254.7人となっている。

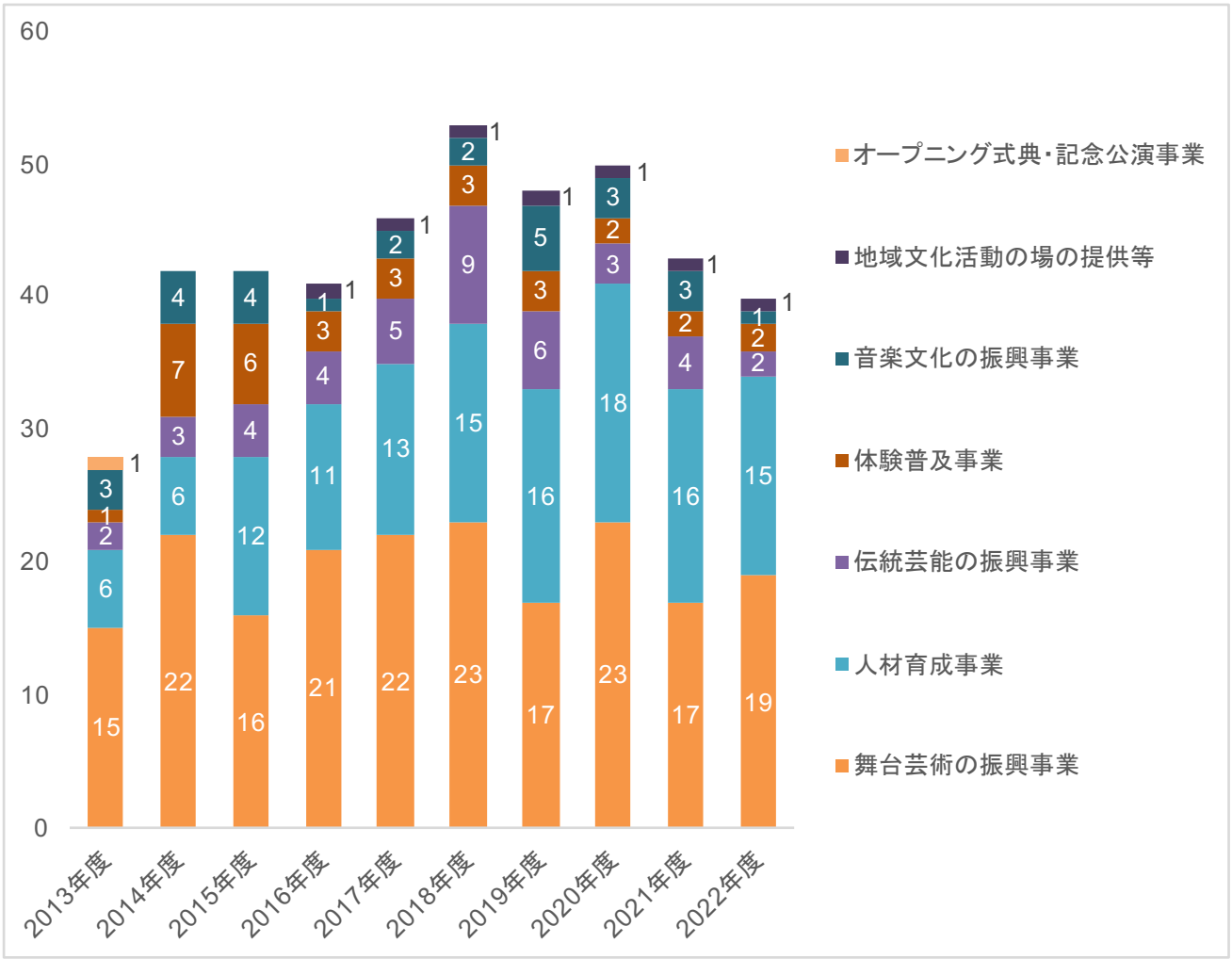
	入場者数　合計	入場者数　平均
舞台芸術の振興事業	273,854	1,521.4
伝統芸能の振興事業	31,673	772.5
音楽文化の振興事業	14,262	509.4
人材育成事業	108,015	915.4
体験普及事業	18,453	615.1
地域文化活動の場の提供等	6,764	2,254.7
オープニング式典・記念公演事業	800	800.0
総計	453,821	1,131.7



(8) 事業方針別・年度別の事業数の推移

事業方針別に年度ごとの事業数の推移を集計すると、開館以降は「舞台芸術の振興事業」が最も多い事業数となっている。次いで多い事業数は、2014年度以外は「人材育成事業」となっており、2014年度は「体験普及事業」が「人材育成事業」を上回っていた。

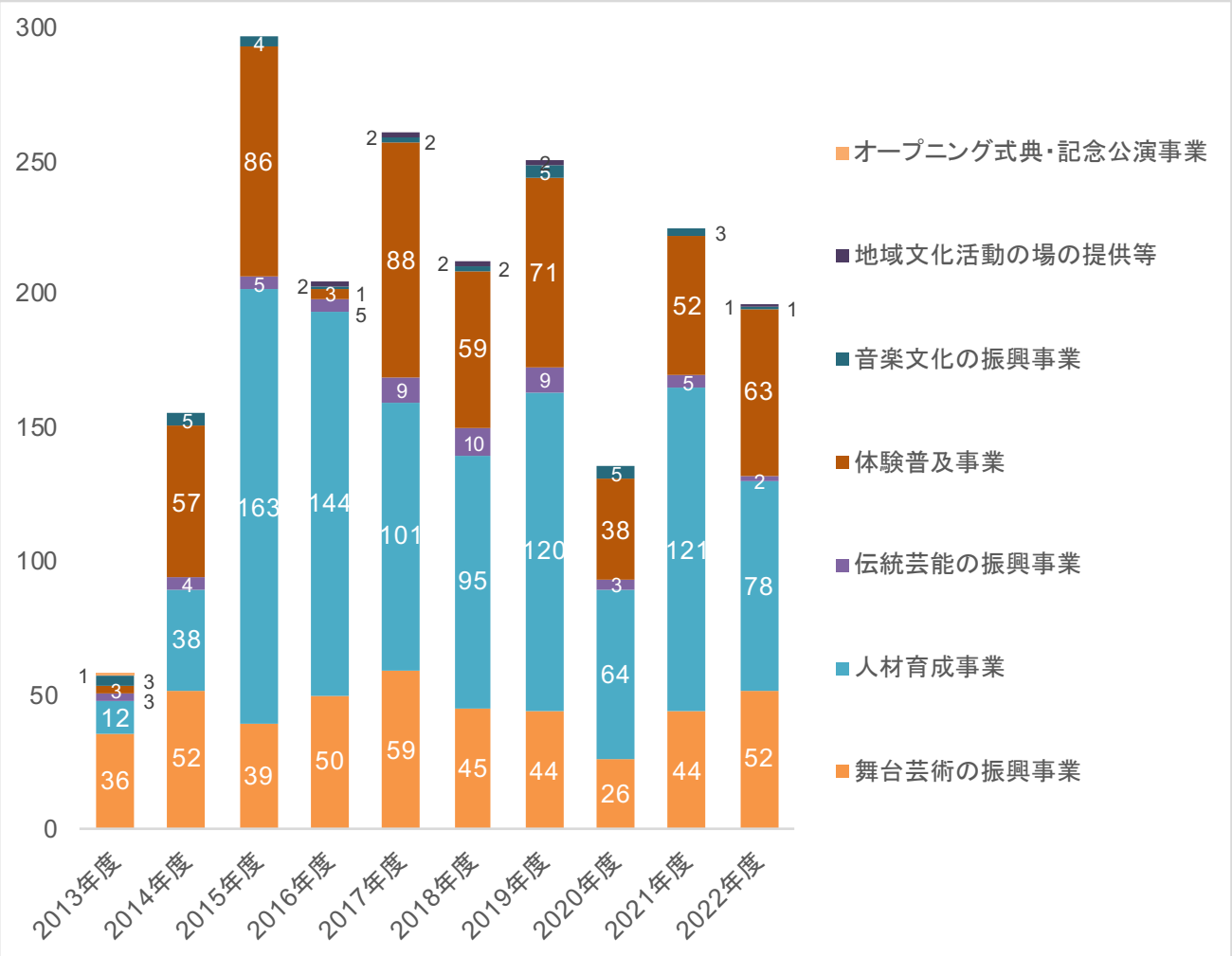
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
舞台芸術の振興事業	15	22	16	21	22	23	17	23	17	19
人材育成事業	6	6	12	11	13	15	16	18	16	15
伝統芸能の振興事業	2	3	4	4	5	9	6	3	4	2
体験普及事業	1	7	6	3	3	3	3	2	2	2
音楽文化の振興事業	3	4	4	1	2	2	5	3	3	1
地域文化活動の場の提供等				1	1	1	1	1	1	1
オープニング式典・記念公演事業	1									
総計	28	42	42	41	46	53	48	50	43	40



(9) 事業方針別・年度別の実施回数の推移

事業方針別に年度ごとの実施回数の推移を集計すると、2015年度以降は「人材育成事業」が最も多い実施回数となっている。なお、開館した平成25年度は「舞台芸術の振興事業」の実施回数が最も多く、2014年度は「体験普及事業」の実施回数が最も多かった。

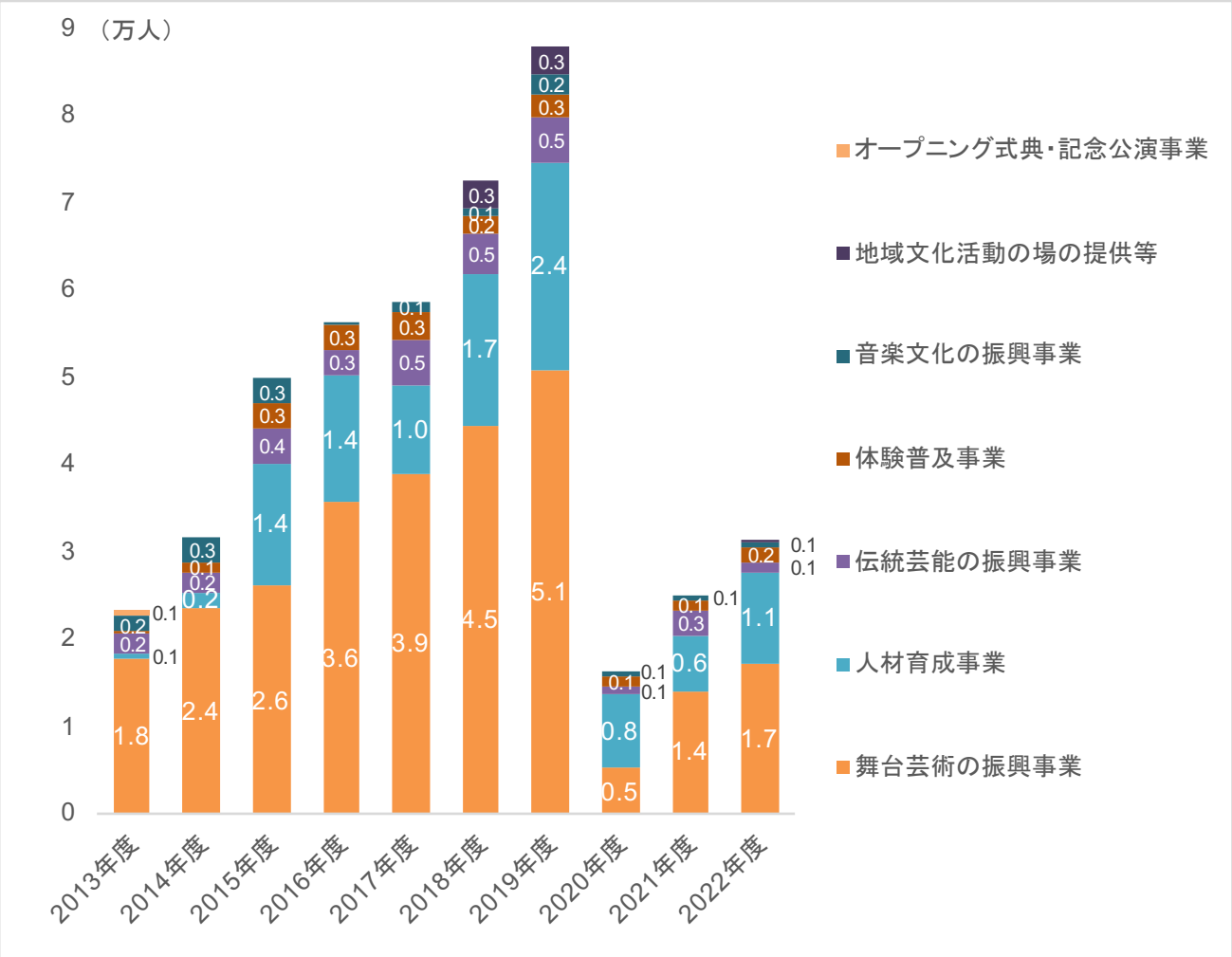
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
舞台芸術の振興事業	36	52	39	50	59	45	44	26	44	52
人材育成事業	12	38	163	144	101	95	120	64	121	78
伝統芸能の振興事業	3	4	5	5	9	10	9	3	5	2
体験普及事業	3	57	86	3	88	59	71	38	52	63
音楽文化の振興事業	3	5	4	1	2	2	5	5	3	1
地域文化活動の場の提供等				2	2	2	2	0	0	1
オープニング式典・記念公演事業	1									
総計	58	156	297	205	261	213	251	136	225	197



(10) 事業方針別・年度別の入場者数の推移

事業方針別に年度ごと入場者数の推移を集計すると、2020年度以外は「舞台芸術の振興事業」の入場者数が最も多く、2013年度の開館から2019年度までは増加を続けており、通年開館の初年度である2014年度から2019年度では2倍以上の入場者数（2万3,633人→5万740人）となっていた。2020年度は新型コロナウイルスの影響で大きく入場者数が落ち込んだ中で、「人材育成事業」が「舞台芸術の振興事業」の入場者数を上回った。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
舞台芸術の振興事業	17,771	23,633	26,076	35,651	38,937	44,577	50,740	5,208	14,148	17,113
人材育成事業	667	1,668	14,080	14,497	10,289	17,419	24,031	8,458	6,253	10,653
伝統芸能の振興事業	2,153	2,420	4,150	3,148	5,071	4,600	5,098	1,060	2,818	1,155
体験普及事業	265	1,070	2,640	2,731	3,180	1,947	2,704	940	1,274	1,702
音楽文化の振興事業	1,714	2,933	2,916	438	1,274	861	2,179	804	512	631
地域文化活動の場の提供等				0	0	3,325	3,189	0	0	250
オープニング式典・記念公演事業	800									
総計	23,370	31,724	49,862	56,465	58,751	72,729	87,941	16,470	25,005	31,504



(11) 継続企画の実績の推移

10年間の自主事業のうち、中長期で展開している継続プログラムやシリーズ企画などの事業について、事業数、実施回数、入場者数の年度ごとの推移を集計した。最も多い事業数の継続企画は「公共劇場との連携」、最も多い実施回数は「豊橋市受託事業（小学校、中学校、特別支援学校へ出向いてのワークショップなど）」、最も多い入場者数は「とよはしアートフェスティバル」が13万2,887人となっている。「とよはしアートフェスティバル」の入場者数は2013年度から2019年度まで増加が続き、2013年度から2019年度では6倍以上の入場者数（5,000人→3万1,520人）となっていた。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
公共劇場との連携※											
事業数	6	5	3	5	8	9	6	9	6	5	62
実施回数	13	11	8	11	16	18	18	6	14	11	126
入場者数	5,314	3,423	2,436	4,972	7,769	6,179	10,871	666	5,524	4,680	51,834
PLAT小劇場シリーズ											
事業数				6	6	6	4	8	4		34
実施回数				16	14	12	12	11	11		76
入場者数				2,534	2,018	1,694	1,621	1,201	1,177		10,245
とよはしアートフェスティバル											
事業数	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	11
実施回数	2	2	2	2	2	0	0	5	2	8	25
入場者数	5,000	10,000	13,000	20,000	22,000	27,000	31,520	1,139	1,451	1,777	132,887
演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー											
事業数	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	11
実施回数	2	14	17	33	21	24	15	7	23	18	174
入場者数	50	334	310	857	458	580	354	1,297	512	395	5,147
若手音楽家育成事業											
事業数		1	1	1	1	1	1	3	1	2	12
実施回数		7	12	11	12	8	9	11	9	10	89
入場者数		983	972	1,984	1,539	1,279	1,156	481	990	1,093	10,477
ワークショップファシリテーター養成講座											
事業数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
実施回数		15	20	21	20	23	24	2	17	18	160
入場者数		375	391	691	452	212	525	16	194	277	3,133
豊橋市受託事業（小学校、中学校、特別支援学校へ出向いてのワークショップなど）											
事業数		4	6	5	5	4	5	3	3	2	37
実施回数		26	167	57	112	63	76	42	56	63	662
入場者数		792	6,626	5,380	4,175	2,284	4,007	1,155	1,468	1,702	27,589
学校鑑賞事業（名古屋フィルハーモニー交響楽団、劇団四季ファミリーミュージカルなど）											
事業数			1	1	4	4	4				14
実施回数			1	2	12	12	9				36
入場者数			1,450	2,439	6,097	6,568	5,303				21,857

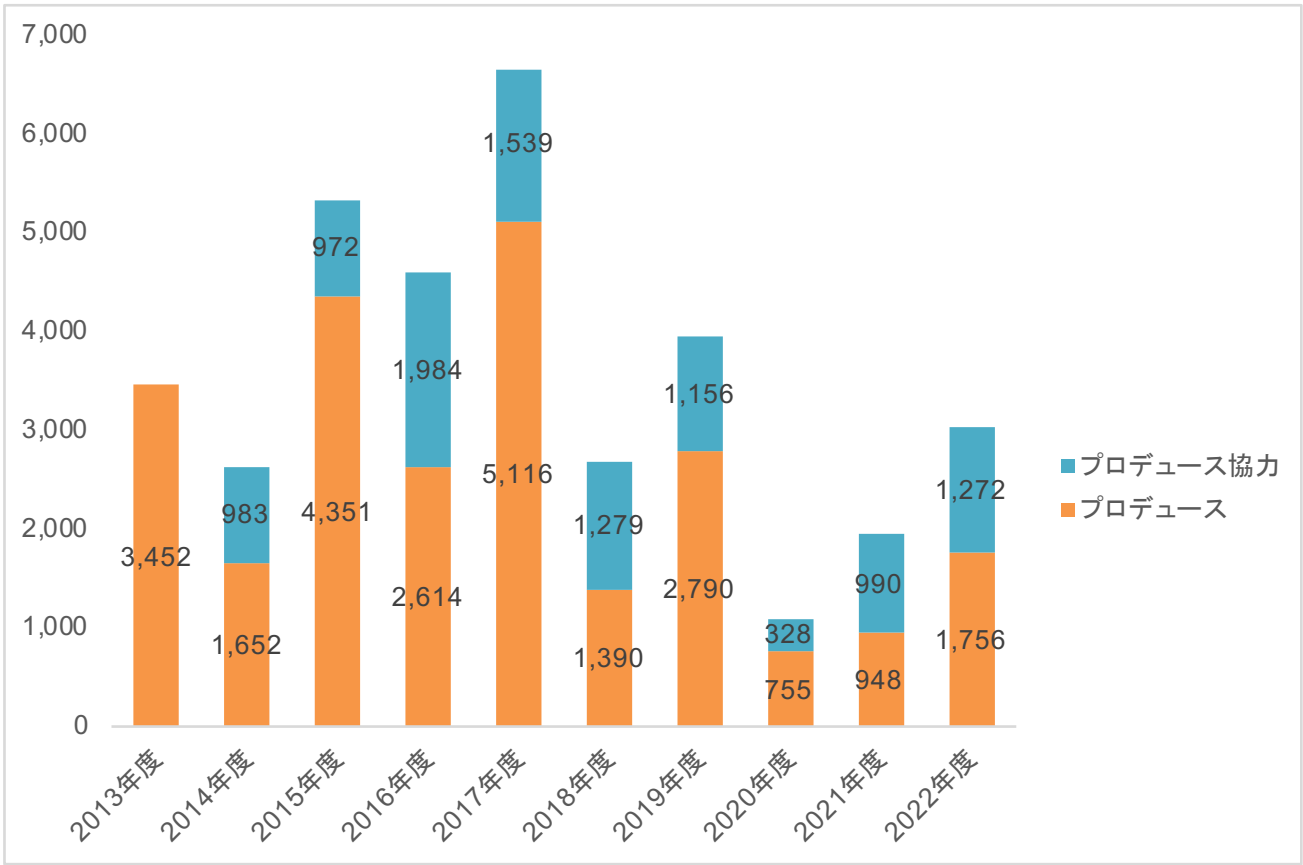
※具体的な連携先の公共劇場

施設名	事業数	実施回数	入場者数
KAAT神奈川芸術劇場	17	37	10,201
新国立劇場	12	14	6,549
彩の国さいたま芸術劇場	9	26	10,610
東京芸術劇場	8	18	11,380
世田谷パブリックシアター	6	10	6,340
りゅーとぴあ	4	11	3,090
水戸芸術館	4	8	3,489

(12) プロデュース事業の実績の推移

10年間の自主事業のうち、プロデュース事業（全面的にPLATが企画製作を担った「プロデュース」と、部分的にPLATが企画製作に協力した「プロデュース協力」）について、事業数、実施回数、入場者数の年度ごとの推移を集計した。10年間でのプロデュース事業は47事業（舞台芸術の振興事業のおよそ4分の1）で実施回数は247回、入場者数の総計は35,327人となっている。
最も多い入場者数だったのは2017年度で、7事業43回で6,655人の入場者数となっている。
プロデュース事業の代表例として、2017年度の「プラット開館5年記念事業　穂の国とよはし芸術劇場プロデュース『荒れ野』」は豊橋のみならず、北九州、東京で上演、第5回ハヤカワ「悲劇喜劇」賞、「第70回読売文学賞戯曲・シナリオ賞」を受賞し、2019年度に豊橋と東京で再演された。

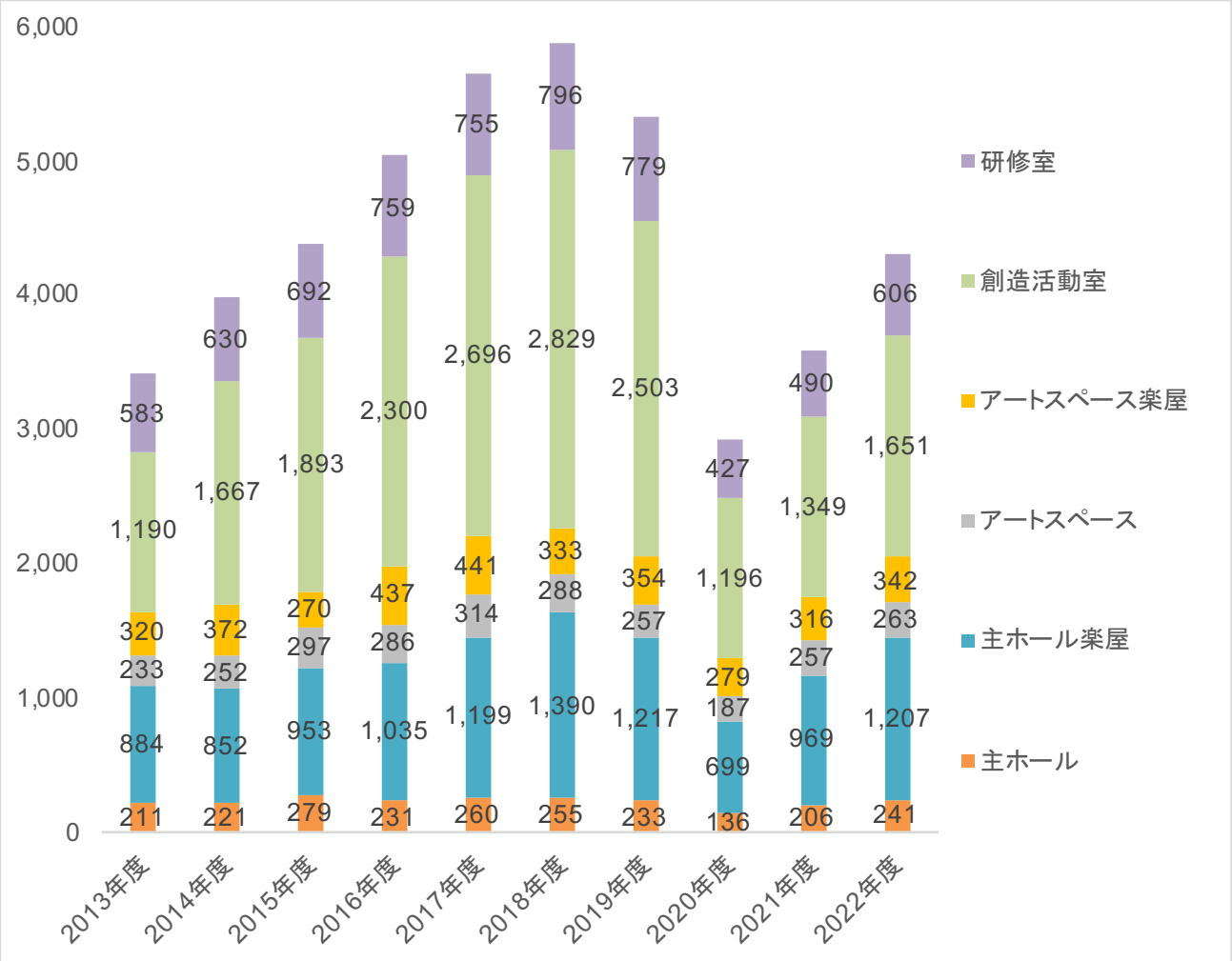
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
プロデュース事業の年度別の推移（事業数）											
プロデュース	4	2	5	3	6	2	4	3	3	4	36
プロデュース協力		1	1	1	1	1	1	1	1	3	11
計	4	3	6	4	7	3	5	4	4	7	47
プロデュース事業の年度別の推移（実施回数）											
プロデュース	16	7	21	13	31	6	19	7	30	14	164
プロデュース協力		7	12	11	12	8	9	4	9	11	83
計	16	14	33	24	43	14	28	11	39	25	247
プロデュース事業の年度別の推移（入場者数）											
プロデュース	3,452	1,652	4,351	2,614	5,116	1,390	2,790	755	948	1,756	24,824
プロデュース協力		983	972	1,984	1,539	1,279	1,156	328	990	1,272	10,503
計	3,452	2,635	5,323	4,598	6,655	2,669	3,946	1,083	1,938	3,028	35,327



(13) 施設の利用件数の推移

2013年度から2022年度までの施設の利用件数をまとめると、10ヵ年で総計4万4,567件の利用があった。施設別に見ると、「創造活動室」（7室の計）が1万9,274件で最も多く、次いで「主ホール楽屋」（8室の計）が1万405件となっている。年度別の推移を見ると、最も多い利用件数は2018年度で5,891件の利用があった。2013年度から2018年度まで利用件数は増加が続き、2013年度と2018年度では1.7倍の利用件数となっていた。

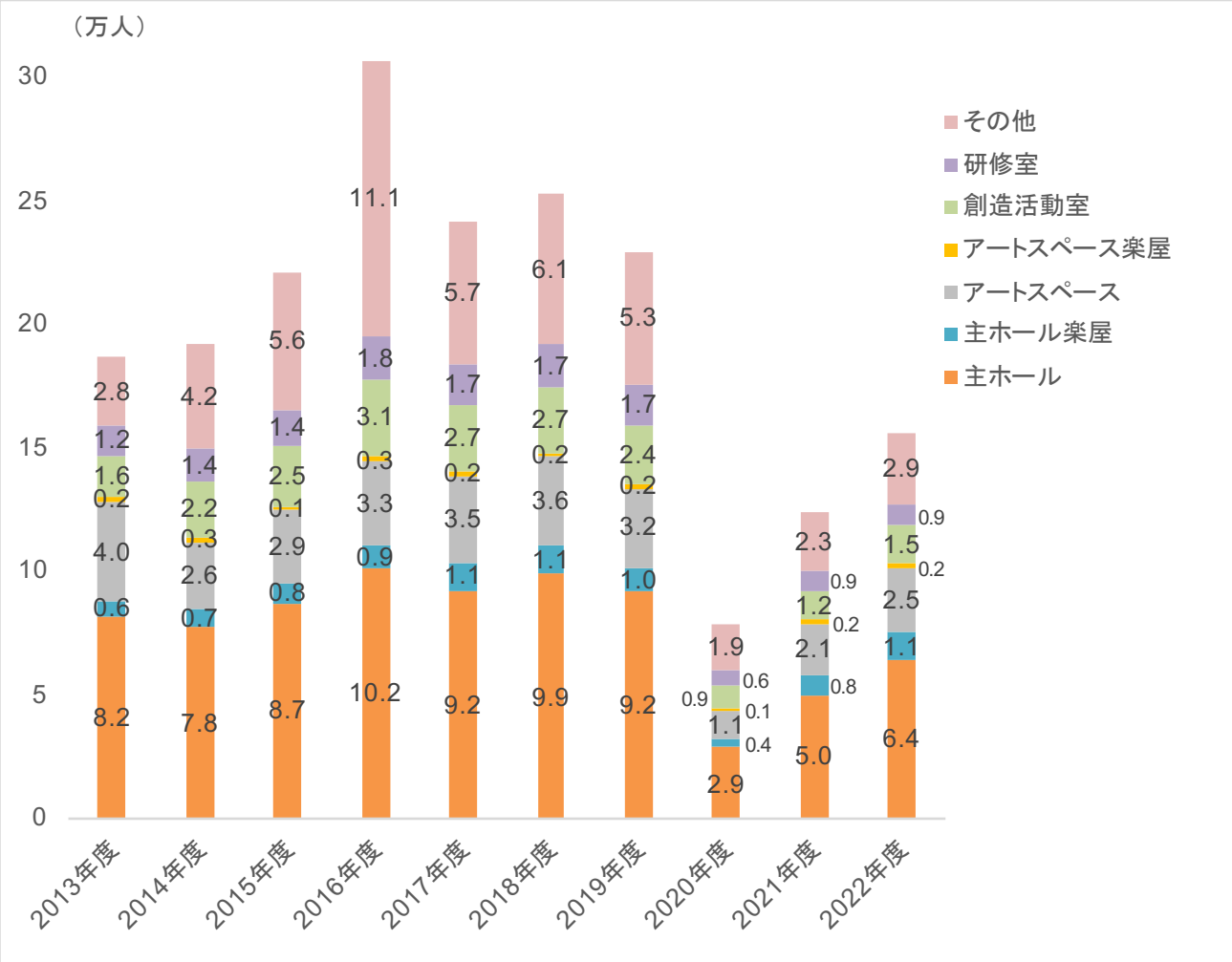
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
主ホール	211	221	279	231	260	255	233	136	206	241	2,273
主ホール楽屋	884	852	953	1,035	1,199	1,390	1,217	699	969	1,207	10,405
アートスペース	233	252	297	286	314	288	257	187	257	263	2,634
アートスペース楽屋	320	372	270	437	441	333	354	279	316	342	3,464
創造活動室	1,190	1,667	1,893	2,300	2,696	2,829	2,503	1,196	1,349	1,651	19,274
研修室	583	630	692	759	755	796	779	427	490	606	6,517
総計	3,421	3,994	4,384	5,048	5,665	5,891	5,343	2,924	3,587	4,310	44,567



(14) 施設の利用人数の推移

10年間の施設の利用人数は、総計198万8,830人の利用があった。施設別に見ると、「主ホール」が77万4,636人で最も多く、次いで「その他」（北側広場、交流スクエアなど、利用人数のみのカウント）が48万43人、「アートスペース」が28万8,782人となっている。年度別の推移を見ると、最も多い利用人数は2016年度で30万6,544人の利用があった。2013年度から2016年度まで利用人数は増加が続き、2013年度と2016年度では1.6倍の利用人数となっていた。

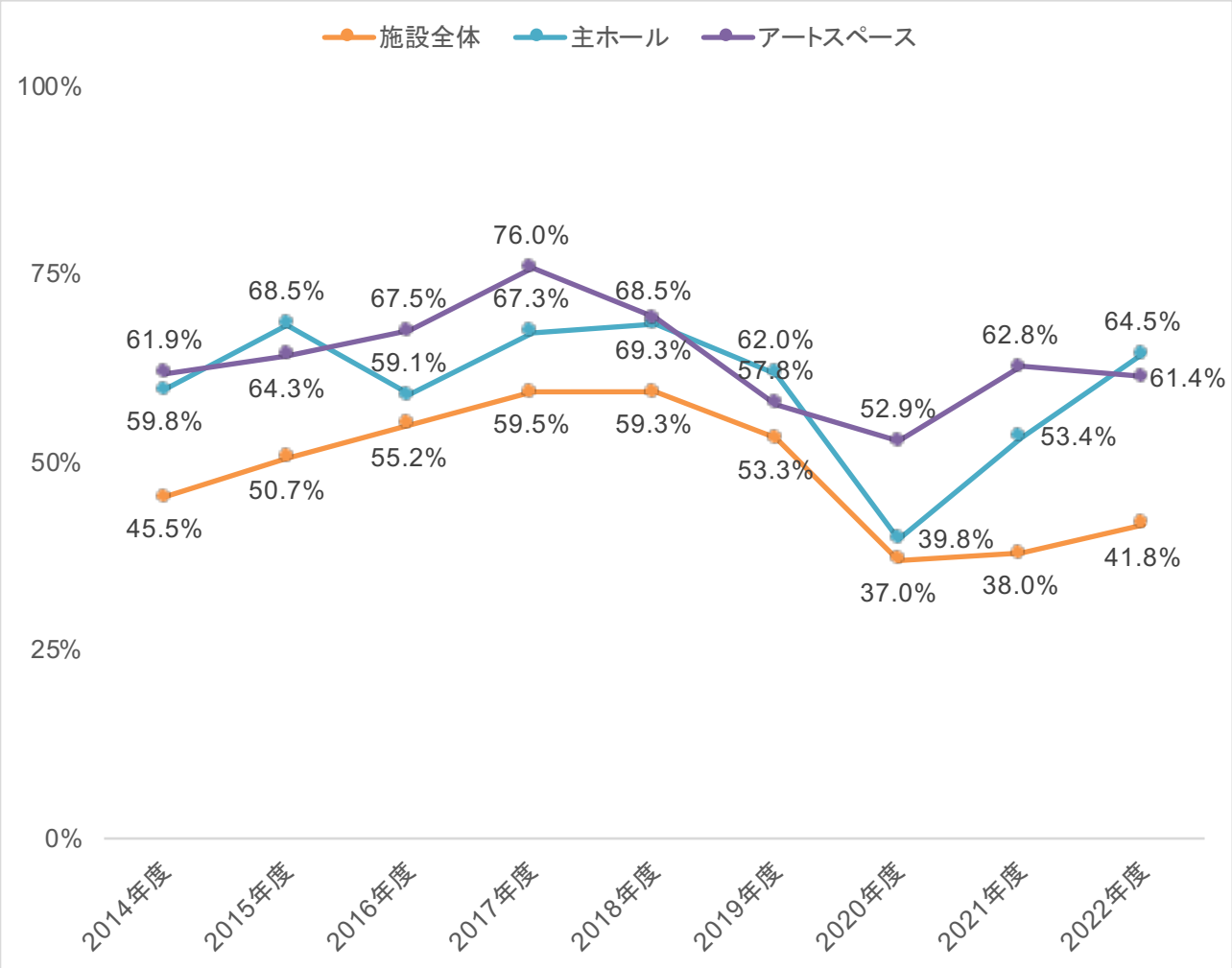
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
主ホール	81,636	77,729	86,980	101,699	92,375	99,078	91,735	28,900	50,142	64,362	774,636
主ホール楽屋	6,397	7,359	8,448	9,022	11,493	11,234	9,978	3,820	7,973	11,474	87,198
アートスペース	40,213	26,354	29,422	33,465	34,692	36,070	31,920	10,764	20,538	25,344	288,782
アートスペース楽屋	1,936	2,660	1,383	2,538	2,345	1,771	1,731	1,186	1,662	1,893	19,105
創造活動室	16,338	21,821	24,856	30,869	26,782	26,941	24,071	9,374	11,809	15,470	208,331
研修室	12,435	13,913	13,828	17,576	16,576	16,906	16,573	5,594	8,641	8,693	130,735
その他	27,837	41,858	56,357	111,375	57,292	61,253	53,349	19,069	23,033	28,620	480,043
総計	186,792	191,694	221,274	306,544	241,555	253,253	229,357	78,707	123,798	155,856	1,988,830



(15) 施設の稼働率の推移：施設全体、主ホール、アートスペース

2014年度から2022年度までの施設の稼働率※をまとめると、９年間の施設全体での稼働率平均は49.4%、主ホールは59.9%、アートスペースは63.1%となっている。９年間で最も稼働率が高かったのは、施設全体とアートスペースでは平成29年度、主ホールでは2015年度と2018年度（同率）となっており、最も稼働率が低かったのは2020年度となっている。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	平均
施設全体	45.5%	50.7%	55.2%	59.5%	59.3%	53.3%	37.0%	38.0%	41.8%	49.4%
主ホール	59.8%	68.5%	59.1%	67.3%	68.5%	62.0%	39.8%	53.4%	64.5%	59.9%
アートスペース	61.9%	64.3%	67.5%	76.0%	69.3%	57.8%	52.9%	62.8%	61.4%	63.1%

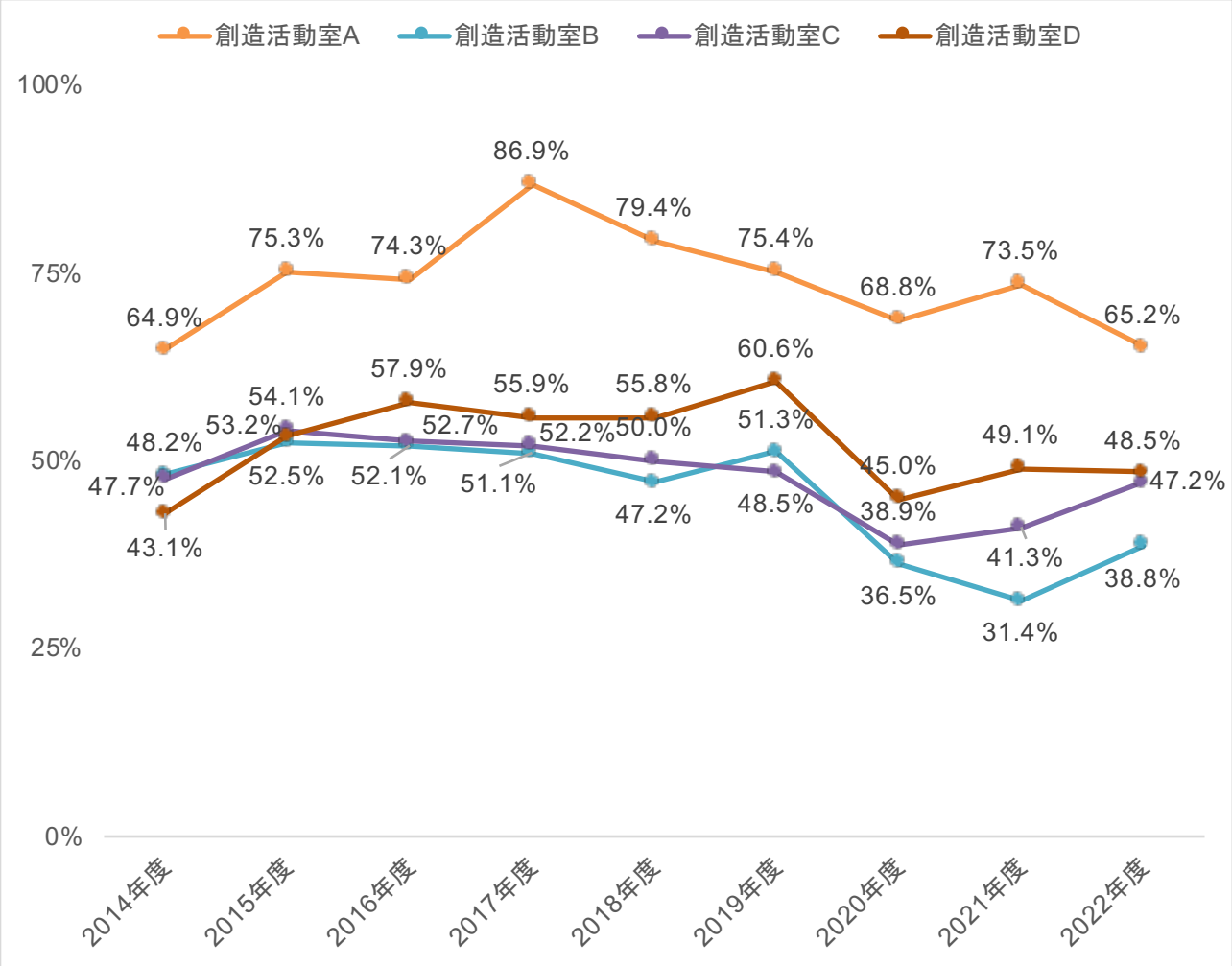


※ここでの稼働率は、貸出可能な区分に対する利用コマ数の割合となっており、2020年度までの利用区分は1区分3時間ずつだが、2021年度から1時間が利用区分の1単位に変更されている。平均値は加重平均（該当する数値の計を数値の総数で割る）で算出している。

(16) 施設の稼働率の推移：創造活動室A～D

９年間の創造活動室A、B、C、Dの稼働率の平均は、創造活動室Aが71.9%、Dが50.8%、Cが46.5%、Bが41.1%となっている。9ヵ年で最も稼働率が高かったのは、創造活動室Aが2017年度（86.9%で施設全体の中でも最も高い年間稼働率）、創造活動室BとCは2015年度、創作活動室Dは2019年度となっており、最も稼働率が低かったのは、創造活動室Aは2018年度、創造活動室Bは2021年度、創造活動室Cは2020年度、創作活動室Dは2014年度となっている。

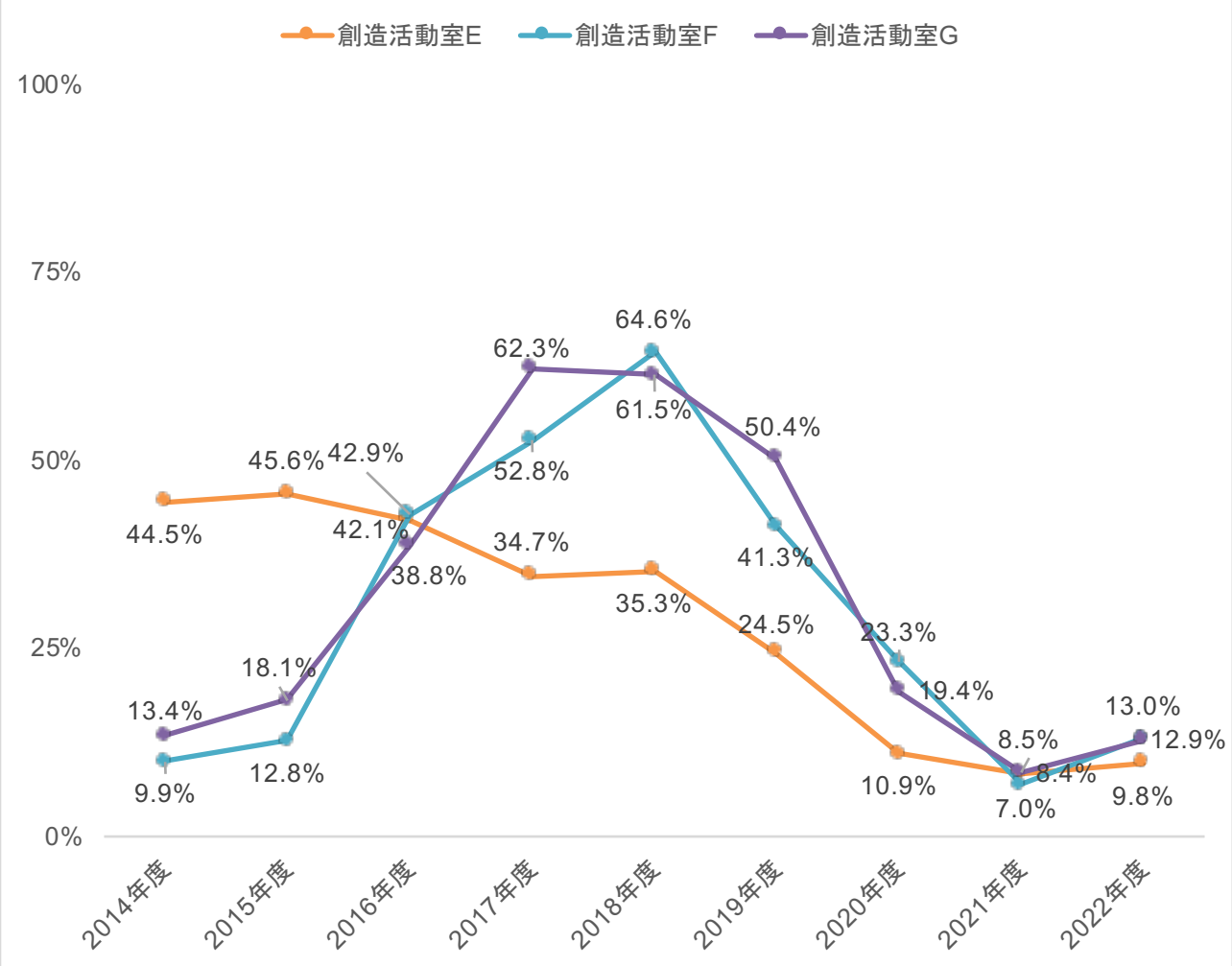
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
創造活動室A	64.9%	75.3%	74.3%	86.9%	79.4%	75.4%	68.8%	73.5%	65.2%	71.9%
創造活動室B	48.2%	52.5%	52.1%	51.1%	47.2%	51.3%	36.5%	31.4%	38.8%	41.1%
創造活動室C	47.7%	54.1%	52.7%	52.2%	50.0%	48.5%	38.9%	41.3%	47.2%	46.5%
創造活動室D	43.1%	53.2%	57.9%	55.9%	55.8%	60.6%	45.0%	49.1%	48.5%	50.8%



(17) 施設の稼働率の推移：創造活動室E～G

９年間の創造活動室E、F、Gの稼働率の平均は、創造活動室Gが38.6%、Fが36.5%、Eが35.9%となっている。９年間で最も稼働率が高かったのは、創造活動室Gでは2017年度、創造活動室Fでは2018年度、創造活動室Eでは2014年度となっており、最も稼働率が低かったのは、創造活動室E、F、Gともに2021年度となっている。

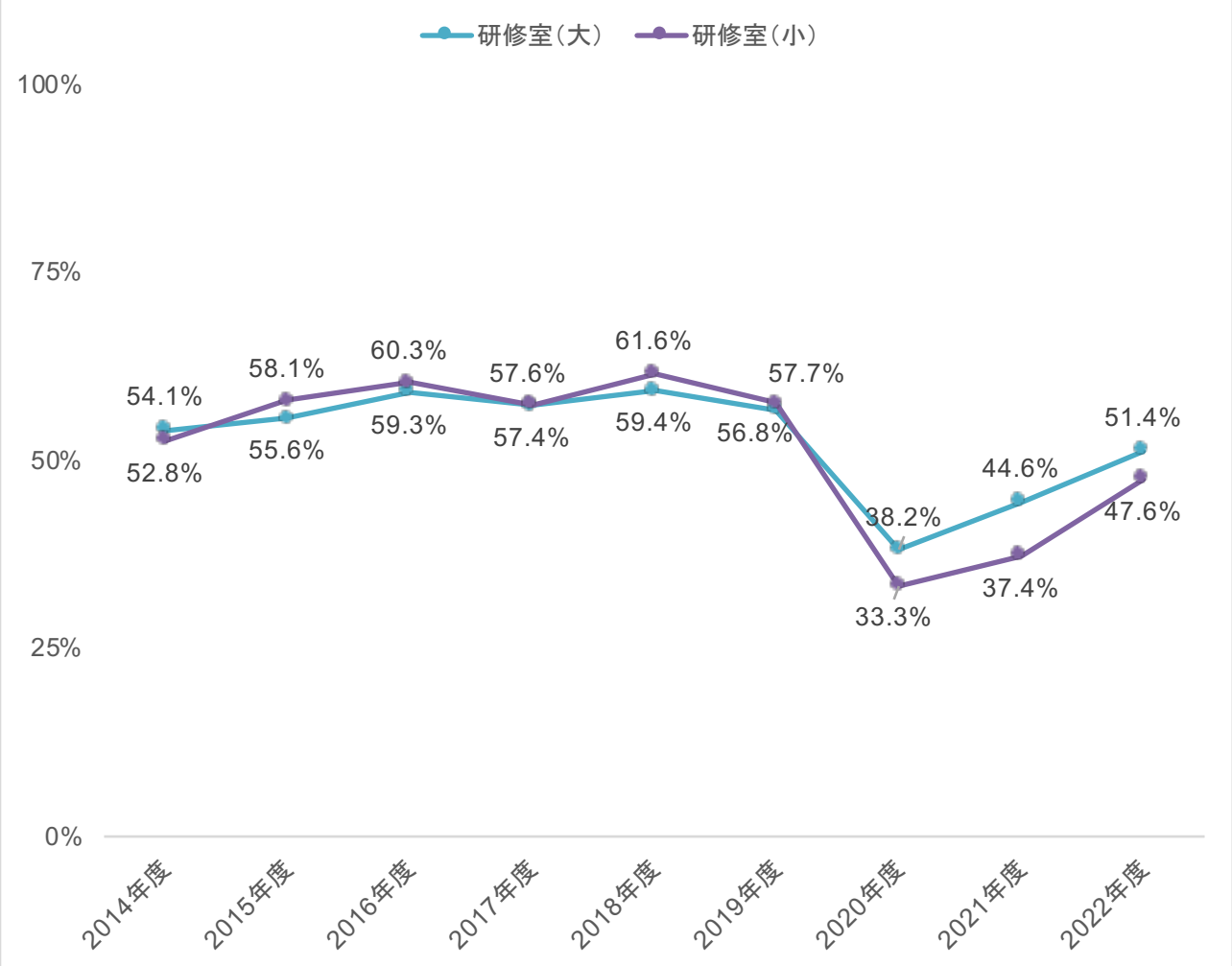
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
創造活動室E	44.5%	45.6%	42.1%	34.7%	35.3%	24.5%	10.9%	8.4%	9.8%	35.9%
創造活動室F	9.9%	12.8%	42.9%	52.8%	64.6%	41.3%	23.3%	7.0%	13.0%	36.5%
創造活動室G	13.4%	18.1%	38.8%	62.3%	61.5%	50.4%	19.4%	8.5%	12.9%	38.6%



(18) 施設の稼働率の推移：研修室（大、小）

９年間の研修室（大）、研修室（小）の稼働率の平均は、研修室（大）が50.9%、研修室（小）が48.0%となっている。９年間で最も稼働率が高かったのは、研修室（大）と（小）ともに2018年度となっており、最も稼働率が低かったのは研修室（大）と（小）ともに2020年度となっている。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
研修室（大）	54.1%	55.6%	59.3%	57.4%	59.4%	56.8%	38.2%	44.6%	51.4%	50.9%
研修室（小）	52.8%	58.1%	60.3%	57.6%	61.6%	57.7%	33.3%	37.4%	47.6%	48.0%



II

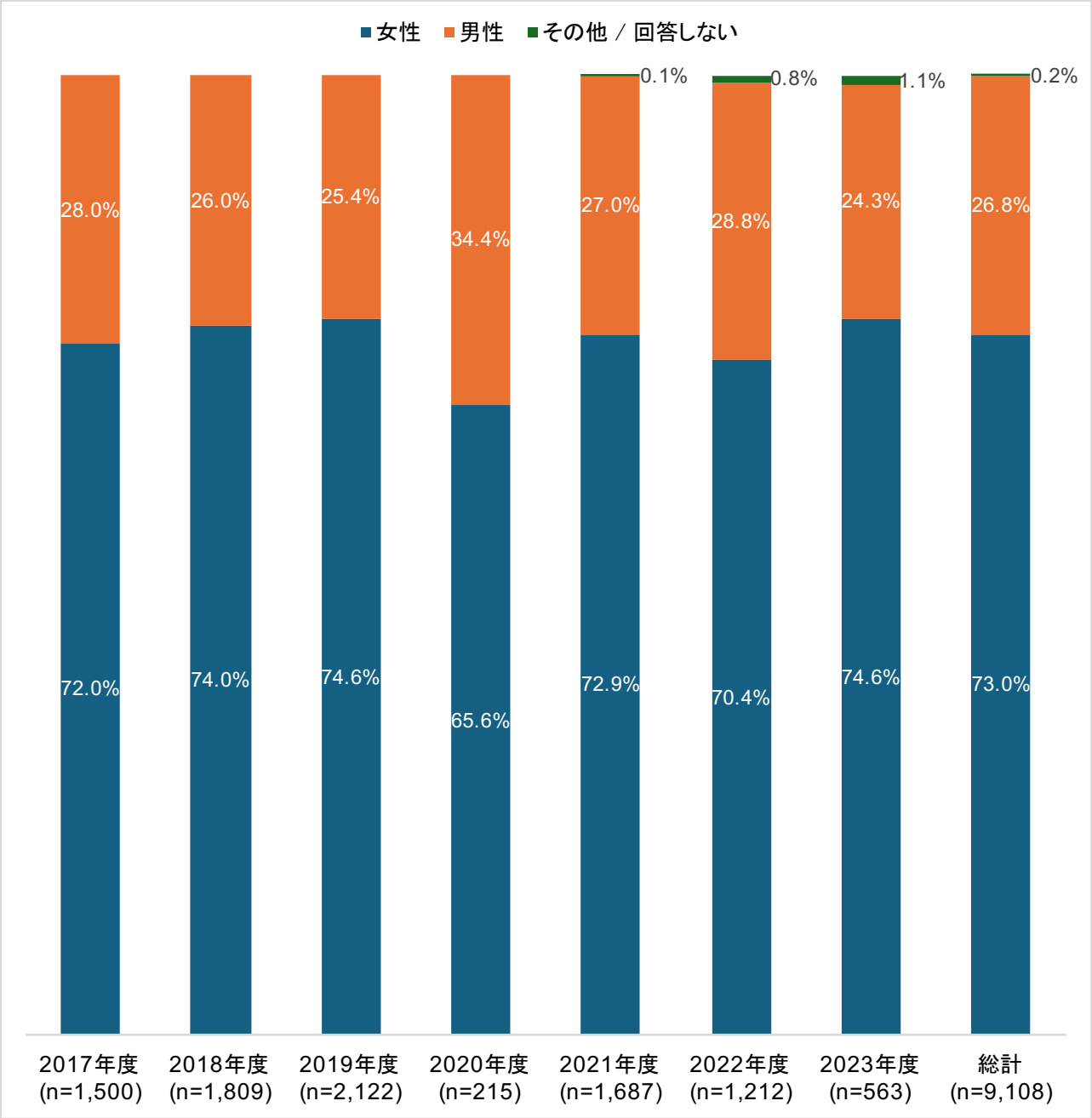
過去のアンケート調査結果の推移

- ここでの調査結果は、穂の国とよはし芸術劇場の提供による 2017 年度から 2023 年度上半期までの主催公演の来場者アンケートの公演別にまとめられた集計データの結果を元に、年度ごとに再集計することで推移を把握するよう努めた。
- 公演別にまとめられたデータは、回答者数と回答の件数が一致していない（単一回答と複数回答の区別が不明確、無回答の数が不明など）。そのため再集計にあたっては、各選択肢での回答数の合計を n 値とした割合を算出している。
- 年度や公演によって設問や選択肢が変更になっている場合もあり、再集計にあたっては、選択肢の用語が同一ではない場合でも内容が一致する場合などは項目を合体して算出している。

(1) 性別

2017年度から2023年度上半期までのアンケートの回答者の性別は、7年間の総計で見ると「女性」が73.0%、「男性」が26.8%となっている。7年間のうち最も「男性」の割合が高かったのは2020年度で34.4%となっている。

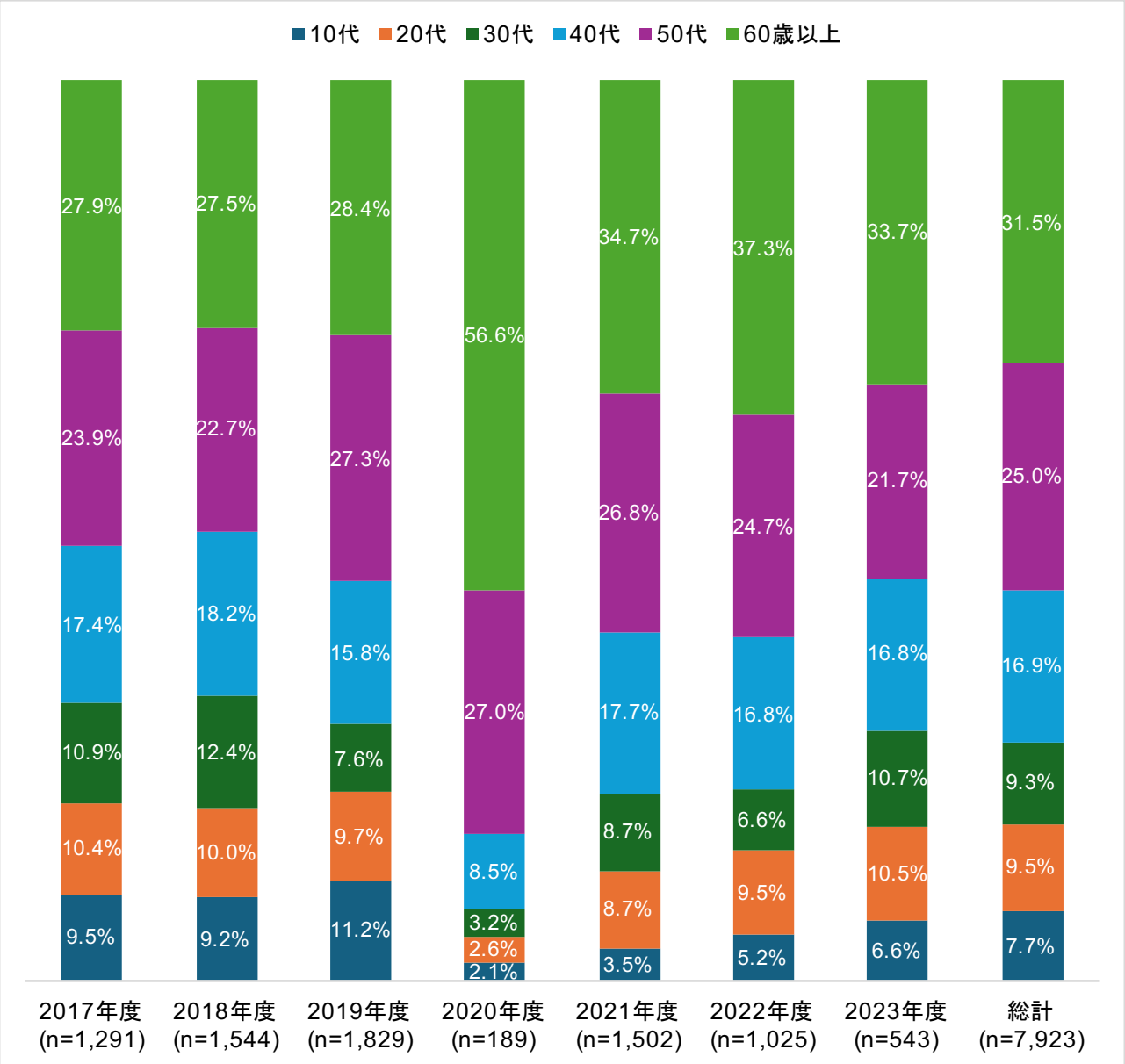
	2017年度 (n=1,500)	2018年度 (n=1,809)	2019年度 (n=2,122)	2020年度 (n=215)	2021年度 (n=1,687)	2022年度 (n=1,212)	2023年度 (n=563)	総計 (n=9,108)
女性	72.0%	74.0%	74.6%	65.6%	72.9%	70.4%	74.6%	73.0%
男性	28.0%	26.0%	25.4%	34.4%	27.0%	28.8%	24.3%	26.8%
その他/回答しない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.8%	1.1%	0.2%



(2) 年齢

回答者の年齢は、7年間の総計で「60歳以上」が31.5%、「50代」が25.0%、「40代」が16.9%となっており、30代以下の回答を合わせても26.5%となっている。2020年度は「60歳以上」が56.6%と過半の割合となっている。30代以下の回答の割合が最も高い年度は2018年度で31.6%となっている。

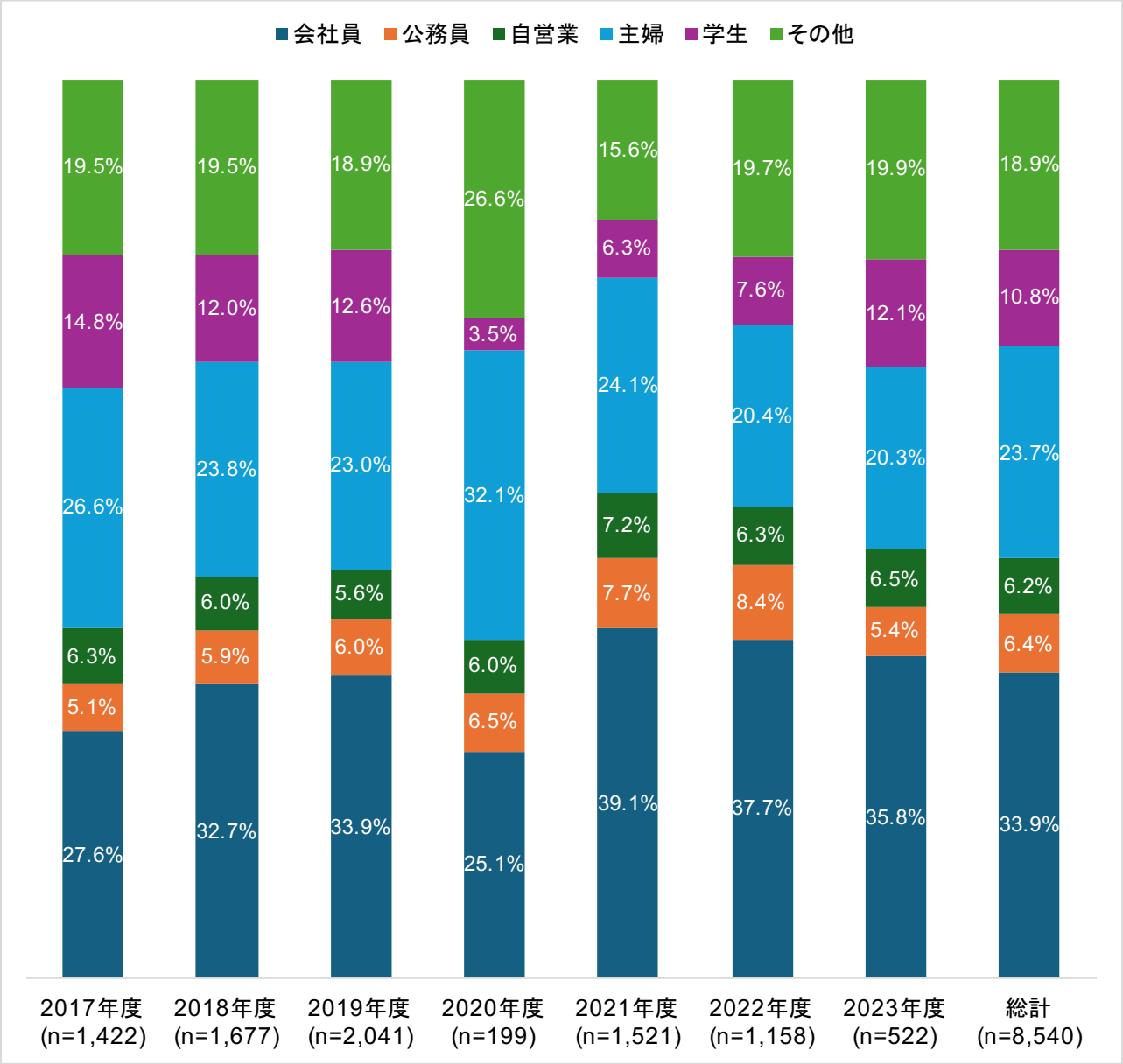
	2017年度 (n=1,291)	2018年度 (n=1,544)	2019年度 (n=1,829)	2020年度 (n=189)	2021年度 (n=1,502)	2022年度 (n=1,025)	2023年度 (n=543)	総計 (n=7,923)
10代	9.5%	9.2%	11.2%	2.1%	3.5%	5.2%	6.6%	7.7%
20代	10.4%	10.0%	9.7%	2.6%	8.7%	9.5%	10.5%	9.5%
30代	10.9%	12.4%	7.6%	3.2%	8.7%	6.6%	10.7%	9.3%
40代	17.4%	18.2%	15.8%	8.5%	17.7%	16.8%	16.8%	16.9%
50代	23.9%	22.7%	27.3%	27.0%	26.8%	24.7%	21.7%	25.0%
60歳以上	27.9%	27.5%	28.4%	56.6%	34.7%	37.3%	33.7%	31.5%



(3) 職業

回答者の年齢は、7年間の総計で「会社員」が33.9%、「主婦」が23.7%、「その他」が18.9%となっている。2020年度は「その他」が26.6%と他の年度よりも割合が高い。「その他」の回答の具体的な職業の内容は不明だが、先述の「(2)年齢」の割合と合わせて考えると、定年退職者と推察される。

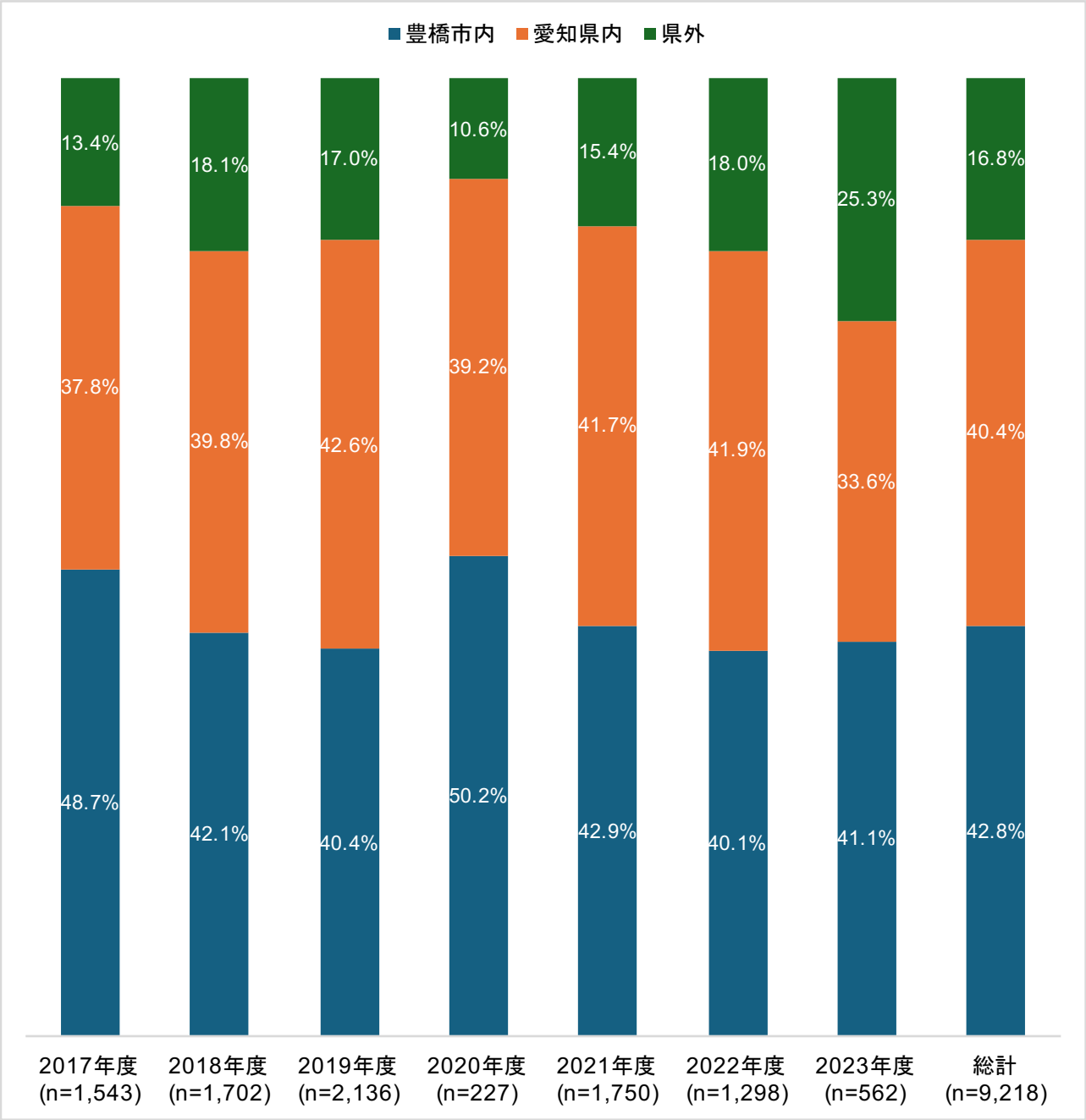
	2017年度 (n=1,422)	2018年度 (n=1,677)	2019年度 (n=2,041)	2020年度 (n=199)	2021年度 (n=1,521)	2022年度 (n=1,158)	2023年度 (n=522)	総計 (n=8,540)
会社員	27.6%	32.7%	33.9%	25.1%	39.1%	37.7%	35.8%	33.9%
公務員	5.1%	5.9%	6.0%	6.5%	7.7%	8.4%	5.4%	6.4%
自営業	6.3%	6.0%	5.6%	6.0%	7.2%	6.3%	6.5%	6.2%
主婦	26.6%	23.8%	23.0%	32.1%	24.1%	20.4%	20.3%	23.7%
学生	14.8%	12.0%	12.6%	3.5%	6.3%	7.6%	12.1%	10.8%
その他	19.5%	19.5%	18.9%	26.6%	15.6%	19.7%	19.9%	18.9%



(4) 居住地

回答者の居住地は、7年間の総計で「豊橋市内」が42.8%、「愛知県内」が40.4%、「県外」が16.8%となっている。
7年間のうち最も「県外」の割合が高いのは2023年度（上半期のみ）で25.3%となっている。

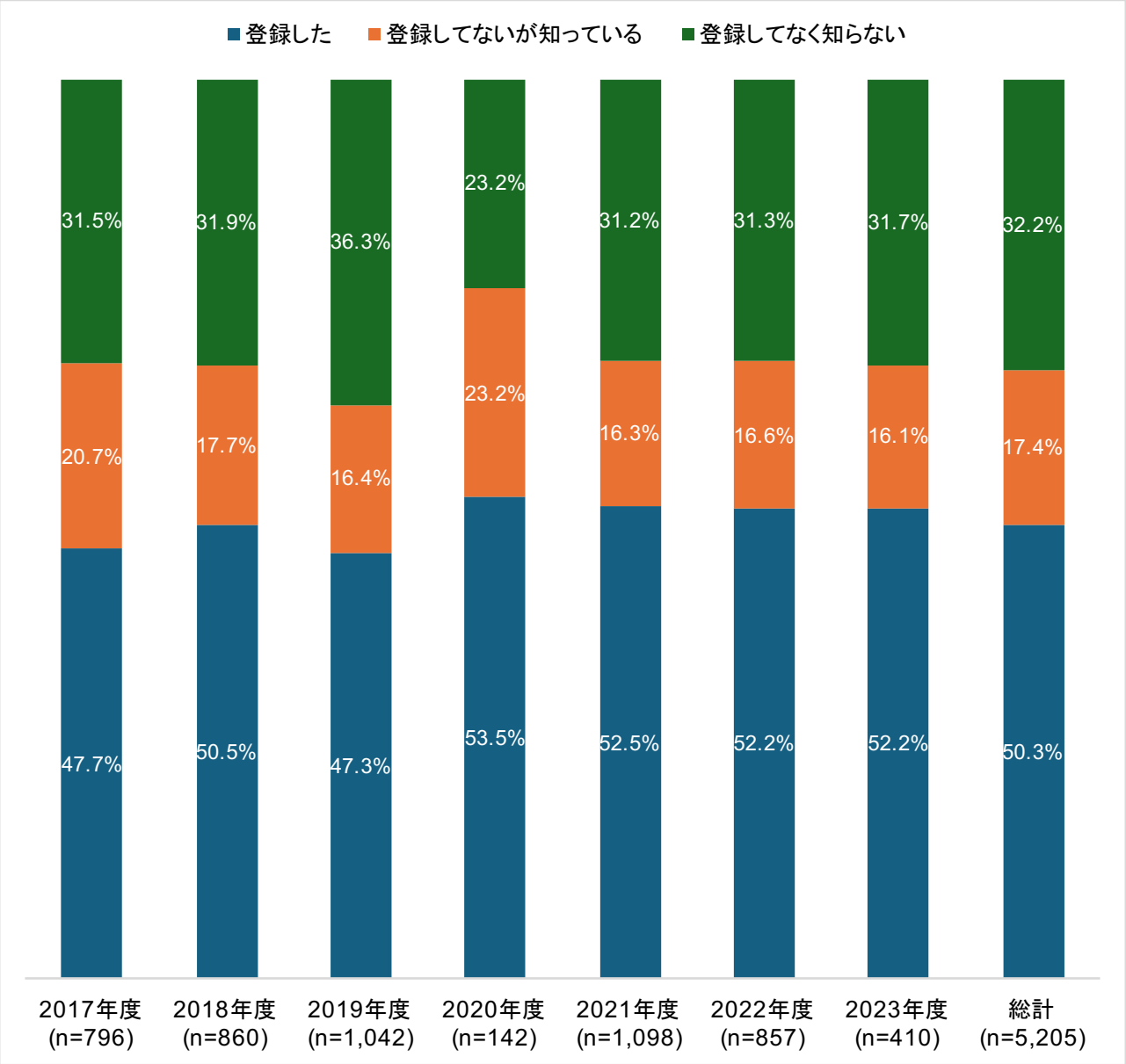
	2017年度 (n=1,543)	2018年度 (n=1,702)	2019年度 (n=2,136)	2020年度 (n=227)	2021年度 (n=1,750)	2022年度 (n=1,298)	2023年度 (n=562)	総計 (n=9,218)
豊橋市内	48.7%	42.1%	40.4%	50.2%	42.9%	40.1%	41.1%	42.8%
愛知県内	37.8%	39.8%	42.6%	39.2%	41.7%	41.9%	33.6%	40.4%
県外	13.4%	18.1%	17.0%	10.6%	15.4%	18.0%	25.3%	16.8%



(5) 維持会員・プラットフレンズ

回答者に維持会員・プラットフレンズの登録について聞いたところ、７年間の総計では「登録した」が50.3%、「登録してなく知らない」が32.2%、「登録してないが知っている」が17.4%となっている。

	2017年度 (n=796)	2018年度 (n=860)	2019年度 (n=1,042)	2020年度 (n=142)	2021年度 (n=1,098)	2022年度 (n=857)	2023年度 (n=410)	総計 (n=5,205)
登録した	47.7%	50.5%	47.3%	53.5%	52.5%	52.2%	52.2%	50.3%
登録してないが知っている	20.7%	17.7%	16.4%	23.2%	16.3%	16.6%	16.1%	17.4%
登録してなく知らない	31.5%	31.9%	36.3%	23.2%	31.2%	31.3%	31.7%	32.2%

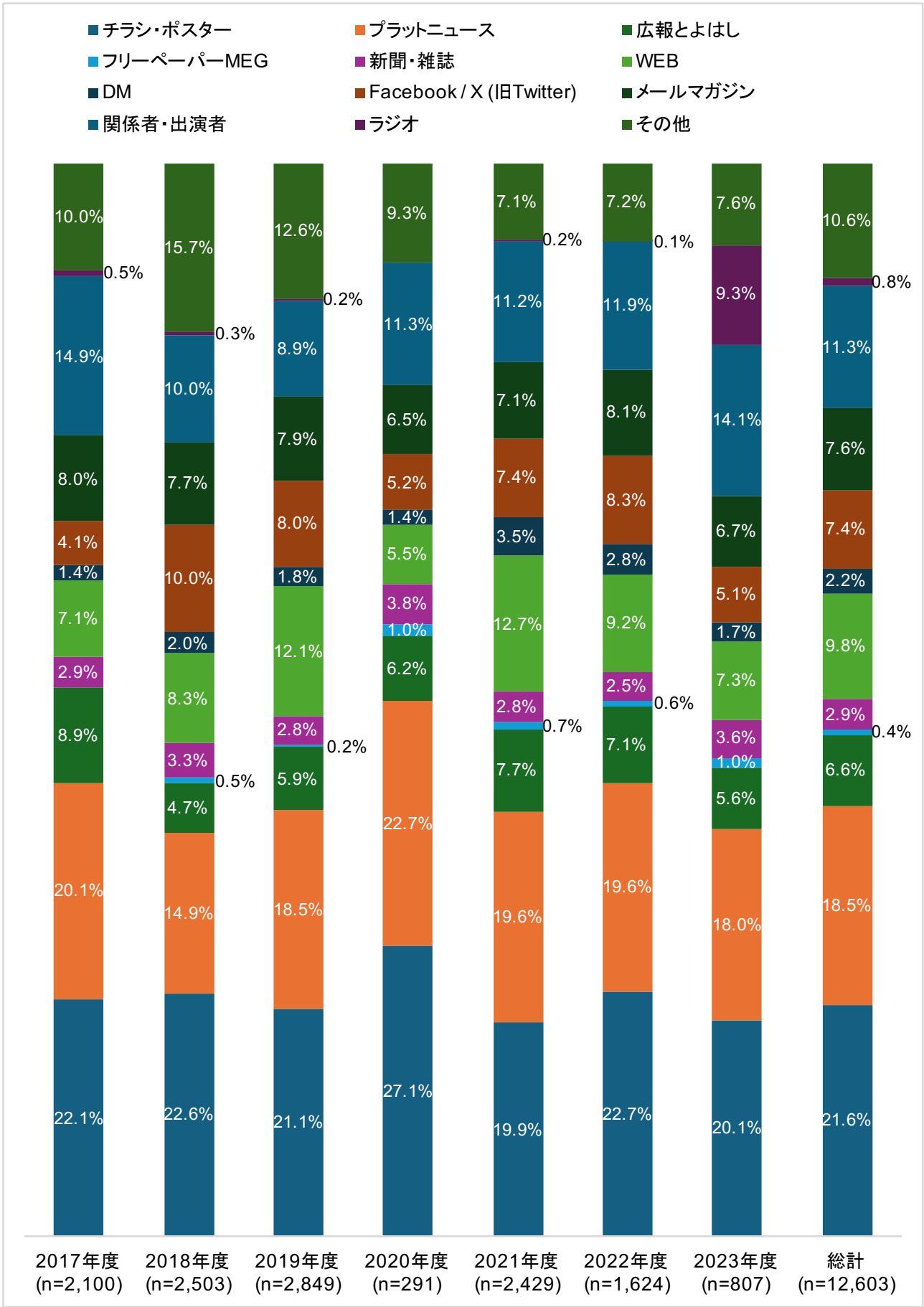


(6) 情報入手手段

回答者の情報入手手段は、7年間の総計で「チラシ・ポスター」が21.6%、「プラットニュース」が18.0%、「関係者・出演者」が11.3%となっている。2023年度（上半期のみ）では「ラジオ」が9.3%で、他の年度に比べて割合が高くなっている。

	2017年度 (n=2,100)	2018年度 (n=2,503)	2019年度 (n=2,849)	2020年度 (n=291)	2021年度 (n=2,429)	2022年度 (n=1,624)	2023年度 (n=807)	総計 (n=12,603)
チラシ・ポスター	22.1%	22.6%	21.1%	27.1%	19.9%	22.7%	20.1%	21.6%
プラットニュース	20.1%	14.9%	18.5%	22.7%	19.6%	19.6%	18.0%	18.5%
広報とよはし	8.9%	4.7%	5.9%	6.2%	7.7%	7.1%	5.6%	6.6%
フリーペーパーMEG	0.0%	0.5%	0.2%	1.0%	0.7%	0.6%	1.0%	0.4%
新聞・雑誌	2.9%	3.3%	2.8%	3.8%	2.8%	2.5%	3.6%	2.9%
WEB	7.1%	8.3%	12.1%	5.5%	12.7%	9.2%	7.3%	9.8%
DM	1.4%	2.0%	1.8%	1.4%	3.5%	2.8%	1.7%	2.2%
Facebook / X (旧Twitter)	4.1%	10.0%	8.0%	5.2%	7.4%	8.3%	5.1%	7.4%
メールマガジン	8.0%	7.7%	7.9%	6.5%	7.1%	8.1%	6.7%	7.6%
関係者・出演者	14.9%	10.0%	8.9%	11.3%	11.2%	11.9%	14.1%	11.3%
ラジオ	0.5%	0.3%	0.2%	0.0%	0.2%	0.1%	9.3%	0.8%
その他	10.0%	15.7%	12.6%	9.3%	7.1%	7.2%	7.6%	10.6%

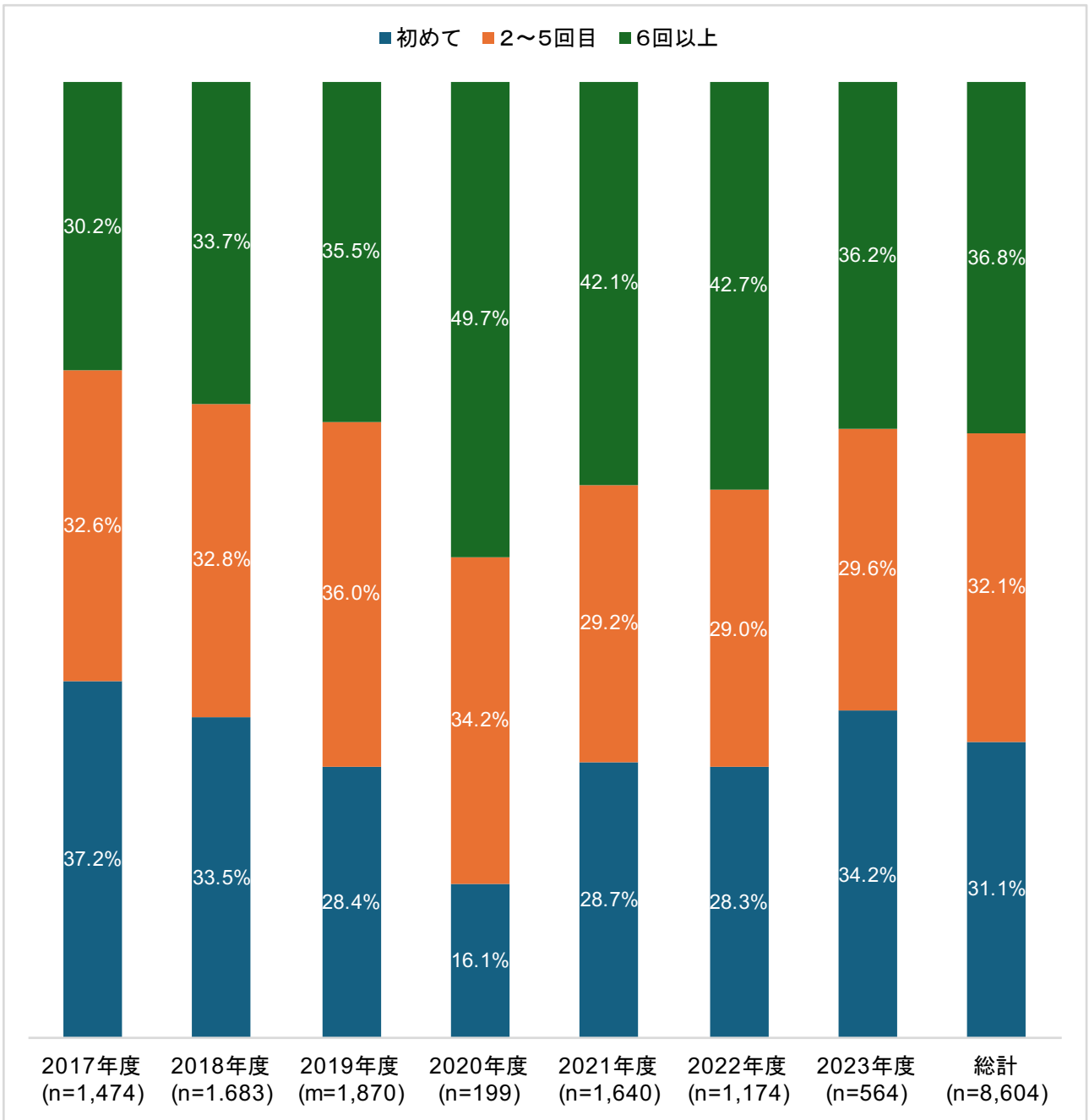
(6) 情報入手手段


チラシ・ポスター
プラットニュース
広報とよはし
フリーペーパーMEG
新聞・雑誌
WEB
DM
Facebook / X (旧Twitter)
メールマガジン
関係者・出演者
ラジオ
その他
2017年度 (n=2,100)
2018年度 (n=2,503)
2019年度 (n=2,849)
2020年度 (n=291)
2021年度 (n=2,429)
2022年度 (n=1,624)
2023年度 (n=807)
総計 (n=12,603)

(7) 来場回数

回答者のPLATの来場回数は、７年間の総計で「６回以上」が36.8%、「２～５回」が32.1%、「初めて」が31.1%となっている。「初めて」の割合は2017年度から2020年度にかけて減少し、逆に「６回以上」が増加していた。

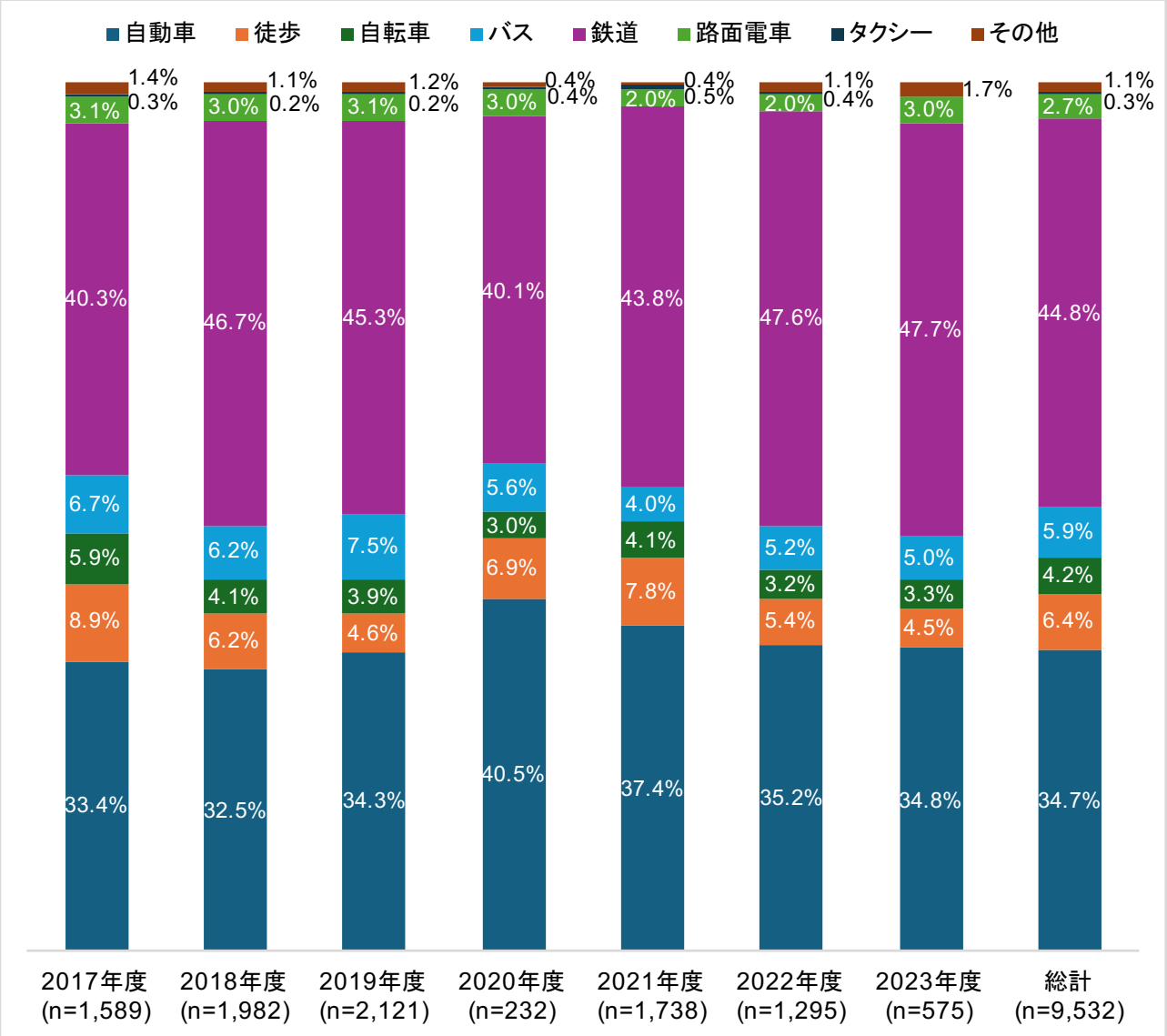
	2017年度 (n=1,474)	2018年度 (n=1.683)	2019年度 (m=1,870)	2020年度 (n=199)	2021年度 (n=1,640)	2022年度 (n=1,174)	2023年度 (n=564)	総計 (n=8,604)
初めて	37.2%	33.5%	28.4%	16.1%	28.7%	28.3%	34.2%	31.1%
２～５回	32.6%	32.8%	36.0%	34.2%	29.2%	29.0%	29.6%	32.1%
６回以上	30.2%	33.7%	35.5%	49.7%	42.1%	42.7%	36.2%	36.8%



(8) 交通手段

回答者の主な交通手段は、7年間の総計で「鉄道」が44.8%、「自動車」が34.7%、「徒歩」が6.4%となっている。2020年度は「鉄道」の割合（40.1%）を「自動車」（40.5%）がわずかに上回っており、他の年度とは傾向が異なっている。

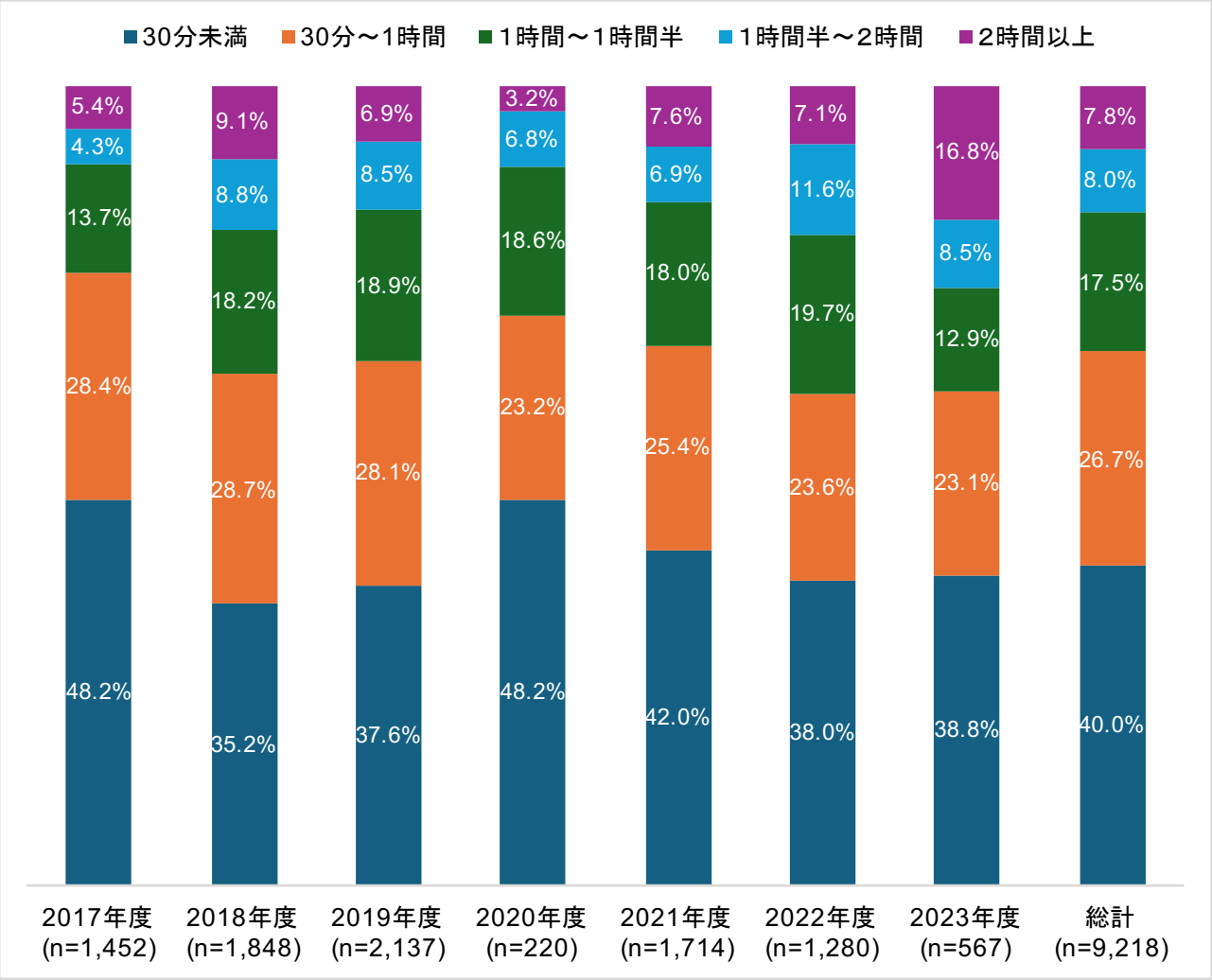
	2017年度 (n=1,589)	2018年度 (n=1,982)	2019年度 (n=2,121)	2020年度 (n=232)	2021年度 (n=1,738)	2022年度 (n=1,295)	2023年度 (n=575)	総計 (n=9,532)
自動車	33.4%	32.5%	34.3%	40.5%	37.4%	35.2%	34.8%	34.7%
徒歩	8.9%	6.2%	4.6%	6.9%	7.8%	5.4%	4.5%	6.4%
自転車	5.9%	4.1%	3.9%	3.0%	4.1%	3.2%	3.3%	4.2%
バス	6.7%	6.2%	7.5%	5.6%	4.0%	5.2%	5.0%	5.9%
鉄道	40.3%	46.7%	45.3%	40.1%	43.8%	47.6%	47.7%	44.8%
路面電車	3.1%	3.0%	3.1%	3.0%	2.0%	2.0%	3.0%	2.7%
タクシー	0.3%	0.2%	0.2%	0.4%	0.5%	0.4%	0.0%	0.3%
その他	1.4%	1.1%	1.2%	0.4%	0.4%	1.1%	1.7%	1.1%



(9) 所要時間

回答者の来場にかかる所要時間は、7年間の総計で「30分未満」が40.0%、「30分～1時間」が26.7%、「1時間～1時間半」が17.5%となっている。2023年度（上半期のみ）は「2時間以上」が16.8%と他の年度よりも高い割合となっている。

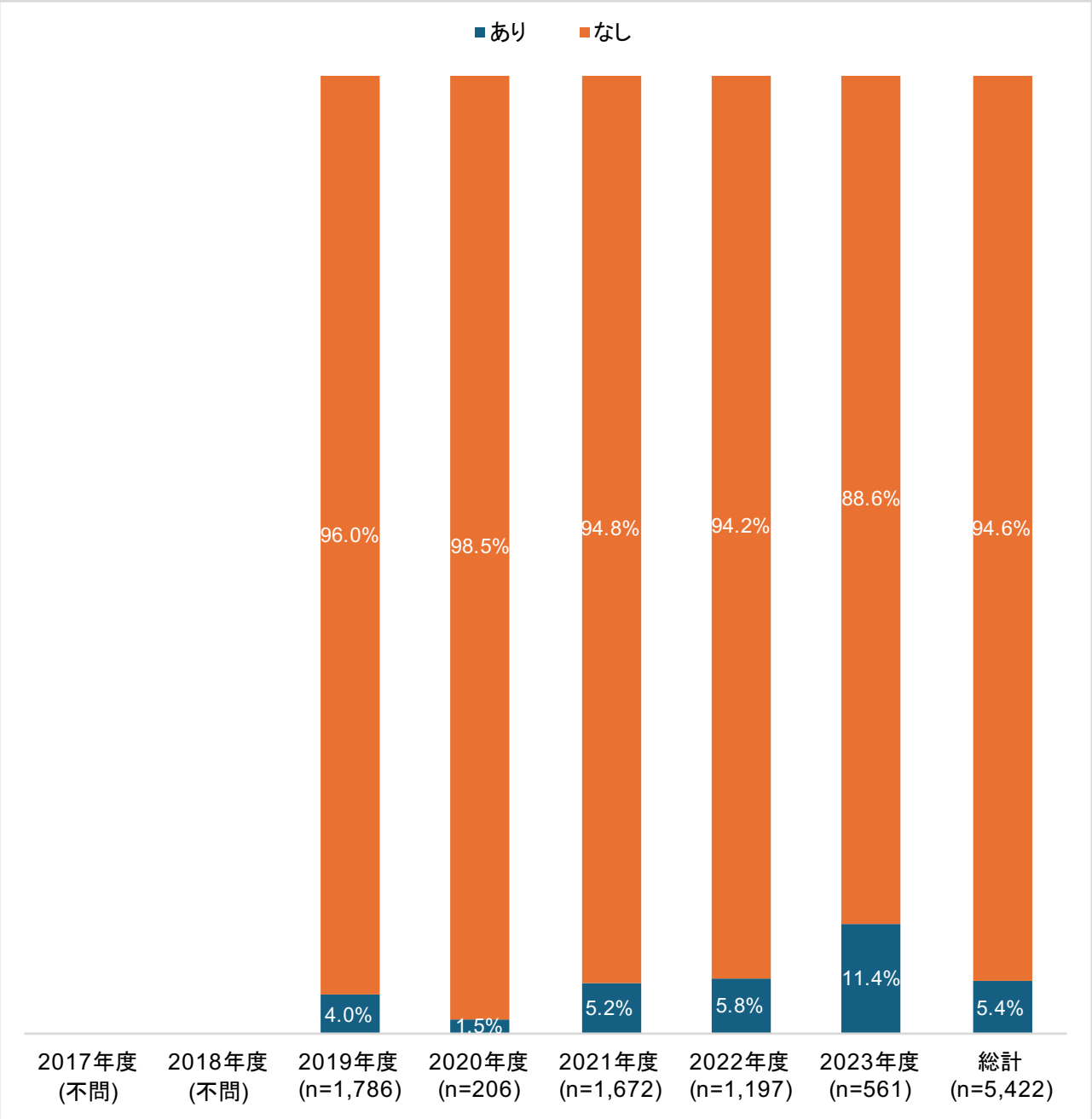
	2017年度 (n=1,452)	2018年度 (n=1,848)	2019年度 (n=2,137)	2020年度 (n=220)	2021年度 (n=1,714)	2022年度 (n=1,280)	2023年度 (n=567)	総計 (n=9,218)
30分未満	48.2%	35.2%	37.6%	48.2%	42.0%	38.0%	38.8%	40.0%
30分～1時間	28.4%	28.7%	28.1%	23.2%	25.4%	23.6%	23.1%	26.7%
1時間～1時間半	13.7%	18.2%	18.9%	18.6%	18.0%	19.7%	12.9%	17.5%
1時間半～2時間	4.3%	8.8%	8.5%	6.8%	6.9%	11.6%	8.5%	8.0%
2時間以上	5.4%	9.1%	6.9%	3.2%	7.6%	7.1%	16.8%	7.8%



(10) 宿泊の有無 (SA)

回答者の宿泊の有無は、2019年度から2023年度まで5年間の総計で「あり」が5.4%、「なし」が94.6%となっている。2023年度（上半期のみ）は「あり」が11.4%と他の年度よりも高い割合となっている。

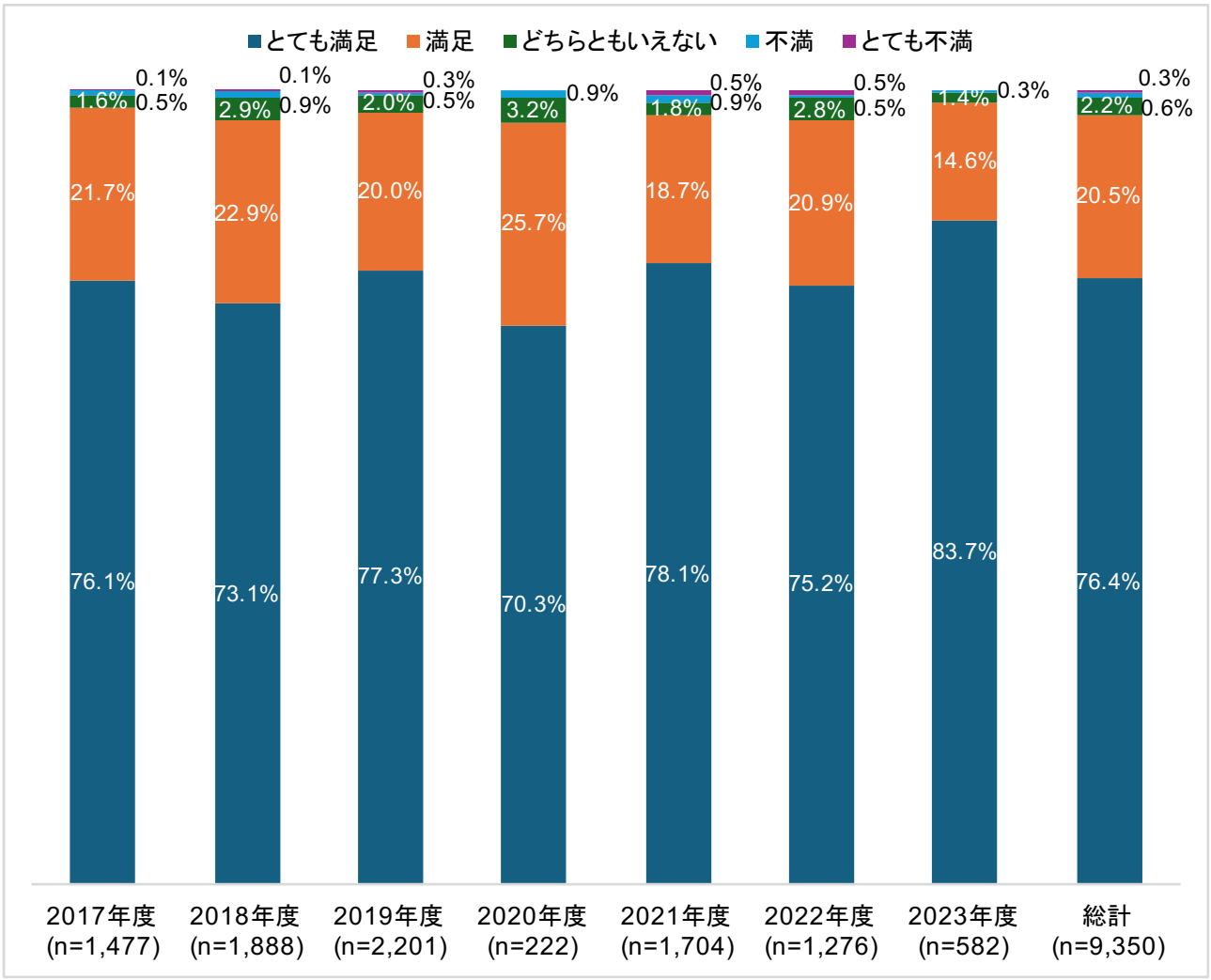
	2017年度 (不問)	2018年度 (不問)	2019年度 (n=1,786)	2020年度 (n=206)	2021年度 (n=1,672)	2022年度 (n=1,197)	2023年度 (n=561)	総計 (n=5,422)
あり			4.0%	1.5%	5.2%	5.8%	11.4%	5.4%
なし			96.0%	98.5%	94.8%	94.2%	88.6%	94.6%



(10) 満足度 [①公演内容]

公演内容の満足度について、7年間の総計で「とても満足」が76.4%、「満足」が20.5%と肯定的な評価が96.9%となっている。2023年度（上半期のみ）は「とても満足」が83.7%と他の年度よりも高い割合となっている。

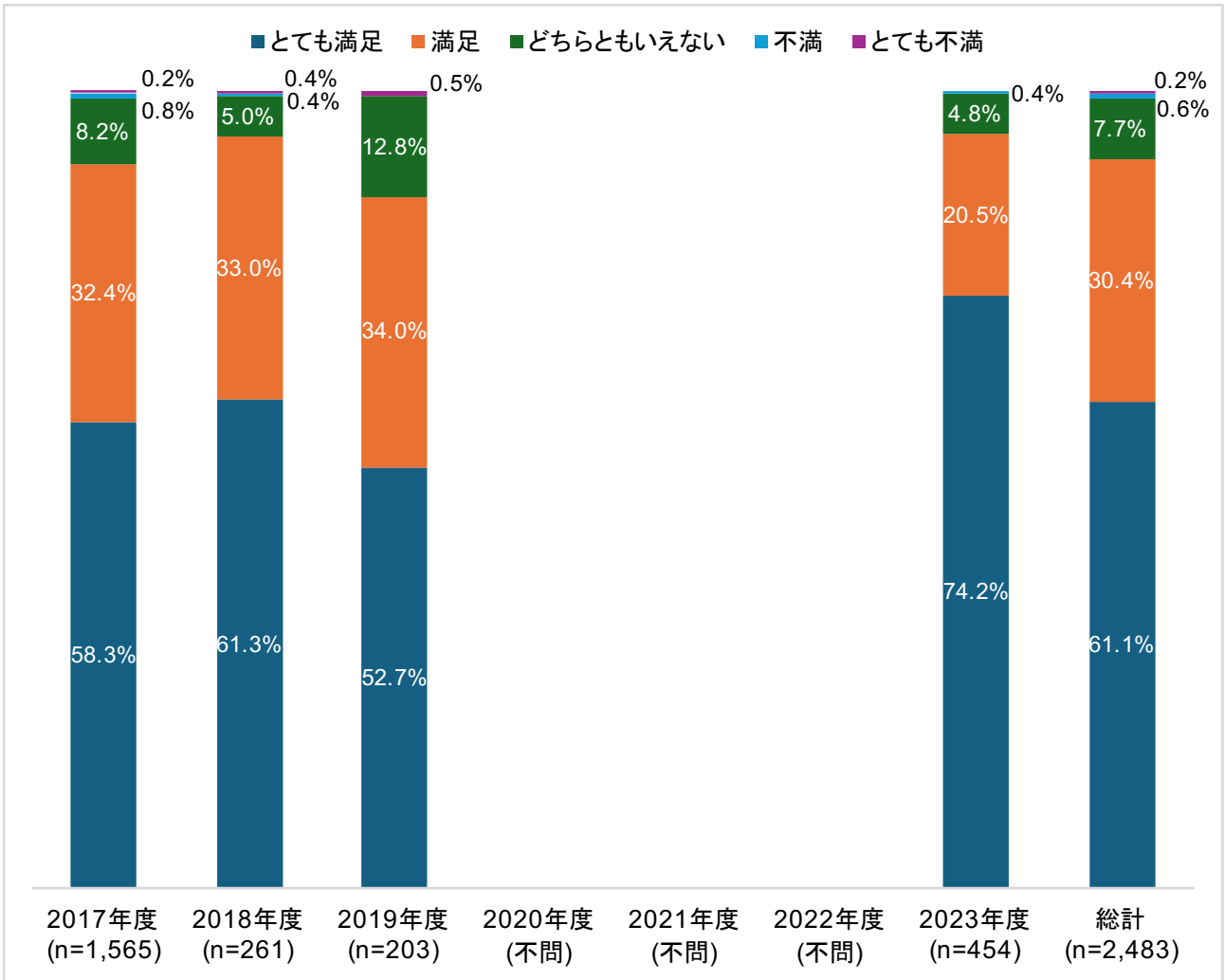
	2017年度 (n=1,477)	2018年度 (n=1,888)	2019年度 (n=2,201)	2020年度 (n=222)	2021年度 (n=1,704)	2022年度 (n=1,276)	2023年度 (n=582)	総計 (n=9,350)
とても満足	76.1%	73.1%	77.3%	70.3%	78.1%	75.2%	83.7%	76.4%
満足	21.7%	22.9%	20.0%	25.7%	18.7%	20.9%	14.6%	20.5%
どちらともいえな	1.6%	2.9%	2.0%	3.2%	1.8%	2.8%	1.4%	2.2%
不満	0.5%	0.9%	0.5%	0.9%	0.9%	0.5%	0.3%	0.6%
とても不満	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.3%



(10) 満足度 [②チケット料金]

チケット料金の満足度については、2017、2018、2019、2023年度（上半期のみ）で聞いており、その4年間の総計で「とても満足」が61.1%、「満足」が30.4%と肯定的な評価が91.5%となっている。2018年度は「どちらとも言えない」が12.8%と他の年度よりも高い割合となっている。

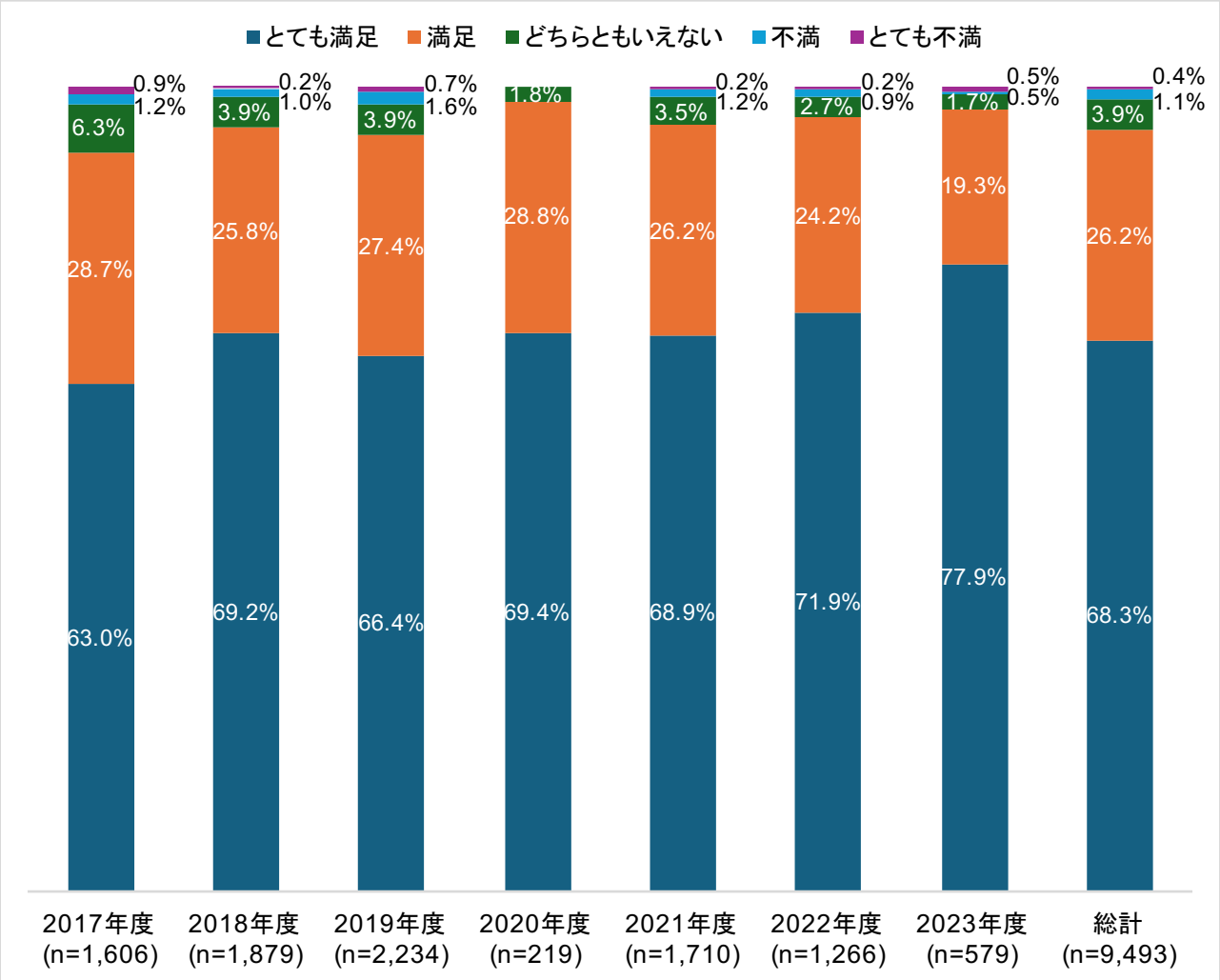
	2017年度 (n=1,565)	2018年度 (n=261)	2019年度 (n=203)	2020年度 (不問)	2021年度 (不問)	2022年度 (不問)	2023年度 (n=454)	総計 (n=2,483)
とても満足	58.3%	61.3%	52.7%				74.2%	61.1%
満足	32.4%	33.0%	34.0%				20.5%	30.4%
どちらともいえな	8.2%	5.0%	12.8%				4.8%	7.7%
不満	0.8%	0.4%	0.0%				0.4%	0.6%
とても不満	0.2%	0.4%	0.5%				0.0%	0.2%



(10) 満足度 [③舞台の見やすさ]

舞台の見やすさの満足度について、7年間の総計で「とても満足」が68.3%、「満足」が26.5%と肯定的な評価が94.6%となっている。2023年度（上半期のみ）は「とても満足」が77.9%と他の年度よりも高い割合となっている。

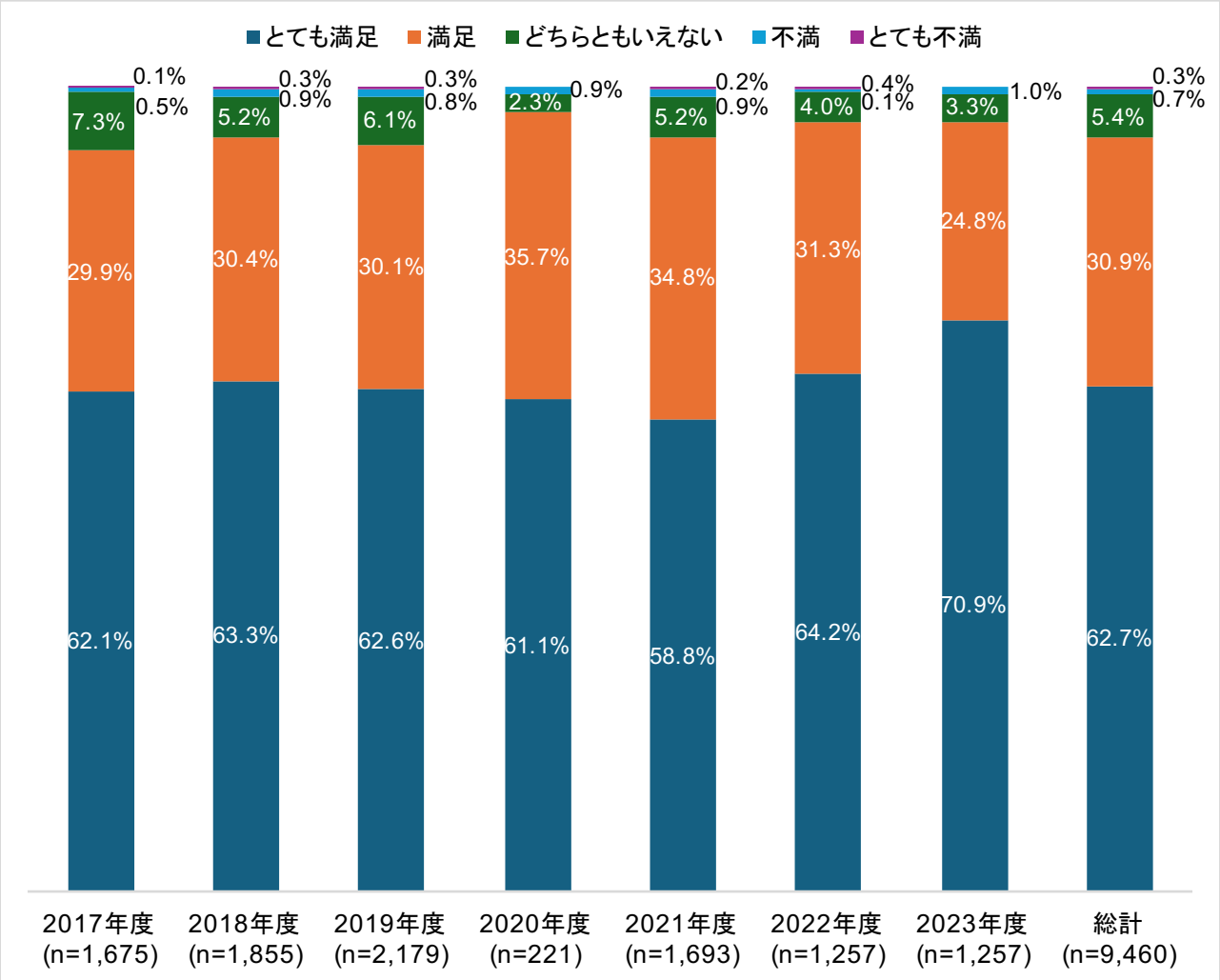
	2017年度 (n=1,606)	2018年度 (n=1,879)	2019年度 (n=2,234)	2020年度 (n=219)	2021年度 (n=1,710)	2022年度 (n=1,266)	2023年度 (n=579)	総計 (n=9,493)
とても満足	63.0%	69.2%	66.4%	69.4%	68.9%	71.9%	77.9%	68.3%
満足	28.7%	25.8%	27.4%	28.8%	26.2%	24.2%	19.3%	26.2%
どちらともいえな	6.3%	3.9%	3.9%	1.8%	3.5%	2.7%	1.7%	3.9%
不満	1.2%	1.0%	1.6%	0.0%	1.2%	0.9%	0.5%	1.1%
とても不満	0.9%	0.2%	0.7%	0.0%	0.2%	0.2%	0.5%	0.4%



(10) 満足度 [④スタッフの対応]

スタッフの対応の満足度について、7年間の総計で「とても満足」が62.7%、「満足」が30.9%と肯定的な評価が93.6%となっている。2023年度（上半期のみ）は「とても満足」が70.9%と他の年度よりも高い割合となっている。

	2017年度 (n=1,675)	2018年度 (n=1,855)	2019年度 (n=2,179)	2020年度 (n=221)	2021年度 (n=1,693)	2022年度 (n=1,257)	2023年度 (n=1,257)	総計 (n=9,460)
とても満足	62.1%	63.3%	62.6%	61.1%	58.8%	64.2%	70.9%	62.7%
満足	29.9%	30.4%	30.1%	35.7%	34.8%	31.3%	24.8%	30.9%
どちらともいえな	7.3%	5.2%	6.1%	2.3%	5.2%	4.0%	3.3%	5.4%
不満	0.5%	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	0.1%	1.0%	0.7%
とても不満	0.1%	0.3%	0.3%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%	0.3%



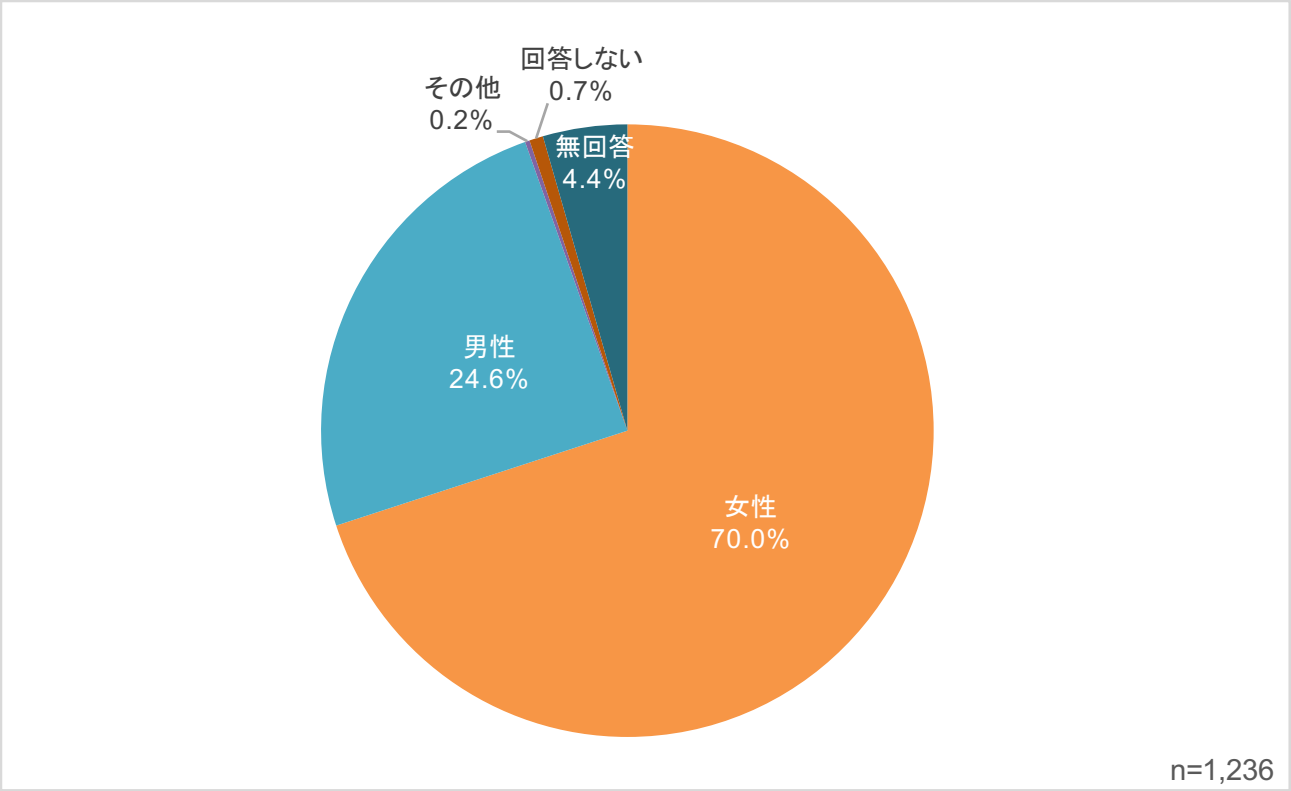
Ⅲ

主催公演来場者アンケート調査

(1) 性別（単一回答）

2023年度の下半期の公演来場者に対するアンケートの回答者（調査期間は令和5年9月から令和6年3月の7ヶ月間）の性別は、「女性」が70.0%、「男性」が24.6%となっている。
年齢層別に見ると、「60代以上」では「男性」が36.4%と他の年齢層よりも高くなっている。

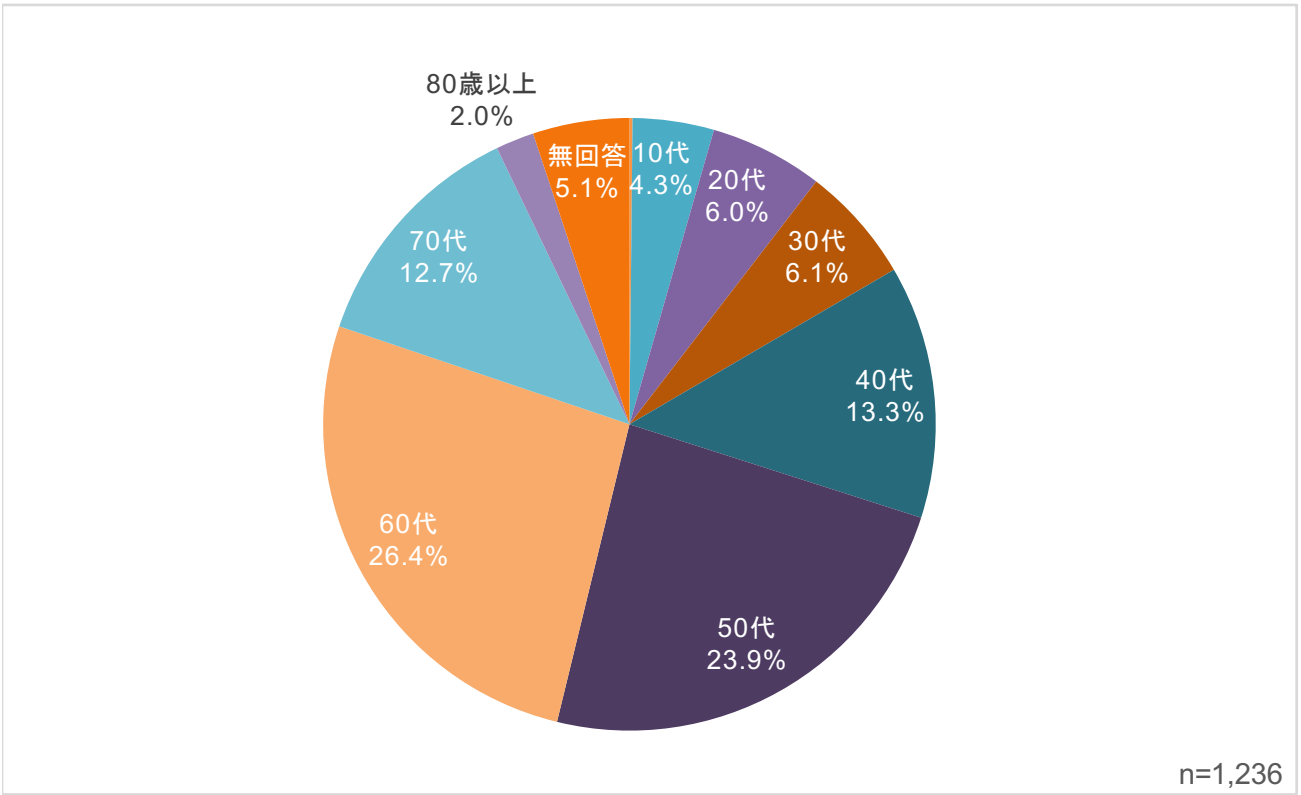
		件数	女性	男性	その他	回答しない	無回答
全体		1236	70.0%	24.6%	0.2%	0.7%	4.4%
来場回数	初めて	373	76.9%	17.7%	0.0%	0.8%	4.6%
	2～5回	330	63.9%	30.0%	0.3%	1.5%	4.2%
	6回以上	520	68.8%	26.3%	0.4%	0.2%	4.2%
年齢層	20代以下	129	80.6%	17.8%	0.8%	0.8%	0.0%
	30～50代	536	81.2%	17.4%	0.2%	1.1%	0.2%
	60代以上	508	63.2%	36.4%	0.2%	0.2%	0.0%
居住地	豊橋市内	449	67.3%	31.2%	0.7%	0.7%	0.2%
	愛知県内	471	73.5%	26.1%	0.0%	0.2%	0.2%
	愛知県外	248	82.7%	15.3%	0.0%	1.6%	0.4%



(2) 年齢（単一回答）

回答者の年齢は、「60代」が26.4%、「50代」が23.9%、「40代」が13.3%となっており、幅広い年齢層が回答している。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「50代」が「60代」を上回って33.5%となっている。

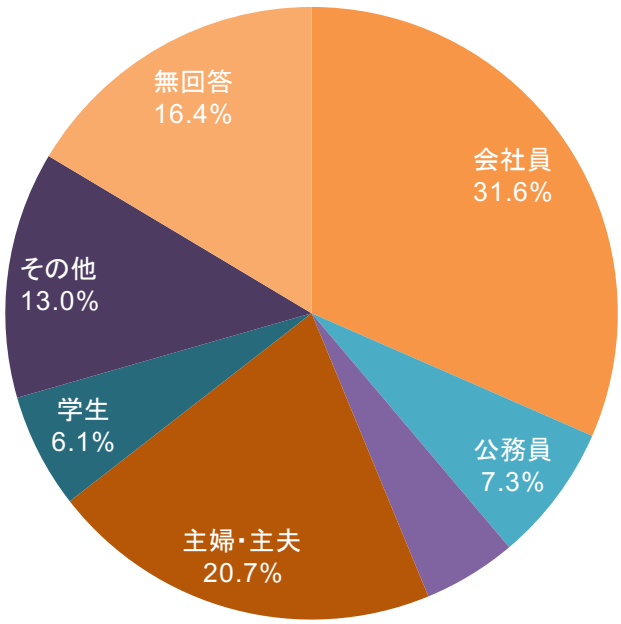
		件数	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
全体		1236	0.2%	4.3%	6.0%	6.1%	13.3%	23.9%	26.4%	12.7%	2.0%	5.1%
来場回数	初めて	373	0.3%	4.0%	8.6%	9.4%	17.7%	27.3%	18.0%	7.8%	1.6%	5.4%
	2～5回	330	0.0%	7.0%	7.0%	6.4%	16.4%	22.1%	21.5%	11.8%	2.4%	5.5%
	6回以上	520	0.0%	2.9%	3.7%	3.7%	8.3%	22.7%	35.4%	17.1%	1.9%	4.4%
年齢層	20代以下	129	1.6%	41.1%	57.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～50代	536	0.0%	0.0%	0.0%	14.2%	30.8%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60代以上	508	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.2%	30.9%	4.9%	0.0%
居住地	豊橋市内	449	0.0%	4.9%	5.1%	5.1%	10.7%	21.6%	29.4%	18.9%	4.0%	0.2%
	愛知県内	471	0.4%	5.9%	6.4%	5.7%	14.2%	23.6%	28.5%	13.0%	1.1%	1.3%
	愛知県外	248	0.0%	0.8%	8.5%	9.7%	19.4%	33.5%	21.8%	4.0%	0.8%	1.6%



(3) 職業（単一回答）

回答者の職業は、「会社員」が31.6%、「主婦・主夫」が20.7%、「無回答」が16.4%、「その他」が13.0%となっている。
「その他」の具体的な記述には「無職」や「パート」等が多い。
在住地別に見ると、「豊橋市内」では「主婦・主夫」が「会社員」を上回って25.2%となっている。

		件数	会社員	公務員	自営業	主婦・主夫	学生	その他	無回答
全体		1236	31.6%	7.3%	4.9%	20.7%	6.1%	13.0%	16.4%
来場回数	初めて	373	42.1%	3.8%	4.8%	19.8%	6.4%	11.5%	11.5%
	2～5回	330	30.6%	7.9%	5.5%	18.5%	8.5%	10.9%	18.2%
	6回以上	520	25.2%	9.0%	4.6%	22.5%	4.2%	15.6%	18.8%
年齢層	20代以下	129	26.4%	4.7%	1.6%	0.0%	58.1%	7.0%	2.3%
	30～50代	536	51.7%	9.3%	6.5%	18.1%	0.0%	8.0%	6.3%
	60代以上	508	15.0%	6.7%	4.7%	30.7%	0.0%	21.3%	21.7%
居住地	豊橋市内	449	24.7%	7.8%	5.6%	25.2%	6.7%	16.9%	13.1%
	愛知県内	471	34.2%	7.9%	4.0%	20.4%	7.4%	11.9%	14.2%
	愛知県外	248	46.8%	7.3%	6.5%	17.3%	3.6%	10.5%	8.1%

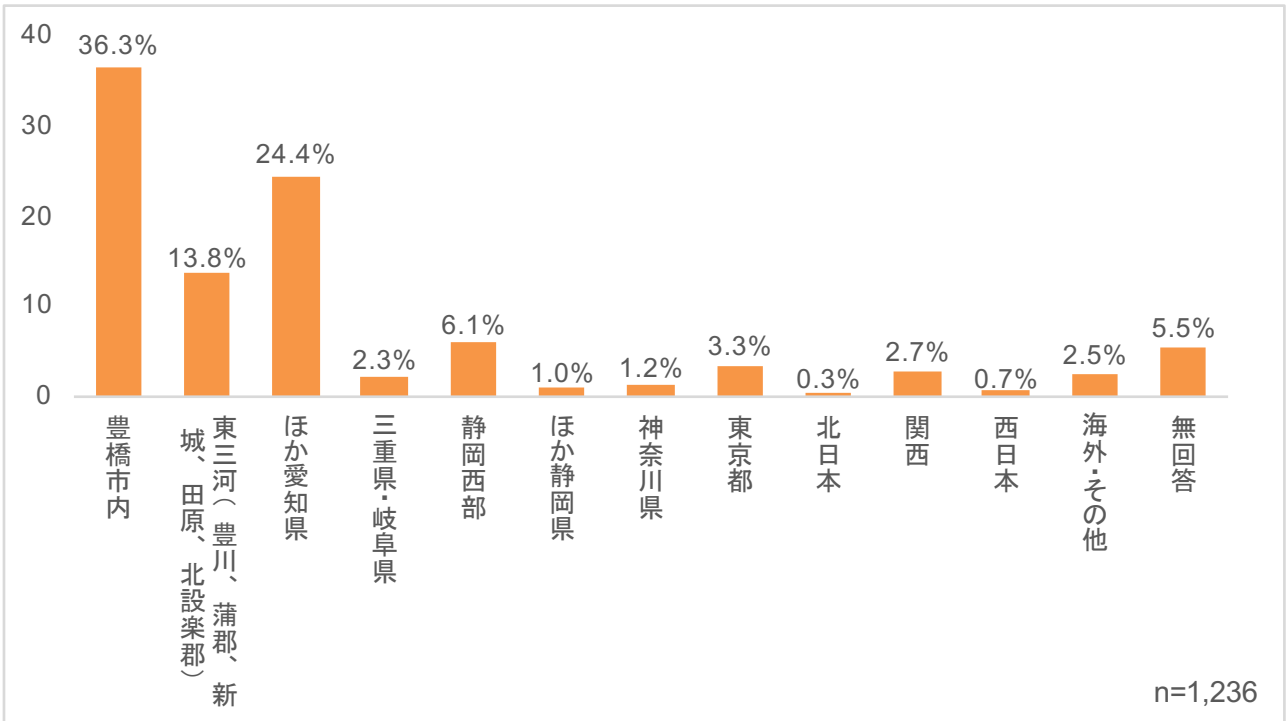


n=1,236

(4) 居住地（単一回答）

回答者の在住地は「豊橋市内」が36.3%、およそ3人に1人は市内在住者となっている。ついで「（豊橋市や東三河の）ほか愛知県」が24.4%、「東三河（豊川、蒲郡、新城、田原、北設楽郡）」が13.8%となっている。愛知県外の在住地を合わせると20.1%となっている。
来場回数別に見ると、「6回以上」では「豊橋市内」が58.3%と過半の割合となっており、「初めて」では「ほか愛知県」が34.3%となっている。

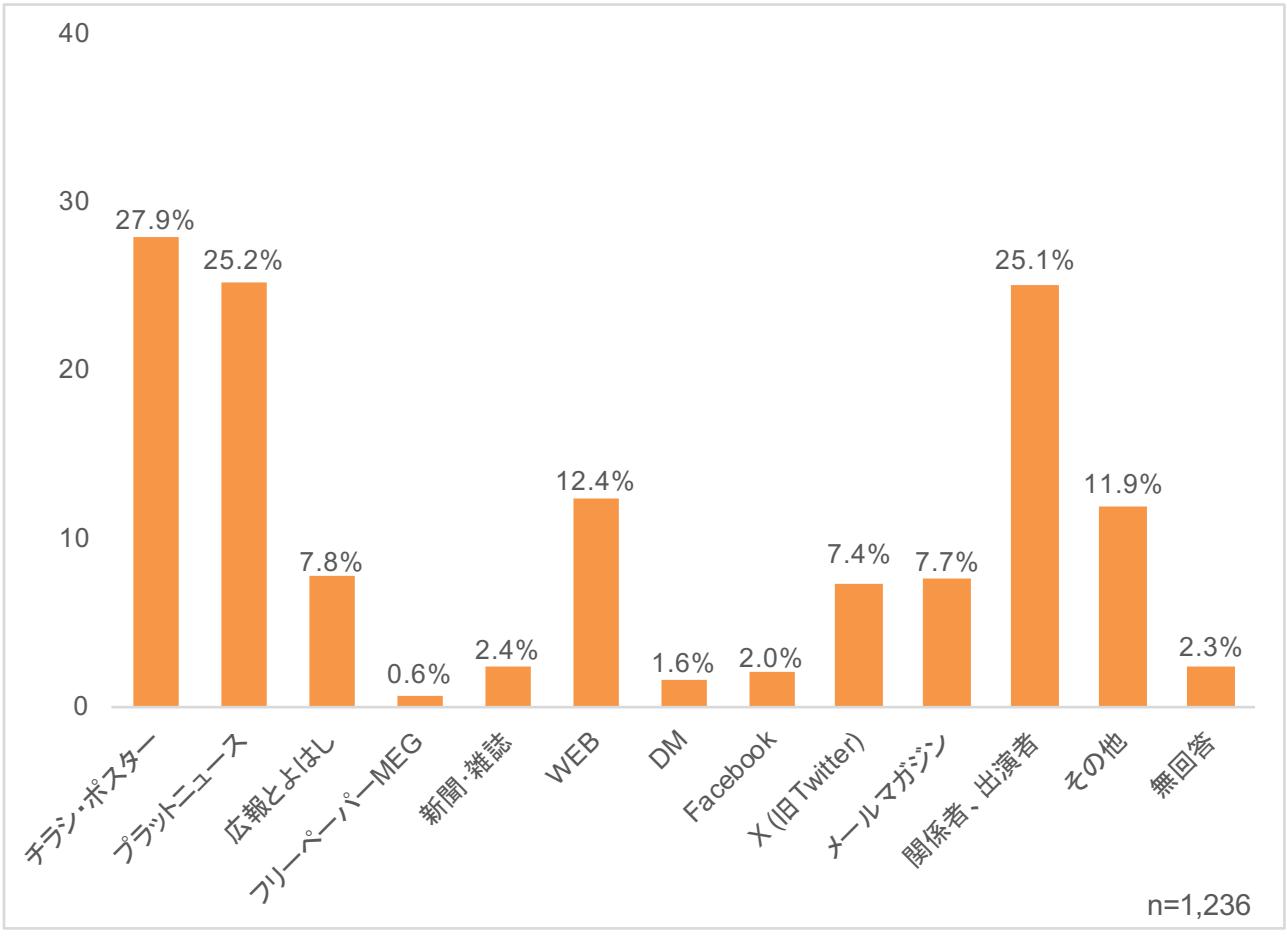
		件数	豊橋市内	東三河（豊川、蒲郡、新城、田原、北設楽郡）	ほか愛知県	三重県・岐阜県	静岡西部	ほか静岡県	神奈川県	東京都	北日本	関西	西日本	海外・その他	無回答
全体		1236	36.3%	13.8%	24.4%	2.3%	6.1%	1.0%	1.2%	3.3%	0.3%	2.7%	0.7%	2.5%	5.5%
来場回数	初めて	373	7.5%	9.4%	34.3%	3.5%	7.5%	1.9%	2.7%	9.4%	1.1%	8.0%	1.6%	7.5%	5.6%
	2～5回	330	34.5%	17.6%	26.1%	3.0%	6.4%	1.2%	1.2%	1.5%	0.0%	0.9%	0.6%	0.6%	6.4%
	6回以上	520	58.3%	14.0%	16.3%	0.8%	5.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	4.8%
年齢層	20代以下	129	34.9%	20.2%	26.4%	4.7%	2.3%	3.1%	0.8%	2.3%	0.0%	0.8%	0.8%	3.1%	0.8%
	30～50代	536	31.3%	9.7%	28.5%	2.2%	8.4%	0.6%	2.4%	5.4%	0.7%	4.1%	1.1%	3.9%	1.5%
	60代以上	508	46.3%	17.7%	21.7%	1.8%	5.1%	1.0%	0.2%	1.6%	0.0%	2.0%	0.4%	1.0%	1.4%
居住地	豊橋市内	449	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	愛知県内	471	0.0%	36.1%	63.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	愛知県外	248	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	30.2%	4.8%	6.0%	16.5%	1.6%	13.3%	3.6%	12.5%	0.0%



(5) 情報入手手段（複数回答）

公演の情報入手の手段は、「チラシ・ポスター」が27.9%で最も多く、ついで「プラットニュース」が25.2%、「関係者・出演者」が25.1%となっている。
来場回数別に見ると、「6回以上」では「チラシ・ポスター」が42.1%、「プラットニュース」が45.4%となっている。その一方で、「初めて」では「関係者、出演者」が41.6%となっている。

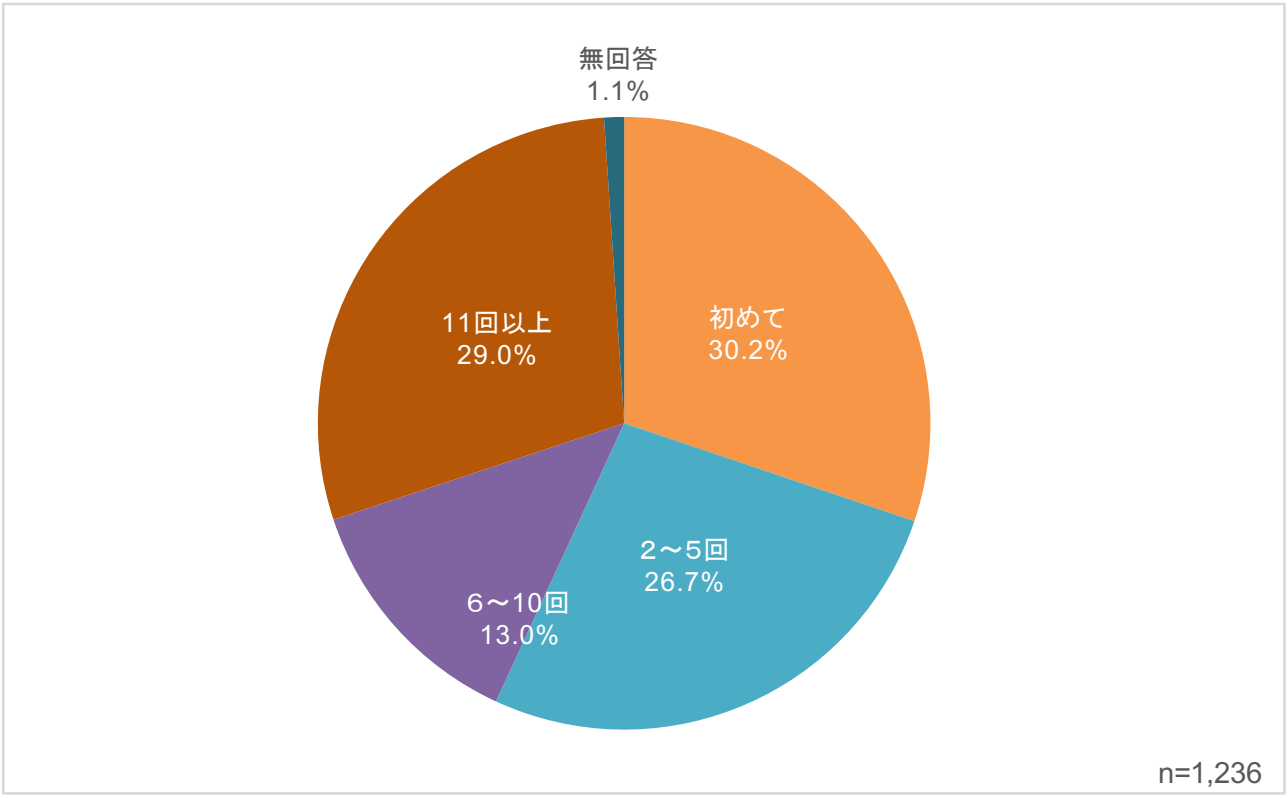
		件数	チラシ・ポスター	プラットニュース	広報とよはし	フリーペーパーMEG	新聞・雑誌	WEB	DM	Facebook	X（旧Twitter）	メールマガジン	関係者、出演者	その他	無回答
全体		1236	27.9%	25.2%	7.8%	0.6%	2.4%	12.4%	1.6%	2.0%	7.4%	7.7%	25.1%	11.9%	2.3%
来場回数	初めて	373	12.9%	4.3%	3.8%	0.3%	2.4%	16.9%	0.8%	0.8%	10.5%	1.3%	41.6%	16.9%	3.2%
	2～5回	330	23.0%	18.2%	7.9%	0.9%	3.0%	9.1%	1.2%	1.5%	8.2%	3.6%	28.8%	14.8%	1.5%
	6回以上	520	42.1%	45.4%	11.0%	0.8%	2.1%	11.3%	2.5%	3.3%	4.8%	15.0%	11.2%	6.5%	0.8%
年齢層	20代以下	129	22.5%	5.4%	5.4%	0.8%	1.6%	11.6%	0.0%	0.8%	9.3%	1.6%	41.1%	20.2%	1.6%
	30～50代	536	23.1%	17.7%	5.0%	0.6%	1.7%	14.9%	1.7%	1.5%	11.6%	5.4%	31.3%	12.5%	1.9%
	60代以上	508	34.3%	38.6%	11.0%	0.8%	3.5%	10.4%	2.2%	3.0%	3.0%	12.4%	15.7%	8.1%	3.1%
居住地	豊橋市内	449	38.5%	38.5%	18.7%	0.9%	1.8%	6.5%	1.8%	1.6%	3.1%	8.7%	14.5%	9.4%	2.0%
	愛知県内	471	25.7%	21.0%	1.1%	0.8%	3.6%	13.8%	1.3%	3.8%	6.6%	9.1%	26.3%	11.9%	3.2%
	愛知県外	248	14.1%	10.9%	0.4%	0.0%	1.2%	22.2%	2.4%	0.0%	18.5%	4.4%	43.5%	13.3%	1.6%



(6) 公演鑑賞回数（単一回答）

PLATに公演を観に来た回数は、「初めて」が30.2%、「11回以上」が29.0%、「2～5回」が26.7%、「6～10回」が13.0%となっている。
年齢層別に見ると、「60代以上」では「11回以上」が43.3%となっている。
在住地別に見ると、「豊橋市内」では「11回以上」が50.3%となっている。

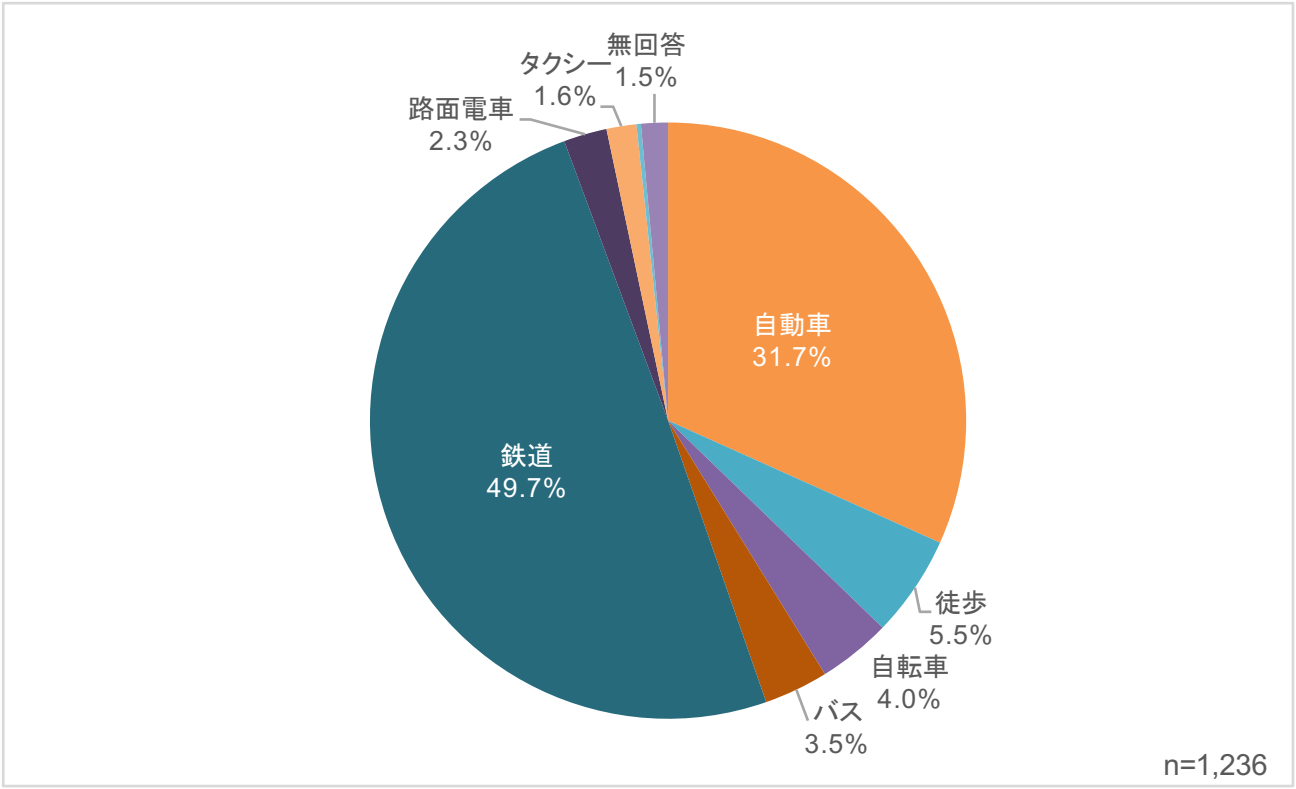
		件数	初めて	2～5回	6～10回	11回以上	無回答
全体		1236	30.2%	26.7%	13.0%	29.0%	1.1%
来場回数	初めて	373	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2～5回	330	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	6回以上	520	0.0%	0.0%	31.0%	69.0%	0.0%
年齢層	20代以下	129	37.2%	35.7%	17.1%	9.3%	0.8%
	30～50代	536	37.9%	27.6%	11.6%	22.0%	0.9%
	60代以上	508	20.1%	23.2%	12.4%	43.3%	1.0%
居住地	豊橋市内	449	6.2%	25.4%	17.1%	50.3%	0.9%
	愛知県内	471	34.6%	30.6%	12.5%	21.0%	1.3%
	愛知県外	248	64.9%	20.6%	5.2%	8.5%	0.8%



(7) 交通手段（単一回答）

主な交通手段は、「鉄道」が49.7%、「自動車」が31.7%、「徒歩」が5.5%となっている。
在住地別に見ると、「豊橋市内」では「自動車」が47.2%となっている。

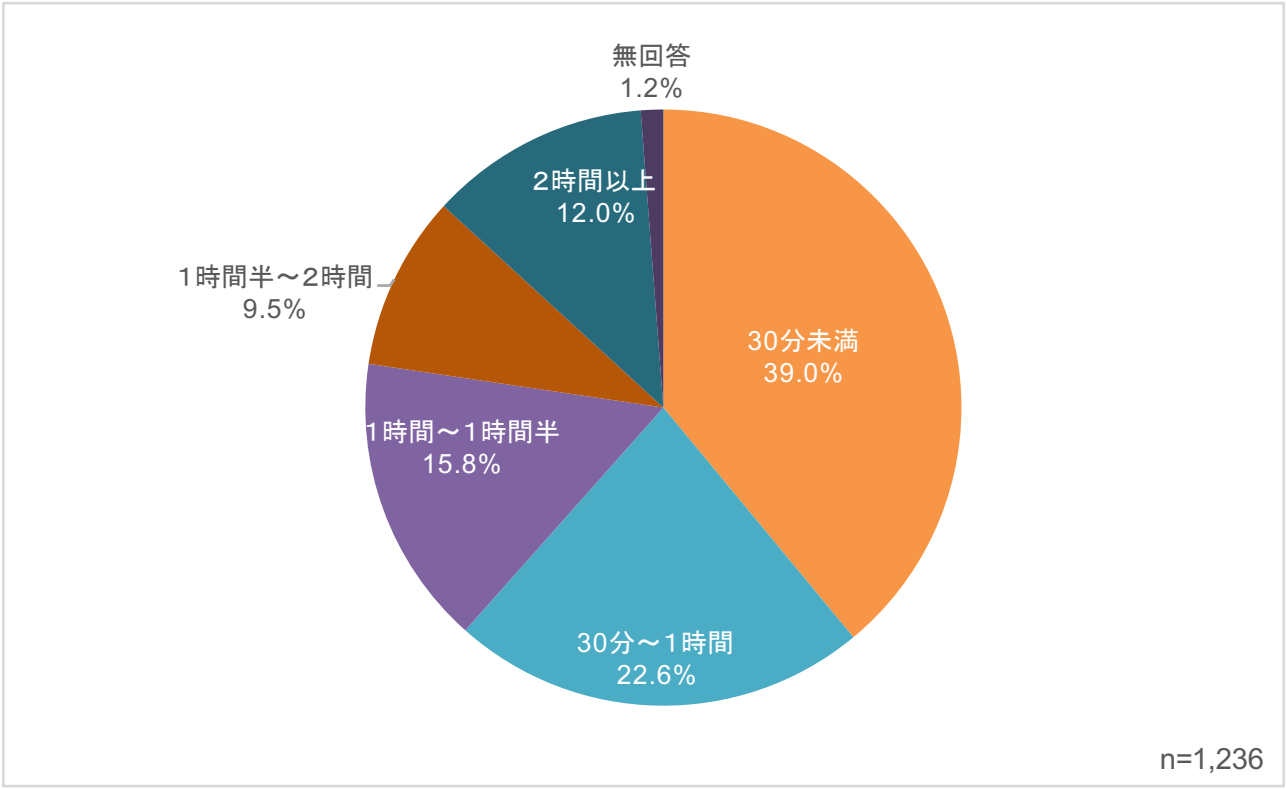
		件数	自動車	徒歩	自転車	バス	鉄道	路面電車	タクシー	その他	無回答
全体		1236	31.7%	5.5%	4.0%	3.5%	49.7%	2.3%	1.6%	0.2%	1.5%
来場回数	初めて	373	18.5%	0.8%	0.5%	1.3%	72.9%	1.9%	2.9%	0.5%	0.5%
	2～5回	330	30.0%	6.7%	2.4%	2.7%	53.6%	1.8%	1.8%	0.0%	0.9%
	6回以上	520	42.7%	8.3%	7.3%	5.6%	31.3%	3.1%	0.6%	0.2%	1.0%
年齢層	20代以下	129	23.3%	5.4%	5.4%	0.0%	56.6%	4.7%	1.6%	0.8%	2.3%
	30～50代	536	32.8%	5.4%	2.4%	1.7%	53.2%	1.9%	1.3%	0.2%	1.1%
	60代以上	508	32.9%	5.1%	4.7%	6.5%	45.3%	2.6%	1.8%	0.2%	1.0%
居住地	豊橋市内	449	47.2%	13.6%	8.7%	7.8%	15.4%	5.1%	0.7%	0.4%	1.1%
	愛知県内	471	26.8%	0.0%	0.6%	1.1%	67.7%	1.3%	0.8%	0.0%	1.7%
	愛知県外	248	14.1%	0.0%	0.8%	0.8%	79.0%	0.0%	4.4%	0.4%	0.4%



(8) 所要時間（単一回答）

片道の所要時間は「30分未満」が39.0%、「30分～1時間」が22.6%、「1時間～1時間半」が15.8%、「2時間以上」が12.0%となっている。
来場回数別に見ると、「6回以上」では「30分未満」が55.2%となっている。

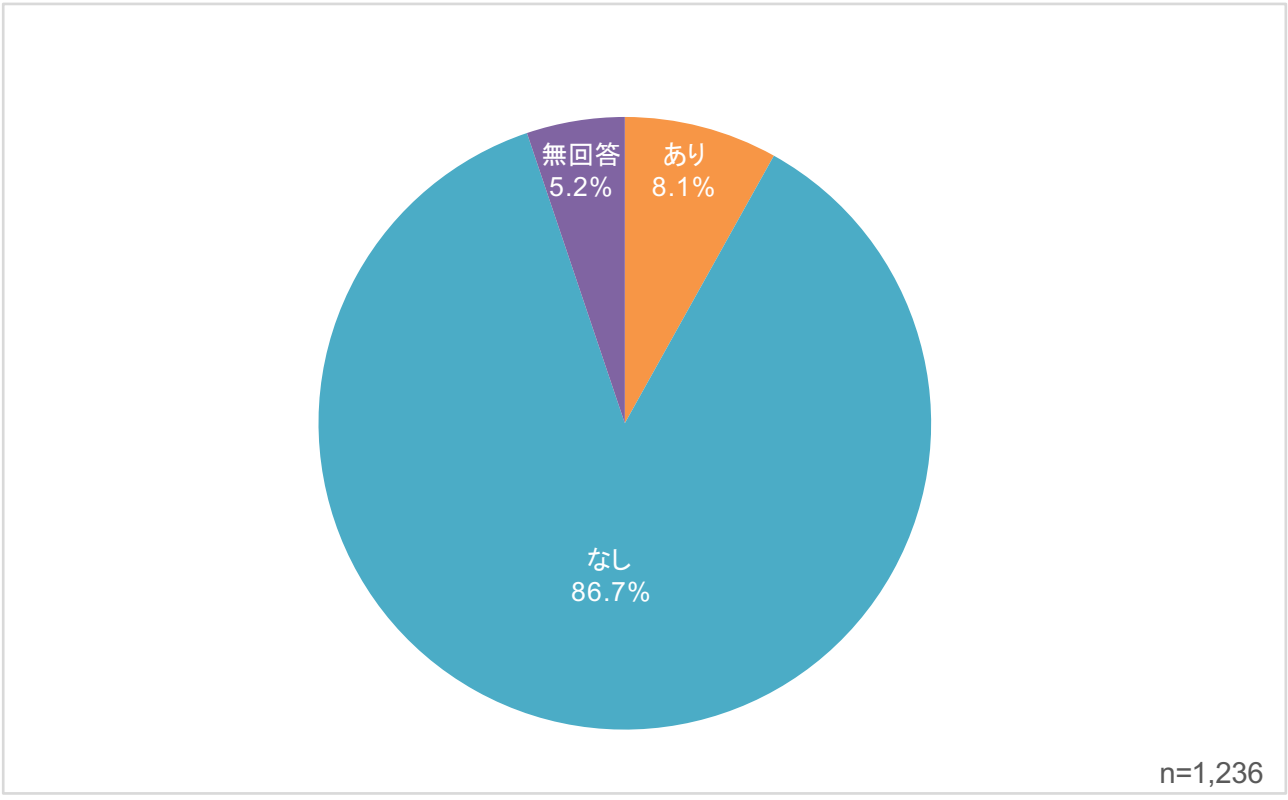
		件数	30分未満	30分～1時間	1時間～1時間半	1時間半～2時間	2時間以上	無回答
全体		1236	39.0%	22.6%	15.8%	9.5%	12.0%	1.2%
来場回数	初めて	373	13.7%	18.8%	21.7%	14.7%	30.0%	1.1%
	2～5回	330	43.0%	20.3%	19.1%	10.6%	6.7%	0.3%
	6回以上	520	55.2%	27.3%	9.4%	5.2%	2.5%	0.4%
年齢層	20代以下	129	39.5%	17.1%	21.7%	7.8%	11.6%	2.3%
	30～50代	536	31.3%	19.8%	20.0%	11.9%	16.4%	0.6%
	60代以上	508	46.7%	26.6%	10.8%	7.7%	6.9%	1.4%
居住地	豊橋市内	449	80.6%	17.1%	0.7%	0.0%	0.4%	1.1%
	愛知県内	471	17.4%	31.2%	31.6%	15.3%	3.2%	1.3%
	愛知県外	248	2.8%	16.9%	15.3%	16.9%	47.2%	0.8%



(9) 宿泊の有無（単一回答）

来場に伴う宿泊は「なし」が86.7%、「あり」が8.1%となっている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「あり」が33.1%と3人に1 人の割合となっている。

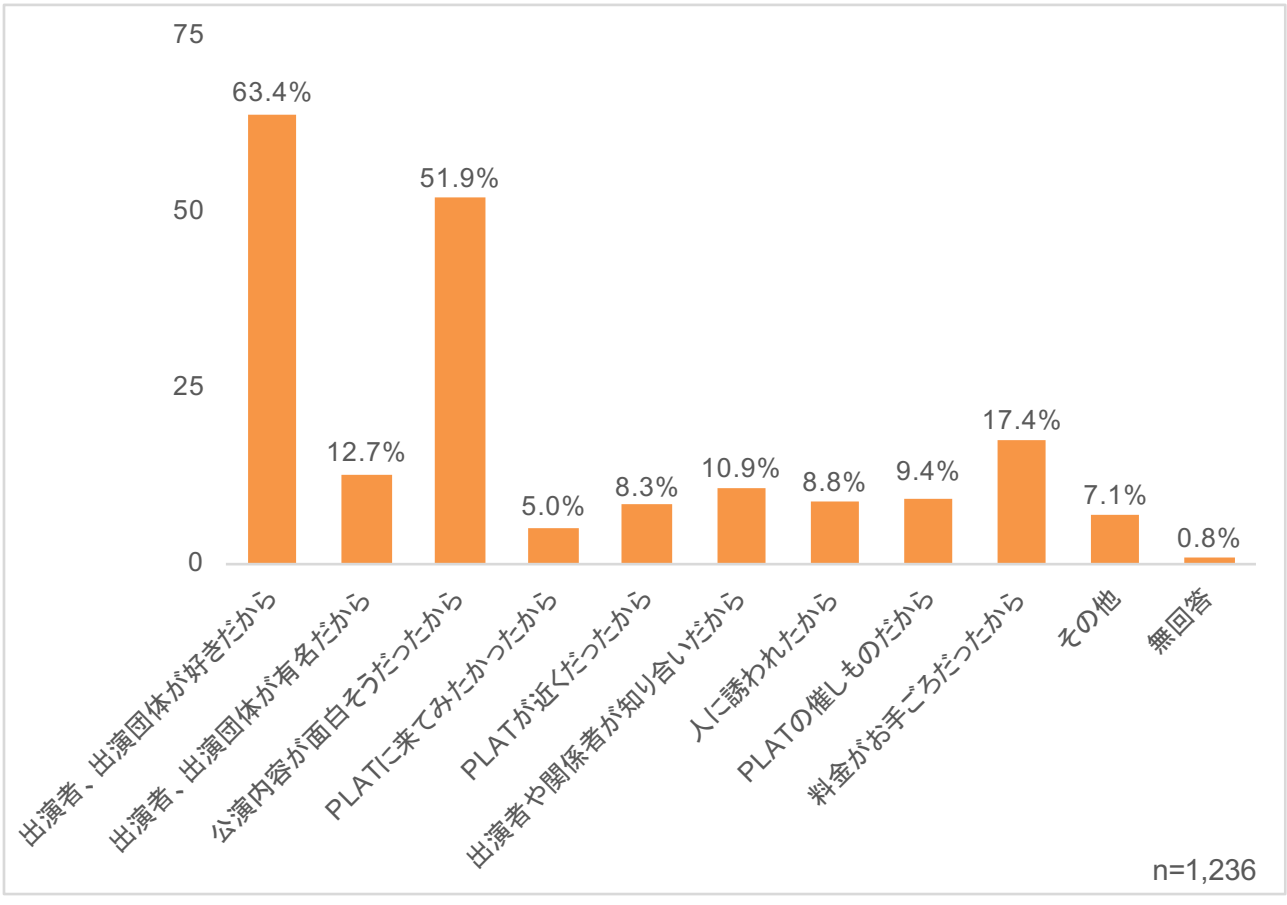
		件数	あり	なし	無回答
全体		1236	8.1%	86.7%	5.2%
来場回数	初めて	373	22.0%	74.0%	4.0%
	2～5回	330	3.9%	90.0%	6.1%
	6回以上	520	1.0%	94.8%	4.2%
年齢層	20代以下	129	7.8%	89.9%	2.3%
	30～50	536	11.4%	83.6%	5.0%
	60代以上	508	4.7%	90.7%	4.5%
居住地	豊橋市内	449	0.9%	95.3%	3.8%
	愛知県内	471	1.3%	92.8%	5.9%
	愛知県外	248	33.1%	64.1%	2.8%



(10) 来場理由（複数回答）

来場の理由は「出演者、出演団体が好きだから」が63.4%で最も割合が高く、ついで「公演内容が面白そうだったから」が51.9%、「料金がお手ごろだったから」が17.4%となっている。
年齢層別に見ると、「20代以下」では「出演者や関係者が知り合いだから」が24.8%、「人に誘われたから」が21.7%となっている。

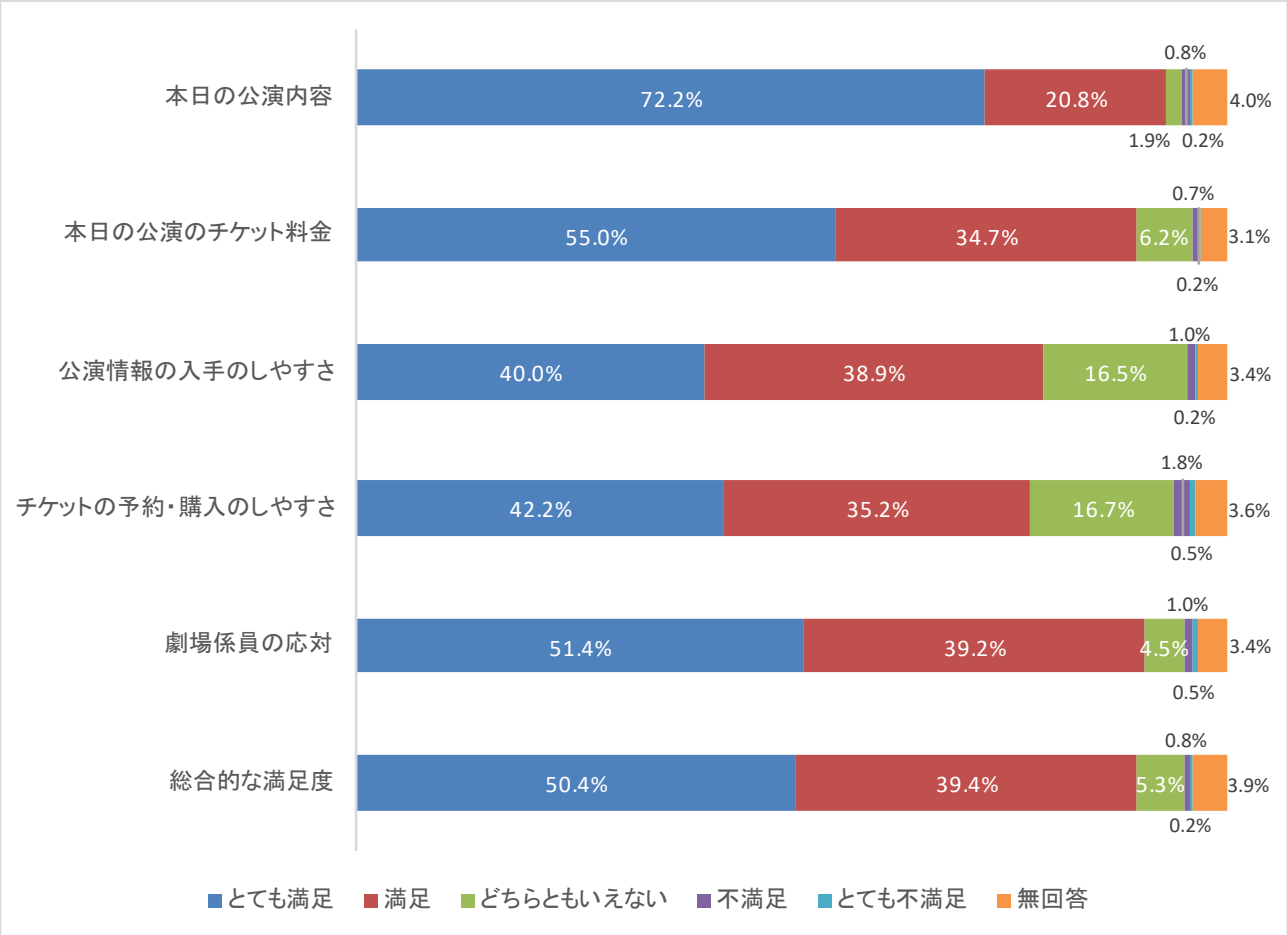
		件数	出演者、出演団体が好きだから	出演者、出演団体が有名だから	公演内容が面白そうだったから	PLATに来てみたかったから	PLATが近くだったから	出演者や関係者が知り合いだから	人に誘われたから	PLATの催しものだから	料金がお手ごろだったから	その他	無回答
全体		1236	63.4%	12.7%	51.9%	5.0%	8.3%	10.9%	8.8%	9.4%	17.4%	7.1%	0.8%
来場回数	初めて	373	68.6%	10.7%	44.2%	11.8%	6.2%	11.3%	9.1%	0.8%	11.5%	7.5%	0.0%
	2～5回	330	60.3%	11.2%	45.5%	3.3%	7.6%	13.9%	13.0%	6.1%	15.5%	6.4%	0.6%
	6回以上	520	62.5%	15.2%	62.1%	1.3%	10.4%	9.0%	5.8%	17.7%	23.1%	7.1%	0.2%
年齢層	20代以下	129	45.0%	13.2%	47.3%	4.7%	14.0%	24.8%	21.7%	8.5%	20.9%	6.2%	1.6%
	30～50代	536	72.2%	10.3%	47.8%	6.3%	9.5%	9.9%	5.4%	7.8%	15.3%	7.3%	0.4%
	60代以上	508	60.4%	15.6%	57.1%	3.5%	6.5%	8.9%	8.5%	12.4%	19.9%	6.1%	1.2%
居住地	豊橋市内	449	55.5%	17.6%	56.8%	2.9%	14.0%	10.9%	10.2%	12.5%	23.2%	5.6%	1.1%
	愛知県内	471	61.6%	11.9%	49.7%	3.2%	5.5%	13.4%	8.9%	9.8%	15.1%	7.0%	0.8%
	愛知県外	248	83.9%	7.7%	48.0%	11.3%	4.8%	6.9%	4.4%	5.2%	13.3%	8.5%	0.4%



(11) 満足度 [6項目の比較] （単一回答）

公演に関する6項目について満足度を聞いたところ、「（PLATに対する）総合的な満足度」では「とても満足」が50.4%、「満足」が39.4%で、肯定的な評価が89.8%となっている。「とても満足」の割合が最も高いのは「本日の公演内容」で72.2%となっている。「とても満足」の割合が相対的に低いのが「公演情報の入手のしやすさ」と「チケットの予約・購入のしやすさ」となっている。

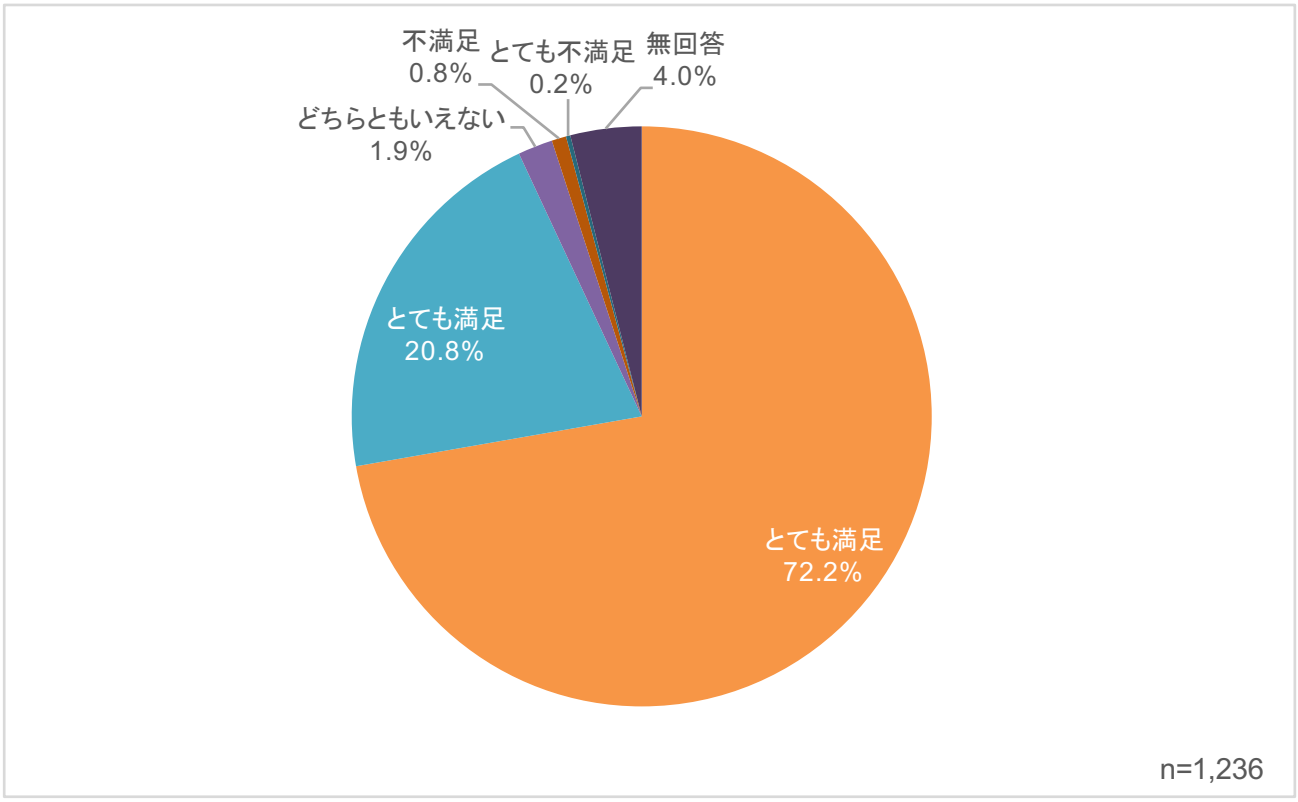
	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
本日の公演内容	72.2%	20.8%	1.9%	0.8%	0.2%	4.0%
本日の公演のチケット料金	55.0%	34.7%	6.2%	0.7%	0.2%	3.1%
公演情報の入手のしやすさ	40.0%	38.9%	16.5%	1.0%	0.2%	3.4%
チケットの予約・購入のしやすさ	42.2%	35.2%	16.7%	1.8%	0.5%	3.6%
劇場係員の応対	51.4%	39.2%	4.5%	1.0%	0.5%	3.4%
総合的な満足度	50.4%	39.4%	5.3%	0.8%	0.2%	3.9%



(11) 満足度 [①本日の公演内容]（単一回答）

公演内容についての満足度は、「とても満足」が72.2%、「満足」が20.8%で、肯定的な評価が93.0%となっている。
年齢層別に見ると、「20代以下」では「とても満足」が86.8%となっている。

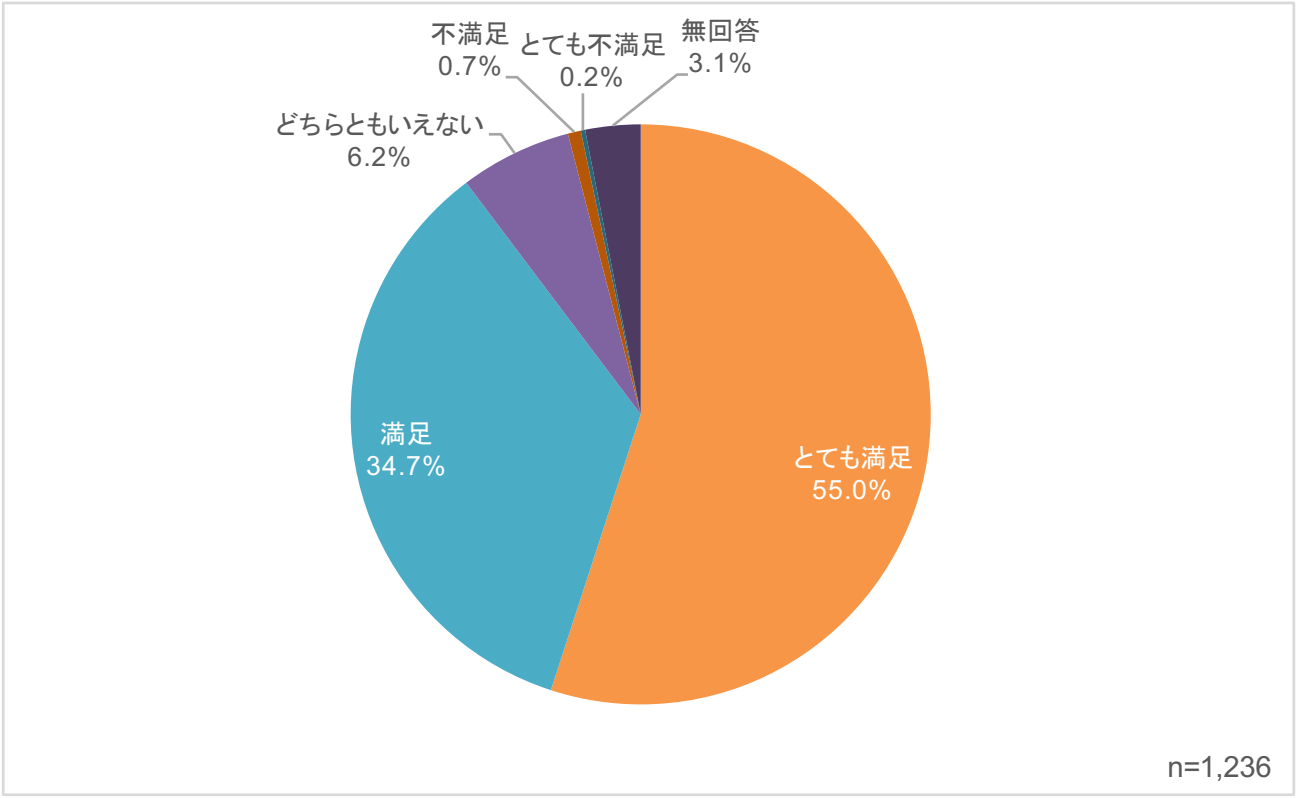
		件数	とても満足	とても満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
全体		1236	72.2%	20.8%	1.9%	0.8%	0.2%	4.0%
来場回数	初めて	373	79.1%	17.2%	0.8%	0.5%	0.0%	2.4%
	2～5回	330	71.8%	20.3%	3.0%	1.2%	0.6%	3.0%
	6回以上	520	68.7%	23.8%	2.1%	0.8%	0.2%	4.4%
年齢層	20代以下	129	86.8%	7.8%	0.0%	0.8%	0.0%	4.7%
	30～50代	536	78.0%	17.9%	1.7%	0.4%	0.2%	1.9%
	60代以上	508	63.6%	26.2%	2.8%	1.2%	0.4%	5.9%
居住地	豊橋市内	449	69.0%	22.7%	3.1%	0.4%	0.0%	4.7%
	愛知県内	471	69.2%	23.4%	1.3%	1.3%	0.2%	4.7%
	愛知県外	248	85.9%	11.3%	0.8%	0.0%	0.4%	1.6%



(11) 満足度 [②本日の公演のチケット料金] （単一回答）

公演のチケット料金についての満足度は、「とても満足」が55.0%、「満足」が34.7%で、肯定的な評価89.7%となっている。
年齢層別に見ると、「20代以下」では「とても満足」が78.3%となっている。

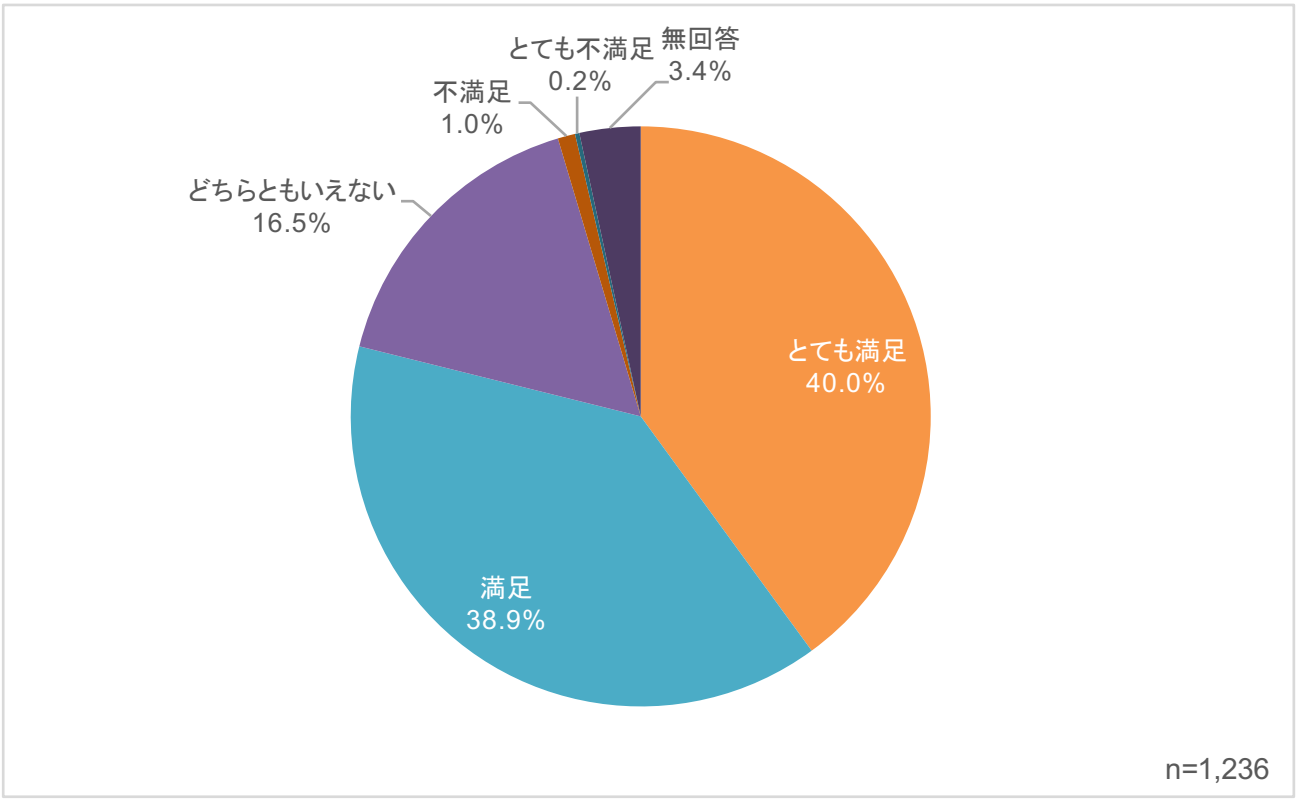
		件数	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
全体		1236	55.0%	34.7%	6.2%	0.7%	0.2%	3.1%
来場回数	初めて	373	59.8%	32.4%	4.8%	0.5%	0.0%	2.4%
	2～5回	330	52.7%	36.1%	7.6%	1.5%	0.3%	1.8%
	6回以上	520	53.7%	36.2%	6.3%	0.4%	0.4%	3.1%
年齢層	20代以下	129	78.3%	13.2%	4.7%	0.8%	0.0%	3.1%
	30～50代	536	59.5%	32.6%	4.9%	0.9%	0.2%	1.9%
	60代以上	508	45.3%	41.3%	8.5%	0.4%	0.4%	4.1%
居住地	豊橋市内	449	53.9%	33.6%	8.2%	0.7%	0.0%	3.6%
	愛知県内	471	50.7%	38.6%	6.4%	0.2%	0.2%	3.8%
	愛知県外	248	67.3%	27.0%	3.2%	1.2%	0.4%	0.8%



(11) 満足度 [③公演情報の入手のしやすさ] （単一回答）

公演情報の入手のしやすさについての満足度は、「とても満足」が40.0%、「満足」が38.9%で、肯定的な評価78.9%となっている。
年齢層別に見ると、「60代以上」では「満足」が42.1%で「とても満足」を上回っている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「とても満足」が50.8%となっている。

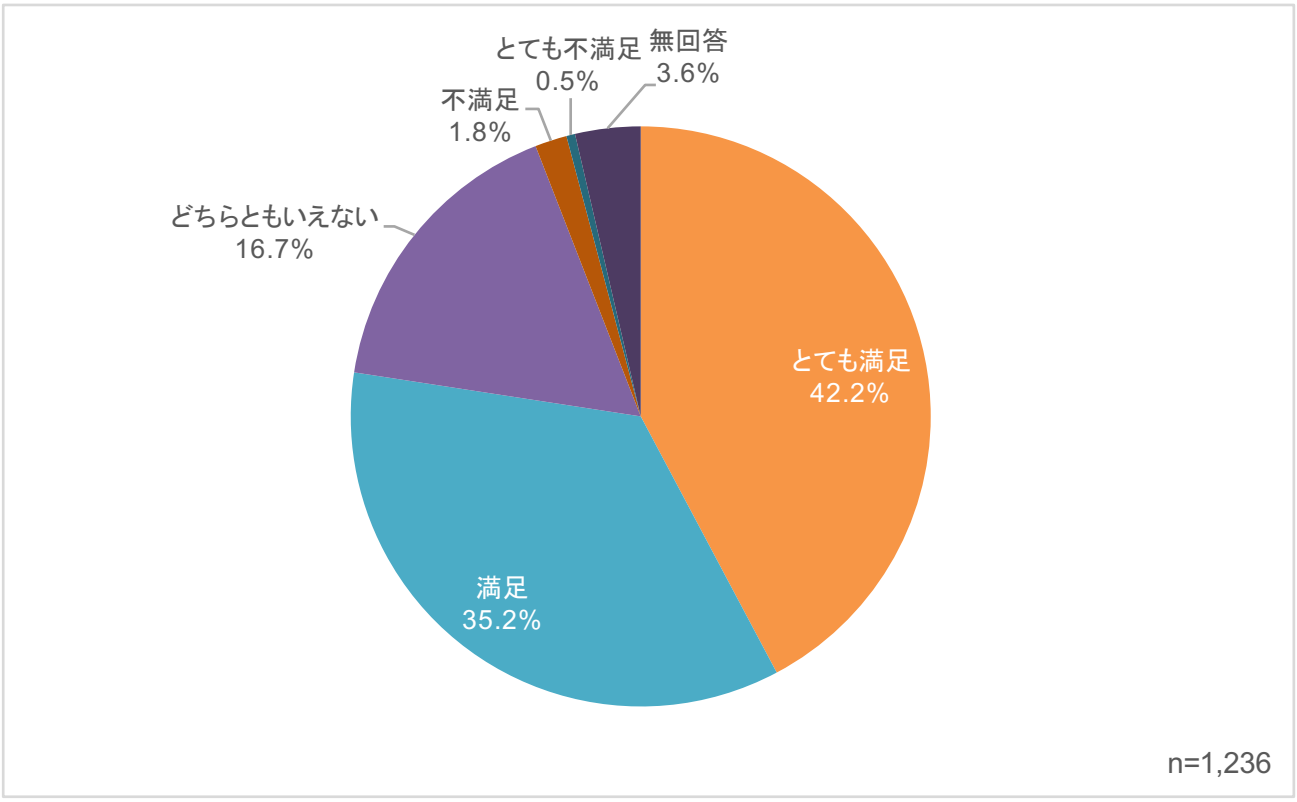
		件数	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
全体		1236	40.0%	38.9%	16.5%	1.0%	0.2%	3.4%
来場回数	初めて	373	39.7%	37.5%	19.3%	0.3%	0.3%	2.9%
	2～5回	330	37.3%	36.1%	21.5%	2.4%	0.3%	2.4%
	6回以上	520	42.3%	42.3%	11.5%	0.6%	0.2%	3.1%
年齢層	20代以下	129	50.4%	28.7%	15.5%	0.8%	0.8%	3.9%
	30～50代	536	44.4%	38.2%	14.6%	0.9%	0.2%	1.7%
	60代以上	508	33.5%	42.1%	18.7%	1.0%	0.2%	4.5%
居住地	豊橋市内	449	40.5%	39.2%	15.6%	1.1%	0.0%	3.6%
	愛知県内	471	34.6%	41.6%	18.9%	0.8%	0.4%	3.6%
	愛知県外	248	50.8%	33.1%	13.7%	0.4%	0.4%	1.6%



(11) 満足度 [④チケットの予約・購入のしやすさ]（単一回答）

チケットの予約・購入のしやすさについての満足度は、「とても満足」が42.2%、「満足」が35.2%で、肯定的な評価77.4%となっている。
年齢層別に見ると、「60代以上」では「満足」が40.4%で「とても満足」を上回っている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「とても満足」が52.0%となっている。

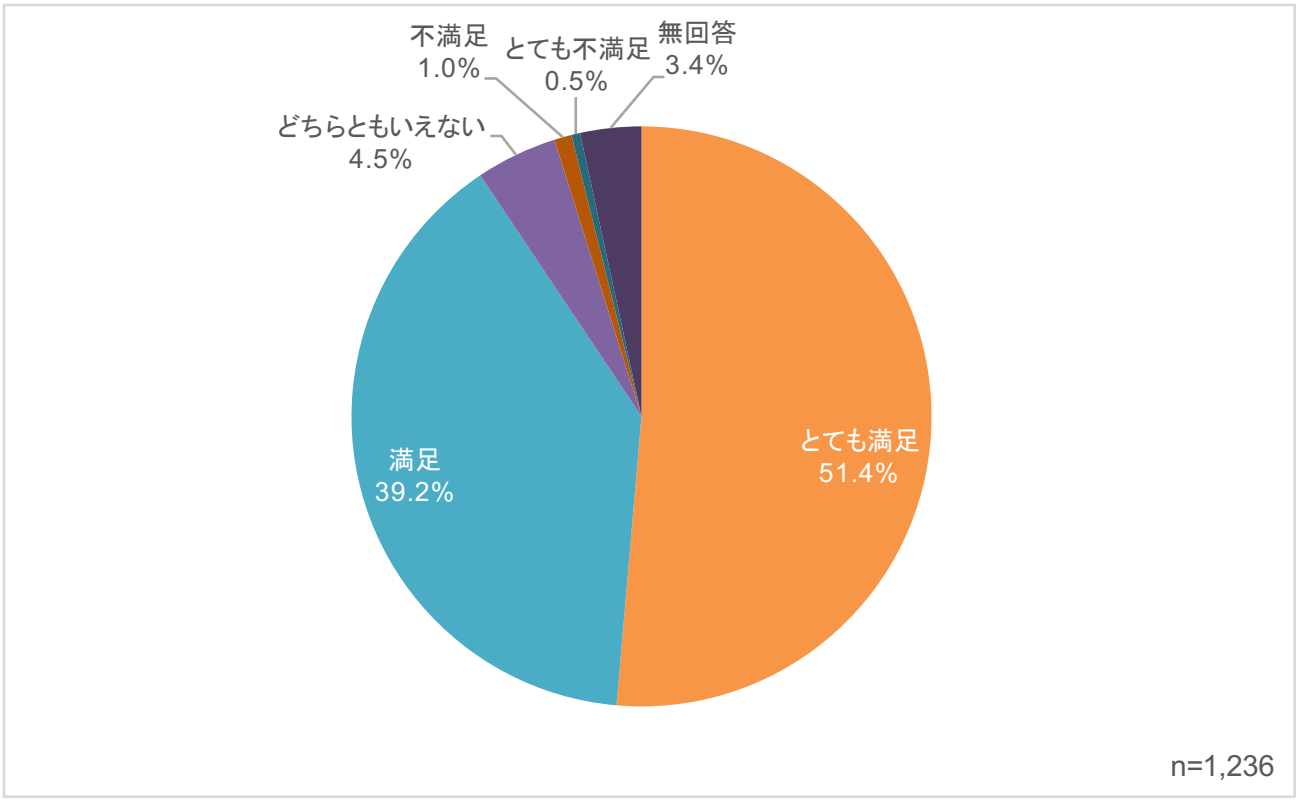
		件数	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
全体		1236	42.2%	35.2%	16.7%	1.8%	0.5%	3.6%
来場回数	初めて	373	43.7%	31.9%	19.8%	1.6%	0.0%	2.9%
	2～5回	330	37.9%	35.2%	22.1%	1.2%	0.9%	2.7%
	6回以上	520	44.4%	38.1%	11.2%	2.3%	0.6%	3.5%
年齢層	20代以下	129	62.8%	21.7%	11.6%	0.8%	0.0%	3.1%
	30～50代	536	47.8%	33.6%	14.7%	1.7%	0.2%	2.1%
	60代以上	508	31.5%	40.4%	19.7%	2.4%	1.0%	5.1%
居住地	豊橋市内	449	43.0%	34.3%	15.8%	2.9%	0.4%	3.6%
	愛知県内	471	37.2%	40.3%	17.2%	0.8%	0.6%	3.8%
	愛知県外	248	52.0%	26.6%	16.9%	1.6%	0.4%	2.4%



(11) 満足度 [⑤劇場係員の応対]（単一回答）

劇場係員の応対についての満足度は、「とても満足」が51.4%、「満足」が39.2%で、肯定的な評価90.6%となっている。
年齢層別に見ると、「60代以上」では「満足」が51.4%で「とても満足」を上回っている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「とても満足」が69.4%となっている。

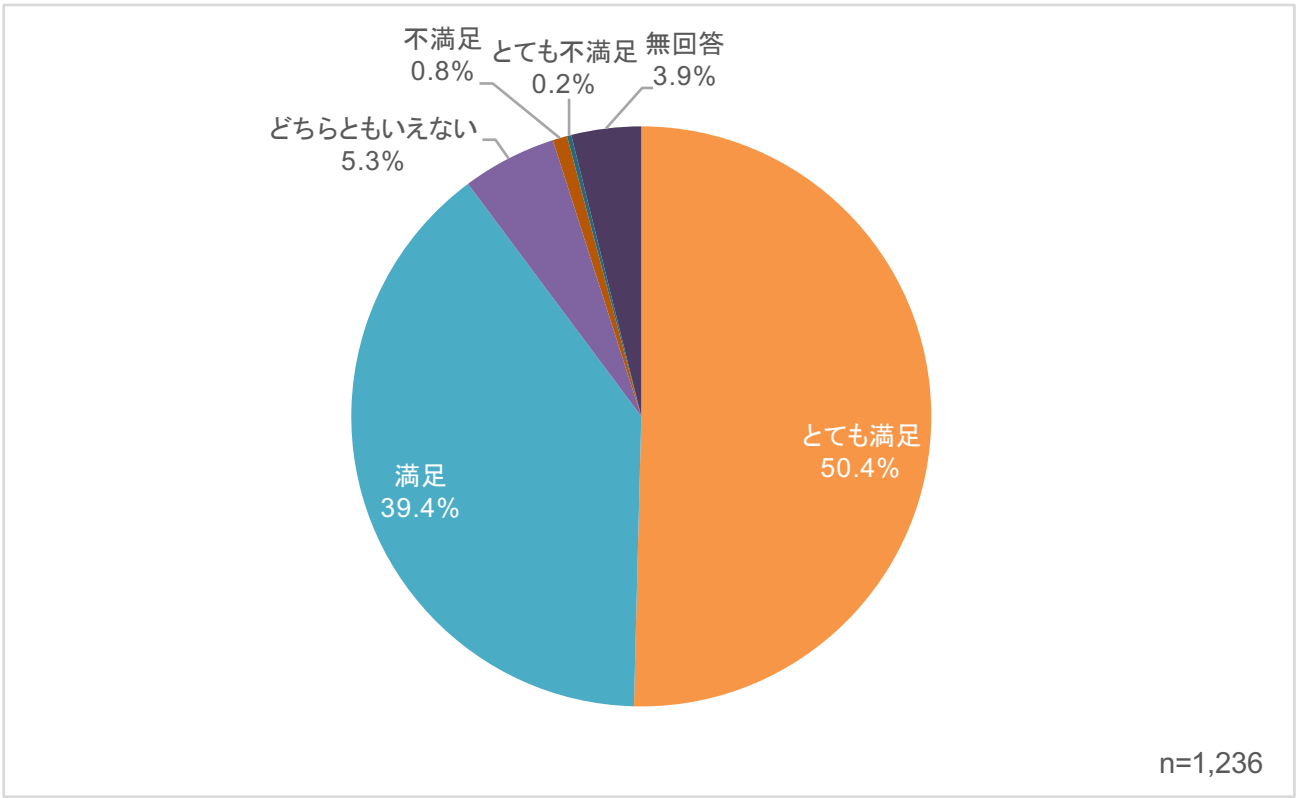
		件数	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
全体		1236	51.4%	39.2%	4.5%	1.0%	0.5%	3.4%
来場回数	初めて	373	58.2%	32.7%	5.1%	0.5%	0.5%	2.9%
	2～5回	330	51.8%	39.7%	4.8%	1.2%	0.3%	2.1%
	6回以上	520	46.9%	44.2%	3.8%	1.2%	0.6%	3.3%
年齢層	20代以下	129	78.3%	16.3%	1.6%	1.6%	0.0%	2.3%
	30～50代	536	58.6%	33.0%	4.7%	1.3%	0.6%	1.9%
	60代以上	508	37.0%	51.4%	5.5%	0.6%	0.6%	4.9%
居住地	豊橋市内	449	47.0%	43.9%	4.2%	1.3%	0.0%	3.6%
	愛知県内	471	46.3%	42.5%	5.3%	0.4%	1.1%	4.5%
	愛知県外	248	69.4%	25.0%	3.6%	1.2%	0.0%	0.8%



(11) 満足度 [⑥総合的な満足度] （単一回答）

PLATに対する総合的な満足度は、「とても満足」が50.4%、「満足」が39.4%で、肯定的な評価89.8%となっている。
年齢層別に見ると、「60代以上」では「満足」が49.0%で「とても満足」を上回っている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「とても満足」が69.0%となっている。

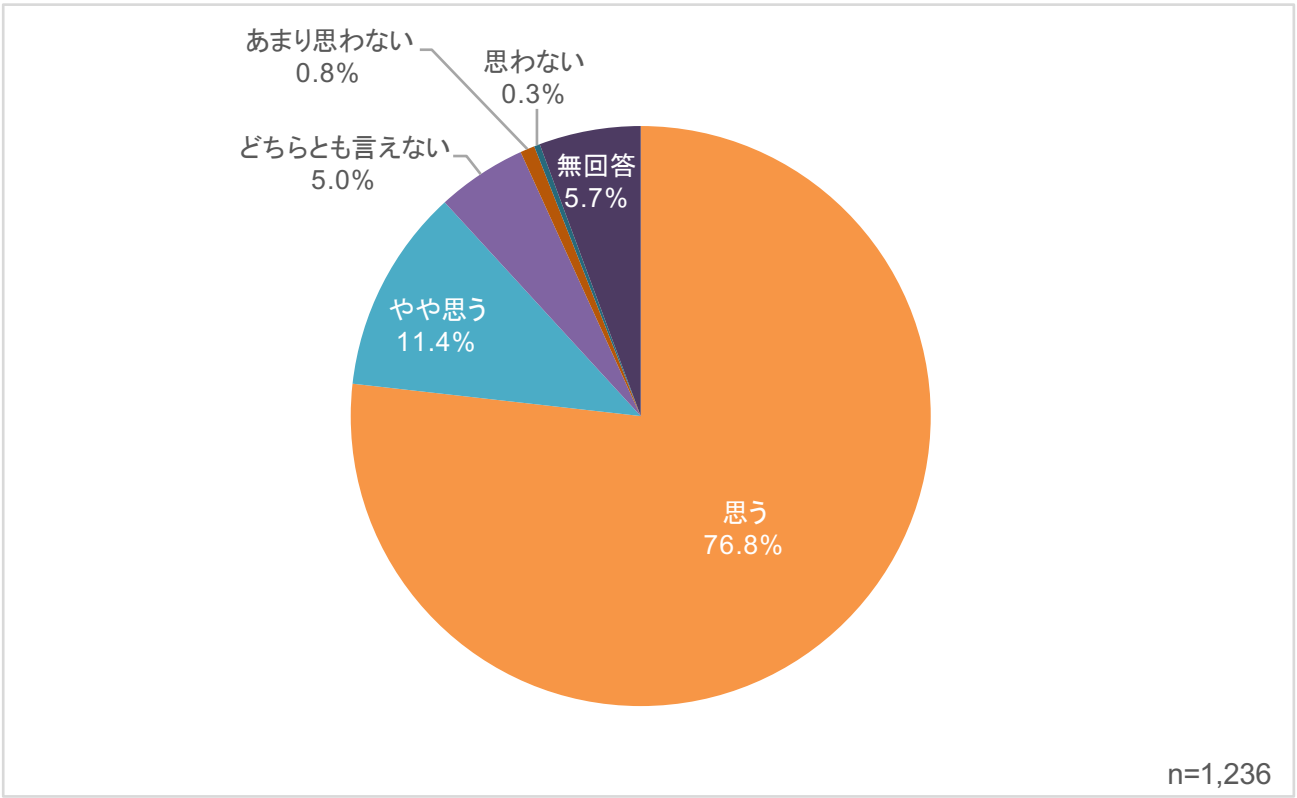
		件数	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
全体		1236	50.4	39.4%	5.3%	0.8%	0.2%	3.9%
来場回数	初めて	373	57.4	32.2%	4.6%	1.3%	0.3%	4.3%
	2～5回	330	44.5	43.6%	8.8%	0.6%	0.3%	2.1%
	6回以上	520	49.8	42.5%	3.7%	0.6%	0.2%	3.3%
年齢層	20代以下	129	72.1	20.9%	0.0%	2.3%	0.0%	4.7%
	30～50代	536	56.7	34.9%	5.2%	0.6%	0.4%	2.2%
	60代以上	508	38.4	49.0%	6.1%	0.8%	0.2%	5.5%
居住地	豊橋市内	449	44.5	45.4%	5.3%	0.9%	0.0%	3.8%
	愛知県内	471	46.5	41.8%	5.7%	0.8%	0.4%	4.7%
	愛知県外	248	69.0	25.0%	2.4%	0.4%	0.4%	2.8%



(12) 同分野の鑑賞希望（単一回答）

本日鑑賞した公演と同じ分野（ジャンル）の公演を今後とも鑑賞したいと思うかどうかを聞いたところ、「思う」が76.8%、「やや思う」が11.4%で、肯定的な評価が88.2%となっている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「思う」が82.7%となっている。

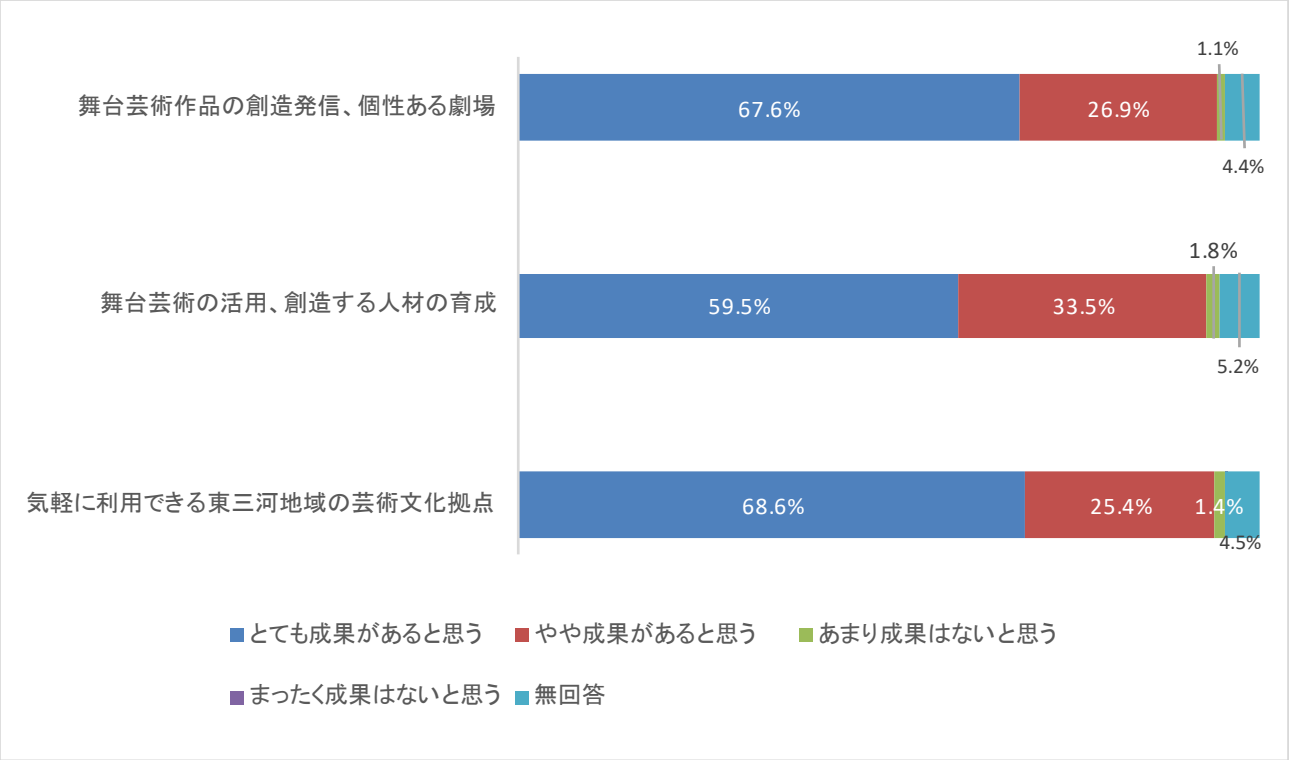
		件数	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない	無回答
全体		1236	76.8%	11.4%	5.0%	0.8%	0.3%	5.7%
来場回数	初めて	373	74.5%	13.9%	7.2%	0.3%	0.5%	3.5%
	2～5回	330	73.9%	13.0%	5.2%	1.5%	0.3%	6.1%
	6回以上	520	80.8%	8.8%	3.5%	0.8%	0.2%	6.0%
年齢層	20代以下	129	76.7%	10.9%	6.2%	0.8%	0.8%	4.7%
	30～50代	536	79.3%	10.6%	4.5%	1.1%	0.4%	4.1%
	60代以上	508	74.6%	12.4%	5.5%	0.6%	0.2%	6.7%
居住地	豊橋市内	449	75.7%	11.8%	5.1%	0.9%	0.2%	6.2%
	愛知県内	471	75.6%	12.5%	5.5%	0.6%	0.4%	5.3%
	愛知県外	248	82.7%	9.7%	4.4%	0.4%	0.0%	2.8%



(13) 運営方針 [3項目の比較]（単一回答）

PLATの運営方針に掲げる3項目について成果の度合いを聞いたところ、「とても成果があると思う」の割合が最も高いのは「気軽に利用できる東三河地域の芸術文化拠点」で68.6%となっている。「とても成果があると思う」の割合が相対的に低いのが「舞台芸術の活用、創造する人材の育成」となっている。

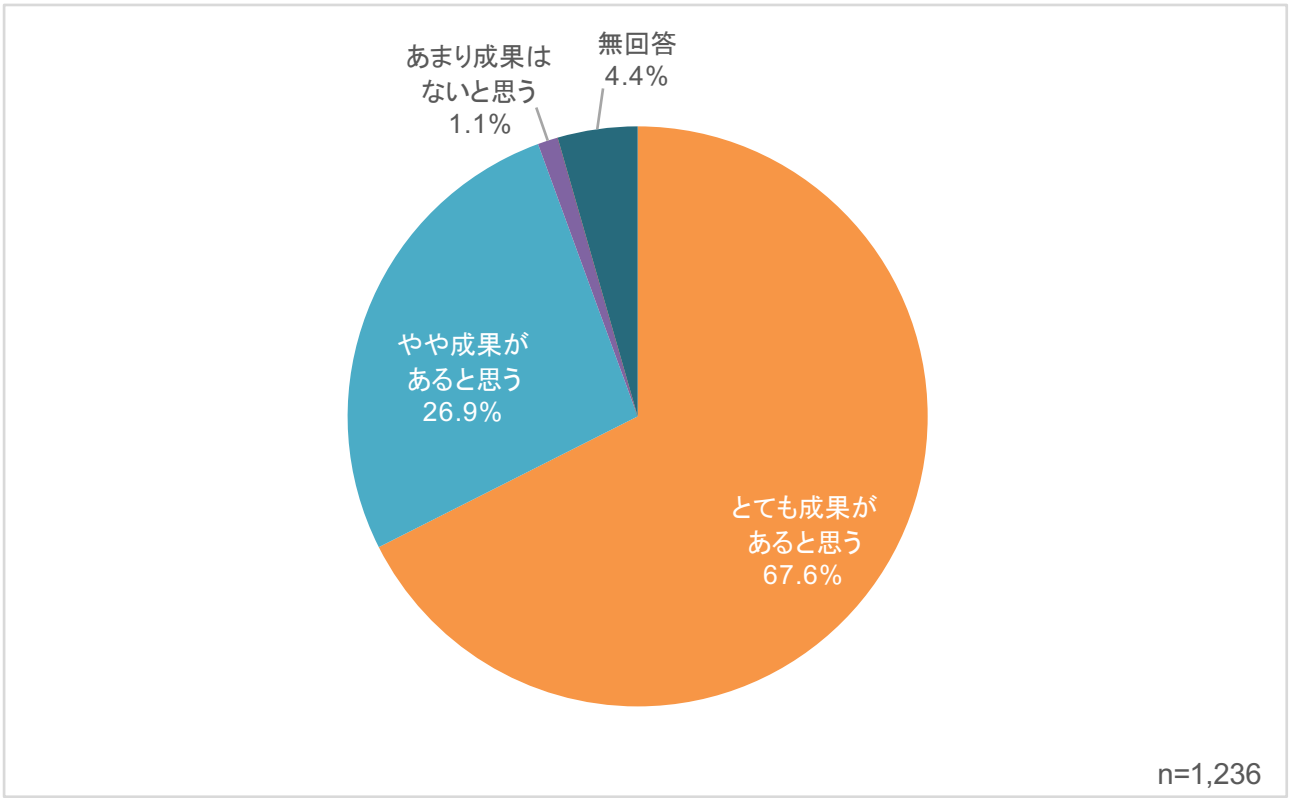
	とても成果があると思う	やや成果があると思う	あまり成果はないと思う	まったく成果はないと思う	無回答
舞台芸術作品の創造発信、個性ある劇場	67.6%	26.9%	1.1%	0.0%	4.4%
舞台芸術の活用、創造する人材の育成	59.5%	33.5%	1.8%	0.0%	5.2%
気軽に利用できる東三河地域の芸術文化拠点	68.6%	25.4%	1.4%	0.1%	4.5%



(13) 運営方針 [①舞台芸術作品の創造発信、個性ある劇場]（単一回答）

運営方針「舞台芸術作品の創造発信、個性ある劇場」について、「とても成果があると思う」が67.6%、「やや成果があると思う」が26.9%で、肯定的な評価が94.4%となっている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「とても成果があると思う」が77.4%となっている。

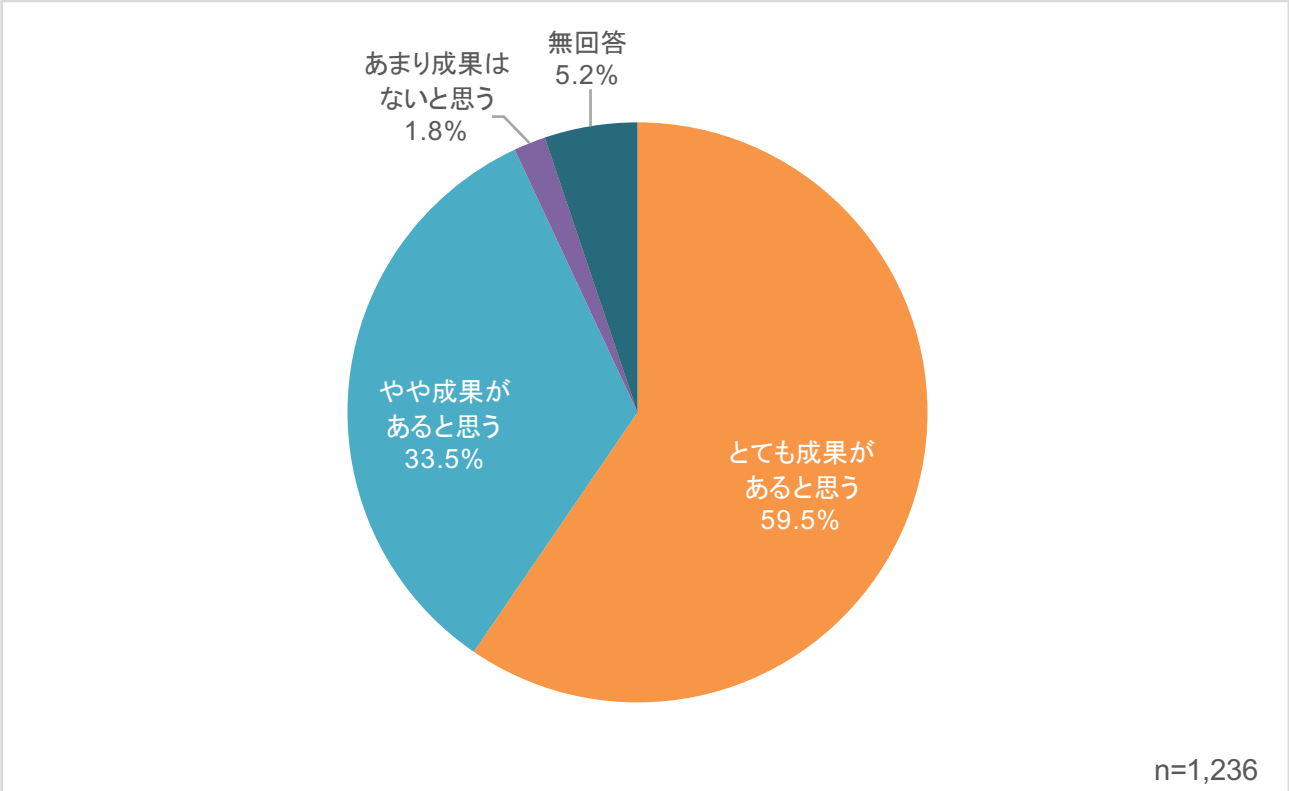
		件数	とても成果があると思う	やや成果があると思う	あまり成果はないと思う	まったく成果はないと思う	無回答
全体		1236	67.6%	26.9%	1.1%	0.0%	4.4%
来場回数	初めて	373	70.5%	23.1%	0.8%	0.0%	5.6%
	2～5回	330	63.6%	32.1%	1.2%	0.0%	3.0%
	6回以上	520	68.8%	26.5%	1.3%	0.0%	3.3%
年齢層	20代以下	129	76.0%	20.2%	0.0%	0.0%	3.9%
	30～50代	536	69.2%	27.1%	0.9%	0.0%	2.8%
	60代以上	508	65.0%	28.3%	1.8%	0.0%	4.9%
居住地	豊橋市内	449	64.4%	31.0%	2.0%	0.0%	2.7%
	愛知県内	471	66.5%	28.2%	0.2%	0.0%	5.1%
	愛知県外	248	77.4%	18.5%	1.2%	0.0%	2.8%



(13) 運営方針 [②舞台芸術の活用、創造する人材の育成]（単一回答）

運営方針「舞台芸術の活用、創造する人材の育成」について、「とても成果があると思う」が59.5%、「やや成果があると思う」が33.5%で、肯定的な評価が93.0%となっている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「とても成果があると思う」が70.2%となっている。

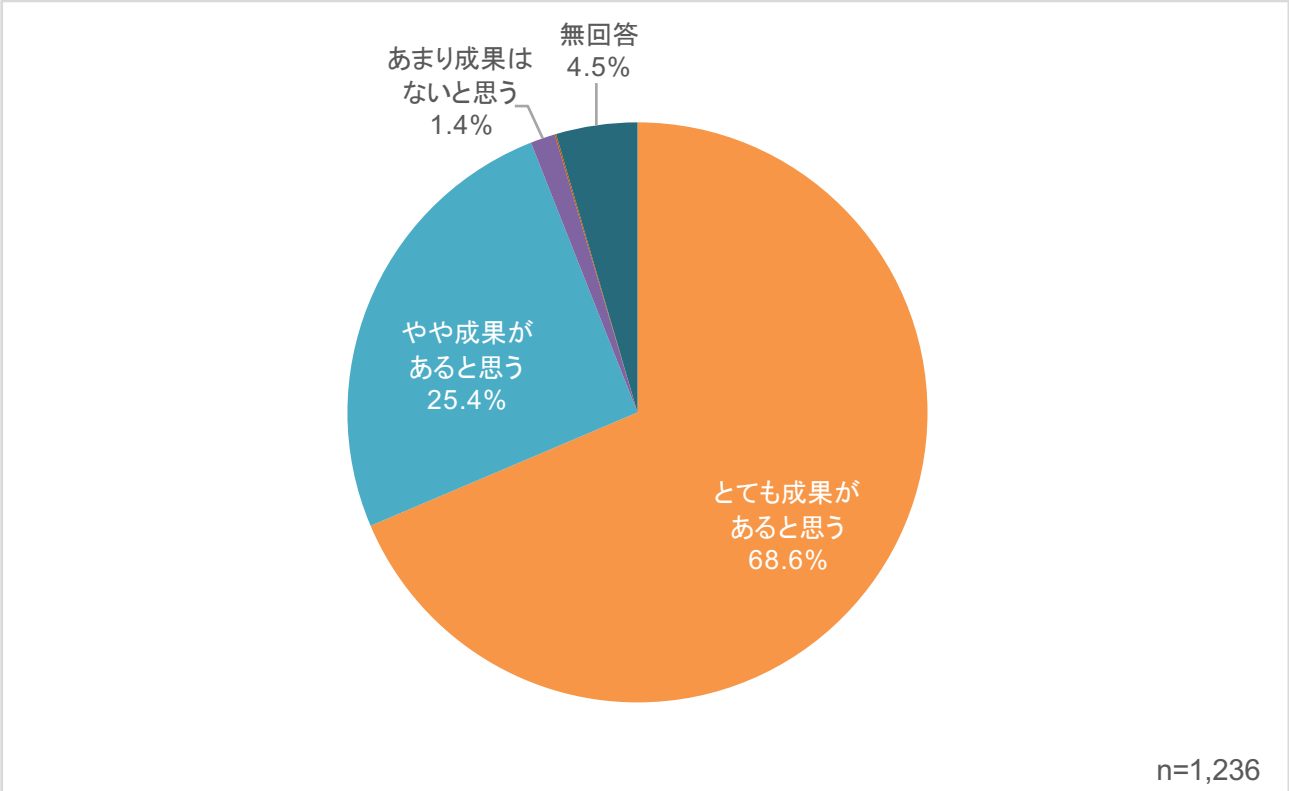
		件数	とても成果があると思う	やや成果があると思う	あまり成果はないと思う	まったく成果はないと思う	無回答
全体		1236	59.5%	33.5%	1.8%	0.0%	5.2%
来場回数	初めて	373	65.4%	28.2%	0.3%	0.0%	6.2%
	2～5回	330	56.1%	37.3%	2.4%	0.0%	4.2%
	6回以上	520	58.3%	35.4%	2.5%	0.0%	3.8%
年齢層	20代以下	129	69.0%	24.8%	0.8%	0.0%	5.4%
	30～50代	536	61.4%	34.7%	0.7%	0.0%	3.2%
	60代以上	508	55.9%	34.8%	3.3%	0.0%	5.9%
居住地	豊橋市内	449	54.1%	39.2%	3.1%	0.0%	3.6%
	愛知県内	471	59.2%	33.8%	1.1%	0.0%	5.9%
	愛知県外	248	70.2%	25.4%	1.2%	0.0%	3.2%



(13) 運営方針 [③気軽に利用できる東三河地域の芸術文化拠点] （単一回答）

運営方針「気軽に利用できる東三河地域の芸術文化拠点」について、「とても成果があると思う」が68.6%、「やや成果があると思う」が25.4%で、肯定的な評価が94.0%となっている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では「とても成果があると思う」が77.4%となっている。

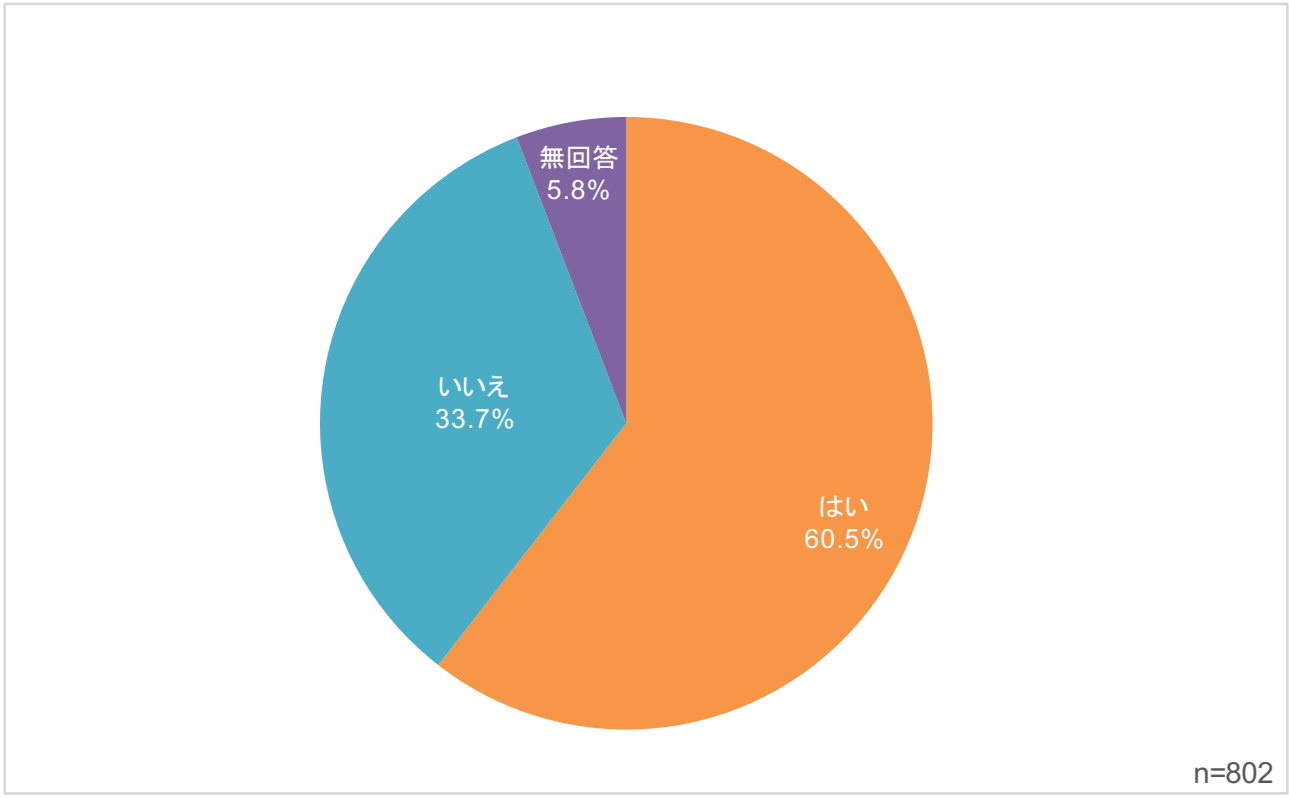
		件数	とても成果があると思う	やや成果があると思う	あまり成果はないと思う	まったく成果はないと思う	無回答
全体		1236	68.6%	25.4%	1.4%	0.1%	4.5%
来場回数	初めて	373	73.7%	20.1%	0.5%	0.0%	5.6%
	2～5回	330	64.8%	27.9%	3.3%	0.3%	3.6%
	6回以上	520	68.3%	27.9%	0.8%	0.0%	3.1%
年齢層	20代以下	129	72.1%	20.2%	1.6%	0.0%	6.2%
	30～50代	536	71.3%	25.0%	1.3%	0.0%	2.4%
	60代以上	508	65.9%	27.2%	1.6%	0.2%	5.1%
居住地	豊橋市内	449	63.5%	30.5%	2.9%	0.2%	2.9%
	愛知県内	471	69.6%	24.4%	0.6%	0.0%	5.3%
	愛知県外	248	77.4%	19.8%	0.4%	0.0%	2.4%



(14) 公演前後の飲食・ショッピング [①飲食・ショッピングの有無] （単一回答）

公演の前に近隣施設で飲食やショッピングをしたか、あるいは後にされる予定かを聞いたところ「はい」が60.5%、「いいえ」が33.7%となっている。
在住地別に見ると、「豊橋市内」では「いいえ」が50.3%となっており、「愛知県外」では「はい」が82.7%となっている。

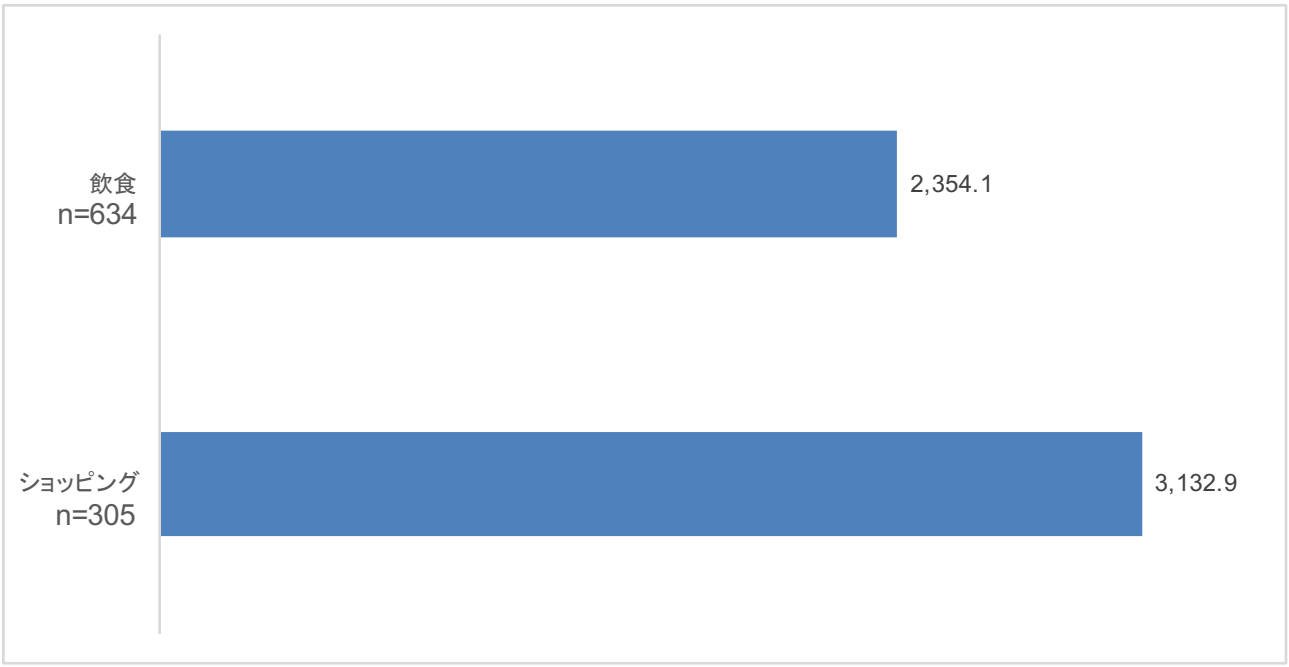
		件数	はい	いいえ	無回答
全体		1236	60.5%	33.7%	5.8%
来場回数	初めて	373	71.0%	22.5%	6.4%
	2～5回	330	57.0%	37.6%	5.5%
	6回以上	520	55.8%	39.4%	4.8%
年齢層	20代以下	129	50.4%	45.7%	3.9%
	30～50	536	70.3%	29.5%	0.2%
	60代以上	508	58.9%	38.2%	3.0%
居住地	豊橋市内	449	47.2%	50.3%	2.4%
	愛知県内	471	67.3%	31.4%	1.3%
	愛知県外	248	82.7%	15.7%	1.6%



(14) 公演前後の飲食・ショッピング [②飲食・ショッピングの平均額] （単一回答）

「はい」と回答した人で飲食の金額の記入者（634人）の平均は2,354.1円、ショッピングの金額記入者（305人）の平均は3,132.9円となっている。
在住地別に見ると、「愛知県外」では、飲食の平均が3,313.1円、ショッピングの平均が3,859.2円となっている。

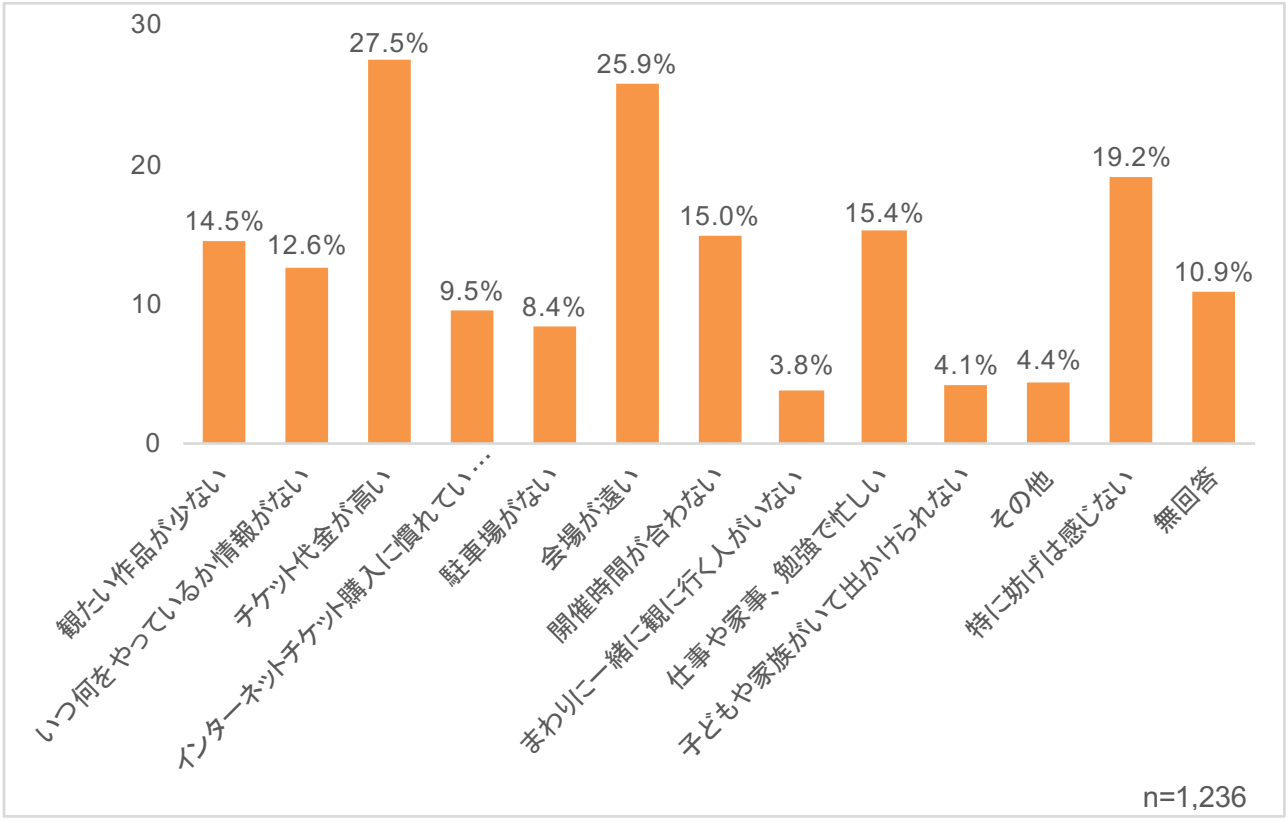
		金額回答件数	飲食	金額回答数	ショッピング
全体		634	2,354.1	305	3,132.9
来場回数	初めて	237	3,025.9	124	3,618.5
	2～5回	165	2,378.7	73	2,460.7
	6回以上	230	1,656.0	104	3,009.7
年齢層	20代以下	55	1,598.0	16	2,283.1
	30～50	325	2,536.7	162	3,166.4
	60代以上	249	2,300.8	124	3,210.0
居住地	豊橋市内	170	2,011.5	70	3,066.5
	愛知県内	268	1,931.4	127	2,589.5
	愛知県外	185	3,313.1	103	3,859.2



(15) 鑑賞の妨げの要因（複数回答）

コンサートや演劇などの公演に出かける際の妨げとなる要因は、「チケット代金が高い」が27.5%、「会場が遠い」が25.9%、「特に妨げは感じない」が19.2%となっている。
年齢層別に見ると、「20代以下」が「仕事や家事、勉強で忙しい」が31.0%となっている。

		件数	観たい作品が少ない	いつ何をやっているか情報がない	チケット代金が高い	インターネットチケット購入に慣れていない	駐車場がない	会場が遠い	開催時間が合わない	まわりに一緒に観に行く人がいない	仕事や家事、勉強で忙しい	子どもや家族がいて出かけられない	その他	特に妨げは感じない	無回答
全体		1236	14.5%	12.6%	27.5%	9.5%	8.4%	25.9%	15.0%	3.8%	15.4%	4.1%	4.4%	19.2%	10.9%
来場回数	初めて	373	7.5%	15.8%	30.0%	8.8%	4.0%	37.8%	13.1%	4.3%	18.0%	5.9%	4.0%	19.0%	9.7%
	2～5回	330	17.9%	17.3%	25.8%	9.7%	11.2%	23.0%	13.9%	5.2%	15.5%	4.5%	4.5%	15.5%	10.6%
	6回以上	520	17.5%	7.7%	27.3%	10.2%	9.8%	19.2%	17.3%	2.7%	13.5%	2.7%	4.8%	22.1%	10.8%
年齢層	20代以下	129	10.1%	20.9%	25.6%	7.0%	6.2%	24.0%	14.7%	7.8%	31.0%	0.8%	1.6%	23.3%	3.1%
	30～50代	536	15.3%	13.1%	33.8%	6.0%	8.6%	33.6%	21.3%	3.2%	21.1%	7.1%	5.6%	16.8%	4.5%
	60代以上	508	16.1%	11.4%	24.4%	15.2%	9.4%	20.9%	9.8%	3.9%	6.7%	2.2%	4.5%	22.8%	10.6%
居住地	豊橋市内	449	20.0%	8.9%	23.6%	10.5%	12.0%	11.6%	12.7%	4.0%	12.0%	3.1%	3.3%	24.5%	8.9%
	愛知県内	471	14.2%	20.0%	30.8%	12.7%	8.1%	34.6%	17.8%	4.5%	17.6%	5.1%	4.9%	15.7%	6.2%
	愛知県外	248	8.9%	8.1%	35.5%	4.0%	4.4%	40.3%	16.5%	2.8%	19.8%	4.8%	5.6%	20.6%	5.2%



（＿＿＿公演名＿＿＿） ご来場者様アンケート

10th ANNIVERSARY 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT TOYOHASHI ARTS THEATRE

本日はご来場ありがとうございます。アンケートにご協力お願い致します。あてはまる項目にチェック☑をご記入ください。筆記用具はホワイエにて貸出しています。後日 FAX（0532-55-8192）、郵送、お持込でも構いません。

こちらからもご回答いただけます。

Q1 本日の公演はどこでお知りになりましたか。（☑はいくつでも）

□チラシ □プラットニュース □広報とよはし □フリーペーパーMEG □新聞･雑誌（＿＿＿＿＿）
□WEB（＿＿＿＿＿＿＿＿） □DM □Facebook □twitter □プラットメルマガ
□関係者、出演者 □その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q2 本日のご来場についてお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

PLAT に公演を観に来た回数	□初めて □2～5回目 □6～10回 □11回以上
主な交通手段	□自動車 □徒歩 □自転車 □バス □鉄道 □路面電車 □タクシー □その他（ ）
片道の所要時間	□30分未満 □30分～1時間 □1時間～1時間半 □1時間半～2時間 □2時間以上
来場に伴う宿泊の有無	□あり □なし

Q3 本日の公演に来られた主な理由をお聞かせください。（☑はいくつでも）

□出演者、出演団体が好きだから □出演者、出演団体が有名だから □公演内容が面白そうだったから
□PLAT に来てみたかったから □PLAT が近くだったから □出演者や関係者が知り合いだから
□人に誘われたから □PLAT の催しものだから □料金がお手ごろだったから
□その他（具体的に ）

Q4 本日の公演や PLAT についてあなたのご意見をお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足
本日 の公演内容	□	□	□	□	□
本日 の公演のチケット料金	□	□	□	□	□
公演情報の入手のしやすさ	□	□	□	□	□
チケットの予約・購入のしやすさ	□	□	□	□	□
劇場係員の応対	□	□	□	□	□
PLAT に対する総合的な満足度	□	□	□	□	□

Q5 本日鑑賞した公演と同じ分野（ジャンル）の公演を今後とも鑑賞したいと思いましたか。（☑は各項目ひとつずつ）

□思う □やや思う □どちらとも言えない □あまり思わない □思わない

Q6 PLAT は次のような方針で運営しています。あなたのご意見をお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

	とても成果があると思う	やや成果があると思う	あまり成果はないと思う	まったく成果はないと思う
舞台芸術作品を創造発信するとともに、市民の誇りとなる個性ある劇場として運営します。	□	□	□	□
舞台芸術を地域社会に活用する人材、舞台芸術を創造する人材の育成を目指します。	□	□	□	□
誰もが気軽に利用できる東三河地域の芸術文化拠点として運営していきます。	□	□	□	□

Q7 本日の公演の前に、近隣施設で飲食やショッピングをされましたか。また公演後される予定ですか。（☑はひとつ）

☐はい　　☐いいえ

→「はい」とお答えになった方は、おおよその利用金額をお聞かせください。あるいは予定利用金額を飲食とショッピングの別にご記入ください。

飲食	円ぐらい
ショッピング	円ぐらい

Q8 コンサートや演劇などの公演に出かけるのに、何が妨げになっていますか。（☑はいくつでも）

☐観たい作品が少ない　☐いつ何をやっているか情報がない　☐チケット代金が高い
☐インターネットチケット購入に慣れていない　☐駐車場がない　☐会場が遠い　☐開催時間が合わない
☐まわりに一緒に観に行く人がいない　☐仕事や家事、勉強で忙しい　☐子どもや家族がいて出かけられない
☐その他（具体的に　　）　☐特に妨げは感じない

Q9 本日の公演をご覧になっての感想をお聞かせください。

Q10 興味のある、もしくは観たいと思うカンパニーや舞台芸術ジャンルなどがあればお書きください。

Q11 お客様ご自身についてお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

性別	☐女性　☐男性　☐その他　☐回答しない
年齢	☐9歳以下　☐10代　☐20代　☐30代　☐40代　☐50代　☐60代　☐70代　☐80歳以上
職業	☐会社員　☐公務員　☐自営業　☐主婦・主夫　☐学生　☐その他（　　）
住所	☐豊橋市　☐東三河（豊川、蒲郡、新城、田原、北設楽郡）　☐ほか愛知県　☐三重県・岐阜県 ☐静岡西部　☐ほか静岡県　☐神奈川県　☐東京都　☐その他の都道府県（　　） ☐海外（　　）
会員	**豊橋文化振興財団維持会員**または**プラットフレンズに登録**されていますか？ ☐登録している　☐登録していないが知っている　☐知らない

★ PLAT から公演・ワークショップ等のご案内をお送りしてもよろしいですか？

☐はい　☐いいえ　☐すでに届いている　※「はい」をお選びいただいた方は、下記事項をご記入ください。

ふりがな お名前	メール アドレス
〒 ご住所	

※ 記載された個人情報は（公財）豊橋文化振興財団が厳重に管理し、公演情報のご案内以外に使用することはありません。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT【指定管理者：公益財団法人豊橋文化振興財団】
〒440-0887　愛知県豊橋市西小田原町123番地　TEL：0532-39-8810

Ⅳ

小中学校アウトリーチ参加者アンケート調査

アウトリーチに関するアンケート調査の実施概要

今回の調査では、とよはし芸術劇場のワークショップ参加者に対するアンケート調査を実施したが（資料編Ⅴ参照）、小中学校におけるアウトリーチに関する調査は実施することができなかった。そこで、（一財）地域創造の了解を得て、（一財）地域創造が令和4年度に実施した「地域文化施設におけるアウトリーチ・ワークショップの成果や効果に関する調査研究」[1]の調査結果から、とよはし芸術劇場のアウトリーチに関するアンケート調査を抽出して集計、分析を行った。

1. 調査の目的

地方公共団体・公立文化施設が地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを進める上で参考となる資料を提供することを目的とし、公立文化施設が実施してきたアウトリーチの成果や効果を検証するため、本アンケート調査では、国内でアウトリーチを積極的に展開している公立文化施設6館の協力を得て、小学校、中学校（特別支援学校・学級を含む）でのアウトリーチに参加した児童・生徒及び参加校の教員を対象としたアンケートを実施した。

2. 調査協力館と回収数

調査協力館ごとの回収数は下表のとおりで、教員対象のアンケート調査は回収数が限られていることから、ここではとよはし芸術劇場の児童生徒を対象にしたアンケート調査を分析の対象とした。

調査協力館	回収数	
	児童生徒	教員
北上市文化交流センター さくらホール	149	35
いわき芸術文化交流館 アリオス	347	25
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館	281	17
上田市交流文化芸術センター サントミューゼ	320	42
とよはし芸術劇場	329	17
北九州芸術劇場	164	21
計	1,590	157

3. 調査の方法

- 調査票の配布：地域創造から調査協力館の担当職員に配布予定枚数の調査票を郵送し、担当職員からアウトリーチの受入れ校の教員に必要部数を手渡し、教員から参加した児童・生徒、学校管理職や見学した教員に調査票を直接配布した。
- 調査票の回収：アウトリーチの受入れ校の教員が回収、後日、調査協力館の担当職員が調査票を回収し、取りまとめて地域創造に返送した。
- 調査実施期間：2022年9月9日～12月2日

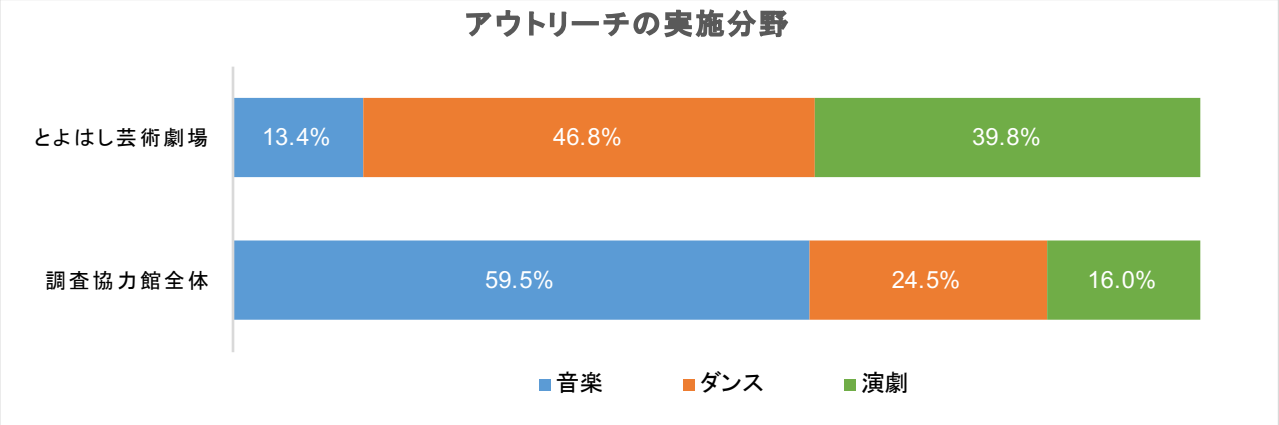
4. 集計と分析

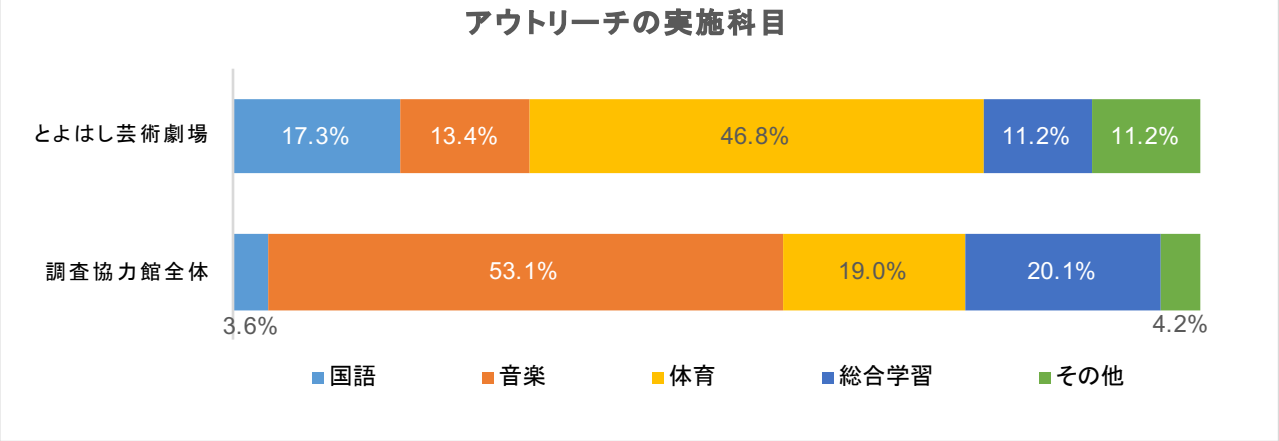
- 調査項目ごとにとよはし芸術劇場と調査協力館全体の集計結果について比較・分析を行うとともに、とよはし芸術劇場の集計結果については、「分野」「参加生徒数」「プログラム時間数」「学年」「過去の経験」の5つの基本分析軸とのクロス集計結果を掲載した。
- 元の調査で行った調査協力館ごと特徴的なアウトリーチの概要についても参考資料として掲載した。

[1] 「地域文化施設におけるアウトリーチ・ワークショップの成果や効果に関する調査研究」（令和5年3月）調査・発行：一般財団法人地域創造、調査受託：株式会社ニッセイ基礎研究所、©一般財団法人地域創造・株式会社ニッセイ基礎研究所。報告書およびアンケート調査結果は次の地域創造HPからダウンロード可能。https://www.jafra.or.jp/library/report/2022/index.html

回答者の属性　アウトリーチの実施分野と実施科目

児童生徒が参加したアウトリーチの実施分野は「ダンス」が46.8%、「演劇」39.8%、「音楽」13.4%で、「音楽」が59.5%を過半を占めている調査協力館全体と比較して「ダンス」「演劇」の割合が高い。
実施した科目は、「体育」が46.8%で、「国語」17.3%、「音楽」13.4%、「総合学習」と「その他」がともに11.2%となっている。実施分野で最も多い「ダンス」はすべてを「体育」で実施しているのに対し、演劇は「国語」や「総合学習」「その他」など実施科目が分散している。
分野、科目とも「音楽」がそれぞれ59.5%、53.1%と半数を超える調査対象館全体と比較して、演劇やダンスに力を入れているとよはし芸術劇場の特性が反映されている。





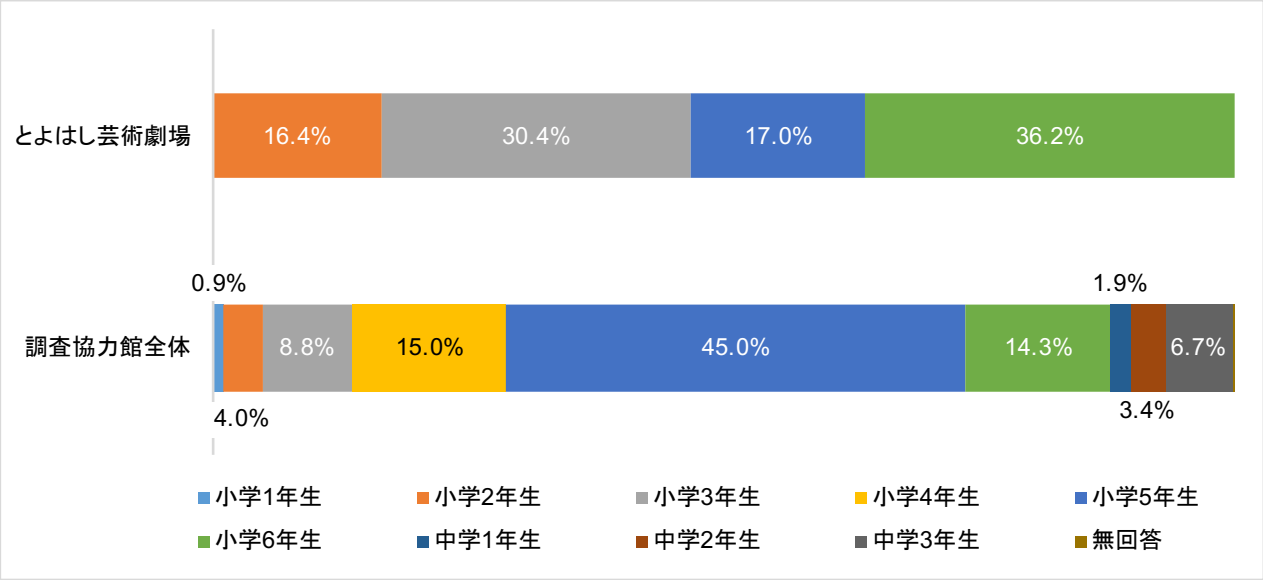
		合計	プログラムを実施した授業科目							
			国語	音楽	図工・美術	体育	総合学習	その他	課外活動	無回答
	とよはし芸術劇場	329	57	44	0	154	37	37	0	0
		100.0	17.3	13.4	0.0	46.8	11.2	11.2	0.0	0.0
	調査協力館全体	1,590	57	845	0	302	320	66	0	0
		100.0	3.6	53.1	0.0	19.0	20.1	4.2	0.0	0.0
分野	音楽	44	0	44	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス	154	0	0	0	154	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	演劇	131	57	0	0	0	37	37	0	0
		100.0	43.5	0.0	0.0	0.0	28.2	28.2	0.0	0.0

回答者の属性 アウトリーチを実施した科目

		合計	プログラムを実施した授業科目							
			国語	音楽	図工・美術	体育	総合学習	その他	課外活動	無回答
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	0	0	0	37	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29人	123	25	44	0	54	0	0	0	0
		100.0	20.3	35.8	0.0	43.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39人	95	32	0	0	63	0	0	0	0
		100.0	33.7	0.0	0.0	66.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	0	0	0	0	37	37	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	0	44	0	154	37	37	0	0
		100.0	0.0	16.2	0.0	56.6	13.6	13.6	0.0	0.0
	2～3時間未満	57	57	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	14	0	0	0	14	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	64	0	0	0	63	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	98.4	1.6	0.0	0.0	0.0
	小学3年生	140	0	28	0	112	0	0	0	0
		100.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学4年生	238	0	140	0	5	93	0	0	0
		100.0	0.0	58.8	0.0	2.1	39.1	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	715	32	479	0	91	88	25	0	0
		100.0	4.5	67.0	0.0	12.7	12.3	3.5	0.0	0.0
	小学6年生	227	25	114	0	14	37	37	0	0
		100.0	11.0	50.2	0.0	6.2	16.3	16.3	0.0	0.0
	中学1年生	30	0	2	0	2	25	1	0	0
		100.0	0.0	6.7	0.0	6.7	83.3	3.3	0.0	0.0
	中学2年生	54	0	4	0	1	48	1	0	0
		100.0	0.0	7.4	0.0	1.9	88.9	1.9	0.0	0.0
	中学3年生	106	0	78	0	0	26	2	0	0
		100.0	0.0	73.6	0.0	0.0	24.5	1.9	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	753	15	345	0	193	149	51	0	0
		100.0	2.0	45.8	0.0	25.6	19.8	6.8	0.0	0.0
	1回したことがある	317	19	183	0	40	69	6	0	0
		100.0	6.0	57.7	0.0	12.6	21.8	1.9	0.0	0.0
	2回したことがある	175	11	82	0	27	49	6	0	0
		100.0	6.3	46.9	0.0	15.4	28.0	3.4	0.0	0.0
	3～4回したことがある	240	9	173	0	18	38	2	0	0
		100.0	3.8	72.1	0.0	7.5	15.8	0.8	0.0	0.0
	5回以上したことがある	86	2	52	0	21	11	0	0	0
		100.0	2.3	60.5	0.0	24.4	12.8	0.0	0.0	0.0

回答者の属性　回答者の学年　問1

アウトリーチに参加した児童生徒の学年は、多い順に「小学6年生」36.2%、「小学3年生」30.4%、「小学5年生が17.0%、「小学2年生」16.4%となっている。
とよはし芸術劇場はこの3学年のみを対象に実施しているのに対し、調査協力館の中には、小学1年生や中学生を対象に実施しているところもあり、全体では「小学5年生」が45.0%と最も多い。



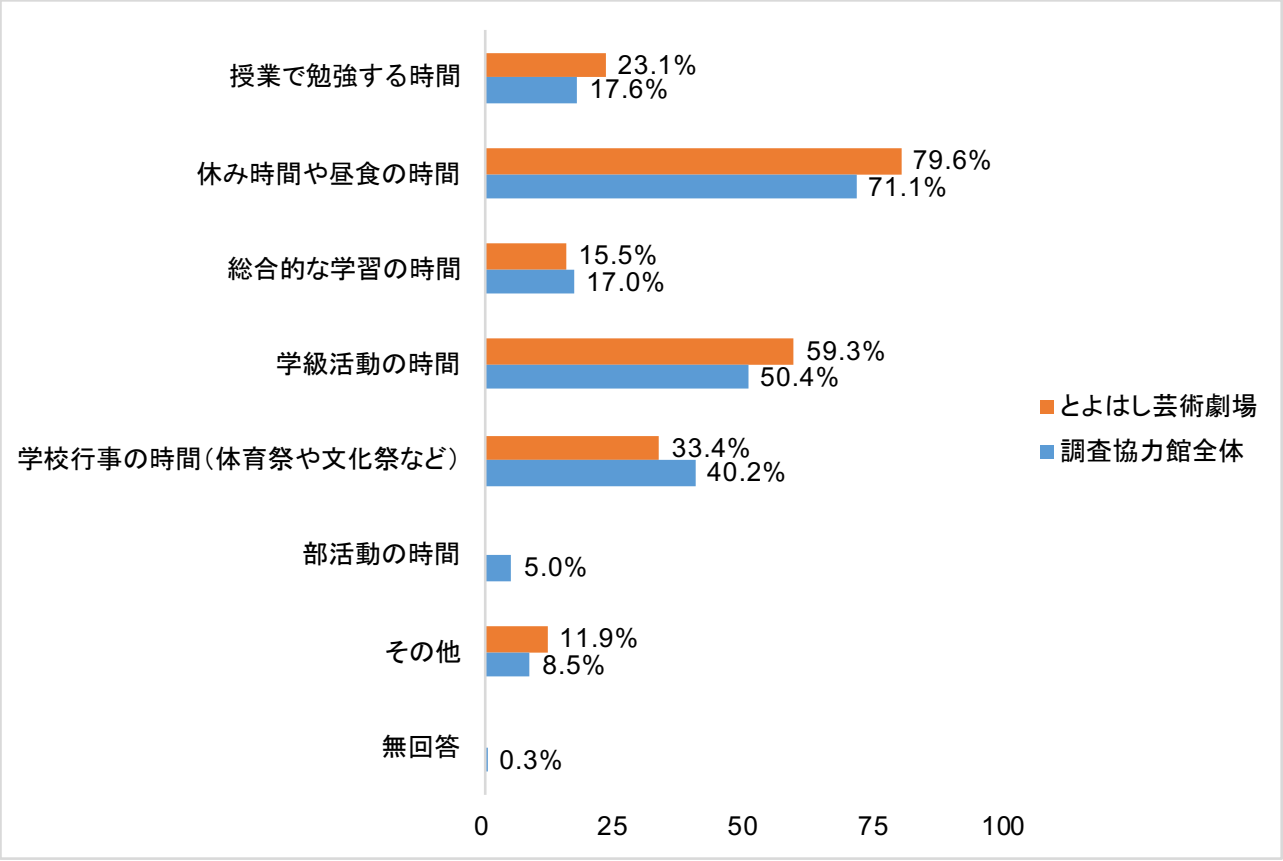
		合計	問1.あなたの学年を教えてください。									
			小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	無回答
	とよはし芸術劇場	329	0	54	100	0	56	119	0	0	0	0
		100.0	0.0	16.4	30.4	0.0	17.0	36.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	調査協力館全体	1,590	14	64	140	238	715	227	30	54	106	2
		100.0	0.9	4.0	8.8	15.0	45.0	14.3	1.9	3.4	6.7	0.1
分野	音楽	44	0	0	0	0	24	20	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス	154	0	54	100	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	35.1	64.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	演劇	131	0	0	0	0	32	99	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4	75.6	0.0	0.0	0.0	0.0
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	0	0	37	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29人	123	0	54	0	0	24	45	0	0	0	0
		100.0	0.0	43.9	0.0	0.0	19.5	36.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39人	95	0	0	63	0	32	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	66.3	0.0	33.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	0	0	0	0	0	74	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

回答者の属性　回答者の学年　問1

		合計	問1.あなたの学年を教えてください。									
			小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	0	54	100	0	24	94	0	0	0	0
		100.0	0.0	19.9	36.8	0.0	8.8	34.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	2～3時間未満	57	0	0	0	0	32	25	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.1	43.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学3年生	100	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学6年生	119	0	0	0	0	0	119	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	0	38	95	0	34	51	0	0	0	0
		100.0	0.0	17.4	43.6	0.0	15.6	23.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	1回したことがある	56	0	11	2	0	11	32	0	0	0	0
		100.0	0.0	19.6	3.6	0.0	19.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	2回したことがある	29	0	2	1	0	4	22	0	0	0	0
		100.0	0.0	6.9	3.4	0.0	13.8	75.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～4回したことがある	14	0	1	0	0	5	8	0	0	0	0
		100.0	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	5回以上したことがある	8	0	1	1	0	2	4	0	0	0	0
		100.0	0.0	12.5	12.5	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

楽しい時間　学校にいるとき「楽しい」と感じる時間　問2

学校にいるときに「楽しい」と感じる時間について尋ねたところ、とよはしPLATでは最も多いのが「休み時間や昼食の時間」の79.6%、次いで「学級活動の時間」59.3%、「学校行事の時間（体育祭や文化祭など）」33.4%となっている。
調査協力館全体もほぼ同様の結果となっているが、「休み時間や昼食の時間」、「学級活動の時間」、「授業で勉強する時間」、「その他」の割合はとよはし芸術劇場の方が高い。

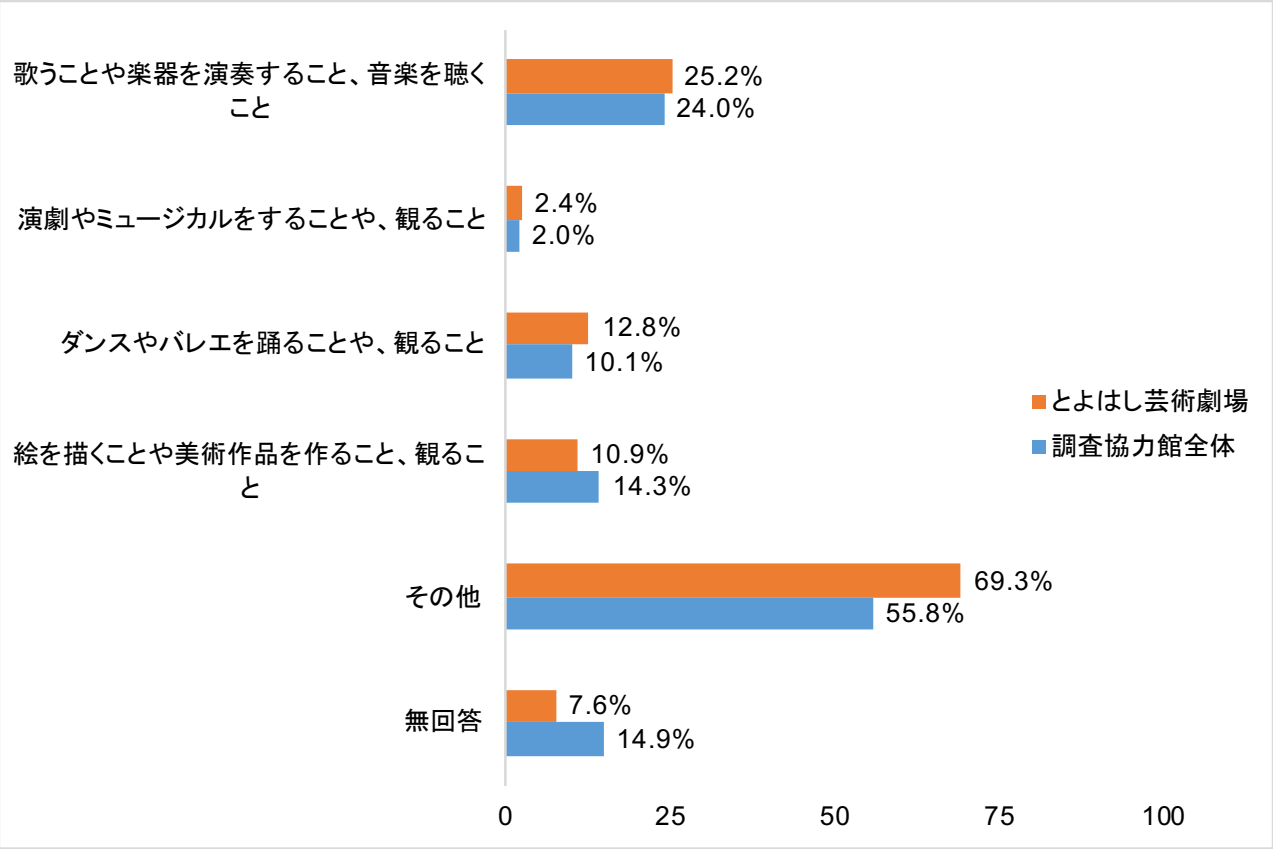


		合計	問2.学校にいるとき、どんなことをしている時間が楽しいですか。次のなかから選んでください。							
			授業で勉強する時間	休み時間や昼食の時間	総合的な学習の時間	学級活動の時間	学校行事の時間（体育祭や文化祭など）	部活動の時間	その他	無回答
	とよはし芸術劇場	329	76	262	51	195	110	0	39	0
		100.0	23.1	79.6	15.5	59.3	33.4	0.0	11.9	0.0
	調査協力館全体	1,590	280	1130	270	801	639	80	135	4
		100.0	17.6	71.1	17.0	50.4	40.2	5.0	8.5	0.3
分野	音楽	44	3	32	7	24	27	0	3	0
		100.0	6.8	72.7	15.9	54.5	61.4	0.0	6.8	0.0
	ダンス	154	55	137	25	90	3	0	28	0
		100.0	35.7	89.0	16.2	58.4	1.9	0.0	18.2	0.0
	演劇	131	18	93	19	81	80	0	8	0
		100.0	13.7	71.0	14.5	61.8	61.1	0.0	6.1	0.0

楽しい時間　学校にいるとき「楽しい」と感じる時間　問2

		合計	問2.学校にいるとき、どんなことをしている時間が楽しいですか。次のなかから選んでください。							
			授業で勉強する時間	休み時間や昼食の時間	総合的な学習の時間	学級活動の時間	学校行事の時間（体育祭や文化祭など）	部活動の時間	その他	無回答
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	4	26	4	12	0	0	2	0
		100.0	10.8	70.3	10.8	32.4	0.0	0.0	5.4	0.0
	20～29人	123	31	106	11	66	45	0	25	0
		100.0	25.2	86.2	8.9	53.7	36.6	0.0	20.3	0.0
	30～39人	95	31	78	26	69	23	0	8	0
		100.0	32.6	82.1	27.4	72.6	24.2	0.0	8.4	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	10	52	10	48	42	0	4	0
		100.0	13.5	70.3	13.5	64.9	56.8	0.0	5.4	0.0
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	68	221	42	162	72	0	35	0
		100.0	25.0	81.3	15.4	59.6	26.5	0.0	12.9	0.0
	2～3時間未満	57	8	41	9	33	38	0	4	0
		100.0	14.0	71.9	15.8	57.9	66.7	0.0	7.0	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	24	52	2	28	2	0	20	0
		100.0	44.4	96.3	3.7	51.9	3.7	0.0	37.0	0.0
	小学3年生	100	31	85	23	62	1	0	8	0
		100.0	31.0	85.0	23.0	62.0	1.0	0.0	8.0	0.0
	小学4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	4	36	8	36	39	0	4	0
		100.0	7.1	64.3	14.3	64.3	69.6	0.0	7.1	0.0
	小学6年生	119	17	89	18	69	68	0	7	0
		100.0	14.3	74.8	15.1	58.0	57.1	0.0	5.9	0.0
	中学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	58	172	37	117	51	0	32	0
		100.0	26.6	78.9	17.0	53.7	23.4	0.0	14.7	0.0
	1回したことがある	56	9	48	6	40	35	0	1	0
		100.0	16.1	85.7	10.7	71.4	62.5	0.0	1.8	0.0
	2回したことがある	29	6	22	4	23	12	0	3	0
		100.0	20.7	75.9	13.8	79.3	41.4	0.0	10.3	0.0
	3～4回したことがある	14	2	12	3	8	9	0	1	0
		100.0	14.3	85.7	21.4	57.1	64.3	0.0	7.1	0.0
	5回以上したことがある	8	1	5	1	6	2	0	0	0
		100.0	12.5	62.5	12.5	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

回答者が習い事やクラブなどでやっていることを尋ねたところ、「そのほか」の回答が69.3%だった。文化・芸術に関する活動では「歌うことや楽器を演奏すること、音楽を聴くこと」という音楽に関する活動が25.2%、「ダンスやバレエを踊ることや、観ること」が12.8%、「絵を描くことや美術作品を作ること、観ること」という美術に関する活動が10.9%となっている。
調査協力館全体もほぼ同様の結果となっているが、「ダンスやバレエ」の回答割合はとよはし芸術劇場の方が高くなっているのは、実施分野でダンスが多いことが影響していると思われる。

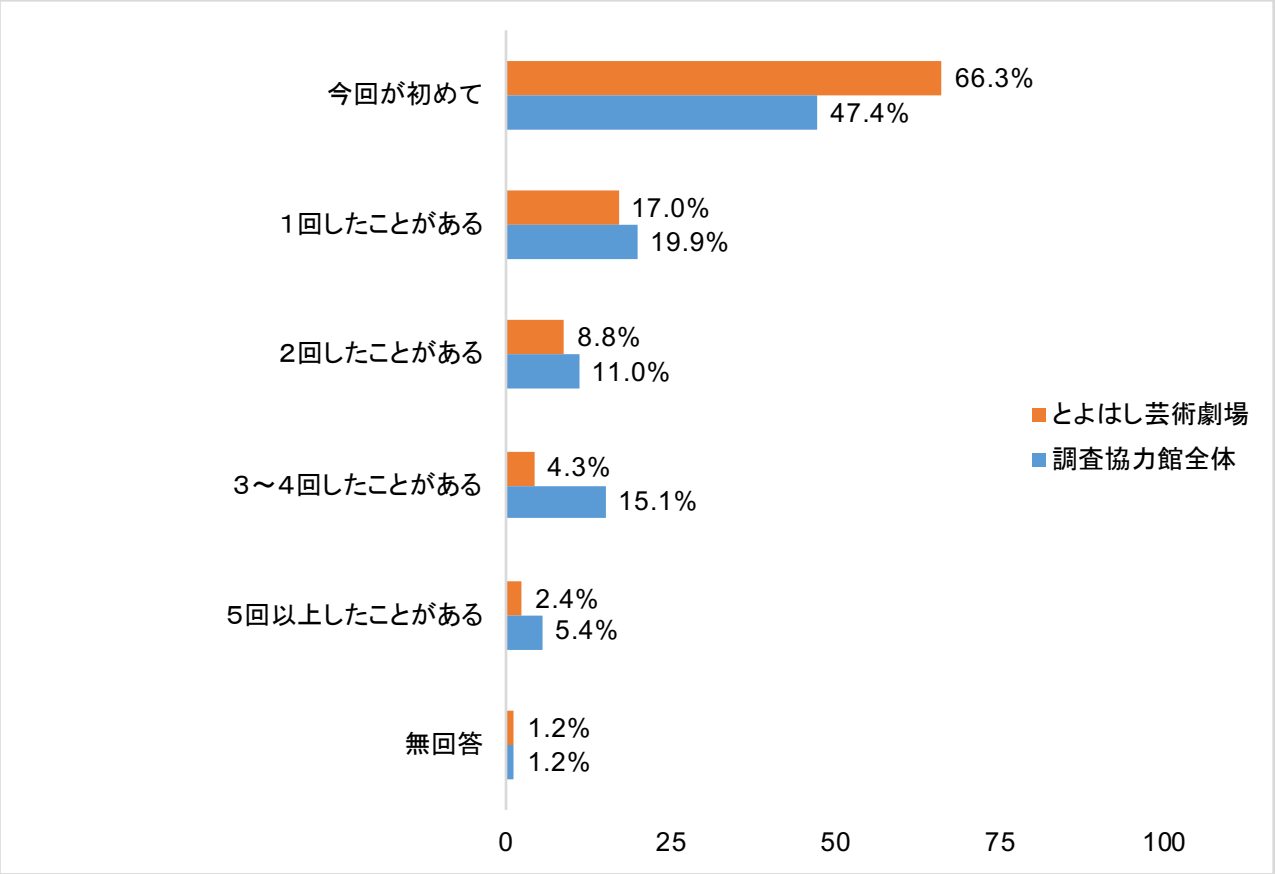


		合計	問3.普段の生活や習い事、学校の課外活動などでやっていることがあれば、次のなかから選んでください。					
			歌うことや楽器を演奏すること、音楽を聴くこと	演劇やミュージカルをすることや、観ること	ダンスやバレエを踊ることや、観ること	絵を描くことや美術作品を作ること、観ること	その他	無回答
	とよはし芸術劇場	329	83	8	42	36	228	25
		100.0	25.2	2.4	12.8	10.9	69.3	7.6
	調査協力館全体	1,590	382	32	160	228	888	237
		100.0	24.0	2.0	10.1	14.3	55.8	14.9
分野	音楽	44	18	0	4	8	23	4
		100.0	40.9	0.0	9.1	18.2	52.3	9.1
	ダンス	154	37	3	28	6	109	18
		100.0	24.0	1.9	18.2	3.9	70.8	11.7
	演劇	131	28	5	10	22	96	3
		100.0	21.4	3.8	7.6	16.8	73.3	2.3

		合計	問3.普段の生活や習い事、学校の課外活動などでやっていることがあれば、次のなかから選んでください。					
			歌うことや楽器を演奏すること、音楽を聴くこと	演劇やミュージカルをすることや、観ること	ダンスやバレエを踊ることや、観ること	絵を描くことや美術作品を作ること、観ること	その他	無回答
参加生徒数	10人未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	10～19人	37 100.0	9 24.3	1 2.7	8 21.6	1 2.7	29 78.4	1 2.7
	20～29人	123 100.0	41 33.3	2 1.6	20 16.3	15 12.2	74 60.2	11 8.9
	30～39人	95 100.0	14 14.7	0 0.0	8 8.4	6 6.3	72 75.8	12 12.6
	40～49人	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50人以上	74 100.0	19 25.7	5 6.8	6 8.1	14 18.9	53 71.6	1 1.4
プログラム時間数	1時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1～2時間未満	272 100.0	74 27.2	8 2.9	38 14.0	28 10.3	185 68.0	23 8.5
	2～3時間未満	57 100.0	9 15.8	0 0.0	4 7.0	8 14.0	43 75.4	2 3.5
	3～4時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4～5時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
学年	小学1年生	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	小学2年生	54 100.0	20 37.0	2 3.7	13 24.1	3 5.6	35 64.8	5 9.3
	小学3年生	100 100.0	17 17.0	1 1.0	15 15.0	3 3.0	74 74.0	13 13.0
	小学4年生	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	小学5年生	56 100.0	17 30.4	0 0.0	3 5.4	8 14.3	41 73.2	2 3.6
	小学6年生	119 100.0	29 24.4	5 4.2	11 9.2	22 18.5	78 65.5	5 4.2
	中学1年生	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中学2年生	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中学3年生	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
過去の経験	今回が初めて	218 100.0	59 27.1	3 1.4	26 11.9	19 8.7	148 67.9	21 9.6
	1回したことがある	56 100.0	12 21.4	4 7.1	8 14.3	10 17.9	37 66.1	3 5.4
	2回したことがある	29 100.0	8 27.6	1 3.4	2 6.9	4 13.8	21 72.4	0 0.0
	3～4回したことがある	14 100.0	1 7.1	0 0.0	3 21.4	1 7.1	11 78.6	1 7.1
	5回以上したことがある	8 100.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	7 87.5	0 0.0

過去の経験　過去のアウトリーチの参加経験　問4

児童生徒の過去のアウトリーチによる授業の経験は、「今回が初めて」が66.3%で、「1回したことがある」17.0%、「2回したことがある」8.8%、「3～4回したことがある」4.3%、「5回以上したことがある」2.4%となっており、過去に経験したことのある割合は32.5%となっている。
調査館全体との比較では、とよはし芸術劇場の方が「今回が初めて」が多く、全体的に経験回数が少なくなっている。



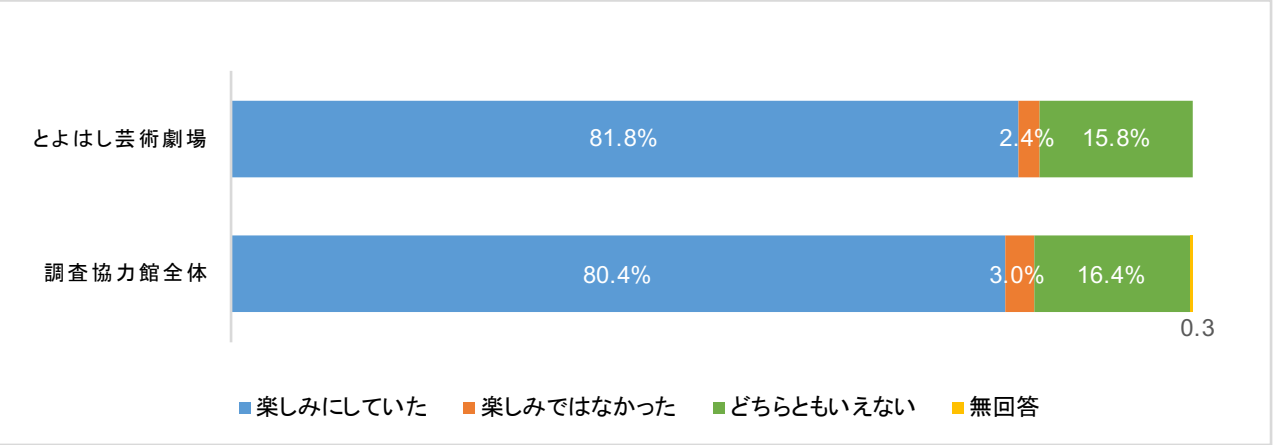
		合計	問4.今までに今回の時間と同じように芸術家が学校に来て一緒に音楽や演劇やダンスをしたこ					
			今回が初めて	1回したことがある	2回したことがある	3～4回したことがある	5回以上したことがある	無回答
	とよはし芸術劇場	329	218	56	29	14	8	4
		100.0	66.3	17.0	8.8	4.3	2.4	1.2
	調査協力館全体	1,590	753	317	175	240	86	19
		100.0	47.4	19.9	11.0	15.1	5.4	1.2
分野	音楽	44	34	5	2	0	2	1
		100.0	77.3	11.4	4.5	0.0	4.5	2.3
	ダンス	154	133	13	3	1	2	2
		100.0	86.4	8.4	1.9	0.6	1.3	1.3
	演劇	131	51	38	24	13	4	1
		100.0	38.9	29.0	18.3	9.9	3.1	0.8

過去の経験　過去のアウトリーチの参加経験　問4

		合計	問4.今までに今回の時間と同じように芸術家が学校に来て一緒に音楽や演劇やダンスをしたことはありましたか。					
			今回が初めて	1回したことがある	2回したことがある	3～4回したことがある	5回以上したことがある	無回答
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	32	2	1	0	1	1
		100.0	86.5	5.4	2.7	0.0	2.7	2.7
	20～29人	123	72	28	12	5	3	3
		100.0	58.5	22.8	9.8	4.1	2.4	2.4
	30～39人	95	78	7	3	5	2	0
		100.0	82.1	7.4	3.2	5.3	2.1	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	36	19	13	4	2	0
		100.0	48.6	25.7	17.6	5.4	2.7	0.0
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	203	37	18	5	6	3
		100.0	74.6	13.6	6.6	1.8	2.2	1.1
	2～3時間未満	57	15	19	11	9	2	1
		100.0	26.3	33.3	19.3	15.8	3.5	1.8
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	38	11	2	1	1	1
		100.0	70.4	20.4	3.7	1.9	1.9	1.9
	小学3年生	100	95	2	1	0	1	1
		100.0	95.0	2.0	1.0	0.0	1.0	1.0
	小学4年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	34	11	4	5	2	0
		100.0	60.7	19.6	7.1	8.9	3.6	0.0
	小学6年生	119	51	32	22	8	4	2
		100.0	42.9	26.9	18.5	6.7	3.4	1.7
	中学1年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	218	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1回したことがある	56	0	56	0	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2回したことがある	29	0	0	29	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	3～4回したことがある	14	0	0	0	14	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	5回以上したことがある	8	0	0	0	0	8	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

事前の期待　プログラム実施前の期待の度合い　問5

「今回の時間を、前から楽しみにしていましたか」という質問に対し、「楽しみにしていた」という回答は81.8%、「楽しみではなかった」は2.4%、「どちらともいえない」が15.8%であり、8割以上の児童生徒がアウトリーチの授業を楽しみしていることが分かった。
調査協力館全体でも、同じように8割以上の児童生徒が楽しみにしている。



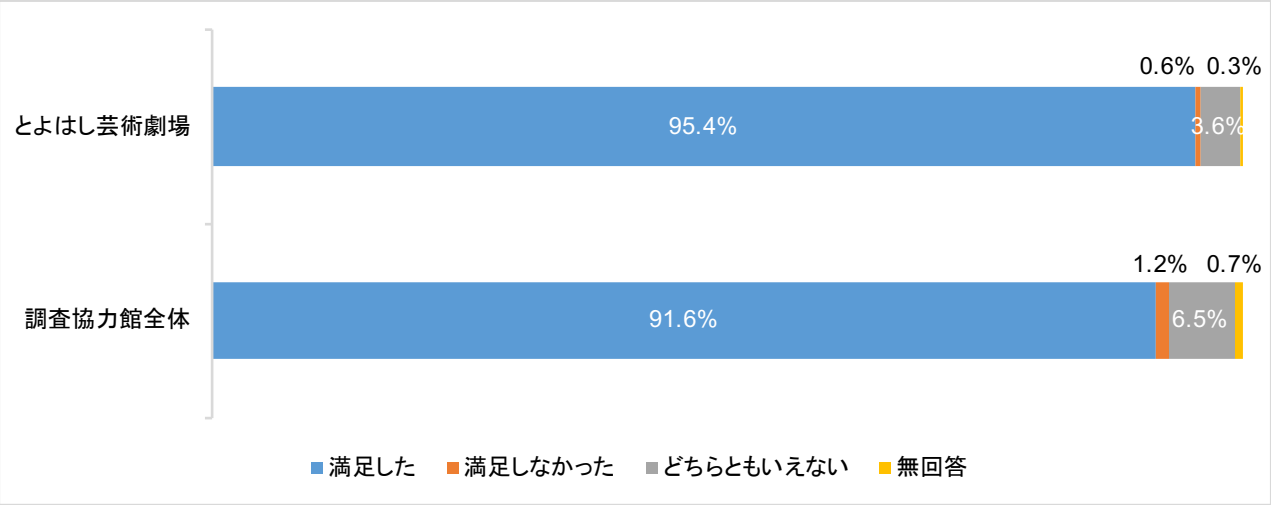
		合計	問5.今回の時間を前から楽しみにしていましたか。			
			楽しみにしていた	楽しみではなかった	どちらともいえない	無回答
	とよはし芸術劇場	329	269	8	52	0
		100.0	81.8	2.4	15.8	0.0
	調査協力館全体	1,590	1279	47	260	4
		100.0	80.4	3.0	16.4	0.3
分野	音楽	44	38	0	6	0
		100.0	86.4	0.0	13.6	0.0
	ダンス	154	133	4	17	0
		100.0	86.4	2.6	11.0	0.0
	演劇	131	98	4	29	0
		100.0	74.8	3.1	22.1	0.0
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	25	3	9	0
		100.0	67.6	8.1	24.3	0.0
	20～29人	123	110	0	13	0
		100.0	89.4	0.0	10.6	0.0
	30～39人	95	81	2	12	0
		100.0	85.3	2.1	12.6	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	53	3	18	0
		100.0	71.6	4.1	24.3	0.0

事前の期待　プログラム実施前の期待の度合い　問5

		合計	問5.今回の時間を前から楽しみにしていましたか。			
			楽しみにしていた	楽しみではなかった	どちらともいえない	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	224	7	41	0
		100.0	82.4	2.6	15.1	0.0
	2～3時間未満	57	45	1	11	0
		100.0	78.9	1.8	19.3	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	50	0	4	0
		100.0	92.6	0.0	7.4	0.0
	小学3年生	100	83	4	13	0
		100.0	83.0	4.0	13.0	0.0
	小学4年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	46	1	9	0
		100.0	82.1	1.8	16.1	0.0
	小学6年生	119	90	3	26	0
		100.0	75.6	2.5	21.8	0.0
	中学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	180	4	34	0
		100.0	82.6	1.8	15.6	0.0
	1回したことがある	56	49	2	5	0
		100.0	87.5	3.6	8.9	0.0
	2回したことがある	29	22	2	5	0
		100.0	75.9	6.9	17.2	0.0
	3～4回したことがある	14	8	0	6	0
		100.0	57.1	0.0	42.9	0.0
	5回以上したことがある	8	8	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

事後の評価　プログラム参加後の満足の度合い　問6

「今回の時間に参加してみて、どう感じましたか」という質問に、「満足した」は95.4%、「満足しなかった」0.6%、「どちらともいえない」3.6%で、95%以上の児童生徒が満足している。一つ前の設問の事前に「楽しみにしていた」回答の81.8%と比較すると、事前の期待よりも、参加後に満足した割合の方が高いことがわかる。
ジャンル別で見ると、「演劇」「ダンス」では「満足した」がそれぞれ96.1%。96.2%であるのに対し、「音楽」は90.9%と満足した割合が若干低くなっている。
調査協力館全体では「満足した」が91.6%で、若干ではあるが、とよはし芸術劇場の方が満足度が高くなっている。



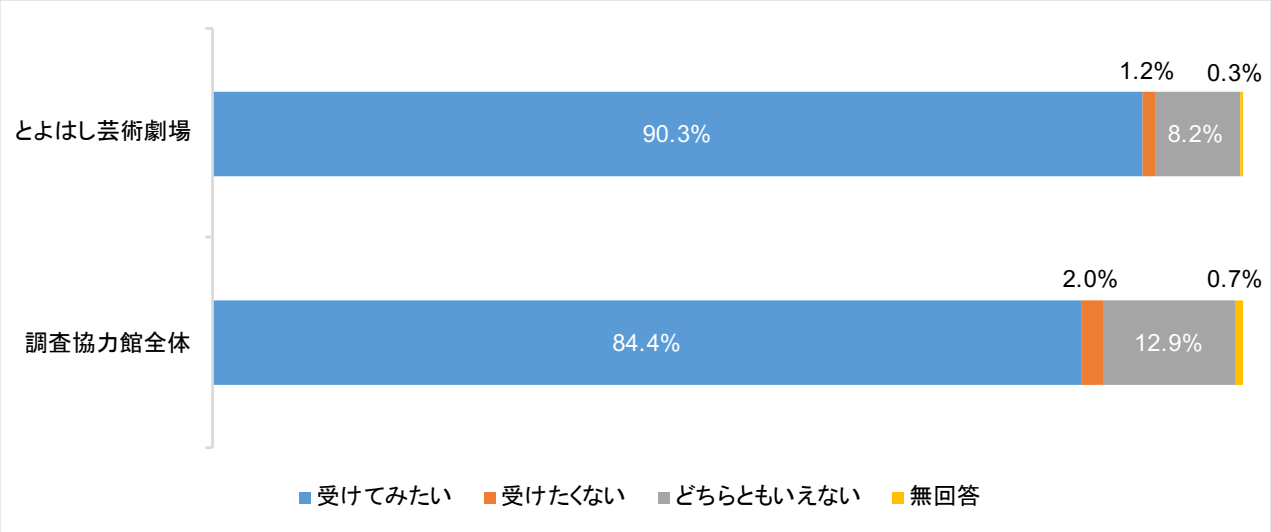
		合計	問6.今回の時間に参加してみて、どう感じましたか。			
			満足した	満足しなかった	どちらともいえない	無回答
	とよはし芸術劇場	329	314	2	12	1
		100.0	95.4	0.6	3.6	0.3
	調査協力館全体	1,590	1457	19	103	11
		100.0	91.6	1.2	6.5	0.7
分野	音楽	44	40	1	3	0
		100.0	90.9	2.3	6.8	0.0
	ダンス	154	148	0	5	1
		100.0	96.1	0.0	3.2	0.6
	演劇	131	126	1	4	0
		100.0	96.2	0.8	3.1	0.0
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	36	0	1	0
		100.0	97.3	0.0	2.7	0.0
	20～29人	123	117	1	4	1
		100.0	95.1	0.8	3.3	0.8
	30～39人	95	91	0	4	0
		100.0	95.8	0.0	4.2	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	70	1	3	0
		100.0	94.6	1.4	4.1	0.0

事後の評価　プログラム参加後の満足の度合い　問6

		合計	問6.今回の時間に参加してみて、どう感じましたか。			
			満足した	満足しなかった	どちらともいえない	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	258	2	11	1
		100.0	94.9	0.7	4.0	0.4
	2～3時間未満	57	56	0	1	0
		100.0	98.2	0.0	1.8	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	52	0	1	1
		100.0	96.3	0.0	1.9	1.9
	小学3年生	100	96	0	4	0
		100.0	96.0	0.0	4.0	0.0
	小学4年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	54	0	2	0
		100.0	96.4	0.0	3.6	0.0
	小学6年生	119	112	2	5	0
		100.0	94.1	1.7	4.2	0.0
	中学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	208	1	9	0
		100.0	95.4	0.5	4.1	0.0
	1回したことがある	56	55	0	1	0
		100.0	98.2	0.0	1.8	0.0
	2回したことがある	29	27	1	1	0
		100.0	93.1	3.4	3.4	0.0
	3～4回したことがある	14	13	0	1	0
		100.0	92.9	0.0	7.1	0.0
	5回以上したことがある	8	8	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

継続の要望　プログラムの継続の要望　問7

「今回のような時間を、これからも受けてみたいと思いますか」という質問に対し、「受けてみたい」という回答は90.3%、「受けたくない」1.2%、「どちらともいえない」8.2%であり、9割以上の児童生徒が継続的な参加を望んでいる。
調査協力館全体でも「受けてみたい」が84.4%と、大半が継続的な参加を望んでいるが、その割合はとよはし芸術劇場の方が高い。

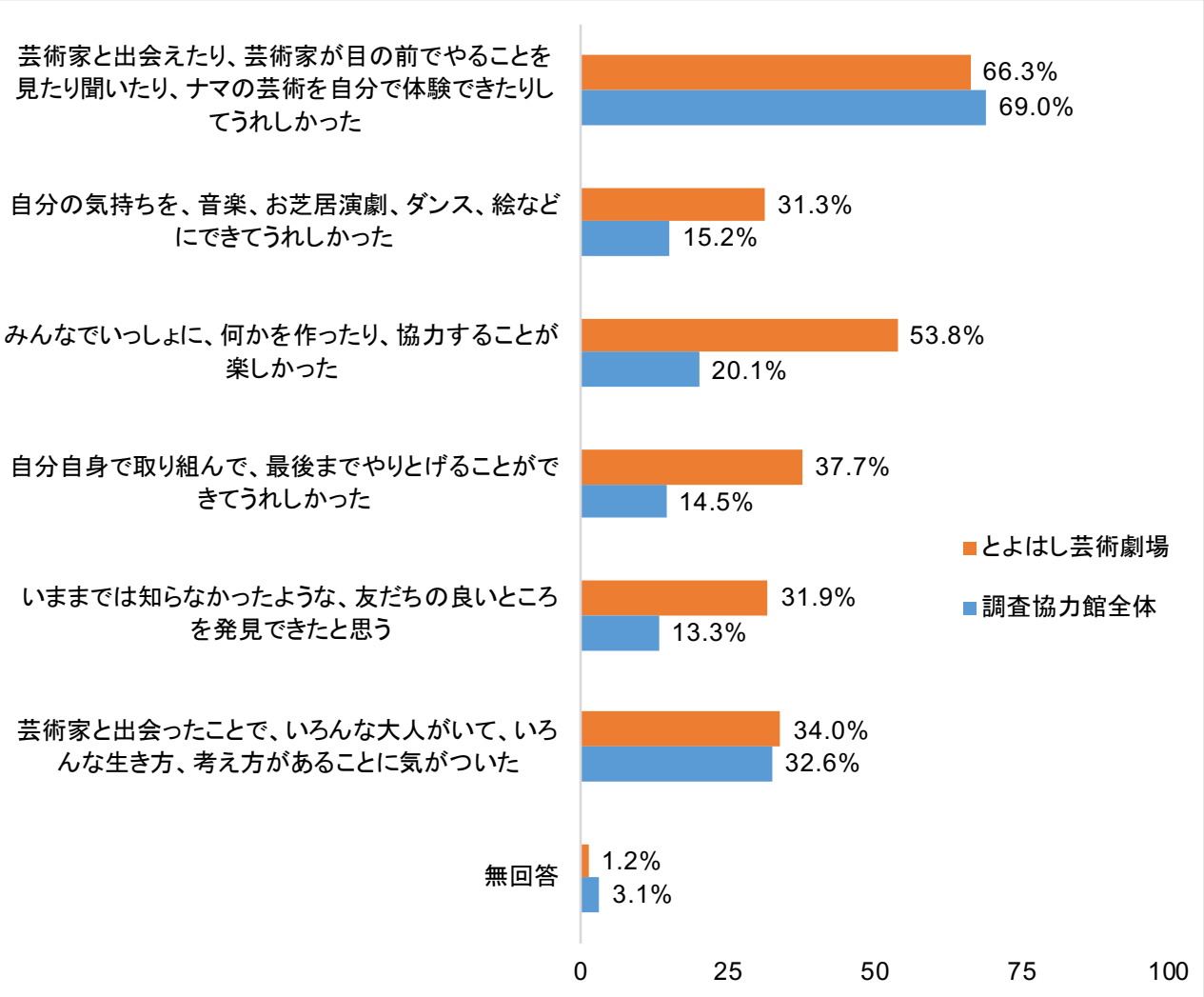


		合計	問7.今回のような時間を、これからもまた受けてみたいと思いますか。			
			受けてみたい	受けたくない	どちらともいえない	無回答
	とよはし芸術劇場	329	297	4	27	1
		100.0	90.3	1.2	8.2	0.3
	調査協力館全体	1,590	1342	32	205	11
		100.0	84.4	2.0	12.9	0.7
分野	音楽	44	42	1	1	0
		100.0	95.5	2.3	2.3	0.0
	ダンス	154	140	2	12	0
		100.0	90.9	1.3	7.8	0.0
	演劇	131	115	1	14	1
		100.0	87.8	0.8	10.7	0.8
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	35	0	2	0
		100.0	94.6	0.0	5.4	0.0
	20～29人	123	113	2	8	0
		100.0	91.9	1.6	6.5	0.0
	30～39人	95	85	1	9	0
		100.0	89.5	1.1	9.5	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	64	1	8	1
		100.0	86.5	1.4	10.8	1.4

		合計	問7.今回のような時間を、これからもまた受けてみたいと思いますか。			
			受けてみたい	受けたくない	どちらともいえない	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	246	4	21	1
		100.0	90.4	1.5	7.7	0.4
	2～3時間未満	57	51	0	6	0
		100.0	89.5	0.0	10.5	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	49	1	4	0
		100.0	90.7	1.9	7.4	0.0
	小学3年生	100	91	1	8	0
		100.0	91.0	1.0	8.0	0.0
	小学4年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	53	0	3	0
		100.0	94.6	0.0	5.4	0.0
	小学6年生	119	104	2	12	1
		100.0	87.4	1.7	10.1	0.8
	中学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	194	3	21	0
		100.0	89.0	1.4	9.6	0.0
	1回したことがある	56	54	0	2	0
		100.0	96.4	0.0	3.6	0.0
	2回したことがある	29	27	1	1	0
		100.0	93.1	3.4	3.4	0.0
	3～4回したことがある	14	10	0	3	1
		100.0	71.4	0.0	21.4	7.1
	5回以上したことがある	8	8	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

授業の効果　プログラムに参加した感想・印象　問8

プログラムに参加した児童生徒の鑑賞や印象で最も多かった回答は「芸術家と出会えたり、芸術家が目の前でやることを見たり聞いたり、ナマの芸術を自分で体験できたりしてうれしかった」の66.3%、次いで「みんなでいっしょに、何かを作ったり、協力することが楽しかった」53.8%、「自分自身で取り組んで、最後までやりとげることができてうれしかった」37.7%となっている。
調査協力館全体の回答と比較すると、「芸術家と出会えたり、芸術家が目の前でやることを見たり聞いたり、ナマの芸術を自分で体験できたりしてうれしかった」以外のすべての項目で、とよはし芸術劇場の回答割合が高くなっており、「みんなでいっしょに、何かをつくったり、協力したりすることが楽しかった」、「自分自身で取り組んで、最後までやりとげることができてうれしかった」と感じた児童生徒が多かったのは、演劇やダンスに力を入れているとよはし芸術劇場のアウトリーチの特性が表れた可能性がある。

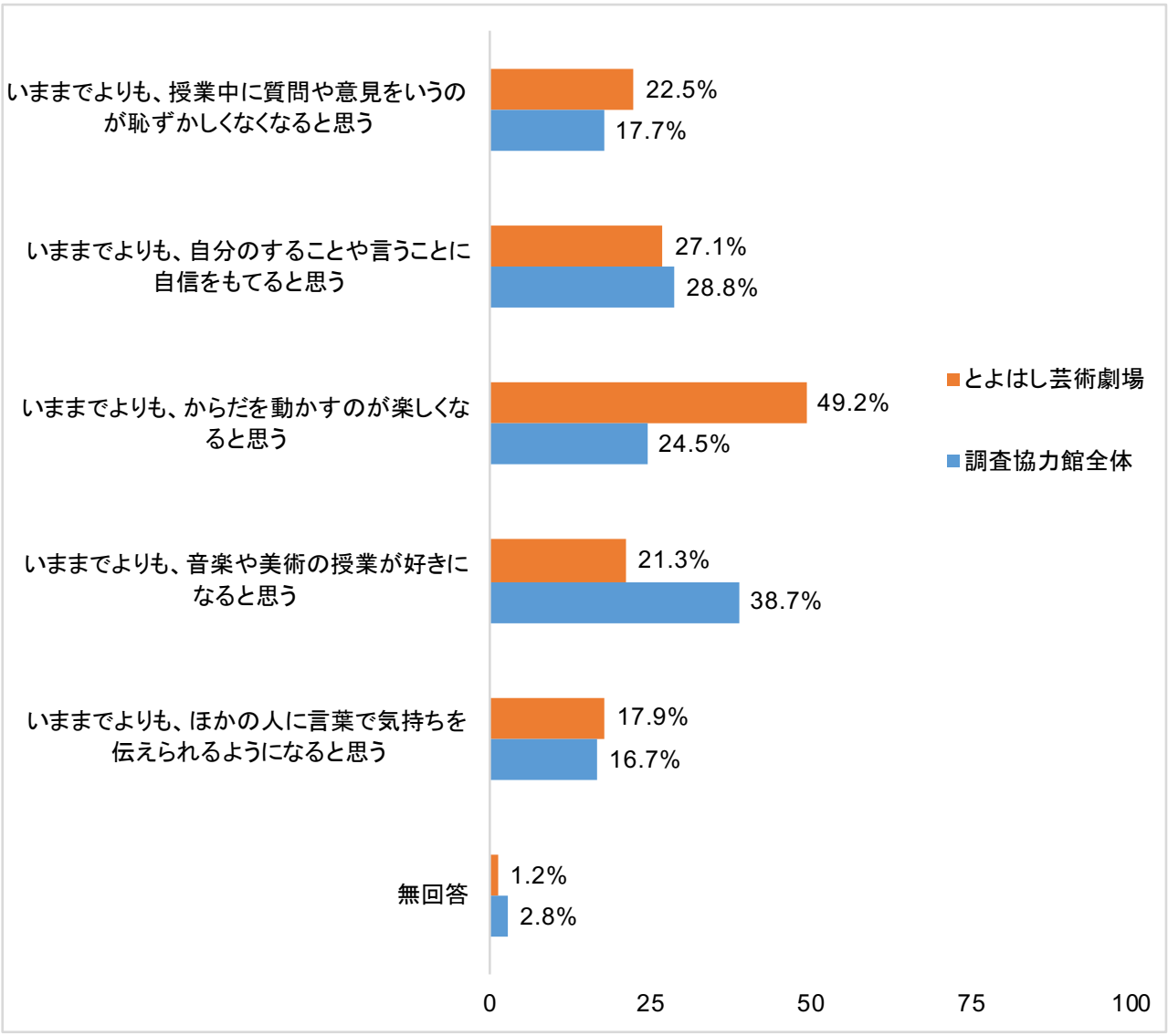


	合計	問8.今回の時間を受けてみて、どのように感じましたか。						
		芸術家と出会えたり、芸術家が目の前でやることを見たり聞いたり、ナマの芸術を自分で体験できたりしてうれしかっ	自分の気持ちを、音楽、お芝居演劇、ダンス、絵などにできてうれしかった	みんなでいっしょに、何かを作ったり、協力することが楽しかった	自分自身で取り組んで、最後までやりとげることができてうれしかった	いままでは知らなかったような、友だちの良いところを発見できたと思う	芸術家と出会ったことで、いろんな大人がいて、いろんな生き方、考え方があることに気がついた	無回答
とよはし芸術劇場	329	218	103	177	124	105	112	4
	100.0	66.3	31.3	53.8	37.7	31.9	34.0	1.2
調査協力館全体	1,590	1097	241	320	230	211	518	50
	100.0	69.0	15.2	20.1	14.5	13.3	32.6	3.1

		合計	問8.今回の時間を受けてみて、どのように感じましたか。						
			芸術家と出会えたり、芸術家が目の前でやることを見たり聞いたり、ナマの芸術を自分で体験できたりしてうれしかっ	自分の気持ちを、音楽、お芝居演劇、ダンス、絵などにできてうれしかった	みんなでいっしょに、何かを作ったり、協力することが楽しかった	自分自身で取り組んで、最後までやりとげることができてうれしかった	いままでは知らなかったような、友だちの良いところを発見できたと思う	芸術家と出会ったことで、いろんな大人がいて、いろんな生き方、考え方があることに気がついた	無回答
分野	音楽	44	30	16	22	17	5	14	0
		100.0	68.2	36.4	50.0	38.6	11.4	31.8	0.0
	ダンス	154	114	62	86	70	81	71	4
		100.0	74.0	40.3	55.8	45.5	52.6	46.1	2.6
	演劇	131	74	25	69	37	19	27	0
		100.0	56.5	19.1	52.7	28.2	14.5	20.6	0.0
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	22	13	13	6	10	10	2
		100.0	59.5	35.1	35.1	16.2	27.0	27.0	5.4
	20～29人	123	83	47	72	59	45	45	1
		100.0	67.5	38.2	58.5	48.0	36.6	36.6	0.8
	30～39人	95	67	33	65	39	37	38	1
		100.0	70.5	34.7	68.4	41.1	38.9	40.0	1.1
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	46	10	27	20	13	19	0
		100.0	62.2	13.5	36.5	27.0	17.6	25.7	0.0
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	190	88	135	107	99	104	4
		100.0	69.9	32.4	49.6	39.3	36.4	38.2	1.5
	2～3時間未満	57	28	15	42	17	6	8	0
		100.0	49.1	26.3	73.7	29.8	10.5	14.0	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	42	24	30	32	39	30	1
		100.0	77.8	44.4	55.6	59.3	72.2	55.6	1.9
	小学3年生	100	72	38	56	38	42	41	3
		100.0	72.0	38.0	56.0	38.0	42.0	41.0	3.0
	小学4年生	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	36	18	36	20	7	16	0
		100.0	64.3	32.1	64.3	35.7	12.5	28.6	0.0
	小学6年生	119	68	23	55	34	17	25	0
		100.0	57.1	19.3	46.2	28.6	14.3	21.0	0.0
	中学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	154	78	115	87	84	93	3
		100.0	70.6	35.8	52.8	39.9	38.5	42.7	1.4
	1回したことがある	56	38	12	33	17	15	14	0
		100.0	67.9	21.4	58.9	30.4	26.8	25.0	0.0
	2回したことがある	29	14	6	15	12	2	3	0
		100.0	48.3	20.7	51.7	41.4	6.9	10.3	0.0
	3～4回したことがある	14	6	3	10	5	3	1	0
		100.0	42.9	21.4	71.4	35.7	21.4	7.1	0.0
	5回以上したことがある	8	4	4	3	2	1	1	0
		100.0	50.0	50.0	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0

授業の効果　授業を継続した場合に期待できる具体的な効果　問9

「今回のような時間を続けると、どのようになると思いますか」という質問に対し、最も多かった回答は「いままでよりも、からだを動かすのが楽しくなると思う」の49.2%、次いで「いままでよりも、自分のすることや言うことに自信をもてると思う」27.1%、「いままでよりも、授業中に質問や意見をいうのが恥ずかしくなくなると思う」22.5%と続く。調査協力館全体でもっとも多かった回答は「いままでよりも、音楽や美術の授業が好きになると思う」の38.7%であり、とよはし芸術劇場の回答と比較すると、実施分野の違い（とよはし芸術劇場は「ダンス」が46.8%で最多、調査協力館全体は「音楽」が59.5%で最多）が、そのまま反映された形となっている。

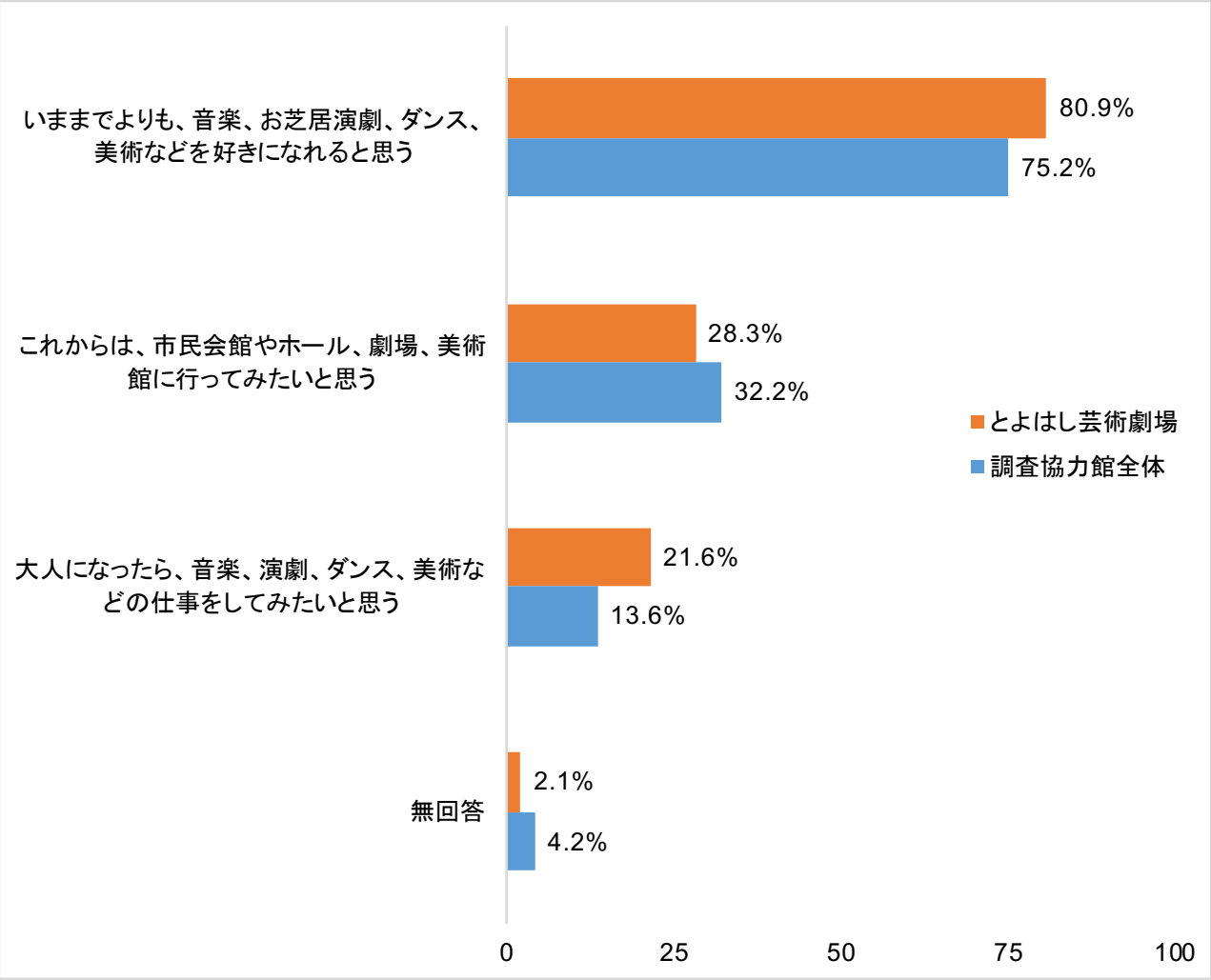


		合計	問9.今回のような時間を続けると、どのようになると思いますか。					
			いままでよりも、授業中に質問や意見をいうのが恥ずかしくなくなると思う	いままでよりも、自分のすることや言うことに自信をもてると思う	いままでよりも、からだを動かすのが楽しくなると思う	いままでよりも、音楽や美術の授業が好きになると思う	いままでよりも、ほかの人に言葉で気持ちを伝えられるようになると思う	無回答
	とよはし芸術劇場	329	74	89	162	70	59	4
		100.0	22.5	27.1	49.2	21.3	17.9	1.2
	調査協力館全体	1,590	281	458	389	616	266	44
		100.0	17.7	28.8	24.5	38.7	16.7	2.8

		合計	問9.今回のような時間を続けると、どのようになると思いますか。					
			いままでよりも、授業中に質問や意見をいうのが恥ずかしくなくなると思う	いままでよりも、自分のすることや言うことに自信をもてると思う	いままでよりも、からだを動かすのが楽しくなると思う	いままでよりも、音楽や美術の授業が好きになると思う	いままでよりも、ほかの人に言葉で気持ちを伝えられるようになると思う	無回答
分野	音楽	44	8	9	11	25	9	2
		100.0	18.2	20.5	25.0	56.8	20.5	4.5
	ダンス	154	44	35	88	28	23	2
		100.0	28.6	22.7	57.1	18.2	14.9	1.3
	演劇	131	22	45	63	17	27	0
		100.0	16.8	34.4	48.1	13.0	20.6	0.0
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	5	3	26	3	4	0
		100.0	13.5	8.1	70.3	8.1	10.8	0.0
	20～29人	123	43	38	55	42	26	3
		100.0	35.0	30.9	44.7	34.1	21.1	2.4
	30～39人	95	18	22	49	16	15	1
		100.0	18.9	23.2	51.6	16.8	15.8	1.1
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	8	26	32	9	14	0
		100.0	10.8	35.1	43.2	12.2	18.9	0.0
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	60	70	131	62	46	4
		100.0	22.1	25.7	48.2	22.8	16.9	1.5
	2～3時間未満	57	14	19	31	8	13	0
		100.0	24.6	33.3	54.4	14.0	22.8	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	28	21	31	16	13	1
		100.0	51.9	38.9	57.4	29.6	24.1	1.9
	小学3年生	100	16	14	57	12	10	1
		100.0	16.0	14.0	57.0	12.0	10.0	1.0
	小学4年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	8	18	27	24	15	0
		100.0	14.3	32.1	48.2	42.9	26.8	0.0
	小学6年生	119	22	36	47	18	21	2
		100.0	18.5	30.3	39.5	15.1	17.6	1.7
	中学1年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	55	54	109	56	42	3
		100.0	25.2	24.8	50.0	25.7	19.3	1.4
	1回したことがある	56	10	15	28	8	8	0
		100.0	17.9	26.8	50.0	14.3	14.3	0.0
	2回したことがある	29	3	11	15	4	6	0
		100.0	10.3	37.9	51.7	13.8	20.7	0.0
	3～4回したことがある	14	4	5	5	1	3	0
		100.0	28.6	35.7	35.7	7.1	21.4	0.0
	5回以上したことがある	8	1	2	4	1	0	0
		100.0	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0

授業の効果　プログラムの継続によって期待される文化・芸術活動への影響　問11

「今回のような時間を続けると、音楽や美術などの活動について、どのように感じると思いますか」という質問に対して、最も多かった回答は「いままでよりも、音楽、お芝居演劇、ダンス、美術などを好きになれると思う」の80.9%だった。「これからは、市民会館やホール、劇場、美術館に行ってみたいと思う」、「大人になったら、音楽、演劇、ダンス、美術などの仕事をしてみたいと思う」にも、それぞれ28.3%、21.6%の児童生徒が回答している。
調査協力館全体でも同じような傾向が見られるが、「大人になったら、音楽、演劇、ダンス、美術などの仕事をしてみたいと思う」への回答は、調査協力館全体の13.6%に対して、とよはし芸術劇場は21.6%と、回答割合がかなり高くなっている。

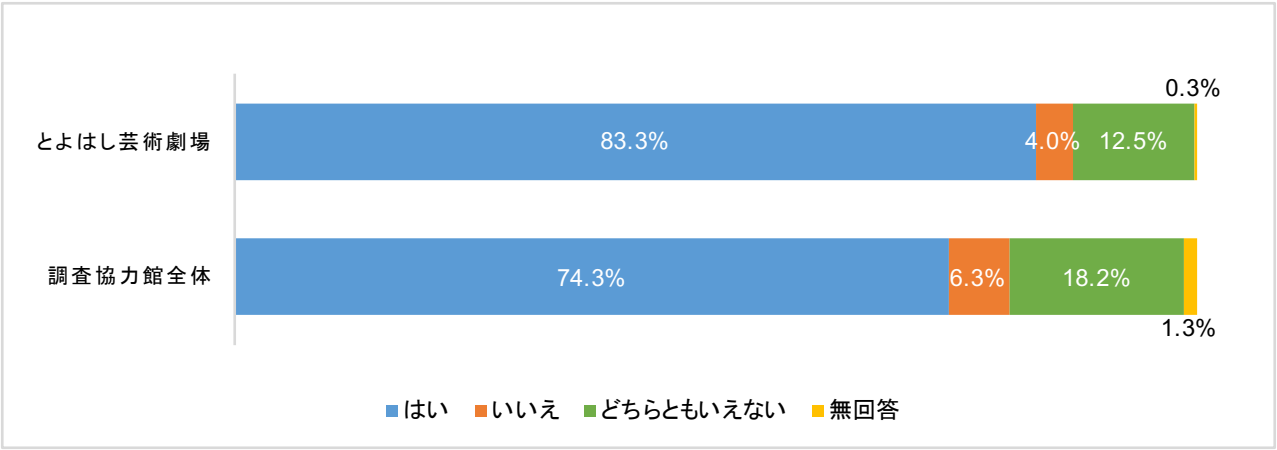


		合計	問10.今回のような時間を続けると、音楽や美術などの活動について、どのように感じると思いますか。			
			いままでよりも、音楽、お芝居演劇、ダンス、美術などを好きになれると思う	これからは、市民会館やホール、劇場、美術館に行ってみたいと思う	大人になったら、音楽、演劇、ダンス、美術などの仕事をしてみたいと思う	無回答
	とよはし芸術劇場	329	266	93	71	7
		100.0	80.9	28.3	21.6	2.1
	調査協力館全体	1,590	1,195	512	217	67
		100.0	75.2	32.2	13.6	4.2

		合計	問10.今回のような時間を続けると、音楽や美術などの活動について、どのように感じると思いますか。			
			いままでよりも、音楽、お芝居演劇、ダンス、美術などを好きになれると思う	これからは、市民会館やホール、劇場、美術館に行ってみたいと思う	大人になったら、音楽、演劇、ダンス、美術などの仕事をしてみたいと思う	無回答
分野	音楽	44	35	13	9	3
		100.0	79.5	29.5	20.5	6.8
	ダンス	154	117	56	44	4
		100.0	76.0	36.4	28.6	2.6
	演劇	131	114	24	18	0
		100.0	87.0	18.3	13.7	0.0
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	29	8	5	2
		100.0	78.4	21.6	13.5	5.4
	20～29人	123	98	40	30	4
		100.0	79.7	32.5	24.4	3.3
	30～39人	95	80	31	22	1
		100.0	84.2	32.6	23.2	1.1
	40～49人	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	59	14	14	0
		100.0	79.7	18.9	18.9	0.0
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	211	83	67	7
		100.0	77.6	30.5	24.6	2.6
	2～3時間未満	57	55	10	4	0
		100.0	96.5	17.5	7.0	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	39	22	19	1
		100.0	72.2	40.7	35.2	1.9
	小学3年生	100	78	34	25	3
		100.0	78.0	34.0	25.0	3.0
	小学4年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	52	13	8	0
		100.0	92.9	23.2	14.3	0.0
	小学6年生	119	97	24	19	3
		100.0	81.5	20.2	16.0	2.5
	中学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	171	70	55	6
		100.0	78.4	32.1	25.2	2.8
	1回したことがある	56	49	15	12	0
		100.0	87.5	26.8	21.4	0.0
	2回したことがある	29	26	2	1	0
		100.0	89.7	6.9	3.4	0.0
	3～4回したことがある	14	10	4	1	0
		100.0	71.4	28.6	7.1	0.0
	5回以上したことがある	8	7	2	1	0
		100.0	87.5	25.0	12.5	0.0

授業の効果　プログラムの継続によって期待される学校生活への影響　問11

「今回のような時間を続けたり、増えたりすると、いままでよりも、学校に行くのが楽しくなると思いますか」という質問に対し、「はい」という回答は83.3%、「いいえ」は4.0%、「どちらともいえない」が12.5%であった。
調査協力館全体では「はい」の回答が74.3%であり、とよはし芸術劇場の方が、アウトリーチによって学校に行くのが楽しくなると回答した児童生徒の割合が高くなっている。



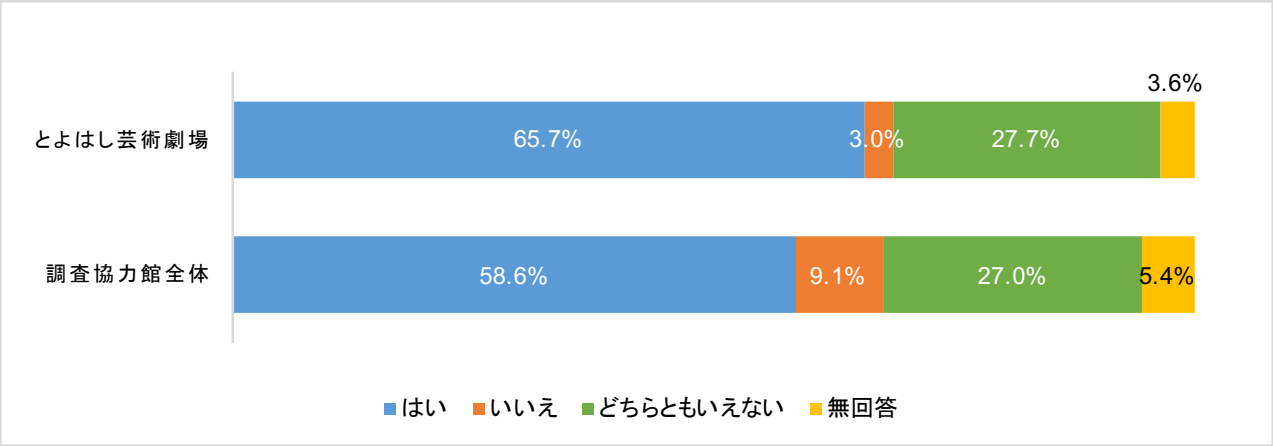
		合計	問11.今回のような時間を続けたり、増えたりすると、いままでよりも、学校に行くのが楽しくなると思いますか。			
			はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
	とよはし芸術劇場	329	274	13	41	1
		100.0	83.3	4.0	12.5	0.3
	調査協力館全体	1,590	1181	100	289	20
		100.0	74.3	6.3	18.2	1.3
分野	音楽	44	32	6	6	0
		100.0	72.7	13.6	13.6	0.0
	ダンス	154	135	5	13	1
		100.0	87.7	3.2	8.4	0.6
	演劇	131	107	2	22	0
		100.0	81.7	1.5	16.8	0.0
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	35	1	1	0
		100.0	94.6	2.7	2.7	0.0
	20～29人	123	101	8	13	1
		100.0	82.1	6.5	10.6	0.8
	30～39人	95	81	3	11	0
		100.0	85.3	3.2	11.6	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	57	1	16	0
		100.0	77.0	1.4	21.6	0.0

授業の効果　プログラムの継続によって期待される学校生活への影響　問11

		合計	問11.今回のような時間を続けたり、増えたりすると、いままでよりも、学校に行くのが楽しくなると思いますか。			
			はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	224	12	35	1
		100.0	82.4	4.4	12.9	0.4
	2～3時間未満	57	50	1	6	0
		100.0	87.7	1.8	10.5	0.0
	3～4時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	47	2	4	1
		100.0	87.0	3.7	7.4	1.9
	小学3年生	100	88	3	9	0
		100.0	88.0	3.0	9.0	0.0
	小学4年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	50	3	3	0
		100.0	89.3	5.4	5.4	0.0
	小学6年生	119	89	5	25	0
		100.0	74.8	4.2	21.0	0.0
	中学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	178	10	30	0
		100.0	81.7	4.6	13.8	0.0
	1回したことがある	56	53	1	2	0
		100.0	94.6	1.8	3.6	0.0
	2回したことがある	29	24	1	4	0
		100.0	82.8	3.4	13.8	0.0
	3～4回したことがある	14	12	0	2	0
		100.0	85.7	0.0	14.3	0.0
	5回以上したことがある	8	5	1	2	0
		100.0	62.5	12.5	25.0	0.0

授業の効果　プログラムの継続によって期待される普段の授業態度への影響　問12

「今回のような時間を続けたり、増えたりすると、いままでよりも、普段の授業にも熱心に取り組めるようになると思いますか」という質問に対し、「はい」という回答は65.7%、「いいえ」は3.0%、「どちらともいえない」が27.7%であった。
調査協力館全体と比較すると、とよはし芸術劇場の方が「はい」の回答割合が高く、「いいえ」の回答割合が低くなっており、児童生徒が普段の授業への効果についてより前向きに捉えていることがわかる。



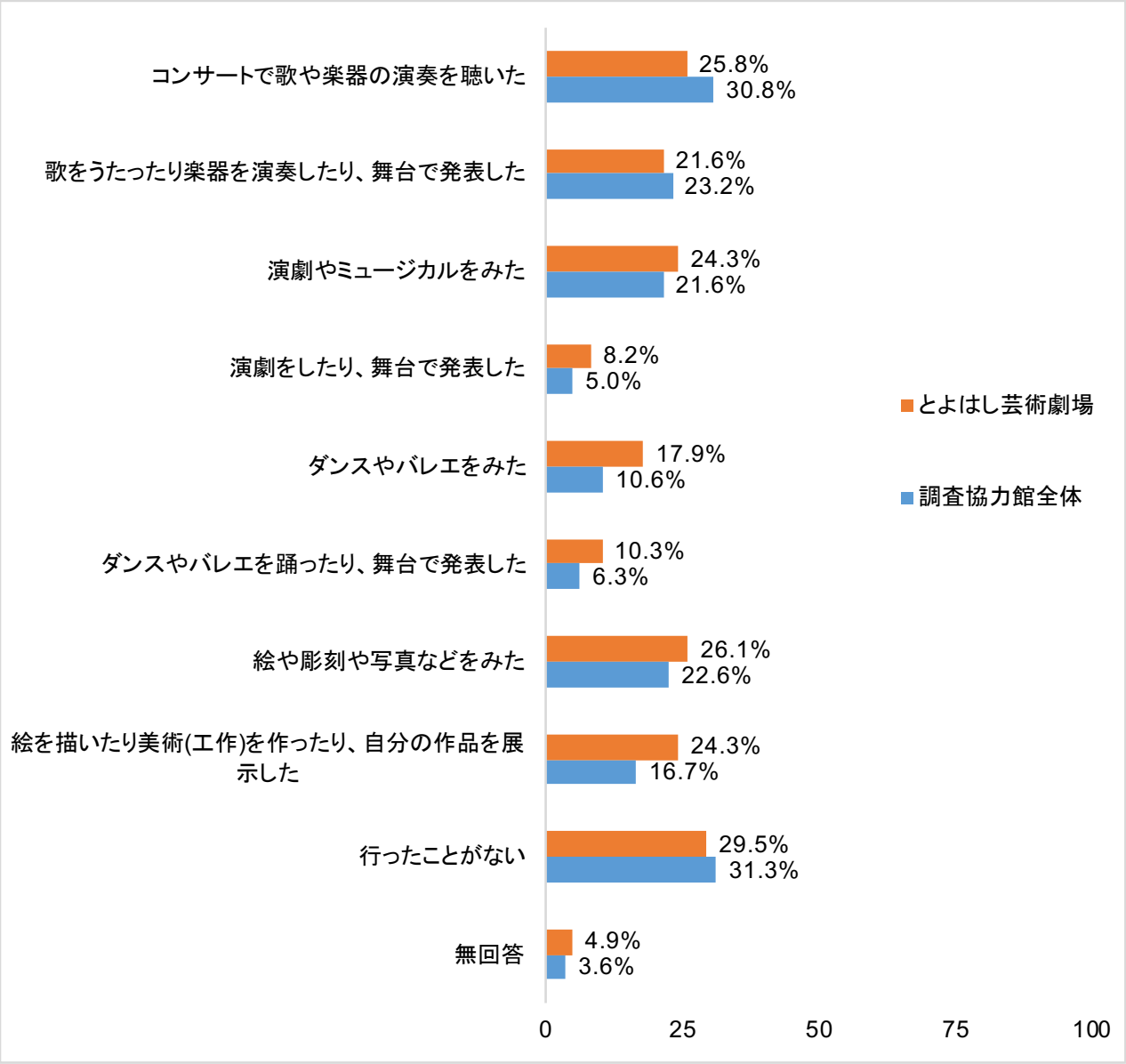
		合計	問12.今回のような時間を続けたり、増えたりすると、いままでよりも、普段の授業にも熱心に取り組めるようになると思いますか。			
			はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
	とよはし芸術劇場	329	216	10	91	12
		100.0	65.7	3.0	27.7	3.6
	調査協力館全体	1,590	931	144	429	86
		100.0	58.6	9.1	27.0	5.4
分野	音楽	44	20	3	19	2
		100.0	45.5	6.8	43.2	4.5
	ダンス	154	115	2	34	3
		100.0	74.7	1.3	22.1	1.9
	演劇	131	81	5	38	7
		100.0	61.8	3.8	29.0	5.3
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	30	1	5	1
		100.0	81.1	2.7	13.5	2.7
	20～29人	123	82	4	31	6
		100.0	66.7	3.3	25.2	4.9
	30～39人	95	64	3	28	0
		100.0	67.4	3.2	29.5	0.0
	40～49人	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	40	2	27	5
		100.0	54.1	2.7	36.5	6.8

授業の効果　プログラムの継続によって期待される普段の授業態度への影響　問12

		合計	問12.今回のような時間を続けたり、増えたりすると、いままでよりも、普段の授業にも熱心に取り組めるようになると思いますか。			
			はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	175	7	80	10
		100.0	64.3	2.6	29.4	3.7
	2～3時間未満	57	41	3	11	2
		100.0	71.9	5.3	19.3	3.5
	3～4時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	46	0	6	2
		100.0	85.2	0.0	11.1	3.7
	小学3年生	100	69	2	28	1
		100.0	69.0	2.0	28.0	1.0
	小学4年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	37	2	17	0
		100.0	66.1	3.6	30.4	0.0
	小学6年生	119	64	6	40	9
		100.0	53.8	5.0	33.6	7.6
	中学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	145	5	59	9
		100.0	66.5	2.3	27.1	4.1
	1回したことがある	56	40	1	13	2
		100.0	71.4	1.8	23.2	3.6
	2回したことがある	29	16	2	11	0
		100.0	55.2	6.9	37.9	0.0
	3～4回したことがある	14	9	2	3	0
		100.0	64.3	14.3	21.4	0.0
	5回以上したことがある	8	5	0	3	0
		100.0	62.5	0.0	37.5	0.0

文化施設における文化･芸術の鑑賞や創造の経験　問13

文化施設での鑑賞や実演の経験について尋ねたところ、「行ったことがない」が29.5%と最も多くなっている。経験のある活動については「絵や彫刻、写真などをみた」26.1%、「コンサートで歌や楽器の演奏を聴いた」25.8%、「演劇やミュージカルをみた」と「絵を描いたり美術（工作）を作ったり、自分の作品を展示した」がともに24.3%となっている。
調査協力館全体と比較すると、とよはし芸術劇場の方が「演劇やミュージカルをみた」「ダンスやバレエをみた」の割合が高くなっており、とよはし芸術劇場の事業や演目が関係している可能性がある。

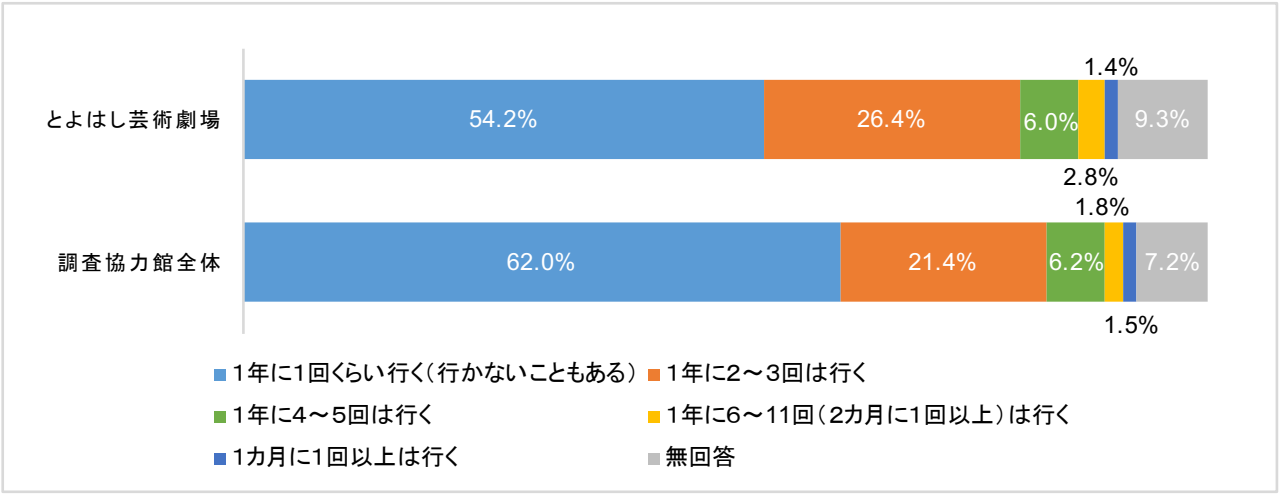


		合計	問13.市民会館やホール、劇場、美術館などで、観たり、聴いたり、参加したことがあるものは、番号を○で囲んでください。									
			コンサートで歌や楽器の演奏を聴いた	歌をうたったり楽器を演奏したり、舞台で発表した	演劇やミュージカルをみた	演劇をしたり、舞台で発表した	ダンスやバレエをみた	ダンスやバレエを踊ったり、舞台で発表した	絵や彫刻や写真などをみた	絵を描いたり美術(工作)を作ったり、自分の作品を展示	行ったことがない	無回答
	とよはし芸術劇場	329	85	71	80	27	59	34	86	80	97	16
		100.0	25.8	21.6	24.3	8.2	17.9	10.3	26.1	24.3	29.5	4.9
	調査協力館全体	1,590	490	369	343	79	168	100	360	265	498	58
		100.0	30.8	23.2	21.6	5.0	10.6	6.3	22.6	16.7	31.3	3.6

		合計	問13.市民会館やホール、劇場、美術館などで、観たり、聴いたり、参加したことがあるものは、番号を○で囲んでください。									
			コンサートで歌や楽器の演奏を聴いた	歌をうたったり楽器を演奏したり、舞台で発表した	演劇やミュージカルをみた	演劇をしたり、舞台で発表した	ダンスやバレエをみた	ダンスやバレエを踊ったり、舞台で発表した	絵や彫刻や写真などをみた	絵を描いたり美術(工作)を作ったり、自分の作品を展示	行ったことがない	無回答
分野	音楽	44	15	12	13	4	12	3	6	10	16	1
		100.0	34.1	27.3	29.5	9.1	27.3	6.8	13.6	22.7	36.4	2.3
	ダンス	154	41	36	35	14	30	19	51	37	37	8
		100.0	26.6	23.4	22.7	9.1	19.5	12.3	33.1	24.0	24.0	5.2
	演劇	131	29	23	32	9	17	12	29	33	44	7
		100.0	22.1	17.6	24.4	6.9	13.0	9.2	22.1	25.2	33.6	5.3
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	7	6	4	3	5	7	7	4	11	4
		100.0	18.9	16.2	10.8	8.1	13.5	18.9	18.9	10.8	29.7	10.8
	20～29人	123	42	33	35	12	24	11	25	32	40	5
		100.0	34.1	26.8	28.5	9.8	19.5	8.9	20.3	26.0	32.5	4.1
	30～39人	95	15	14	15	4	18	8	32	24	30	3
		100.0	15.8	14.7	15.8	4.2	18.9	8.4	33.7	25.3	31.6	3.2
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	21	18	26	8	12	8	22	20	16	4
		100.0	28.4	24.3	35.1	10.8	16.2	10.8	29.7	27.0	21.6	5.4
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	77	66	74	26	54	30	79	67	69	13
		100.0	28.3	24.3	27.2	9.6	19.9	11.0	29.0	24.6	25.4	4.8
	2～3時間未満	57	8	5	6	1	5	4	7	13	28	3
		100.0	14.0	8.8	10.5	1.8	8.8	7.0	12.3	22.8	49.1	5.3
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	24	19	18	8	11	6	16	18	12	2
		100.0	44.4	35.2	33.3	14.8	20.4	11.1	29.6	33.3	22.2	3.7
	小学3年生	100	17	17	17	6	19	13	35	19	25	6
		100.0	17.0	17.0	17.0	6.0	19.0	13.0	35.0	19.0	25.0	6.0
	小学4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	13	11	10	3	11	4	9	13	23	1
		100.0	23.2	19.6	17.9	5.4	19.6	7.1	16.1	23.2	41.1	1.8
	小学6年生	119	31	24	35	10	18	11	26	30	37	7
		100.0	26.1	20.2	29.4	8.4	15.1	9.2	21.8	25.2	31.1	5.9
	中学1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	51	53	47	15	41	19	60	49	66	11
		100.0	23.4	24.3	21.6	6.9	18.8	8.7	27.5	22.5	30.3	5.0
	1回したことがある	56	18	10	17	5	9	7	16	15	15	2
		100.0	32.1	17.9	30.4	8.9	16.1	12.5	28.6	26.8	26.8	3.6
	2回したことがある	29	8	5	9	3	4	1	6	8	6	2
		100.0	27.6	17.2	31.0	10.3	13.8	3.4	20.7	27.6	20.7	6.9
	3～4回したことがある	14	5	2	3	2	2	4	3	5	4	1
		100.0	35.7	14.3	21.4	14.3	14.3	28.6	21.4	35.7	28.6	7.1
	5回以上したことがある	8	3	1	4	2	2	2	1	3	3	0
		100.0	37.5	12.5	50.0	25.0	25.0	25.0	12.5	37.5	37.5	0.0

文化施設　文化施設の来訪頻度　問13-1

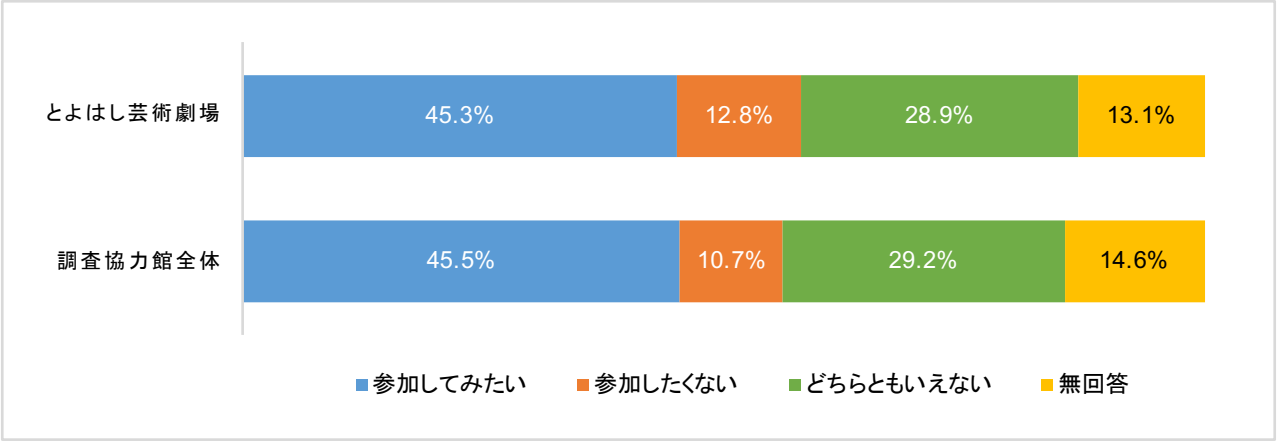
問13の文化施設での鑑賞や実演の経験について「行ったことがない」という回答を除き、何らかの鑑賞や実演の経験のある児童生徒に対して市民会館やホール、劇場、美術館等への来訪頻度を聞いたところ、「1年に1回くらい行く（行かないこともある）」が54.2%、「1年に2～3回は行く」が26.4%、「1年に4～5回は行く」が6.0%であった。調査協力館との比較では、「1年に2～3回は行く」への回答割合が、とよはし芸術劇場の方が若干高くなっている。



		合計	問13-1.市民会館やホール、劇場、美術館などに、どのくらい行きますか。					
			1年に1回くらい行く（行かないこともある）	1年に2～3回は行く	1年に4～5回は行く	1年に6～11回（2カ月に1回以上）は行く	1カ月に1回以上は行く	無回答
	とよはし芸術劇場	216	117	57	13	6	3	20
		100.0	54.2	26.4	6.0	2.8	1.4	9.3
	調査協力館	1,034	641	221	64	19	15	74
		100.0	62.0	21.4	6.2	1.8	1.5	7.2
分野	音楽	27	18	8	0	0	0	1
		100.0	66.7	29.6	0.0	0.0	0.0	3.7
	ダンス	109	52	31	7	2	3	14
		100.0	47.7	28.4	6.4	1.8	2.8	12.8
	演劇	80	47	18	6	4	0	5
		100.0	58.8	22.5	7.5	5.0	0.0	6.3
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	22	14	6	0	1	0	1
		100.0	63.6	27.3	0.0	4.5	0.0	4.5
	20～29人	78	44	18	3	1	0	12
		100.0	56.4	23.1	3.8	1.3	0.0	15.4
	30～39人	62	26	21	7	1	3	4
		100.0	41.9	33.9	11.3	1.6	4.8	6.5
	40～49人	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	54	33	12	3	3	0	3
		100.0	61.1	22.2	5.6	5.6	0.0	5.6

		合計	問13-1.市民会館やホール、劇場、美術館などに、どのくらい行きますか。					
			1年に1回くらい行く（行かないこともある）	1年に2～3回は行く	1年に4～5回は行く	1年に6～11回（2カ月に1回以上）は行く	1カ月に1回以上は行く	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	190	103	51	10	5	3	18
		100.0	54.2	26.8	5.3	2.6	1.6	9.5
	2～3時間未満	26	14	6	3	1	0	2
		100.0	53.8	23.1	11.5	3.8	0.0	7.7
	3～4時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	40	19	9	1	1	0	10
		100.0	47.5	22.5	2.5	2.5	0.0	25.0
	小学3年生	69	33	22	6	1	3	4
		100.0	47.8	31.9	8.7	1.4	4.3	5.8
	小学4年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	32	19	10	1	1	0	1
		100.0	59.4	31.3	3.1	3.1	0.0	3.1
	小学6年生	75	46	16	5	3	0	5
		100.0	61.3	21.3	6.7	4.0	0.0	6.7
	中学1年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	141	76	41	6	1	3	14
		100.0	53.9	29.1	4.3	0.7	2.1	9.9
	1回したことがある	39	19	11	3	1	0	5
		100.0	48.7	28.2	7.7	2.6	0.0	12.8
	2回したことがある	21	15	3	0	2	0	1
		100.0	71.4	14.3	0.0	9.5	0.0	4.8
	3～4回したことがある	9	5	0	2	2	0	0
		100.0	55.6	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0
	5回以上したことがある	5	1	2	2	0	0	0
		100.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0

「今回のような時間を、学校ではなく、市民会館やホール、劇場、美術館などですることがあれば、参加してみたいと思いますか」という質問に対し、「参加してみたい」という回答は45.3%、「参加したくない」は12.8%、「どちらともいえない」が28.9%となった。
調査協力館全体と比較すると、若干の差異は認められるものの、ほぼ同様の回答となっている。



		合計	問14.今回のような時間を、学校ではなく、市民会館やホール、劇場、美術館などですることがあれば、参加してみたいと思いますか。			
			参加してみたい	参加したくない	どちらともいえない	無回答
	とよはし芸術劇場	329	149	42	95	43
		100.0	45.3	12.8	28.9	13.1
	調査協力館全体	1,590	724	170	464	232
		100.0	45.5	10.7	29.2	14.6
分野	音楽	44	15	7	14	8
		100.0	34.1	15.9	31.8	18.2
	ダンス	154	85	18	39	12
		100.0	55.2	11.7	25.3	7.8
	演劇	131	49	17	42	23
		100.0	37.4	13.0	32.1	17.6
参加生徒数	10人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19人	37	22	2	6	7
		100.0	59.5	5.4	16.2	18.9
	20～29人	123	56	15	35	17
		100.0	45.5	12.2	28.5	13.8
	30～39人	95	45	18	29	3
		100.0	47.4	18.9	30.5	3.2
	40～49人	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50人以上	74	26	7	25	16
		100.0	35.1	9.5	33.8	21.6

		合計	問14.今回のような時間を、学校ではなく、市民会館やホール、劇場、美術館などですることがあれば、参加してみたいと思いますか。			
			参加してみたい	参加したくない	どちらともいえない	無回答
プログラム時間数	1時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～2時間未満	272	126	32	78	36
		100.0	46.3	11.8	28.7	13.2
	2～3時間未満	57	23	10	17	7
		100.0	40.4	17.5	29.8	12.3
	3～4時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4～5時間未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学2年生	54	30	4	16	4
		100.0	55.6	7.4	29.6	7.4
	小学3年生	100	55	14	23	8
		100.0	55.0	14.0	23.0	8.0
	小学4年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学5年生	56	23	8	18	7
		100.0	41.1	14.3	32.1	12.5
	小学6年生	119	41	16	38	24
		100.0	34.5	13.4	31.9	20.2
	中学1年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学2年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学3年生	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過去の経験	今回が初めて	218	96	31	62	29
		100.0	44.0	14.2	28.4	13.3
	1回したことがある	56	27	6	15	8
		100.0	48.2	10.7	26.8	14.3
	2回したことがある	29	16	5	7	1
		100.0	55.2	17.2	24.1	3.4
	3～4回したことがある	14	7	0	4	3
		100.0	50.0	0.0	28.6	21.4
	5回以上したことがある	8	2	0	4	2
		100.0	25.0	0.0	50.0	25.0

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT｜芸術文化体験普及事業（「プラットが学校へ」）等

［施設概要］
開館：2013年
運営：（公財）豊橋文化振興財団（指定管理）
施設構成：
主ホール（778席）、アートスペース（266席）、創造活動室A～G、研修室など

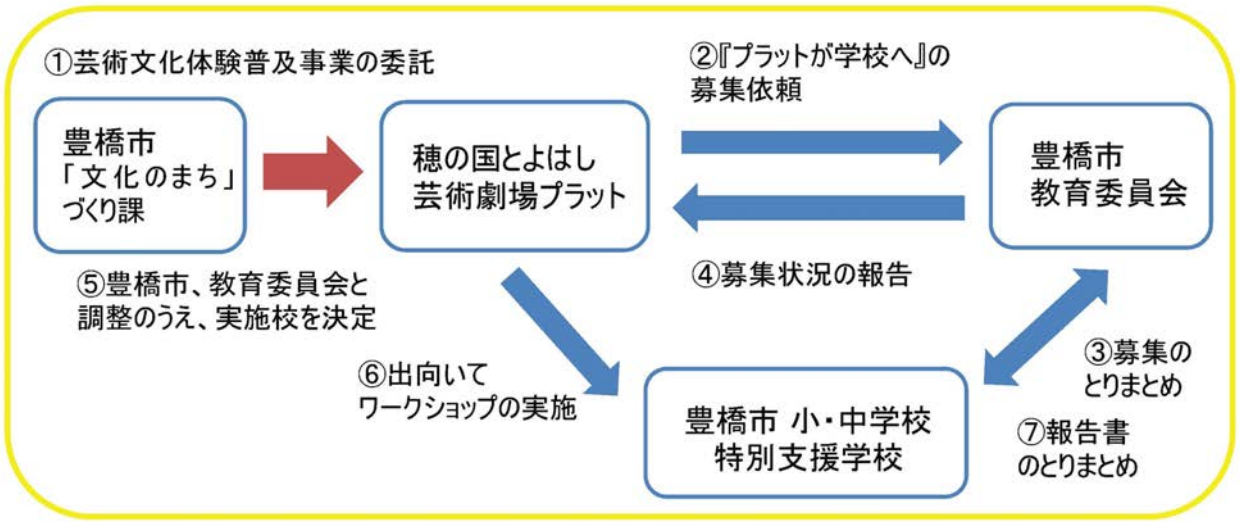
「プラットが学校へ」　進行役：柏木陽（2021年11月）

趣旨・目的	アーティストが学校に出向き、子どもたちと直接触れあう場を設けることで、創造性や子どもたち同士のコミュニケーション能力を育むとともに、豊かな情操を養う機会の拡大を目指す。学校と劇場が連携・協働することで、アートを活用した新しい学びの可能性を探る。
対象	● 小・中学生（特別支援学校・学級含む）
芸術分野	演劇、ダンス、音楽
アーティスト	演劇では柏木陽さんやすずきこーたさんなどの専門分野とファシリテーターの両方で活動するアーティストに依頼。ダンスでは城俊彦さんに依頼することが多く、音楽は棚川寛子さんや野村誠さんなど、作曲家を起用することが多い。
募集方法	前年度の11月に参加希望校調査（第１次）、２月に参加希望校調査（第２次）を行い（希望校調査は豊橋市教育委員会が実施）、4月に決定通知を送付。
実績	開館前の2011年からスタート。開館3年目の15年から市内の全小・中学校・特別支援学校に募集を行うようになり、実施回数や参加者数が急増（最多は17年の43校、108回、3,180名）。新型コロナ禍の20年、21年も継続し、21年は延べ23校で実施。
特徴的な取り組み	● ①新年度のクラスづくりワークショップ、②演劇・ダンス・音楽による表現体験ワークショップ、③授業の成果を演劇形式で学び直すワークショップ、④同一学年による継続的な表現ワークショップ、⑤学芸会・学習発表会に向けたワークショップ、⑥特別支援学校・学級の児童・生徒対象の表現体験ワークショップの６つが基本のプログラムで、１回のワークショップは２時限分（90分）がベースとなっている。 ● 当初は⑤学芸会・学習発表会に向けたワークショップへのニーズが高かったが、学年単位で参加人数が多くなるため、クラス単位で実施ができるワークシ

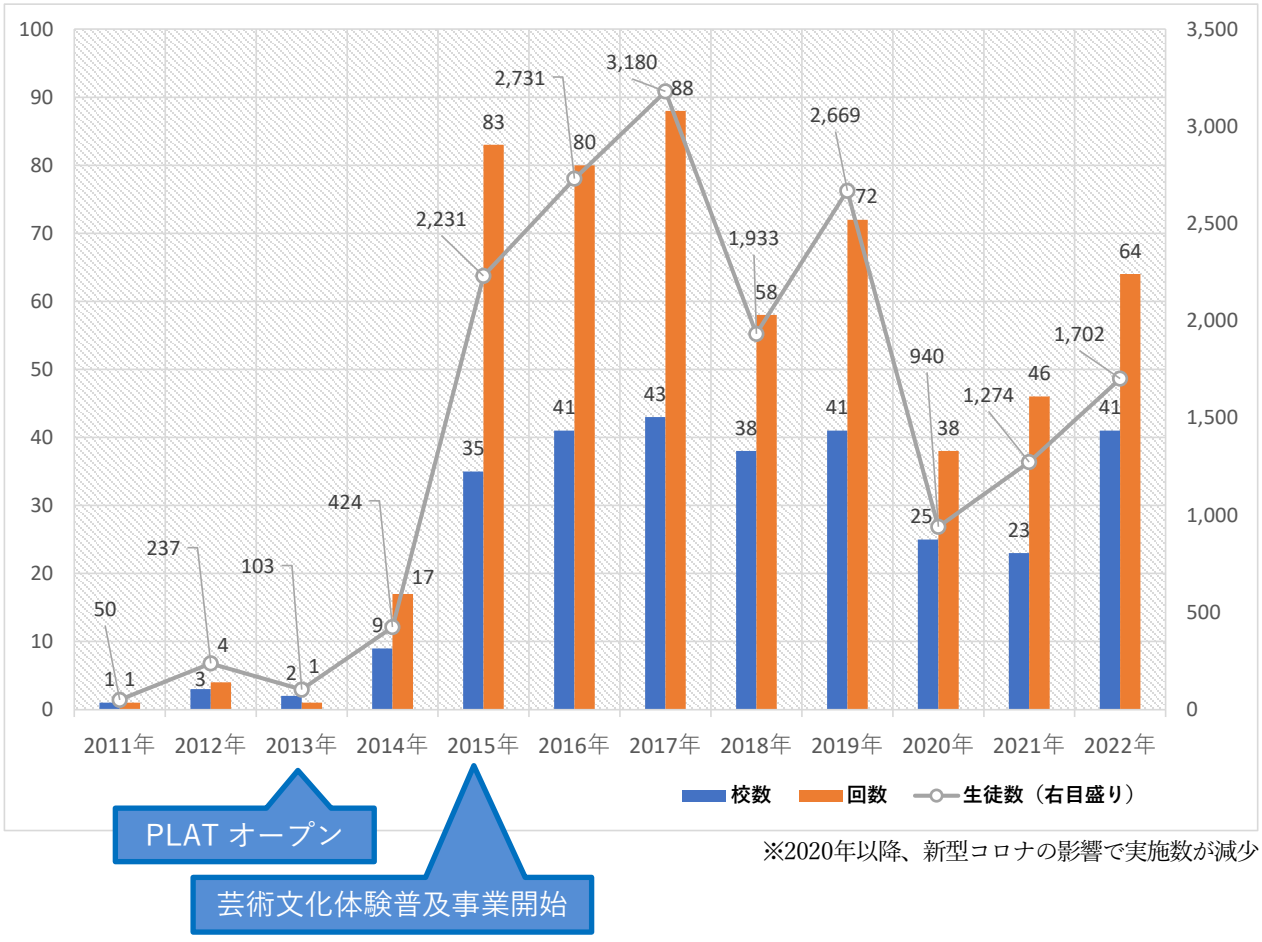
	ョップのプログラム重視に移行。 ● ③授業の成果を演劇形式で学び直すワークショップは、農業体験校の場合「種まきから収穫までのシーンをつないで演劇作品を作ってみよう」などを実施。 ● 継続的に実施することで見えてくること、できることが変わるため、④同一学年による継続的な表現ワークショップを追加し、年間3回まで実施が可能に。 ● 音楽でも鑑賞型ではなく体験型で、子どもたちからもらったエッセンスをもとに作曲、演奏、アンサンブルをするということを重視している。 ● 特別支援学校・学級はダンスが増えていて、それを経験した教師が通常級や体育にダンスを取り入れようというニーズが高まっている。
ワークショップファシリテーター養成講座	 ワークショップファシリテーター養成講座2019 前期 ● 市内小・中学校に出向いて行う演劇ワークショップの進行役（ファシリテーター）を務める人材の育成を目的に2014年度にスタート。前期（夏）、後期（秋）の2期に分けて実施、それぞれで参加者を募集する。参加者数は前期が20名前後、後期が10～15名程度。 ● 前期は、子どもへの働きかけを学ぶことを目的に、7回程度の講座でワークショップの体験、ワークショップの進行プランの立案、子ども向けイベント「ワークショップ縁日」の進行などに取り組む。後期は10回程度の講座で、まち歩きや取材をとおして、グループで演劇づくりに取り組み、最後に発表会を行う。 ● 講師は柏木陽、すずきこーた、吉野さつき、青山公美嘉など。 ● これまでの受講者5名にインタビューしたところ、1名はアウトリーチの「有償コーディネーター」として、もう1名はアウトリーチやワークショップの「有償アシスタント」を劇場から委託されるようになった人もいる。 ● 講師陣と同じレベルでファシリテーターを務められるまでには至っていないが、講座への参加を通して、演劇やアウトリーチ、ワークショップの可能性を発見したり、演劇は日常の中に存在していると感じ取ったりするなど、演劇や劇場の意味、役割を深く理解し、それを広めたい、という人材が生まれている。

学校向けアウトリーチの実施の仕組み

芸術文化体験普及事業『プラットが学校へ』は、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT が豊橋市から委託を受けて実施しており、教育委員会や学校との関係を含めた具体的な流れは下図に示したとおりである。



11年間の校数・回数・生徒数の推移



※2020年以降、新型コロナの影響で実施数が減少

資料提供：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

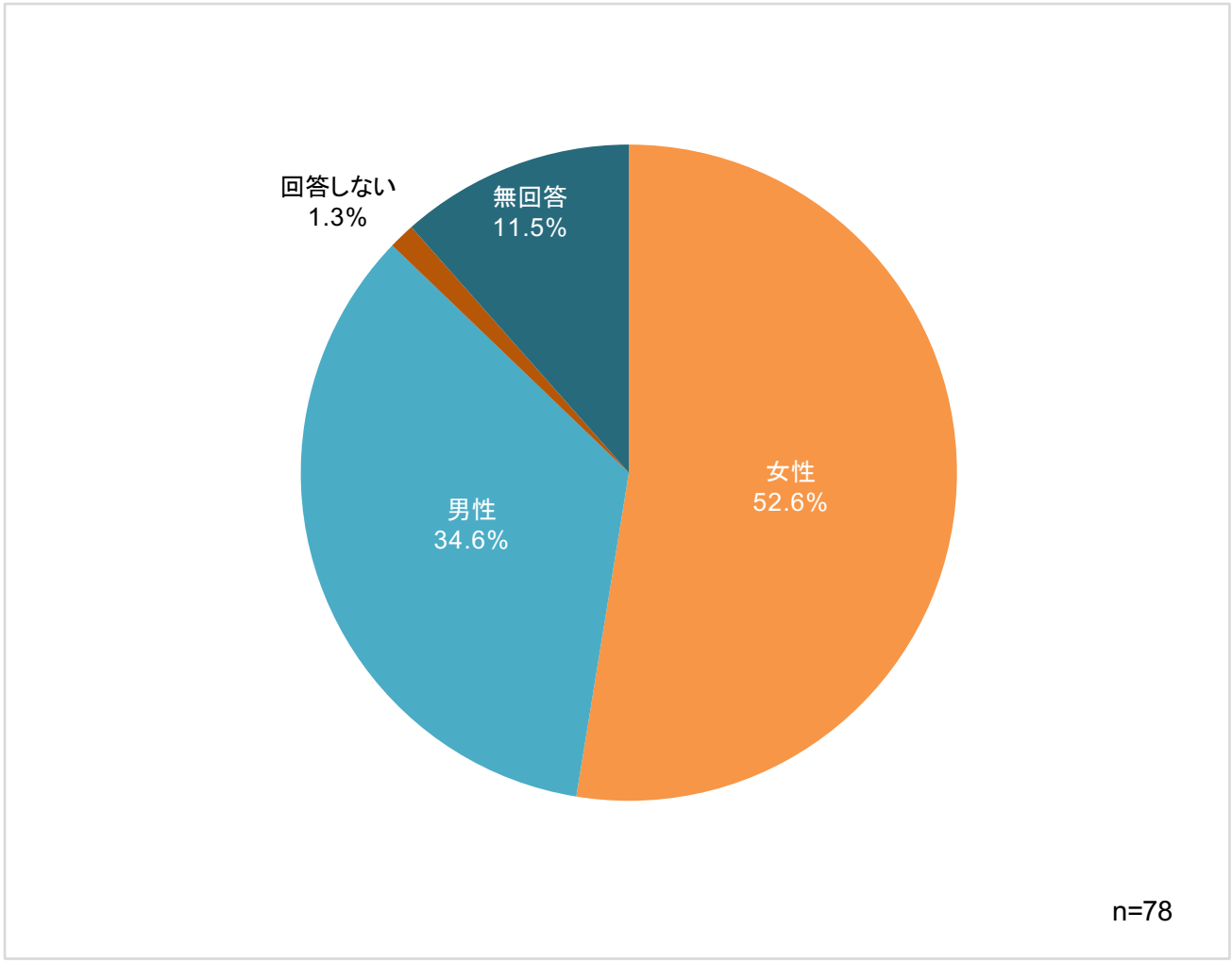
V

人材育成事業参加者アンケート調査

(1) 性別（単一回答）

ワークショップの参加者に対するアンケートの回答者の性別は、「女性」が52.6%、「男性」が34.6%、「無回答」が11.5%となっている。

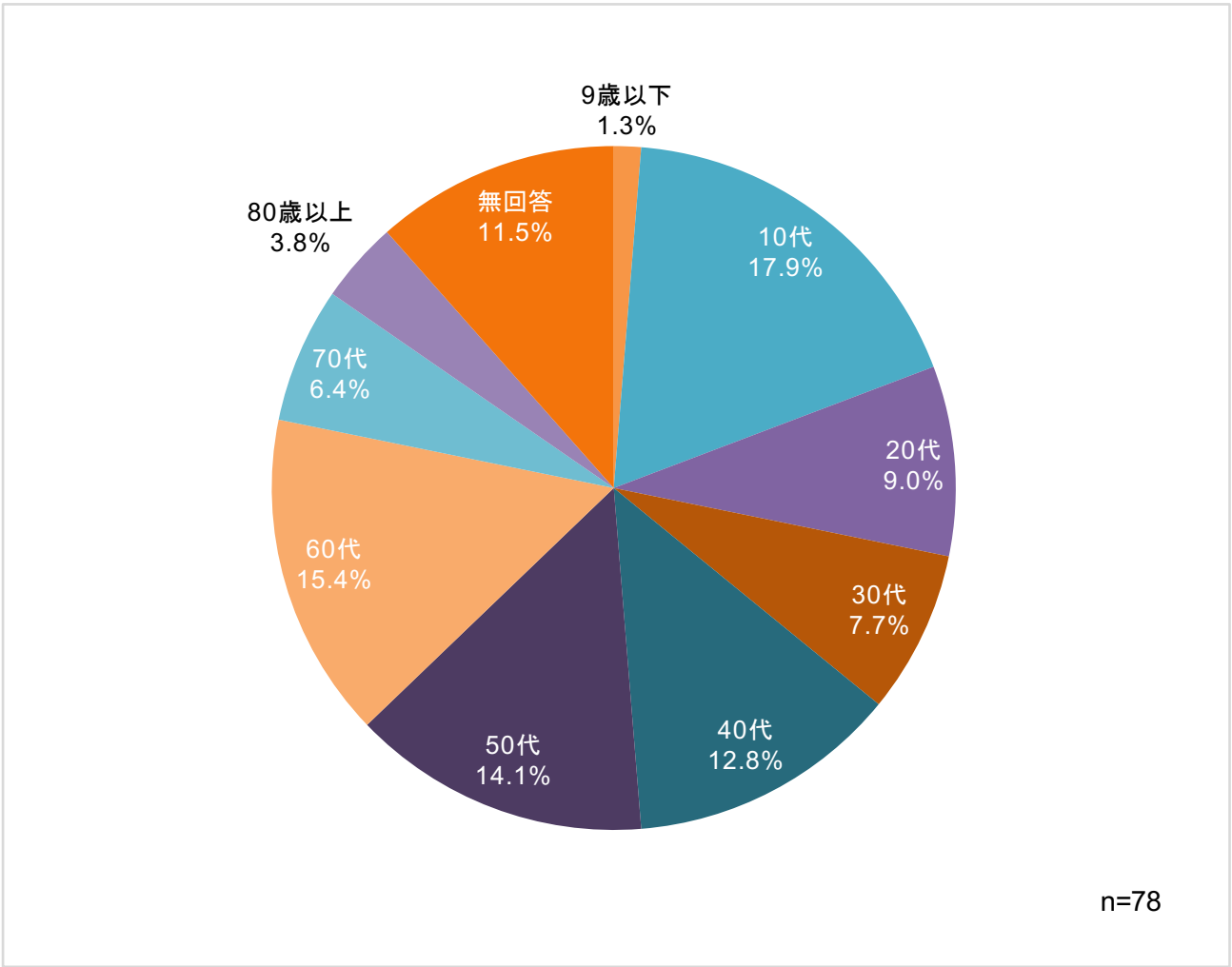
	全体	女性	男性	その他	回答しない	無回答
割合 (%)	100.0	52.6	34.6	0.0	1.3	11.5
回答件数	78	41	27	0	1	9



(2) 年齢（単一回答）

回答者の年齢は、「10代」が17.9%、「60代」が15.4%、「50代」が14.1%、「40代」が12.8%となっており、幅広い年齢層が回答している。

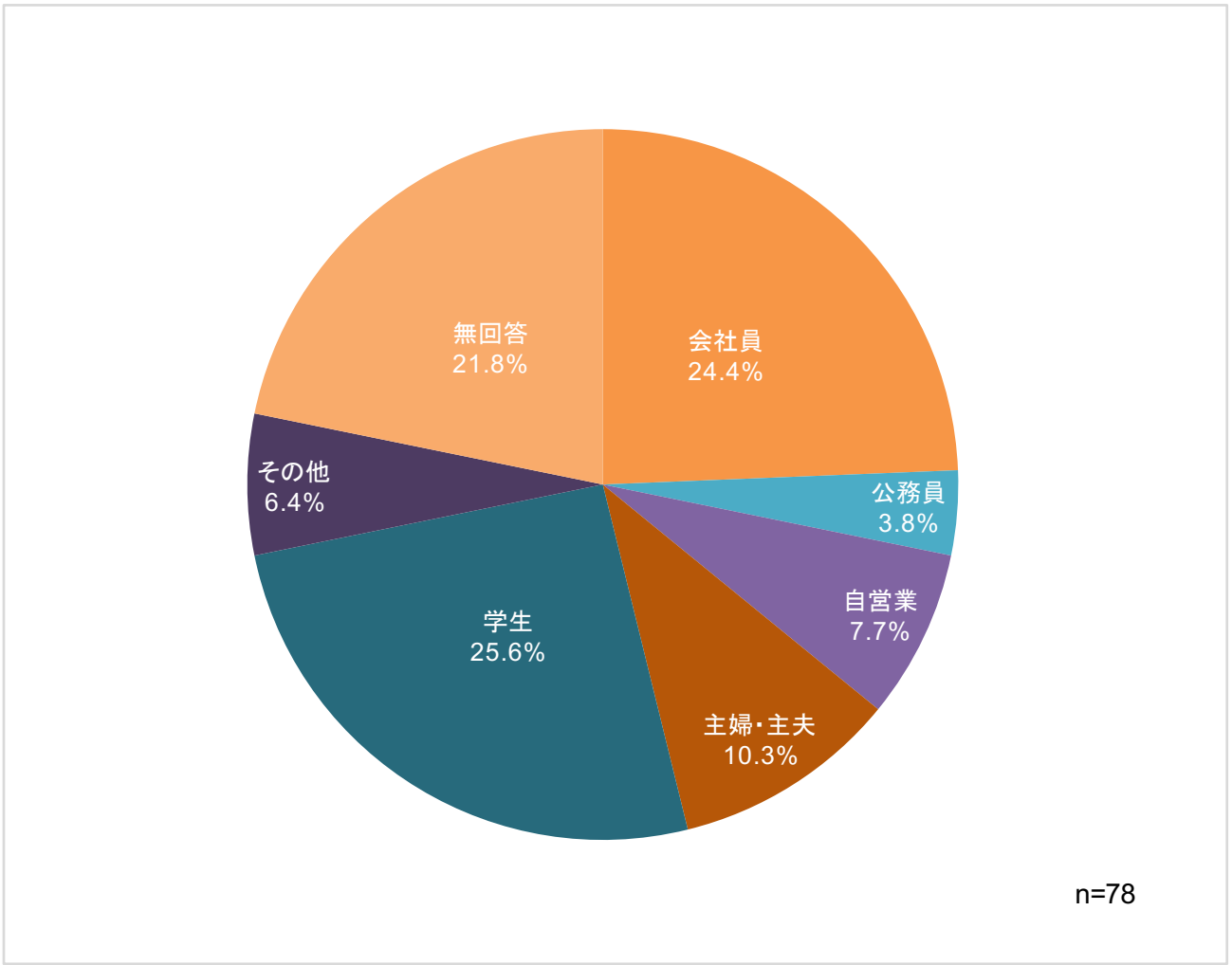
	全体	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
割合 (%)	100.0	1.3	17.9	9.0	7.7	12.8	14.1	15.4	6.4	3.8	11.5
回答件数	78	1	14	7	6	10	11	12	5	3	9



(3) 職業（単一回答）

回答者の職業は、「学生」が25.6%、「会社員」が24.4%、「無回答」が21.8%、「主婦・主夫」が10.3%となっている。

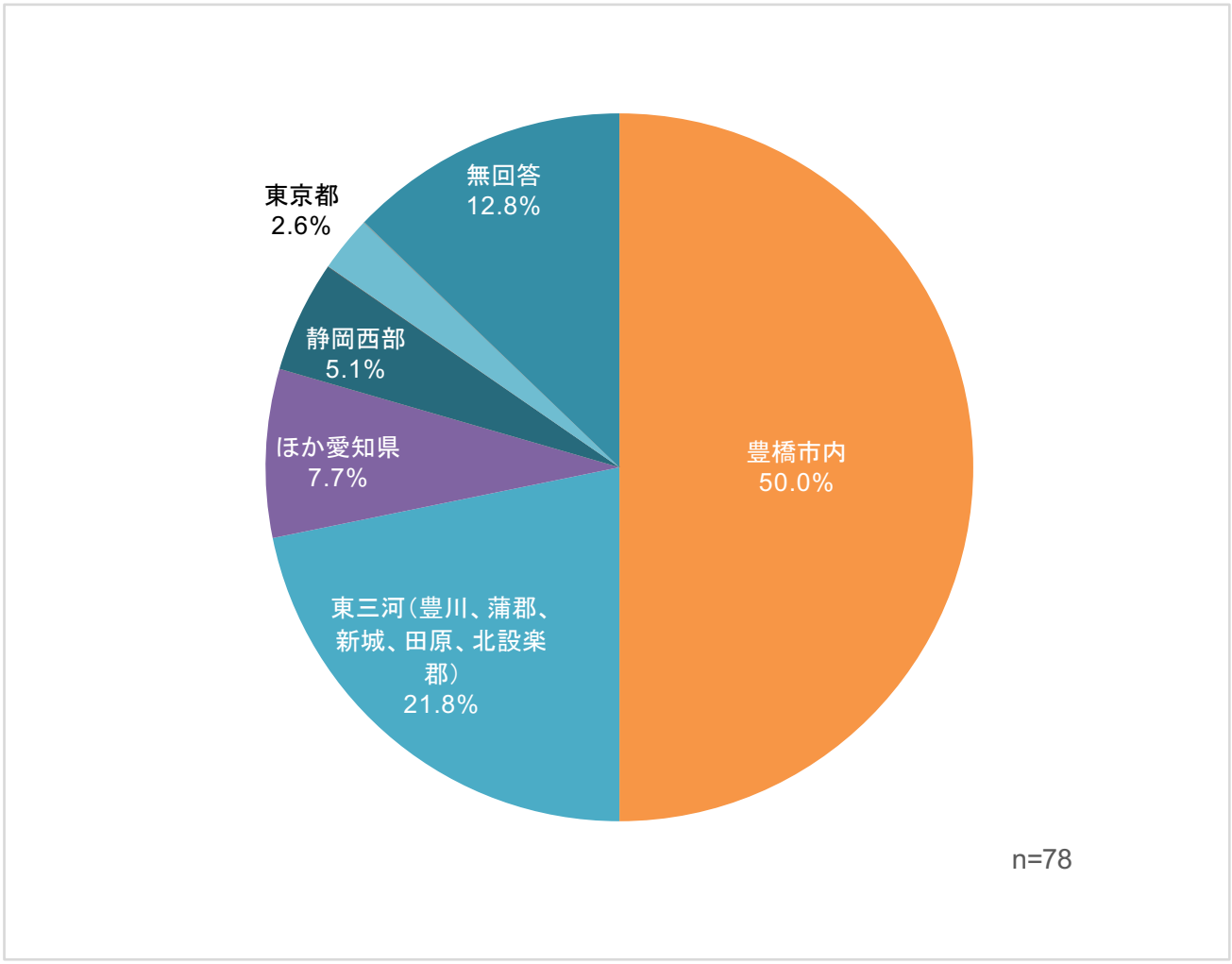
	全体	会社員	公務員	自営業	主婦・主夫	学生	その他	無回答
割合 (%)	100.0	24.4	3.8	7.7	10.3	25.6	6.4	21.8
回答件数	78	19	3	6	8	20	5	17



(4) 居住地（単一回答）

回答者の在住地は「豊橋市内」が50.0%で2人に1人は市内在住者となっている。ついで「東三河（豊川、蒲郡、新城、田原、北設楽郡）」が21.8%、「無回答」が12.8%、「ほか愛知県」が7.7%となっている。

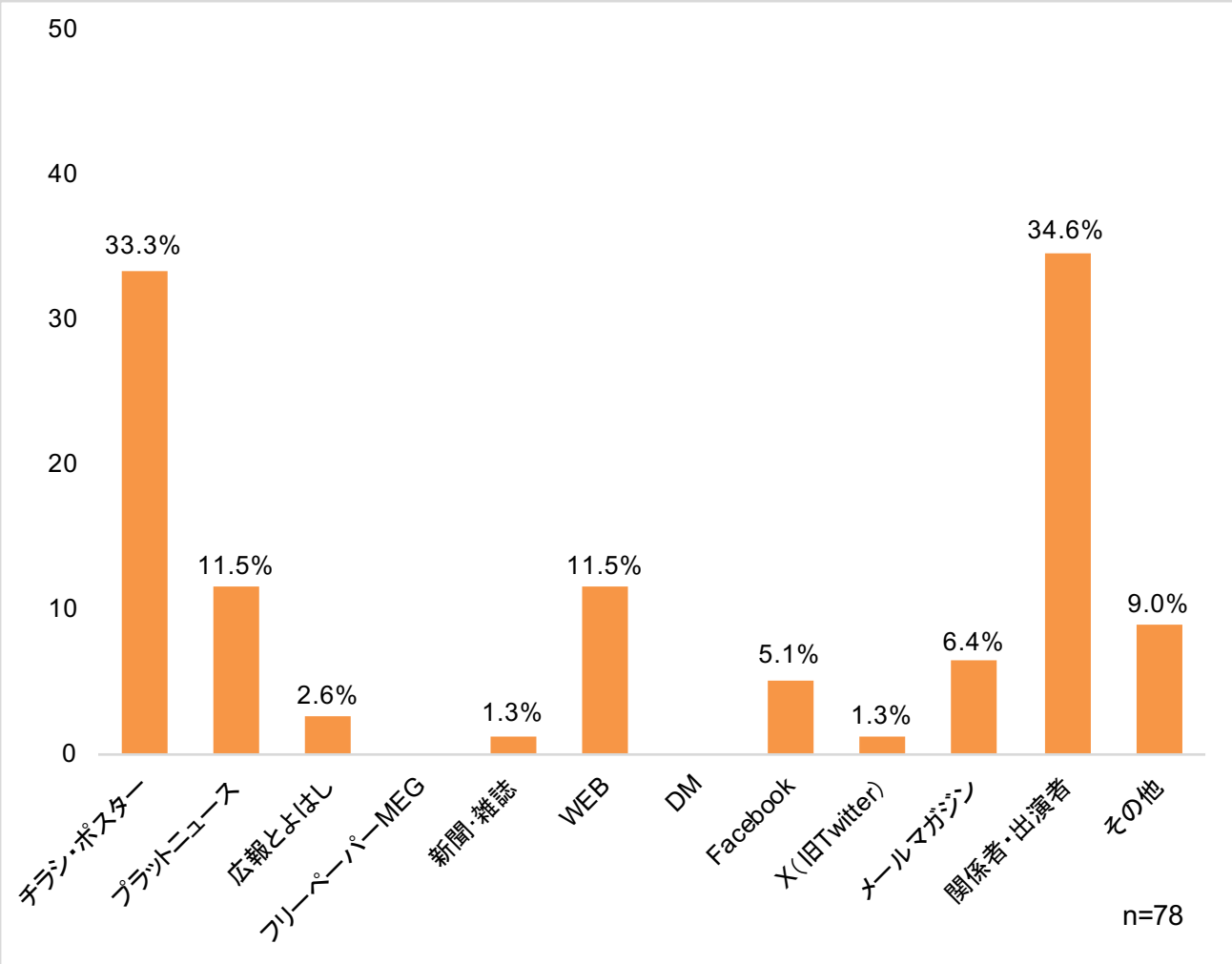
	全体	豊橋市内	東三河（豊川、蒲郡、新城、田原、北設楽郡）	ほか愛知県	三重県・岐阜県	静岡西部	ほか静岡県	神奈川県	東京都	その他の都道府県	海外	無回答
割合 (%)	100.0	50.0	21.8	7.7	0.0	5.1	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	12.8
回答件数	78	39	17	6	0	4	0	0	2	0	0	10



(5) 情報入手手段（複数回答）

ワークショップの情報入手の手段は、「関係者・出演者」が34.6%で最も多く、ついで、「チラシ・ポスター」が33.3%、「プラットニュース」と「WEB」が11.5%となっている。

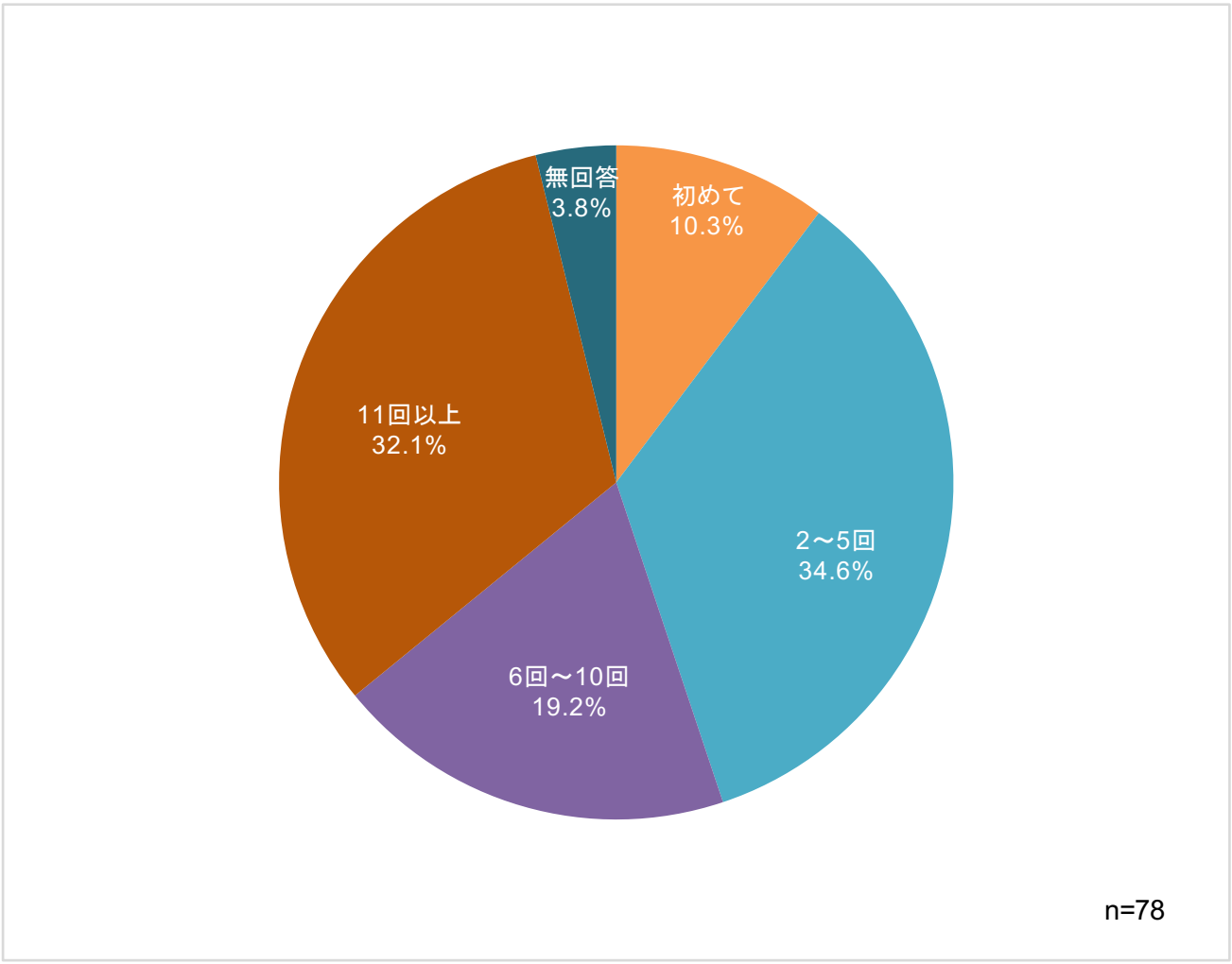
	全体	チラシ・ポスター	プラットニュース	広報とよはし	フリーペーパーMEG	新聞・雑誌	WEB	DM	Facebook	X（旧Twitter）	メールマガジン	関係者・出演者	その他	無回答
割合 (%)	100.0	33.3	11.5	2.6	0.0	1.3	11.5	0.0	5.1	1.3	6.4	34.6	9.0	3.8
回答件数	78	26	9	2	0	1	9	0	4	1	5	27	7	3



(6) 公演鑑賞回数（単一回答）

とよはし芸術劇場に公演を観に来た回数は、「2～5回」が34.6%、「11回以上」が32.1%、「6回～10回」が19.2%となっている。

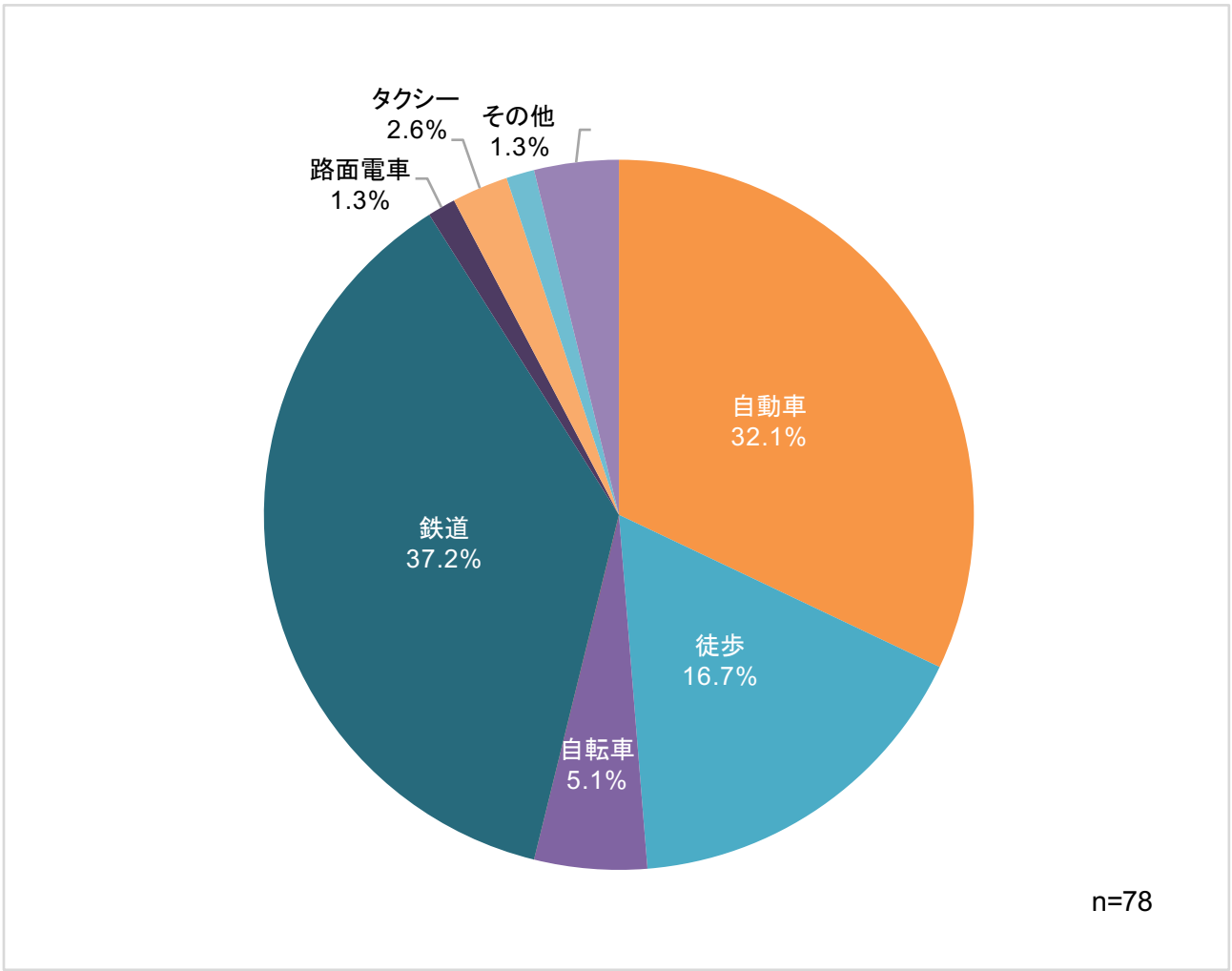
	全体	初めて	2～5回	6回～10回	11回以上	無回答
割合 (%)	100.0	10.3	34.6	19.2	32.1	3.8
回答件数	78	8	27	15	25	3



(7) 交通手段（単一回答）

主な交通手段は、「鉄道」が37.2%、「自動車」が32.1%、「徒歩」が16.7%となっている。

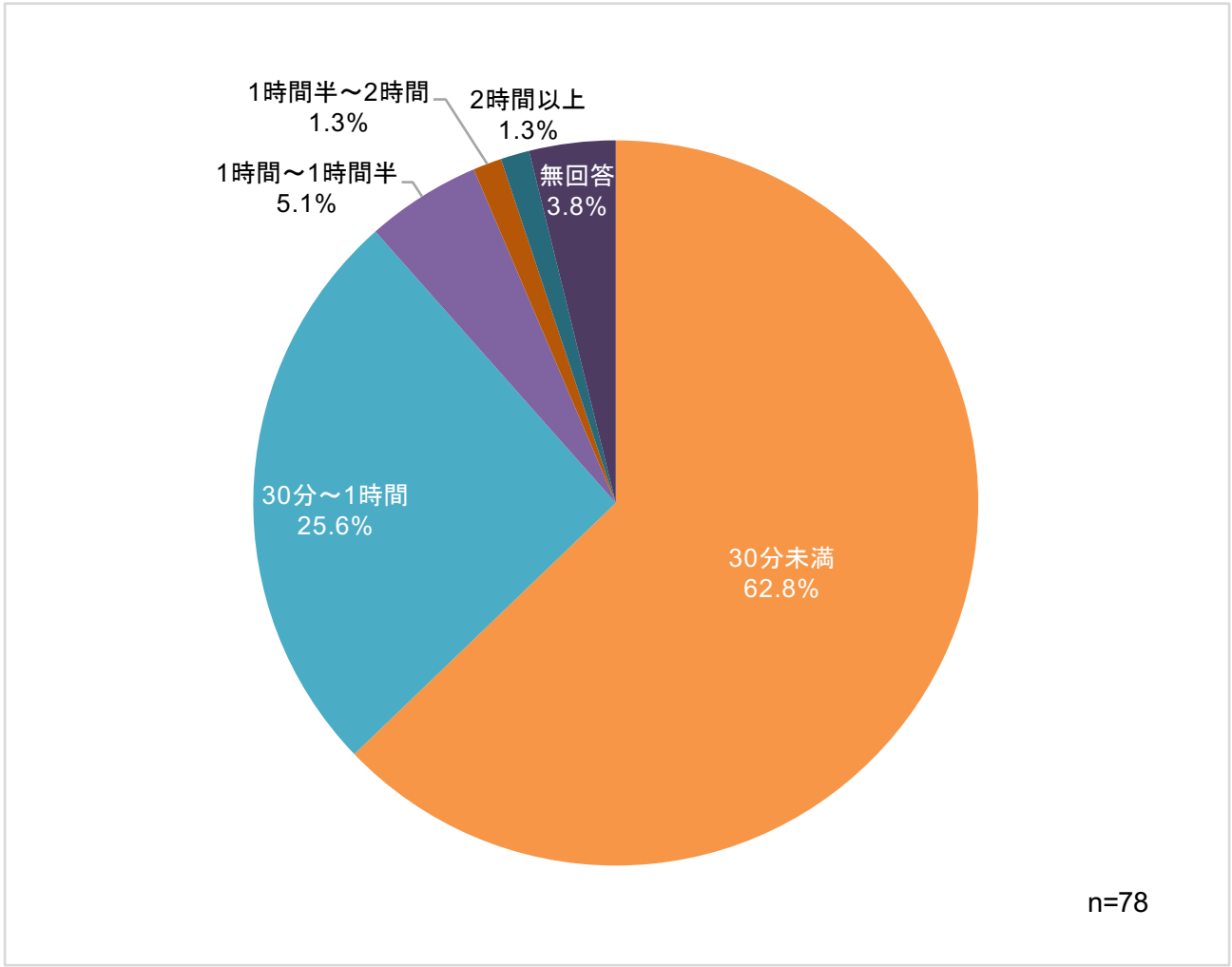
	全体	自動車	徒歩	自転車	バス	鉄道	路面電車	タクシー	その他	無回答
割合 (%)	100.0	32.1	16.7	5.1	0.0	37.2	1.3	2.6	1.3	3.8
回答件数	78	25	13	4	0	29	1	2	1	3



(8) 所要時間（単一回答）

片道の所要時間は「30分未満」が62.8%、「30分～1時間」が25.6%となっており、1時間以上の区分を足し合わせても7.7%となっている。

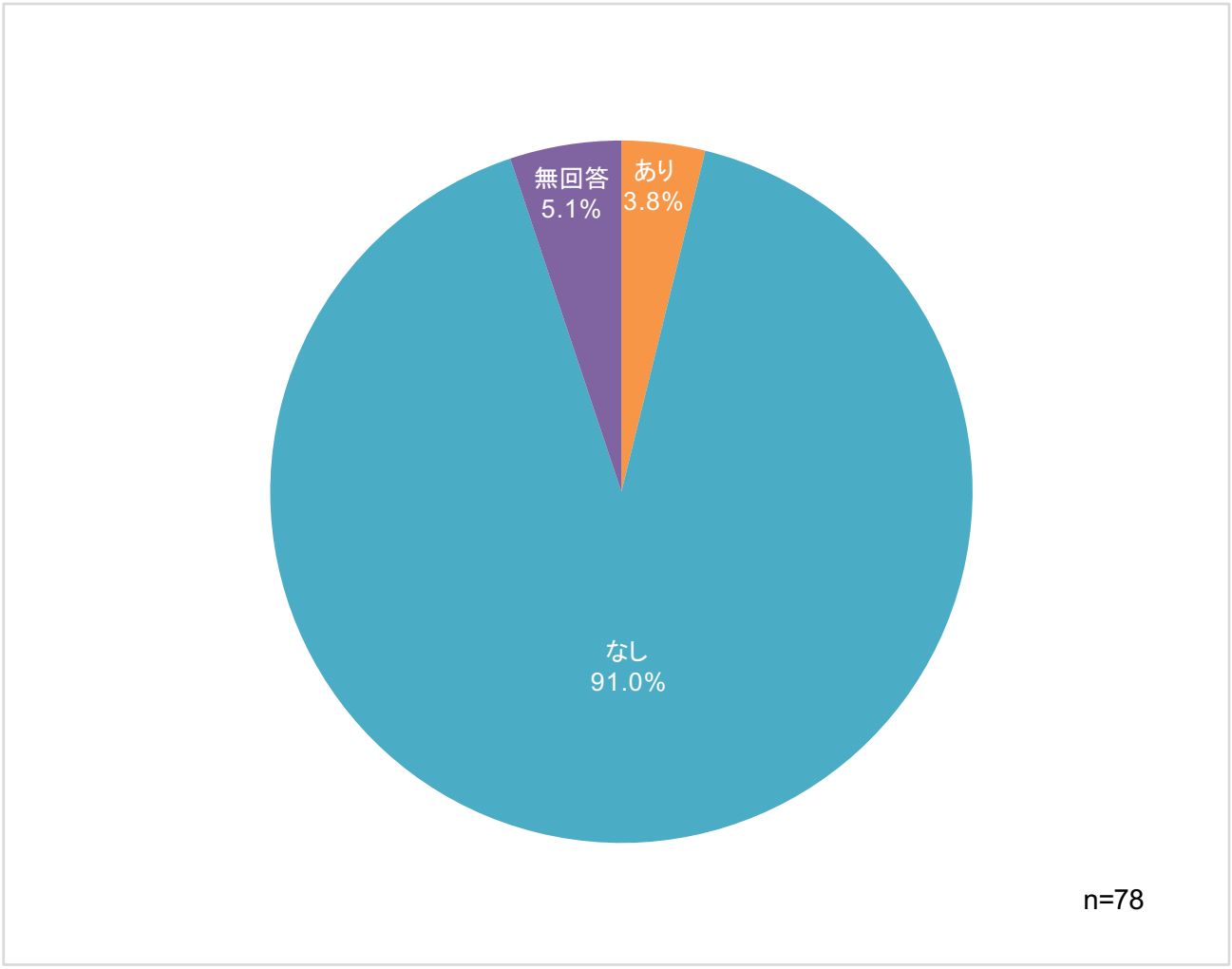
	全体	30分未満	30分～1時間	1時間～1時間半	1時間半～2時間	2時間以上	無回答
割合 (%)	100.0	62.8	25.6	5.1	1.3	1.3	3.8
回答件数	78	49	20	4	1	1	3



(9) 宿泊の有無（単一回答）

来場に伴う宿泊は「なし」が91.0%、「あり」が5.1%となっている。

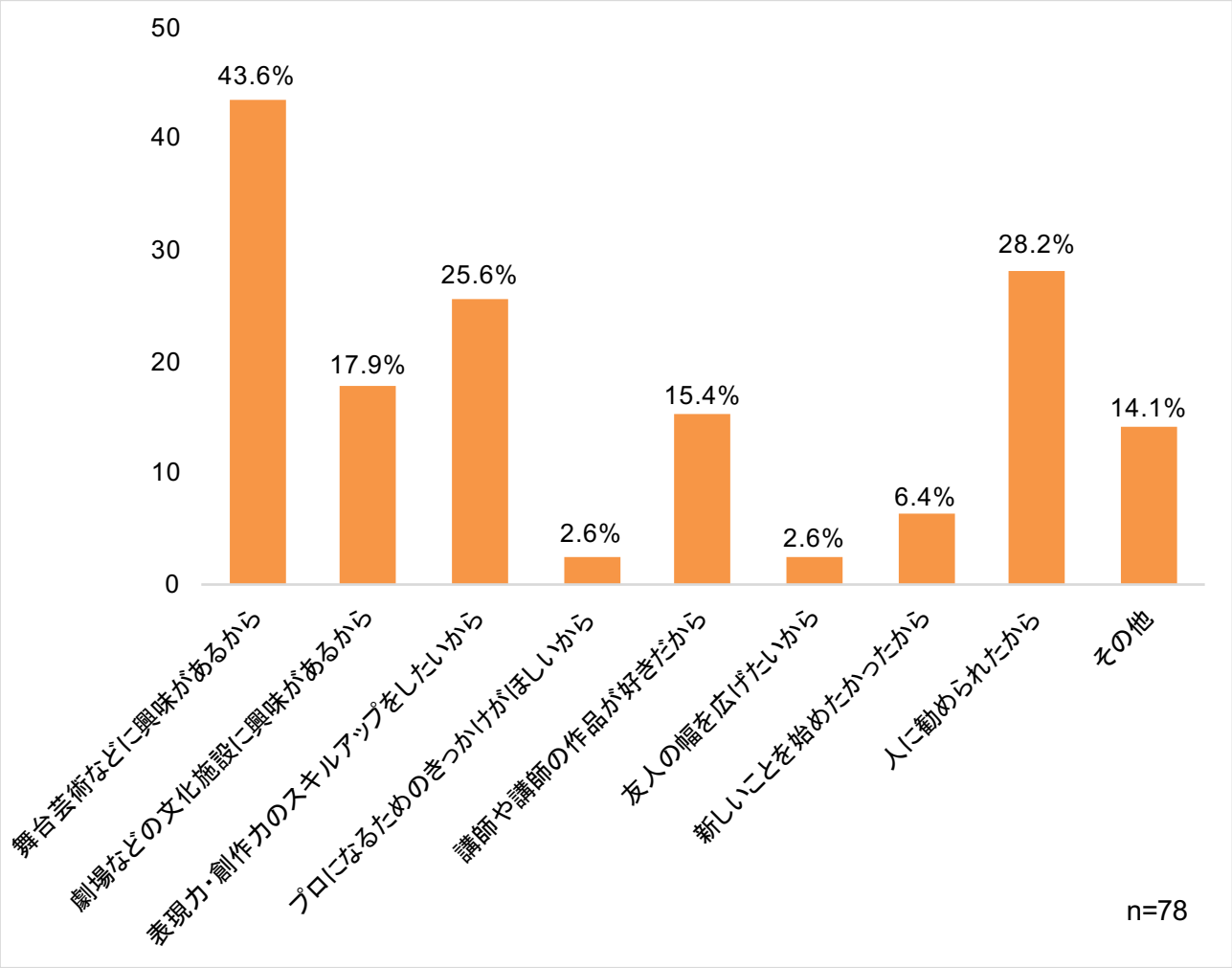
	全体	あり	なし	無回答
割合 (%)	100.0	3.8	91.0	5.1
回答件数	78	3	71	4



(10) 参加理由（複数回答）

参加の理由は「舞台芸術などに興味があるから」が43.6%で最も割合が高く、次いで「人に勧められたから」が28.2%、「表現力・創作力のスキルアップをしたいから」が25.6%、「劇場などの文化施設に興味があるから」が17.9%となっている。

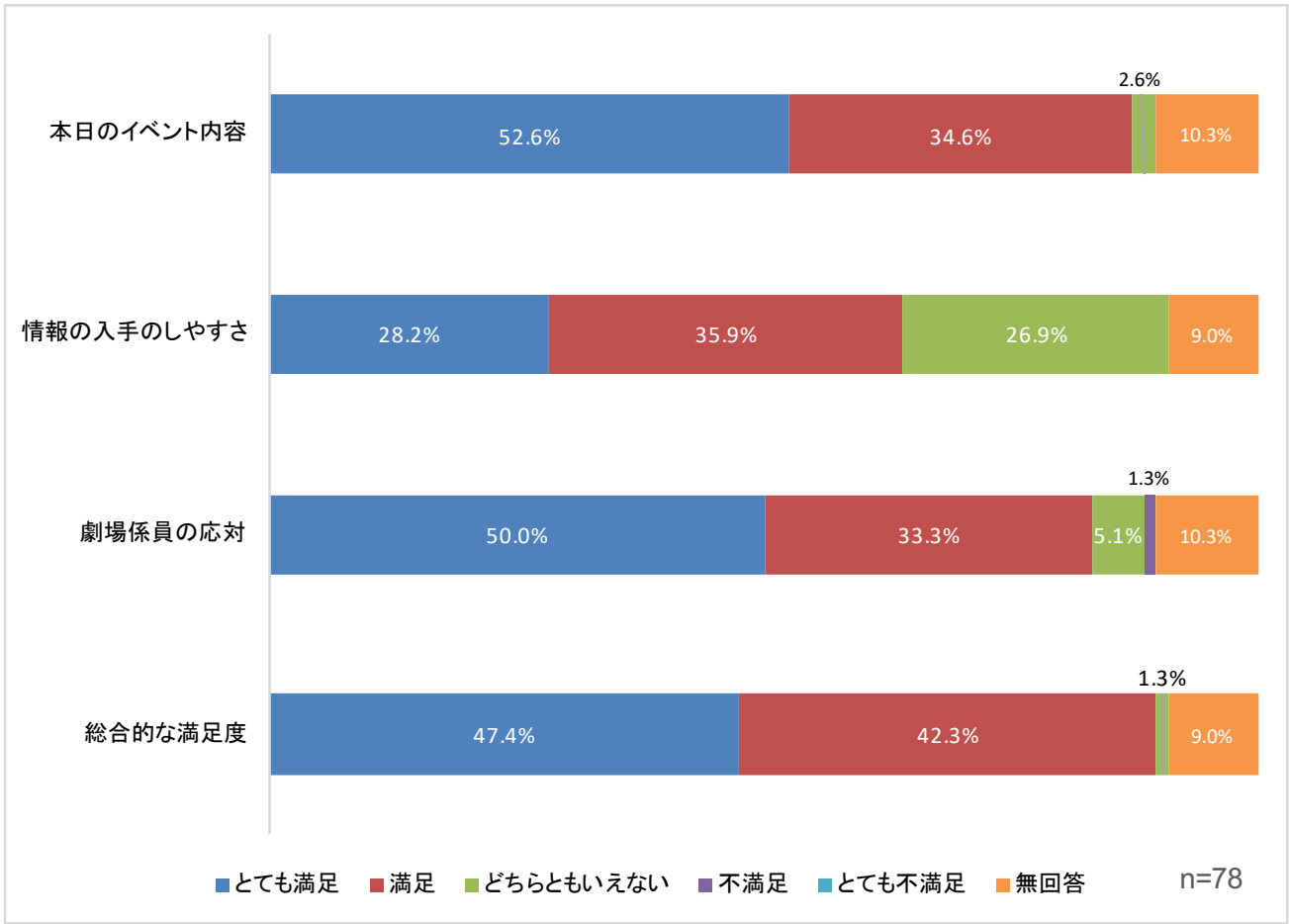
	全体	舞台芸術などに興味があるから	劇場などの文化施設に興味があるから	表現力・創作力のスキルアップをしたいから	プロになるためのきっかけがほしいから	講師や講師の作品が好きだから	友人の幅を広げたいから	新しいことを始めたかったから	人に勧められたから	その他	無回答
割合 (%)	100.0	43.6	17.9	25.6	2.6	15.4	2.6	6.4	28.2	14.1	3.8
回答件数	78	34	14	20	2	12	2	5	22	11	3



(11) 満足度 [6項目の比較]（単一回答）

ワークショップに関する4項目について満足度を聞いたところ、「（とよはし芸術劇場に対する）総合的な満足度」では「とても満足」が47.4%、「満足」が50.0%で、肯定的な評価が89.7%となっている。「とても満足」の割合が最も高いのは「本日のイベント内容」で52.6%となっている。「とても満足」の割合が相対的に低いのが「イベント情報の入手のしやすさ」となっている。

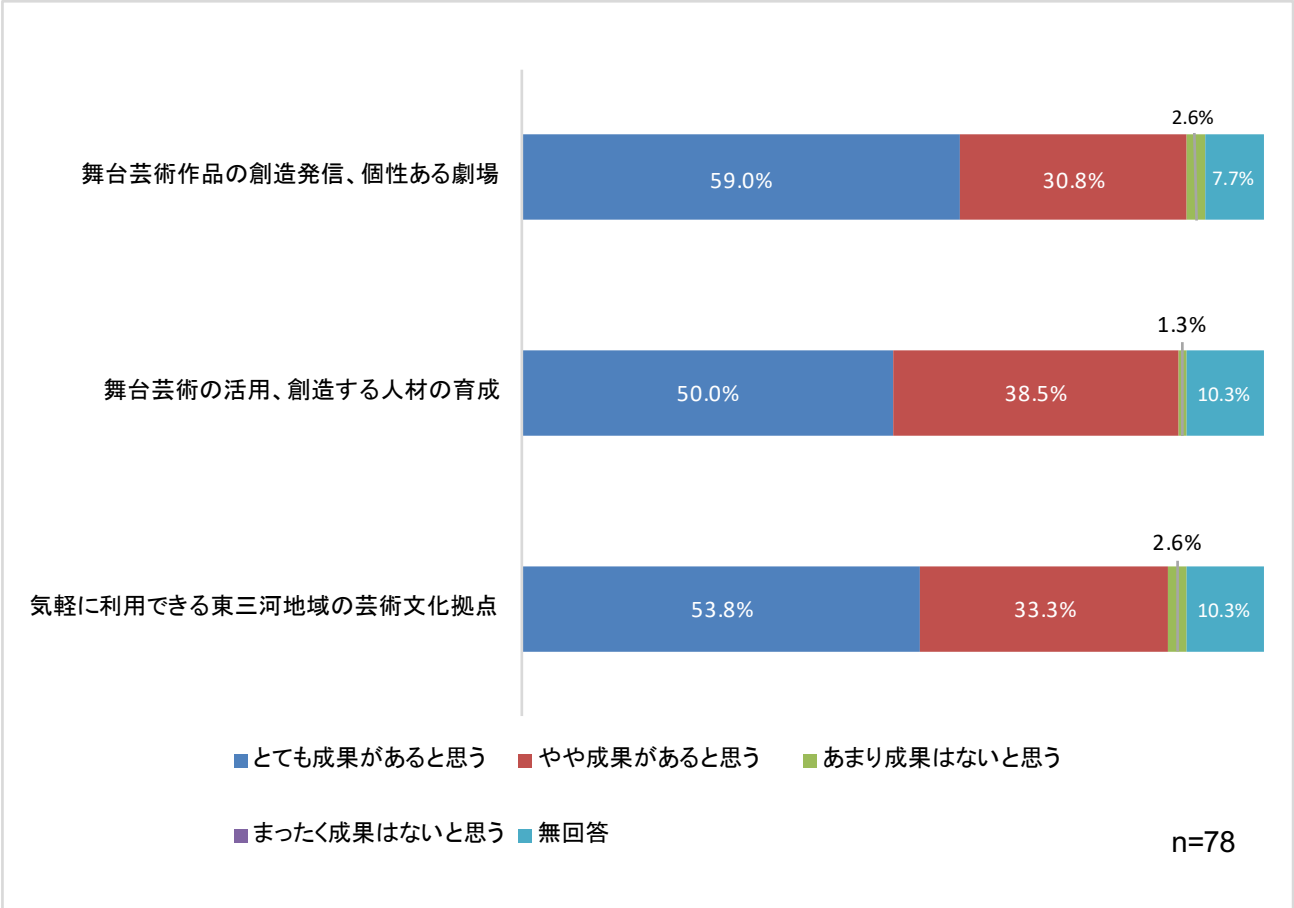
		全体	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足	無回答
本日のイベント内容	割合 (%)	100.0	52.6%	34.6%	2.6%	0.0%	0.0%	10.3%
	回答件数	78	41	27	2	0	0	8
情報の入手のしやすさ	割合 (%)	100.0	28.2%	35.9%	26.9%	0.0%	0.0%	9.0%
	回答件数	78	22	28	21	0	0	7
劇場係員の応対	割合 (%)	100.0	50.0%	33.3%	5.1%	1.3%	0.0%	10.3%
	回答件数	78	39	26	4	1	0	8
総合的な満足度	割合 (%)	100.0	47.4%	42.3%	1.3%	0.0%	0.0%	9.0%
	回答件数	78	37	33	1	0	0	7



(12) 運営方針 [3項目の比較]（単一回答）

とよはし芸術劇場の運営方針に掲げる3項目について成果の度合いを聞いたところ、「とても成果があると思う」の割合が最も高いのは「舞台芸術作品の創造発信、個性ある劇場」で59.0%となっている。「とても成果があると思う」の割合が相対的に低いのが「舞台芸術の活用、創造する人材の育成」となっている。

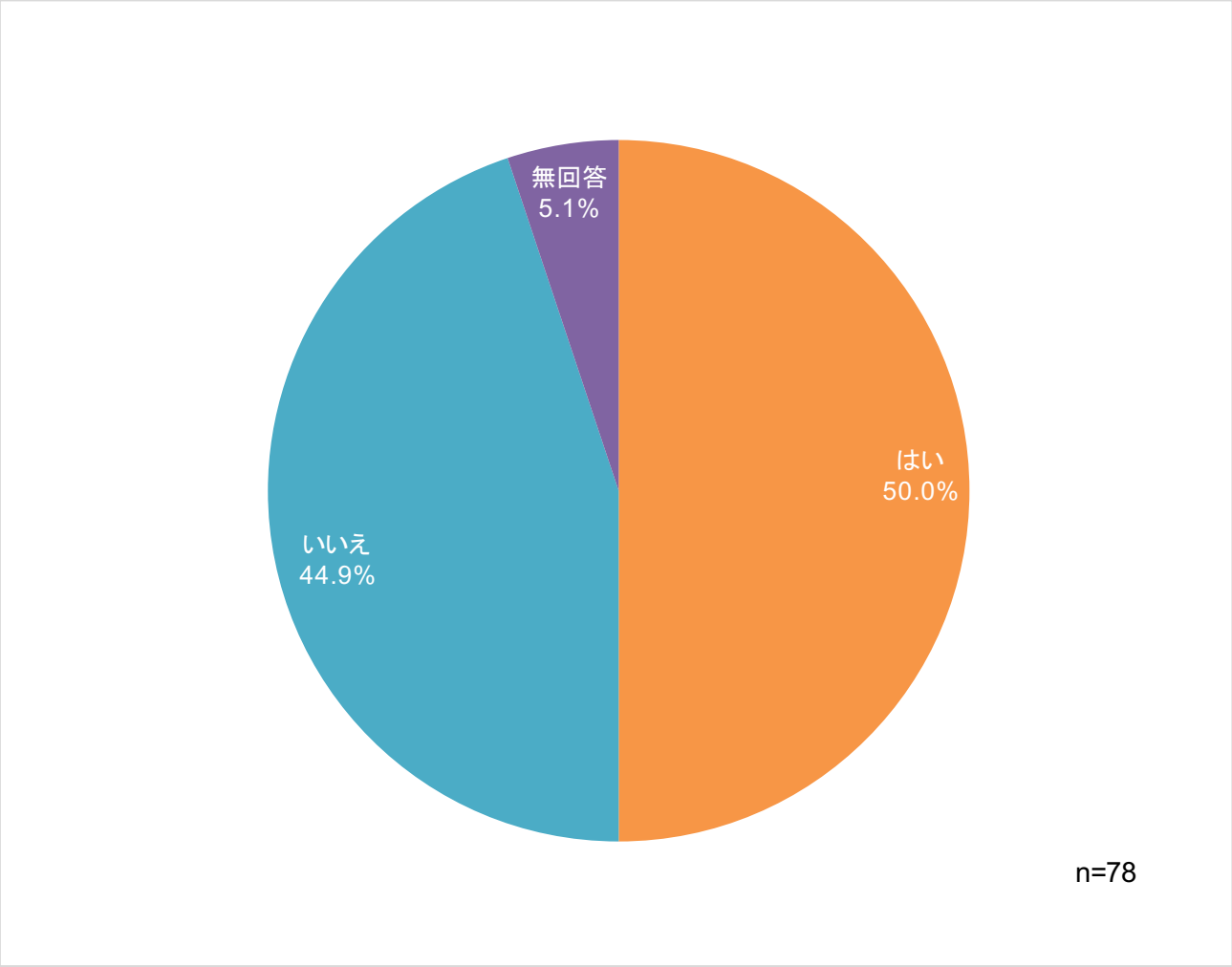
		全体	とても成果があると思う	やや成果があると思う	あまり成果はないと思う	まったく成果はないと思う	無回答
舞台芸術作品の創造発信、個性ある劇場	割合 (%)	100	59.0%	30.8%	2.6%	0.0%	7.7%
	回答件数	78	46	24	2	0	6
舞台芸術の活用、創造する人材の育成	割合 (%)	100	50.0%	38.5%	1.3%	0.0%	10.3%
	回答件数	78	39	30	1	0	8
気軽に利用できる東三河地域の芸術文化拠点	割合 (%)	100	53.8%	33.3%	2.6%	0.0%	10.3%
	回答件数	78	42	26	2	0	8



(13) 飲食・ショッピング（単一回答）

ワークショップの前に近隣施設で飲食やショッピングをしたか、あるいは後にされる予定かを聞いたところ「はい」が50.0%、「いいえ」が44.9%となっている。「はい」と回答した人で飲食の金額の記入者（32人）の平均は1,748.1円、ショッピングの金額記入者（8人）の平均は2,725.0円となっている。

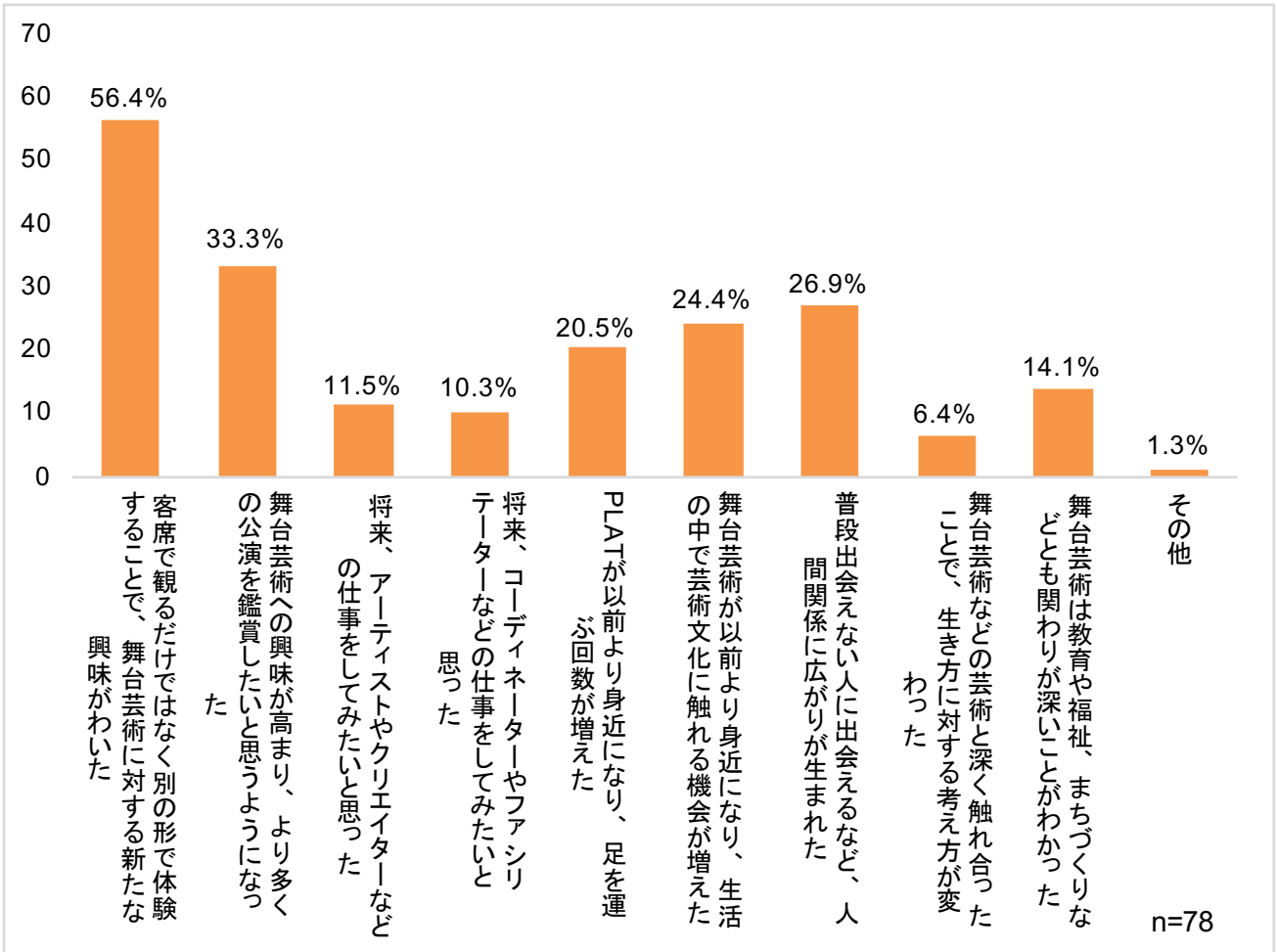
	全体	はい	いいえ	無回答
割合 (%)	100.0	50.0	44.9	5.1
回答件数	78	39	35	4



(14) 参加した印象（複数回答）

ワークショップに参加した印象を選択肢を提示して聞いたところ、「客席で観るだけではなく別の形で体験することで、舞台芸術に対する新たな興味がわいた」が56.4%、「舞台芸術への興味が高まり、より多くの公演を鑑賞したいと思うようになった」が33.3%、「普段出会えない人に出会えるなど、人間関係に広がりが生まれた」が26.9%となっている。

	全体	客席で観るだけではなく別の形で体験することで、舞台芸術に対する新たな興味がわいた	舞台芸術への興味が高まり、より多くの公演を鑑賞したいと思うようになった	将来、アーティストやクリエイターなどの仕事をしてみたいと思った	将来、コーディネーターやファシリテーターなどの仕事をしてみたいと思った	PLATが以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた	舞台芸術が以前より身近になり、生活の中で芸術文化に触れる機会が増えた	普段出会えない人に出会えるなど、人間関係に広がりが生まれた	舞台芸術などの芸術と深く触れ合ったことで、生き方に対する考え方が変わった	舞台芸術は教育や福祉、まちづくりなども関わりが深いことがわかった	その他	無回答
割合 (%)	100.0	56.4	33.3	11.5	10.3	20.5	24.4	26.9	6.4	14.1	1.3	10.3
回答件数	78	44	26	9	8	16	19	21	5	11	1	8



（＿＿＿＿イベント名＿＿＿＿） 参加者アンケート

10th ANNIVERSARY 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

こちらからも
ご回答いただけます。

本日はご来場ありがとうございます。アンケートにご協力お願い致します。あてはまる項目にチェック☑をご記入ください。筆記用具はホワイエにて貸出しています。後日 FAX（0532-55-8192）、郵送、お持込でも構いません。

Q1 本日のイベントはどこでお知りになりましたか。（☑はいくつでも）

□チラシ　□プラットニュース　□広報とよはし　□フリーペーパーMEG　□新聞・雑誌（＿＿＿＿＿）
□WEB（＿＿＿＿＿＿）　□DM　□Facebook　□twitter　□プラットメルマガ
□関係者、出演者　□その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q2 本日のご来場についてお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

PLAT に公演を観に来た回数	□初めて　□2～5回目　□6～10回　□11回以上
主な交通手段	□自動車　□徒歩　□自転車　□バス　□鉄道　□路面電車 □タクシー　□その他（　　）
片道の所要時間	□30分未満　□30分～1時間　□1時間～1時間半 □1時間半～2時間　□2時間以上
来場に伴う宿泊の有無	□あり　□なし

Q3 本日のイベントに参加された理由は次のうちどれですか。（☑はいくつでも）

□舞台芸術などに興味があるから　□劇場などの文化施設に興味があるから
□表現力・創作力のスキルアップをしたいから　□プロになるためのきっかけがほしいから
□講師や講師の作品が好きだから　□友人の幅を広げたいから
□新しいことを始めたかったから　□人に勧められたから
□その他（具体的に　　）

Q4 本日のイベントや PLAT についてあなたのご意見をお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	とても不満足
本日 のイベントの内容	□	□	□	□	□
イベント情報の入手のしやすさ	□	□	□	□	□
劇場係員の応対	□	□	□	□	□
PLAT に対する総合的な満足度	□	□	□	□	□

Q5 PLAT は次のような方針で運営しています。あなたのご意見をお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

	とても成果があると思う	やや成果があると思う	あまり成果はないと思う	まったく成果はないと思う
舞台芸術作品を創造発信するとともに、市民の誇りとなる個性ある劇場として運営します。	□	□	□	□
舞台芸術を地域社会に活用する人材、舞台芸術を創造する人材の育成を目指します。	□	□	□	□
誰もが気軽に利用できる東三河地域の芸術文化拠点として運営していきます。	□	□	□	□

Q6 本日のイベントの前に、近隣施設で飲食やショッピングをされましたか。またイベントの後にされる予定ですか。（☑はひとつ）

□はい　□いいえ

→「はい」とお答えになった方は、おおよその利用金額をお聞かせください。あるいは予定利用金額を飲食とショッピングの別にご記入ください。

飲食	円ぐらい
ショッピング	円ぐらい

Q7 本日のイベントに参加してどのように感じられましたか。（☑はいくつでも）

☐客席で観るだけではなく別の形で体験することで、舞台芸術に対する新たな興味がわいた
☐舞台芸術への興味が高まり、より多くの公演を鑑賞したいと思うようになった
☐将来、アーティストやクリエイターなどの仕事をしてみたいと思った
☐将来、コーディネーターやファシリテーターなどの仕事をしてみたいと思った
☐PLAT が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた
☐舞台芸術が以前より身近になり、生活の中で芸術文化に触れる機会が増えた
☐普段出会えない人に出会えるなど、人間関係に広がりが生まれた
☐舞台芸術などの芸術と深く触れ合ったことで、生き方に対する考え方が変わった
☐舞台芸術は教育や福祉、まちづくりなどとも関わりが深いことがわかった
☐その他（具体的に　　）

Q8 本日のイベントに参加されたご感想をお聞かせください。

Q9 興味のある講師、もしくは、やってみたいと思う活動などがあればお書きください

Q10 お客様ご自身についてお聞かせください。（☑は各項目ひとつずつ）

性別	☐女性　☐男性　☐その他　☐回答しない
年齢	☐9歳以下 ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐80歳以上
職業	☐会社員 ☐公務員 ☐自営業 ☐主婦・主夫 ☐学生 ☐その他（　　）
住所	☐豊橋市 ☐東三河（豊川、蒲郡、新城、田原、北設楽郡） ☐ほか愛知県 ☐三重県・岐阜県 ☐静岡西部 ☐ほか静岡県 ☐神奈川県 ☐東京都 ☐その他の都道府県（　　） ☐海外（　　）
会員	**豊橋文化振興財団維持会員**または**プラットフレンズに登録**されていますか？ ☐登録している ☐登録していないが知っている ☐知らない

★ PLAT から公演・ワークショップ等のご案内をお送りしてもよろしいですか？

☐はい ☐いいえ ☐すでに届いている ※「はい」をお選びいただいた方は、下記事項をご記入ください。

ふりがな お名前	メール アドレス
〒 ご住所	

※ 記載された個人情報は（公財）豊橋文化振興財団が厳重に管理し、公演情報のご案内以外に使用することはありません。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT【指定管理者：公益財団法人豊橋文化振興財団】
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地 TEL：0532-39-8810

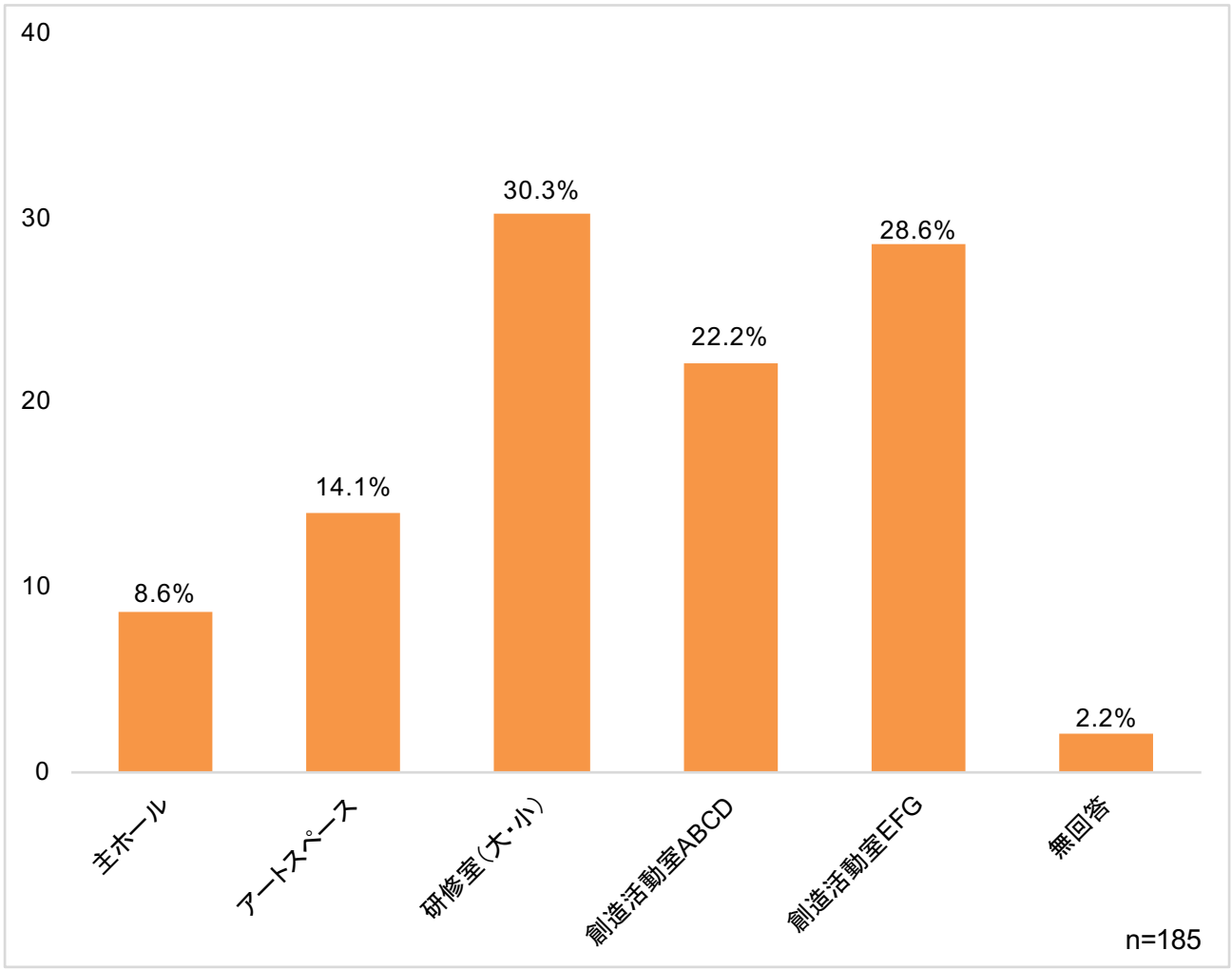
VI

施設利用団体アンケート調査

(1) 利用施設（複数回答）

とよはし芸術劇場の貸館の利用者に対するアンケート（調査期間は令和５年９月から令和６年２月の６ヶ月間）の回答者に利用した施設を聞いたところ、「研修室（大・小）」が30.3%、「創造活動室EFG」がともに28.6%、「創造活動室ABCD」が22.2%、「アートスペース」が14.1%、「主ホール」が8.6%となっている。

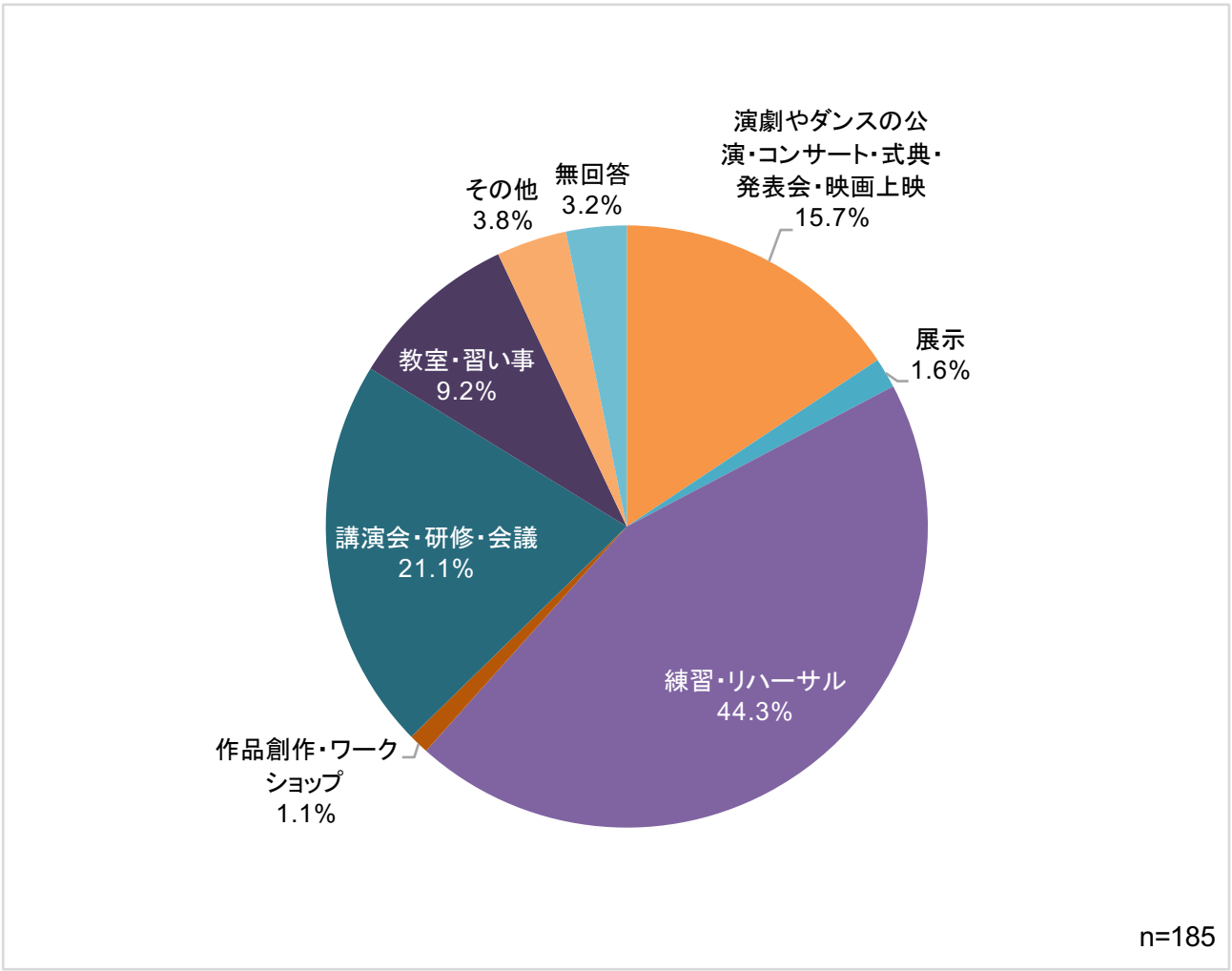
	全体	主ホール	アートスペース	研修室（大・小）	創造活動室ABCD	創造活動室EFG	無回答
割合 (%)	100.0	8.6	14.1	30.3	22.2	28.6	2.2
回答件数	185	16	26	56	41	53	4



(2) 利用目的（単一回答）

利用の目的を単一回答で聞いたところ、「練習・リハーサル」が44.3%でも最も高く、次いで「講演会・研修・会議」が21.1%、「演劇やダンスの公演・コンサート・式典・発表会・映画上映」が15.7%となっている。

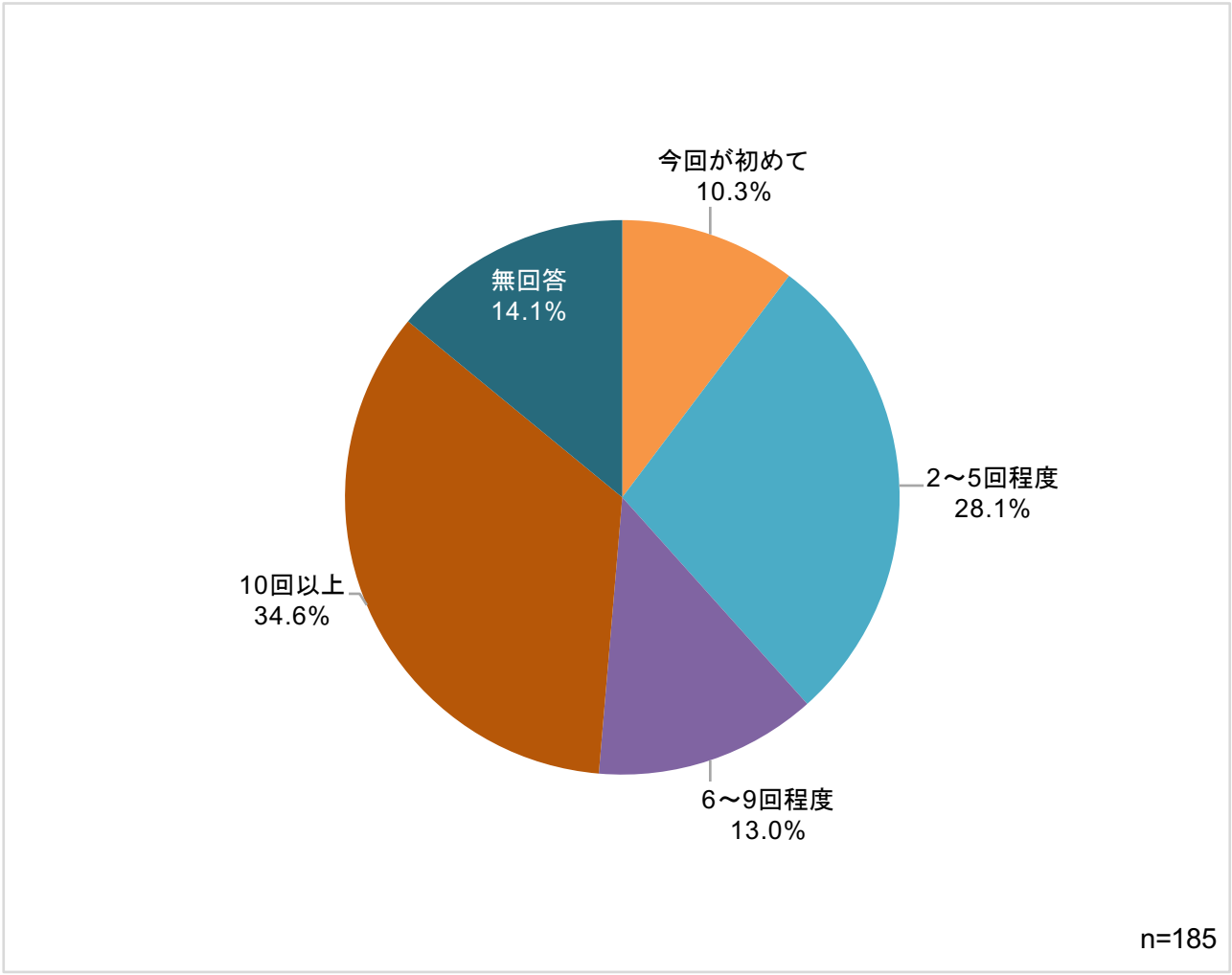
	全体	演劇やダンスの公演・コンサート・式典・発表会・映画上映	展示	練習・リハーサル	作品創作・ワークショップ	講演会・研修・会議	教室・習い事	その他	無回答
割合 (%)	100.0	15.7	1.6	44.3	1.1	21.1	9.2	3.8	3.2
回答件数	185	29	3	82	2	39	17	7	6



(3) 利用回数（単一回答）

これまでにとよはし芸術劇場の施設利用の申請をして利用したことのある回数は、「10回以上」が34.6%で最も高く、「2～5回程度」が28.1%、「6～9回程度」が13.0%、「今回が初めて」が10.3%となっている。

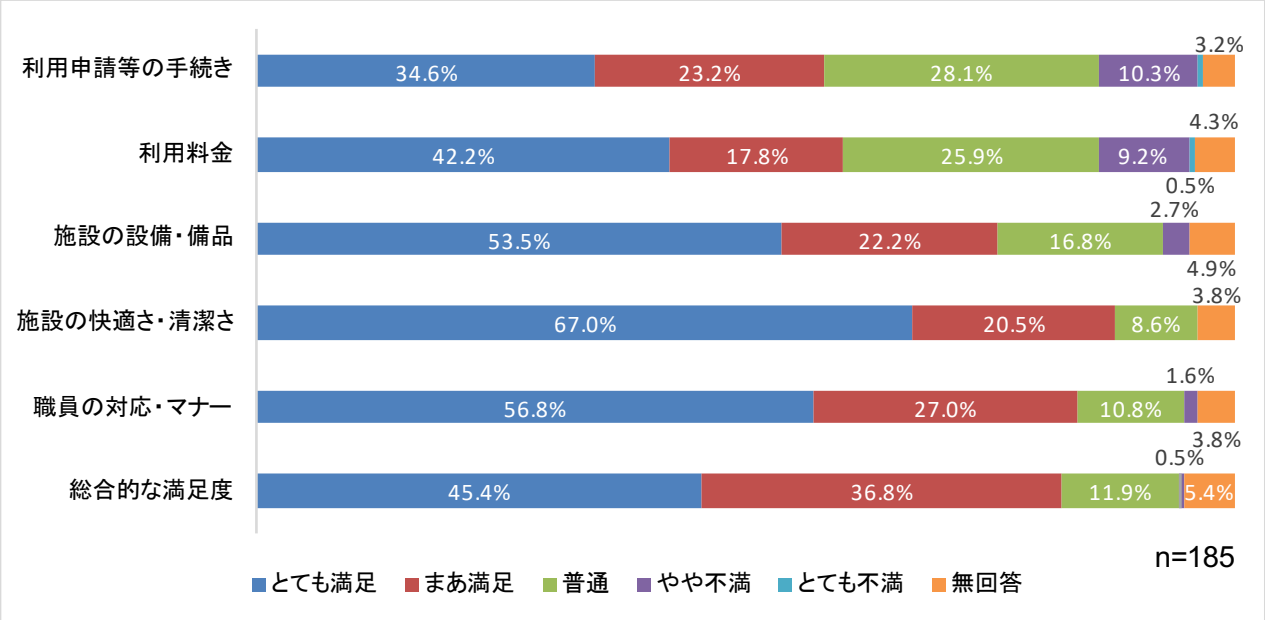
	全体	今回が初めて	2～5回程度	6～9回程度	10回以上	無回答
割合 (%)	100.0	10.3	28.1	13.0	34.6	14.1
回答件数	185	19	52	24	64	26



(4) 満足度［6項目の比較］（単一回答）

とよはし芸術劇場の利用に関する6項目について満足度を聞いたところ、「（施設の使いごこちに関する）総合的な満足度」では「とても満足」が45.4%、「まあ満足」が36.8%で、肯定的な評価が82.2%となっている。「とても満足」の割合が最も高いのは「施設の快適さ・清潔さ」で67.0%、次いで「職員の対応・マナー」が56.8%、「施設の設備・備品」が53.5%となっている。「やや不満」の割合が相対的に高いのが「利用申請等の手続き」となっている。

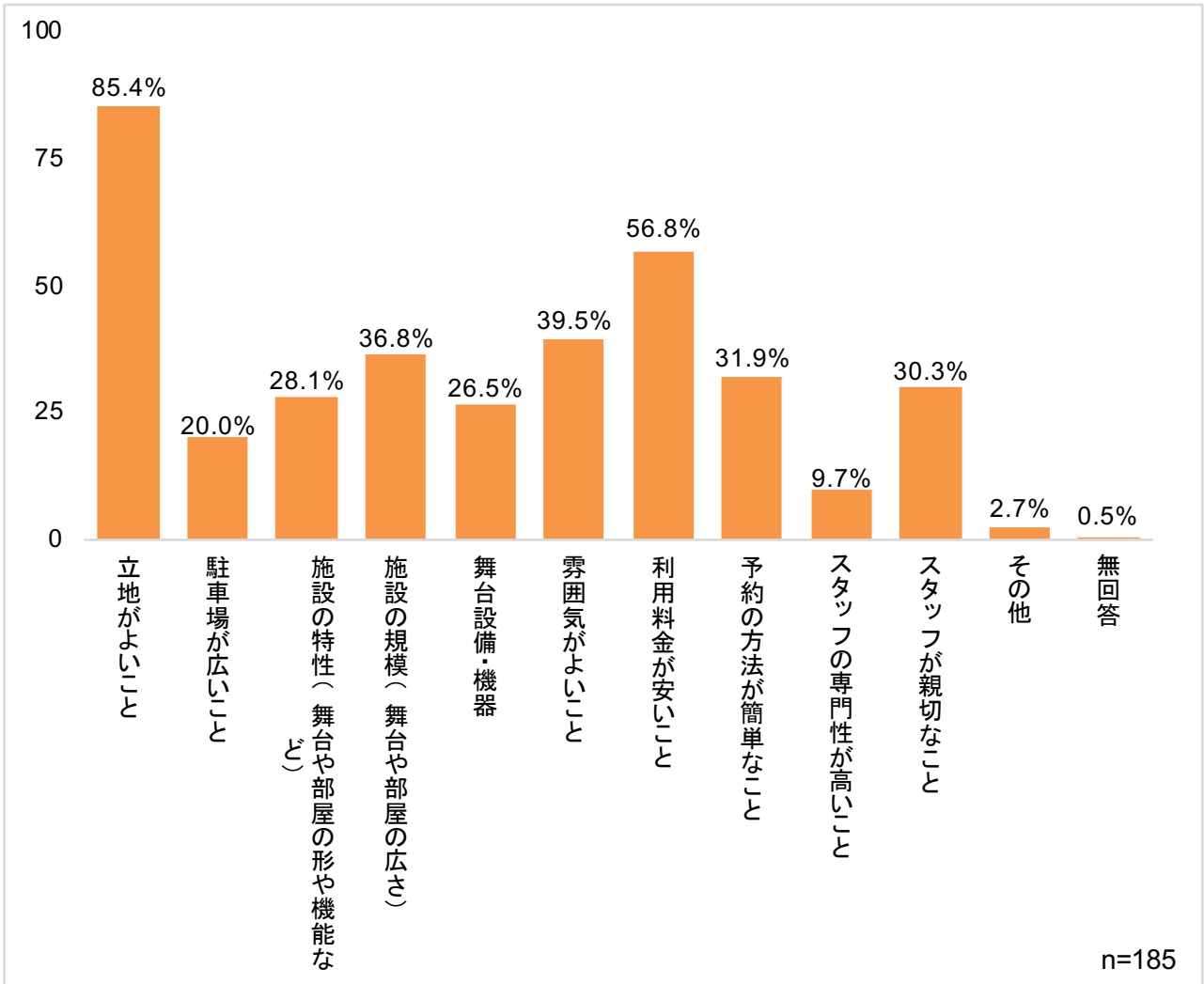
		全体	とても満足	まあ満足	普通	やや不満	とても不満	無回答
利用申請等の手続き	割合 (%)	100.0	34.6	23.2	28.1	10.3	0.5	3.2
	回答件数	185	64	43	52	19	1	6
利用料金	割合 (%)	100.0	42.2	17.8	25.9	9.2	0.5	4.3
	回答件数	185	78	33	48	17	1	8
施設の設備・備品	割合 (%)	100.0	53.5	22.2	16.8	2.7	0.0	4.9
	回答件数	185	99	41	31	5	0	9
施設の快適さ・清潔さ	割合 (%)	100.0	67.0	20.5	8.6	0.0	0.0	3.8
	回答件数	185	124	38	16	0	0	7
職員の対応・マナー	割合 (%)	100.0	56.8	27.0	10.8	1.6	0.0	3.8
	回答件数	185	105	50	20	3	0	7
総合的な満足度	割合 (%)	100.0	45.4	36.8	11.9	0.5	0.0	5.4
	回答件数	185	84	68	22	1	0	10



(8) 利用する際に重視すること（複数回答）

文化施設を利用する際に重視することを複数回答で聞いたところ、最も多い意見は「立地がよいこと」で85.4%、次いで「利用料金が安いこと」56.8%、「雰囲気がよいこと」が39.5%となっている。

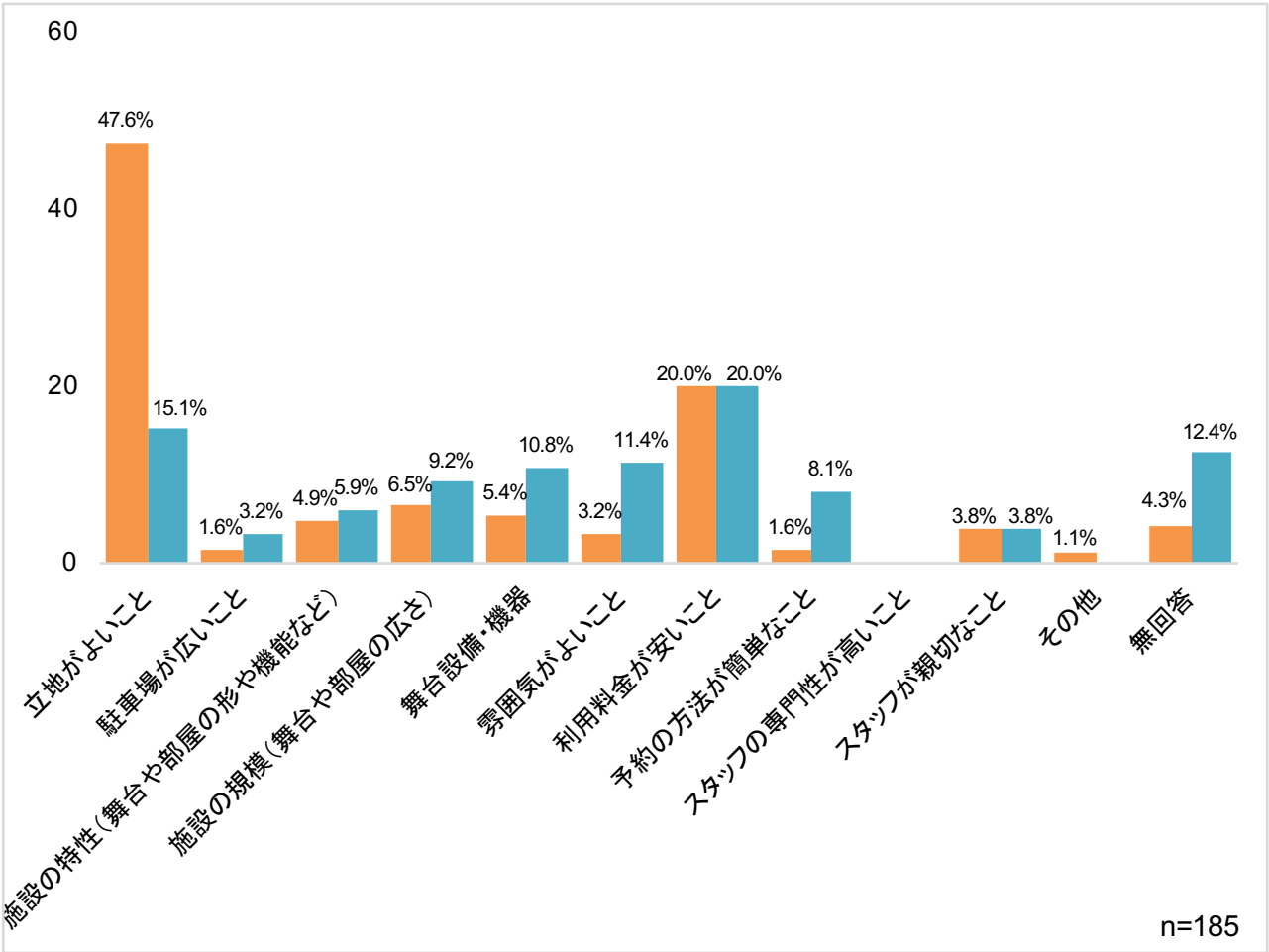
	全体	立地がよいこと	駐車場が広いこと	施設の特性（舞台や部屋の形や機能など）	施設の規模（舞台や部屋の広さ）	舞台設備・機器	雰囲気がよいこと	利用料金が安いこと	予約の方法が簡単なこと	スタッフの専門性が高いこと	スタッフが親切なこと	その他	無回答
割合 (%)	100.0	85.4	20.0	28.1	36.8	26.5	39.5	56.8	31.9	9.7	30.3	2.7	0.5
回答件数	185	158	37	52	68	49	73	105	59	18	56	5	1



(7) 利用する際に重視すること（単一回答）

文化施設を利用する際に最も重視すること、２番目に重視することを一つだけ選択して貰ったところ、最も重視することは「立地がよいこと」で47.6%、２番目に重視することは「利用料金が安いこと」で20.0%となっている。

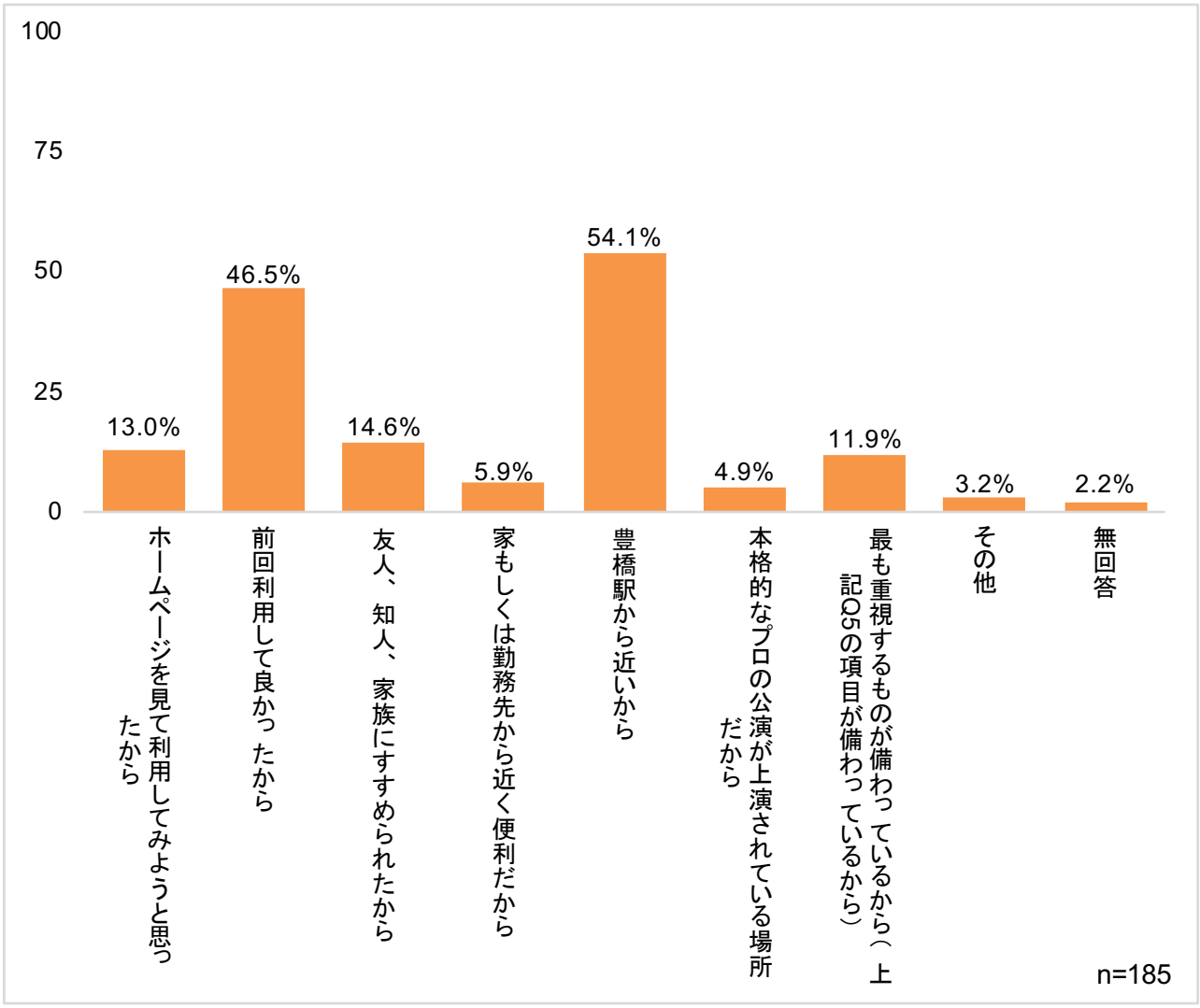
		全体	立地がよいこと	駐車場が広いこと	施設の特性（舞台や部屋の形や機能など）	施設の規模（舞台や部屋の広さ）	舞台設備・機器	雰囲気がよいこと	利用料金が安いこと	予約の方法が簡単なこと	スタッフの専門性が高いこと	スタッフが親切なこと	その他	無回答
最も重視すること	割合 (%)	100.0	47.6	1.6	4.9	6.5	5.4	3.2	20.0	1.6	0.0	3.8	1.1	4.3
	回答件数	185	88	3	9	12	10	6	37	3	0	7	2	8
2番目に重視する事	割合 (%)	100.0	15.1	3.2	5.9	9.2	10.8	11.4	20.0	8.1	0.0	3.8	0.0	12.4
	回答件数	185	28	6	11	17	20	21	37	15	0	7	0	23



(8) 利用のきっかけや理由（複数回答）

とよはし芸術劇場を利用したきっかけや理由（複数回答）では、「豊橋駅から近いから」が最も高く54.1%、次いで「前回利用して良かったから」が46.5%、「友人、知人、家族にすすめられたから」が14.6%となっている。

	全体	ホームページを見て利用してみようと思ったから	前回利用して良かったから	友人、知人、家族にすすめられたから	家もしくは勤務先から近く便利だから	豊橋駅から近いから	本格的なプロの公演が上演されている場所だから	最も重視するものが備わっているから（上記Q5の項目が備わっているから）	その他	無回答
割合 (%)	100.0	13.0	46.5	14.6	5.9	54.1	4.9	11.9	3.2	2.2
件数	185	24	86	27	11	100	9	22	6	4



利用者アンケート

10th ANNIVERSARY 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT TOYOHASHI ARTS THEATRE

本日は穂の国とよはし芸術劇場 PLAT をご利用いただきありがとうございます。皆様の声を今後の運営に活かしていきたいと思いますので、アンケートにご協力お願い致します。あてはまる項目にチェック☑をご記入ください。

Q1 どちらの部屋をご利用されましたか。(☑はいくつでも)

□主ホール □アートスペース □研修室(大・小) □創造活動室 ABCD □創造活動室 EFG

Q2 ご利用の目的で、最もあてはまる項目をお選びください。(☑は一つだけ)

□演劇やダンスの公演・コンサート・式典・発表会・映画上映 □展示 □練習・リハーサル
□作品創作・ワークショップ □講演会・研修・会議 □教室・習い事 □その他(　　)

Q3 これまでに PLAT の施設利用の申請をして利用された回数をお答えください。(☑は一つだけ)

□今回が初めて □2～5回程度 □6～9回程度 □10回以上

Q4 ご利用された(されてみての)感想をお聞かせください。(☑は各項目ひとつずつ)

	とても満足	まあ満足	普通	やや不満	とても不満
①利用申請等の手続きについて	□	□	□	□	□
②利用料金について	□	□	□	□	□
③施設の設備・備品について	□	□	□	□	□
④施設の快適さ・清潔さについて	□	□	□	□	□
⑤職員の対応・マナーについて	□	□	□	□	□
⑥施設の使いごこちに関する総合的な満足度	□	□	□	□	□

Q5 文化施設を利用する際、重視することは何ですか。(☑はいくつでも)

□①立地がよいこと □②駐車場が広いこと
□③施設の特性(舞台や部屋の形や機能など) □④施設の規模(舞台や部屋の広さ)
□⑤舞台設備・機器 □⑥雰囲気がよいこと
□⑦利用料金が安いこと □⑧予約の方法が簡単なこと
□⑨スタッフの専門性が高いこと □⑩スタッフが親切なこと
□⑪その他(具体的に:)

➡SQ5-1 上記5の①から⑪の中で、最も重視すること、2番目に重視することは何ですか。

最も重視すること [ ] 2番目に重視すること [ ]

Q6 PLAT をご利用されようと思った直接のきっかけや理由は何ですか。(☑はいくつでも)

□ホームページを見て利用してみようと思ったから □前回利用して良かったから
□友人、知人、家族にすすめられたから □家もしくは勤務先から近く便利だから
□豊橋駅から近いから □本格的なプロの公演が上演されている場所だから
□最も重視するものが備わっているから(上記 Q5の項目が備わっているから)
□その他(具体的に:)

Q7 ご利用に際して、ご要望やご意見がございましたら自由にご記入ください。

Ⅶ

インタビュー調査

1．劇場整備の関係団体（豊橋市）

深見正彦様（元豊橋文化振興財団常務理事／元豊橋市役所文化市民部長）

瀧川直史様（元豊橋市総合動植物公園長／元豊橋市役所文化課長）

（1）劇場整備の経緯、開館前の文化振興面の課題

- 豊橋市の文化課（現「文化のまち」づくり課　以下同じ）は市長部局にあるが、元は教育委員会社会教育課の所轄だった。社会教育の流れではなく市長部局へ移行した時に文化課になり、文化行政に対しても市民に寄り添った見方に移ったのではないか。
- 劇場が整備された敷地は、もともと国鉄の操車場だった土地を市が買い受けて、駅南の再開発事業の一環として整備をする計画で、生涯学習センター、図書館、芸術ホールの3施設の複合施設として計画された。
- 最初は生涯学習センターが柱で、図書館と芸術ホールは付け足しだった。けれども、生涯学習センターの必要性を議論する中で、芸術ホールは、箱物が先ではなく、また箱物があればいいのではなく、「そこで何をやるか」から造り上げていくものだ。その議論の中で、芸術ホールだけが残り、再開発事業という位置づけから、「このまちを芸術で活性化していく」というコンセプトになった。
- 市には約1,000席の音楽ホール、約600席の公会堂、約500席の中ホール、約1,500席の大きなホールがあったので、何かに特化しないと埋もれてしまう。音楽ホールだと、近隣都市の浜松市に優れたホールがある。この豊橋で芸術性の高いものを育てていくためには、若い人を視野に入れた演劇だろうと。そこで演劇に特化した劇場になった。
- ただし、市役所の上層部を説得するのは少し大変だった。「なぜ演劇性の高いものが豊橋に必要なのか」、理解ができない。では、単なる箱物のホールでいいのかと言えばそうではなく、劇場ができることによってまちが変わっていき、「豊橋にはこの劇場がある」という個性がつくられるチャンスだということを説明した。
- 運営方法の検討の際に、「余計な手間をかけずに貸館に特化すればいい」という雰囲気も強かった。プロデューサーを入れて全国から人材を集めて、自主的に出し物を選別していくという考え方はあまりなかった。大きく方向性が変わったのは、劇場コンサルタントで空間創造研究所の草加叔也さんと知り合ったことだ。市の職員には説得する言葉がなかったが、草加さんたちと付き合う中で、戦略を僕たちに与えてくれた。
- PFIの事業者の選定方針にも影響している。人材をそろえて、新しいものを劇場で創っていくのだと考えたところから選定方法が変わり、価格での評価ではなく、真剣にやろうと思った事業者が選定された。その結果、公共建築賞・優秀賞など、いろいろな賞をもらえるようないい劇場ができた。
- 草加さんの言うことを100％理解していたわけではないが、「芸術は人を育てる。芸術文化に触れる人たちが、どれだけ人生の中で得がたいものをもらえるか」という言葉が、他の人を説得できる可能性があると思った。
- 建設時も、草加さんに建設のアドバイザーを委託し、市役所と建設会社とのやりとりではなく、劇場コンサルタントと設計者とのやりとりを踏まえ、市が判断することになった。それが一番良かったと思う。
- 専門家のアドバイスがなければ、彩の国さいたま芸術劇場、兵庫県立芸術文化センター、北九州芸術劇場にわざわざ見に行かない。そういったところへ実際に行き、どんなふうに運

営し、その成果などを聞くと、豊橋にないものだということが分かった。

- 当初の計画を進めていた市長が交替した時に、新しい市長が一時期「演劇の施設建設をやめる」と言い、議会の審議もストップしたことがあった。しかし、徐々に市長が文化芸術の必要性を理解するようになってきた。ただし、そのままの計画では進めないため、どうしたかと言えば、「より芸術文化に特化して、単なる箱ではなく、豊橋の個性をつくっていく」という方向性に変えた。
- 建物ありきではなく、人づくり、まちづくりの話を中心に据えて、そこで何をするかということから建物を決めていく方向で再検討した。より文化芸術に特化し、充実した施設にして、まちづくりのためになる施設を造るという形に研ぎ澄ましていった。
- そのためには新しいものが必要で、今までの地域の文化のままでは人は増えない。新しく特化した劇場で文化活動を市が政策としてやっていけば、人の流れ、まち中の活性ができるのではないか。もともと国交省の補助金で整備されているので、新たな人の流れをつくるというところを忘れてはいけない。

(2) とよはし芸術劇場による文化振興面での成果、効果

- 市の地元の文化団体の活動は盛んで、文化協会は、さかのぼれば昭和8年から9年にかけて、そのルーツがある。現在は150ぐらいの団体が文化振興財団に加盟して、自主的に活動している。豊橋が中心になって愛知県の文化団体の連合を結集させる力があり、それで循環して満足してしまう。
- 質の高い演劇を見たい人は名古屋に行くため、「豊橋でいい演劇を見ることはできない」という声もだいぶあった。
- 誰のための文化振興かが難しい。今の150団体は、零細な文化教室の集まりみたいなものだが、何の援助も受けずに自力で頑張ってやっていて、とても大事な活動だが、こうした団体の声ばかり聞いていると、それ以上のものが生まれてこない。
- 文化協会が母体となって社団法人化、財団法人化を経て平成24年に公益財団法人豊橋文化振興財団になった。財団（＝文化協会）にとよはし芸術劇場の指定管理者を任せるのか、あるいは、財団の事務所は豊橋市民文化会館に拠点を置いて地域の文化振興を担い、新しい劇場は新しい体制でやっていくのかという議論があった。
- 当時の財団ではとよはし芸術劇場の運営はとてもできなかったと思うが、財団が地域の先頭となる施設に参画しないのはすごく問題があると思った。そのため、市役所の職員が財団と協力して、文化芸術振興のための集団になるような人材を呼び込んで劇場を運営するという方向で進めた。
- 文化団体には歴史とパワーがある。こういう人達をどのように生かしながら、新しい文化振興を上乗せしていくのかというところが難しい。例えば、市役所が直営で運営したら、分断されたまま、日頃文化に親しんでいる地域の人たちが劇場に馴染まないで、かえって背を向けたりする可能性もある。最終的には財団も「自分たちしかいない」と気が付いてくれて、事務所も劇場に移して、今の状態になった。
- 劇場の職員一人一人は言わばアーティストたちだから、いろいろな企画制作には専門職員が要る。芸術部門の職員は全国から優秀な職員が集まってきているが、総務部門の充実がすごく大事だった。単純に請求書の量も、支払いも2倍、3倍になり、その処理が大変で、総務・事務部門の強化がすごく大事だった。引き受けてくれた財団は、よく自分たちの役割を理解したと思う。

- 財団の職員の人件費は、指定管理部門以外は市からの100％補助で、市役所の理解がないと一歩も前へ進まない。
- とよはし芸術劇場があることで、名古屋で見られないような演劇がここで見られる。今までは演劇のファンは新幹線に乗って名古屋や東京へ行ってしまっていたが、豊橋の演劇のファンが増えていると思う。
- 地元の文化団体はすごく盛んで、少子高齢化の波はあるものの、自分たちで活動する分にはやっていける。何が豊橋にないのかといえば、優れた芸術鑑賞機会の提供というノウハウと、専門的な知識だった。本当に優れたものを地元で見てもらうところが圧倒的に欠けていたので、劇場ができ、それを動かす人ができて、新しいジャンルが動き出したと言える。
- 本格的な演劇公演を頑張ってやっても1年に1回か2回だと、新しい芝居を見ようという人も増えないだろう。回数が圧倒的に増えているところも、一つのジャンルが出来上がったと思っていいのではないか。
- 劇場は、豊橋市内だけでなく、豊川、田原、蒲郡、新城など、東三河地域の約75万人を考えている。「豊橋の劇場」というよりは、「穂の国」という名前を付けているとおり、東三河をホームにしている。この地域全体を表す施設という意味で、「穂の国」という言葉は絶対に外したくなかった。豊橋は東三河地域をけん引していかなければいけないと思う。市長もそういうことを言っている。だから東三河の文化振興の事業の中心的役割を担っている。

(3) 教育、福祉、まちづくりなどの成果、効果

- 学校教育との連携をかなり重視した施策をしていた。例えば、演劇公演を招聘して、その演劇の中の幾つかの公演を子どもたちに見せるプログラムを用意するなど、また劇団四季と連携して、小学校鑑賞公演「こころの劇場」を誘致したこともあった。この施設の一つの目的としては、学校教育との連携は必要だと思っている。
- 教員が劇場へ来て、演劇体験を通じてスキルを磨いてもらえたり、劇場ならではのスキルの講習を受ける、あるいは学校へ出前講座に行ったりと、今までになかった新しい取り組みが定着しているのではないか。
- 劇場には企画のスキルがあるスタッフがいるので、ある程度方向を決めたところで、最後は専門家に、よりいいもの、やろうとすることにより近いものを一緒につくっていくことができるのではないか。とにかく昔は専門家がいなかった。
- パッケージで公演を買ってくるのではなく、必要な人材を自分たちが企画の中で使うようなことができているのではないか。イベントやアート的な考え方をいろいろなところで実践する人たちの中に、とよはし芸術劇場の職員が入ることで活性化させるなども、当初の計画で確か考えたと思う。今、この周辺のまちの活動で、職員たちが関わって、文化芸術的な要素を取り入れた活動をやるなど、そういった形で街と少し融合してきているのではないか。
- （再開発が行われる前と現在とで、どのように街自体が変わったかという質問に対して）明るくなったと思う。劇場ができる前、このあたりは歩くのが少し怖い通りだった。最初は「こんなところに劇場のような施設を建ててほしくない」と地元住民の反対もあった。
- ふたを開けると、地元の自治会関係者たちに、「うちの前に車を止めていいから」などと協力的になった。結局、街が明るくなったのと、最初に心配していた、公演の終了時に大量の車が流れてくるという懸念が払拭された。
- 豊橋駅に新幹線が停車することは大きい。劇場の関係者も、日帰りで帰られる方がいらっしゃる。そこがいい公演を呼べる一つの魅力だと思う。

- なぜ街おこしするのかというと、まず、街の名前を覚えてもらい、来てもらう。なぜ来てもらうかというと、企業に来てほしいからだ。（社員が）その、街に住みたいと思うまちであれば、企業は来ようかと考える。魅力のある街であれば、企業が社員のことを考えて、ここで仕事をしてもらおうかと考える。つまり、企業誘致につながるかもしれない。そうすれば税収につながり、街が存続できる。そのために街おこしというのはやっている。
- 豊橋に立地する大手メーカー企業の退職者は、結構、豊橋が住みやすいと、そのまま定住している。物価もそこそこ安く、山もあり川もあり、今では劇場がある。劇場はそのための一つのツールで、知らない人に豊橋に来てもらうというのはとても大事だ。街が存続して生き残っていくためにも、劇場は一役買っている。

（4）とよはし芸術劇場への期待や要望等

- 東三河地域の人々が、とよはし芸術劇場があるから豊橋に行くような雰囲気になってほしい。来訪者の一人として歩いてもらい、お金を落としてもらえるぐらいまでになれば、東三河地域と豊橋市の双方利益があると思う。
- ただし現在は、劇場に来てもすぐに帰ってしまう来場者が多い。ペデストリアンデッキを通って、そのまま帰っていく。そこが今の課題。全国的に名の通った劇場になったので、豊橋の知名度アップには大いに貢献している。しかし更なる「何か」が必要だと思う。
- 対外的なことも大切だが、この地域の人たちをどのように育てていくかが、一番大切だと思う。どれだけ稼ぐかではない。お金を稼ぐことはいいことだが、稼がなくても地域に対する役割がある。教育的な役割や、住んでいる人たちの文化意識の涵養など、そういったお金に換算できない役割を、そろそろ価値として認めてくれなければいけないと思う。
- 民間ではない劇場なのだから、そもそも大幅な黒字などはあり得ない。幾らかは市からの補助がなければいけない。ある程度の収入は当然上げなければいけないが、劇場としての本当の役割を果たしていれば、市としての負担は相応だと思う。地域住民への福祉と一緒だと思う。それを一人でも多くの人に理解してもらうような努力も必要ではないか。
- 従来からの文化協会の流れの「地場の芸能」の活動が少子高齢化であえいでいるが、絶対に残っていくものがある。そうした活動と劇場が、もう少しどこか上手に融合するといいと思う。
- 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供を喜ぶ人もいるが、「そこまで優れていなくても、カラオケでいいのだけど」というような人もたくさんいる。そこで、いかに目線を低くしていくか。支持されていくためには、そういう劇場であると思ってもらえることも大事だと思う。絶対に残っていく文化活動をする人たちに支持されたほうがいい。
- とよはし芸術劇場は、すごく芸術性の高いものが体験できるところでもあり、自分たち（市民）の活動の拠点ともなれる。例えば、東京などの大きなホールでは、それはあり得ないと思う。この地域だからこそ、2つの面を市民に提供ができる。それがすごく強みのような気がしている。
- 劇場の職員は、技術職員も含めて専門家だから、専門用語を使ったりするからだろうか。たまにしか劇場を利用しない市民団体の人たちがこの劇場を使おうとすると、面食らってびっくりしてしまう。その辺りはよく相手を見て、地元の人たちと上手くコミュニケーションを取ることができれば、さらに身近になっていくと思う。そうすれば（市民が）「俺のところから劇場がなくなるのはとんでもない」と言ってくれるようになるのではないか。
- とよはし芸術劇場にいるような劇場の専門職員に、市役所では会ったことがない。市役所の

職員はゼネラリストだと思っているが、劇場で出会った職員は舞台芸術の可能性を信じている人たちに見える。そういう人たちの熱が伝わってきた。ぜひそういう職員に、劇場を支えていってもらいたい。開館当初のその熱を失わないでほしい。

- 開館当初はどちらかというと、市の文化課が劇場に指示をするようなイメージだった。現在、劇場はある程度想定どおりの活動と実績ができていると思う。今後はこれまでにも増して、市民から集めた税金をどのようなものに費やして、どのような人がどのようにして見ていってもらったかと、完結するところまで見ていてほしい。

2. 劇場整備の関係者（プロデューサー）

矢作勝義様（穂の国とよはし芸術劇場　芸術文化プロデューサー）

(1) とよはし芸術劇場の芸術文化プロデューサー就任の経緯

- 2012年4月から豊橋に来ることになった。事業制作チーフとして開館1年前から準備室に来てほしいと言われて、劇場を建設し始めて3年目に入っている開館の前年度、2012年4月から豊橋に来ることになった。
- 劇場運営の組織形態としては、建てる時の準備構想の中でできていたと思う。構想の後で唯一変えたのは、技術スタッフ全員を財団固有にするのか、全て外部委託にするのか相談を受けて、技術スタッフの半分は財団固有、半分は外部委託にしたことと、最初は音響が1人少なかったのを、「2つの劇場があるのに（舞台、照明、音響の）各セクションに2人ずついないと無理だ」と言って交渉して、予算を付けてもらった。
- もともと財団に数名の職員がいた。とよはし芸術劇場ができる前は、文化会館を拠点に音楽事業などを中心に年に数本程度実施し、文化団体の発表会支援をコンスタントに実施していた。そこに職員が退職した2011年に、この後とよはし芸術劇場が開館することを前提に職員を採用した。
- 当初は事業担当と管理担当を分けようという想定だったと思う。実際に何人採用できるか検討が始まった当初は、今より2人少ない体制だった。採用に際し、全員で総がかりでやらないと業務が回らないと思ったので、当時のプロデューサーと相談し、組織的に管理系と事業系を分けずにいくことを決めた。
- 職員採用にあたって、新規立ち上げの劇場だったので、過去に自分が勤めていた劇場のやり方を引きずってしまうタイプよりは、新しい場所で臨機応変に物事をしっかりと考えて、目の前の状況を見て判断できそうな人間を採ったほうがいいだろうということで、初期の立ち上げメンバーを採用した。だから劇場勤務経験者は採用しなかった。
- 自分が着任した段階で、オープニング（こけら落とし）の日にちは決まっていたが、プログラムはまだ決まっていなくて、それを決めたのが着任してすぐだった。オープニング事業の年間プログラムで、大型の企画は前任のプロデューサーがほぼ決めていた。
- どういう目的で建物を造るかということは、（PFI事業の）要求水準書は出ていた。しかし、それはハードウェア寄りの言葉で、具体的に「こういうコンセプトで、こういう事業をやります」というような言葉ではなく、分散して様々な文書に記載されていたが、それこそ「文化の見えるまちづくり」という構想だった。それまでに発表されている資料の端々にある言葉を基にしながら、最終的には、地方にある公立文化施設としてやるべきことは一体何かを落とし込んでいった結果が今の劇場ミッションになる。
- ちょうど劇場法が制定されて、文化庁の助成制度が公演事業、人材養成事業、普及啓発事業の3本柱になっていたので、その3本柱を初めからうまく当て込んでいく構想で事業を組み立てたほうが申請もしやすいと考えていた。その組み立てと、以前からの財団の事業分類と微妙にズレているのは、そのためだ。

(2) 劇場整備、事業や運営計画で重視したこと

- 開館1年目はいわば顔見世興行なので、とにかく話題を集めて、来場者をできる限り集めるということだけに集中していたと思う。やはりある程度のネームバリューがあるような出演者で、今までの人脈の中で招聘可能な公演というような感じで選定されていた。

- ポイントの一つは大道芸だったと思う。前任のプロデューサーの人脈もあり、世田谷の三茶de大道芸やひたち国際大道芸の大道芸プロデューサーを起用して、開館1年前の2012年から始めた。13年は開館が4月末だったので秋に開催したが、2年目以降は5月のゴールデンウイークに開催することを定番にしている。
- 1年目はそのように派手なプログラムを全面に展開したが、「このままでは公共劇場としての本来の機能を発揮できない」と考えた。足元を固めていくに当たり何をしたら良いかを考えた中で、学校に行くアウトリーチは、これから実施するとともに、さらに拡大していくことになるだろうという考えもあり、2年目からワークショップの進行役養成のためのワークショップファシリテーター養成講座を始めた。
- 劇場としては、作品創作をしないと劇場としてのポテンシャルが技術も制作も上がらないと考えていた。しかし、常にプロと作品創作をするほどの予算はなく、人材もいないので「誰と作品づくりをするのか」と考えた時に、地元の高校生に目を向けて、彼らと一緒にやるのがいいのではないかと思いついた。
- 高校生と作品創作をすることを考えた理由は、中部日本高等学校演劇大会をとよはし芸術劇場で2013年に開催された時の上演を観て、プロの演劇作品をほとんど観たことのないような演出をしている作品が何本もあり、これはやはり、具体的に演劇作品の創作の実例を示してあげなる必要があると考えたこと。
- もう一つ、高校生と作品創作をするのと同時に市民とも行ったほうがいいと思っていたが、たまたま俳優の近藤芳正さんから「市民との作品作りをやりたいんだけど」と声をかけてきた。近藤さんは愛知県名古屋市の出身ということもあり、劇場としては願ったりかなったりだった。
- （市民参加事業でのプロの演出家と市民との関わりについて）私はどちらかというと、特定の劇作家や演出家がべったりくっつかないほうがいいと思っている。特に活動拠点が東京だと、ある一定の期間、豊橋に滞在しての作業は、毎年コンスタントにやるのは大変で、1度経験してもらえれば演出家の経験としても充分だろう。
- しかし、そうした経験はアーティストにとっても非常に貴重で、ある一定の年代層の人たちに体験してもらうほうがいいのではないかと思う。そういう点でも、選ぶ演出家は30歳ぐらいから40歳前半ぐらいまでの間で、体力と気力がある若いうちに来てもらうことと、アーティストとしてもプロフェッショナルな仕事として腹をくくるタイミングではないかと思われる人に機会を提供して来てもらうことが多かった。
- 誰と作るかという時に、豊橋は東京と同じ考え方では作品創作はできないので、「誰に演出を依頼して作品を創るか」ということがポイントだった。私自身の経験に照らして、高校時代に何を学び、どのような経験をするのかということはすごく重要だと考えている。高校生の3年間で、豊橋に生まれ育っているだけでは経験できないような、ある種の少し特別な経験をできる可能性を提供したい。視野を広げて、自らの可能性を広げてあげられることができるといい。
- 豊橋だけに限らないが、地方都市のある閉じられた空間の中だけで生活をせざるを得ない多感な高校時代に、学校という場所は息苦しい。校則や管理の目がある中で、そうではない何かを体験できるという機会を、劇場が提供できることはすごく大きいと思った。
- 2016年のあいちトリエンナーレも大きかった。シャッター商店街的な状況だったとよはし芸術劇場の近くにある通称水上ビルで地元の有志団体がとよはし都市型アートイベントseboneというアートイベントを開催していて、空き店舗に様々なアート作品を展示して人を集めるイベントを年に1回やっていた。そのような状況の中で、あいちトリエンナーレ2016の豊橋会場

のメイン会場が劇場と水上ビルと取り壊し前の開発ビルなどで開催された。

- だから、コンパクトなエリアに会場があり、非常に魅力的な作品を集中的に集めていた。そこで、水上ビルの魅力再発見につながり、その後、水上ビルはほぼ店舗が埋まった。されに、会場となった開発ビルが再開発により、まちなか図書館、まちなか広場となり、それに劇場と水上ビルという、南側エリアの再開発のある形が整ったというところが大きい。
- 地方の劇場の一番の役割は、人づくりだと思う。この土地で暮らしている人、この土地で生まれた人、この土地で育った人が、いまここにある課題を発見し、どうしたら良いかを仲間と相談し、一緒に解決していくという行動力と思考力と協働力を備えた人材がこの土地に存在することが重要。その種まきを、まずは高校時代にやっておかなければならない。
- 20年後、彼らが30とか40歳ぐらいになった時に、街に層のようにいてくれることを期待している。将来的には市役所の職員として働くようになる人がいて、あわよくば市長や財務部長になる人がいてくれて劇場を応援してくれたらと淡い期待を持っている。
- 劇場は、20年先30年先のこの街において、助けになるようなことは何かを想像して、今から種をまき続ける。これが無駄な労力やはかない期待になるのか、それとも期待通りの先行投資になるかどうかは、実際に20年ぐらいたたないと分からないけれども、そういうようなことではないかなと思って事業を行っている。

(3) とよはし芸術劇場の成果、効果

- 成果は、豊橋だけの話ではなくて、演劇を観たいという人が地方でもこれだけいるということがはっきりしたということ。ある程度コンスタントにいい作品をきちんとやり続け、情報を広め、「これなら観てみたい」と観客の思いを受け入れられるような状況をつくっていけば、とよはし芸術劇場は771席だけれども、豊橋市という中核市規模で、1演目約3,000人のお客さまを集めることができる可能性があるということ自体が成果だ。
- (東京からの)行き帰りのコストと時間を考えると、豊橋は舞台作品を呼びやすかったところが大きい。それにより、小劇場も含めていろいろな人たちが豊橋に(上演に)来てもらえる環境をつくれたということ。それとともに、ホスピタリティー豊かなスタッフがそろっているので、この劇場で上演したことを気に入って帰ってもらえているところが大きい。
- 愛知大学に吉野さつきさんが着任したことはすごく大きい。本当にお互い偶然だが、愛知大学は、ここに劇場ができるから吉野さんが担当しているメディア芸術専攻というコースをつくったのだと思う。
- 吉野さんがいてくれたおかげでワークショップファシリテーター養成講座や、障がい者に関わる企画が非常にスムーズにできた。われわれの人脈だけではジェニー・シーレイさんのような方を豊橋に呼べなかったので、ここに吉野さんがいてくれたことが大きかった。
- いわゆる舞台芸術の創造環境・上演環境と同時に、ワークショップや障がい者アートなどに取り組める環境があった。それと同時に、自分が世田谷パブリックシアターにいた人脈で、すずきこーたさん、柏木陽さんといったファシリテーターに関わってもらえたのも大きい。
- 自分のような東京で働いた人間が東京以外の地域に行く意味は、東京でしか活動していなかったアーティストを外(地方)に引っ張り出すことだと思う。それによって「他の場所でも仕事ができるんだ」ということを、本人も意識し、地域の側にも「来てもらえるんだ」と思える状況を作ることだと思う。その点については、豊橋の立地条件と、集まってきた人員的な要素がよかった。
- 文化振興指針を立てる時に、とよはし芸術劇場が開館するまでは、劇場を建設することが

目標だった。オープンして、少し間が空いてから、次の計画を立てることになり、とよはし芸術劇場がやっていることがその計画の中に位置づけられた。「こういうことをやっていきます」というのが、「もうやっている」ことになるので、文化振興指針のアクションプランに載っていることの大半をとよはし芸術劇場がやっているという状況になった。

- 2016年に文化振興指針の改訂があり、その前の年に教育委員会ととよはし芸術劇場が協働するようになった。「教育にアートを体験することも加えたほうがいい」と教育委員会も方向性が変わったのだと思う。劇場を建てたことが大きいと思うが、公演鑑賞などもプラスアルファでやり始めたのもそこからだった。
- 今後の課題は、PFIの期間が15年間なので、この15年目をどう乗り切り、16年目からどういう体制にするのかということについて、市役所の動きが鈍いこと。協議の場をつくってほしいということは伝えて動いてはくれているものの、「どうするのか」ということの方向性が定まらないとどうにもならない。
- 開館から10年が経過し、コロナ禍もあったため、2019年に一つのピークを迎えた感がある。ある一定の形はつくり、劇場法ができてからの文化庁の制度とうまくマッチングして発展した。ところが、このコロナ禍で社会が大きく転換し、文化庁の方向性が大きく変わり、劇場を取り巻く環境が変わった中で、今までどおりやっていたのでは立ち行かなくなる部分が見えてきた。
- 今から開館15年目を乗り越えて、その先を見越してどう組み立て直すかがポイントだ。そこにはハードウェア面とソフトウェア面の課題がある。
- かつては豊橋には現在とよはし芸術劇場で上演しているような演劇公演は来なかった。多くの豊橋の人たちの口癖は「どうせ豊橋なんか」と言っていた。ところが劇場ができて、非常に有名な舞台作品が、豊橋で上演されるけれども名古屋での上演はないというケースが増えた。名古屋ではできないが豊橋なら観ることができるような状況になり、演劇を観ている人にとって、やはりある種シビックプライドのような、少し自慢できるものが生まれた。日本の人口の大半が劇場に来たことがない現状において、劇場があることにより、テレビや映画などのメディアに良く出る人たちが豊橋に来たことがあるという状況をつくることができた。

(4) とよはし芸術劇場の今後の展望等

- ここから先5年ぐらいは、円安と株高、光熱水費を初めとする物価の高騰が劇場にとっては最大の難題だと思う。維持管理コストが上がってしまうことにより、本来なら事業費や人件費などに回していたはずの予算をそこに充てなければならなくなり、実施できる事業が目減りしていくことは明らか。そこを無理してでもやるのか、少し減らしながら様子を見てやっていくのかが、まさしく今考えどころ。
- 文化庁が文化芸術活動基盤強化基金「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」を実施することになったこともあり、劇場界としての次のステップは海外との交流だと考えている。海外での公演ではなくて、まずは海外のアーティストや劇団・劇場との共同制作から。
- 海外交流といっても大きなことはできないと思うので、アーティスト・イン・レジデンスの相互交流で豊橋に来てもらい滞在制作をすること。こちらから誰かを海外に派遣して、その先につながったら作品を交換するというような交流。それもアジア圏からだと思う。韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、ベトナム辺りも含めたアジアと、あとオーストラリア、環太平洋。
- 市民参加はずっと続けていければいい。これは恒久的に続けていくべきだと思う。これはJリーグ構想から発想を得ているのだが、とにかくプレーヤーを増やして、その楽しさを実感し

た人を一人でも多くつくっていくことが、劇場のあらゆるものを支えてくれる人を増やすことになると思う。

- その分、その時の（プレーヤーとしての）体験が最悪にならないようにしなければならない。うまくいかないこともあると思うが、いろいろな意味で、うまくいかなかったことを次に何でリカバリーできるかということまで提示できるかどうか。
- 演劇は稽古を繰り返し、作品づくりを繰り返すことにより、前回できなかったことを日々クリアしていく。これは何歳になってもできる可能性がある。最初に実施した市民劇で、家族のお話を上演した時のエピソードになるが、参加者の中に、数年前に旦那さんを亡くして生きがいを失っていたけれども、出演者募集のチラシを見て参加し、日々練習して、その年になっても自分がまだ学びを得られる可能性があること、新しいことにチャレンジして自分が成長し、他の人とコミュニケーションを取って喜びを見つけていくことができると発見し、生きる意欲が出てきたというようなことを、地元紙のインタビューで答えている人がいた。
- 新しい出会い、新しいコミュニティーが生まれている部分もあるので、劇場として、この土地に今までなかった回路をつくっていくことになると思う。地方都市の閉塞（へいそく）感を打破するために、やはり劇場というのはあるのではないかと思う。
- 財団の基盤となる文化協会の活動はすごく重要で、その活動がベースにあったので、とよはし芸術劇場の事業がやれている状況だということは確か。文化協会の加盟団体がやりたいという気持ちがあり、体力的にもやれる限りは、その場を提供していくことは、豊橋文化振興財団の仕事だと思う。
- だから、劇場は違うジャンルの人たちの新しい活動の場をつくっていくことが必要なのではないかと思う。ヒップホップやダンスをやりたい人は近年増えているけれども、文化協会のような流れから外れてしまっているので、そういう人たちを、劇場としてはどのように一緒にやっていける可能性があるかを探ることは課題だろう。

3. 劇場運営の関係団体（豊橋市に演劇専門劇場をつくる会）

大井則生様（豊橋演劇鑑賞会　事務局長／前「豊橋市に演劇専門劇場をつくる会」代表）

(1)「豊橋市に演劇専門劇場をつくる会」設立背景と活動内容

- 現在、豊橋演劇鑑賞会の会員数は1,400人で、年6回（2カ月に1回）2ステージの活動をしている。コロナ前までは3ステージやっていた。1976年に愛知県豊橋勤労福祉会館が開館して、初めて豊橋市で芝居が打てるホールができたので、そこから豊橋演劇鑑賞会が発足した。
- 約1,500席の愛知県豊橋勤労福祉会館では客席数が少し大き過ぎるなど、いろいろ不満もあり、豊橋市民文化会館は約500席だが舞台がすごく狭くて、演劇をやるには非常に条件が悪い。それで新しい劇場をつくりたいという声もかなり聞かれた。
- しかも、そうした会館は全て多目的ホールだった。「多目的ホールは無目的ホール」だということで専門の劇場が必要だと、豊橋演劇鑑賞会に事務局を置いて、豊橋おやこ劇場協議会、地域のアマチュア劇団や文化団体、バレエの教室の先生たちやいろいろな人が集まって「豊橋に演劇専門劇場をつくる会」を1993年3月に結成した。
- 地方の演劇鑑賞団体は、全体で見ると後退していて、1997年の時点で全国の鑑賞会は28万人いたが、現在は8万5,000人に落ちてしまっている。コロナの3年間がかなり厳しかったが、その前からやはり後退していたので、劇団も鑑賞会も本当に厳しい状況である。
- 演劇鑑賞会の毎回の例会に劇団が来るので、演出家、俳優、舞台監督といった人たちと「いい劇場とは何か」という勉強会をして、劇場の知識を蓄積した。
- 豊橋駅の南の区画整備をしていた土地で、市から「劇場を含む複合施設をつくりたい、どんな劇場がいいのか一緒に考えてほしい」と呼びかけがあった。20年間で10回以上、市や市会議員に陳情し、陳情書を提出した。あと、俳優が来る度に表敬訪問と称して市長や企画部長に会いに行った。
- 2001年に文学座の演出家の西川信廣さんの呼びかけで、豊橋でシンポジウムをやろうよということになり、女優の長山藍子さん、演劇評論家の衛紀生さん、舞台美術家の朝倉摂さんに来てもらって「劇場と人とまち21世紀　劇場が人を育てまちを生かす」というテーマでシンポジウムを実施し、勤労福祉会館（現アイプラザ豊橋）の小ホールに300人ぐらいが参加した。それが起爆剤の一つになったと思う。
- 議員や市の文化課の担当者が立ち上げた「芸術ホール研究会」に自分が呼ばれて、どんな劇場がいいのか議会に説明をしなければいけないといった時に、私たちはこういう劇場が欲しいのですということをまとめた「芸術ホールについて」という文書を市に提言した。
- とよはし芸術劇場ができる時に、ほぼほぼ私たちが要望していた劇場の内容がかなり基礎になっていて、演劇人が使い勝手のいい劇場ができたのではないか。「劇場をつくる会」は、とにかく「観やすく・演じやすく・使いやすい市民に親しまれる劇場を」というコンセプトで広げていった。だから、かなりここは演劇をするには、とてもいい劇場だと思っている。
- 劇団東演がロシアの俳優と一緒に制作した芝居をとよはし芸術劇場で何回もやっているが、演劇のメッカのモスクワの俳優たちが「ここで1週間も2週間も芝居をやりたい。本当に素晴らしい劇場だ」と言ってくれたので、豊橋市民はもっと自慢してもいい劇場だと思う。
- ソフトの面も同時進行できちんとつくっていけよというふうに言われて、いろいろ提言はしたが、運営面で言うとなかなか難しい。稽古場を要望したので、練習室やアートスペースができてが、本当は自由に使えるように、自己管理、自主管理のようなことはできないか提言し

たことがあった。

- 劇場をつくるという計画が決まって実施計画まで行って、私たちの手からはもう離れていたのだが、その後、市長が交替して、その公約に文化施設の見直しがあって、1年計画がストップした。しかし、結果的には大きな変更はなくて良かった。
- しかも当初は図書館や生涯学習センターとの複合施設案だったのが、予算的に厳しいために劇場単体になり、それなら稽古場も小ホールも含めた計画に変わった。それは良かったと思う。
- 「豊橋市に演劇専門劇場をつくる会」の運動は、何の影も形もない状態から、「何年やったらこれは実現するのか」という話だった。だから、そういう意味では非常に運が良かった。全国、日本の中でもまれな成功体験だ。

(2) とよはし芸術劇場の特徴やそれ以外の劇場やホールとの違い

- 他の劇場は多目的ホールなので、例えば舞台の広さや奥行きがやはり足らない。舞台と客席が同じぐらいの面積があるのは、とよはし芸術劇場の一番の特徴だと思う。だから舞台と客席の一体感が持てる劇場で、他のホールではそうはいかない。
- 多目的ホールではないので、音響反射板が舞台の上に付いていないから、バトンが30本以上あり、かなり専門的な演劇ができる。搬入口と舞台がフラットになっていて、11トンのトラックから、すぐに荷下ろし、片づけもできる。他のホールに比べて1時間以上は、仕込みや撤収の作業時間は違うのではないか。
- セリや回り舞台といった余計な装置がなく、舞台上の床板を外してどこにでも穴があけられる形になっている。日本舞踊やいろいろな人の意見で花道も仮設で作れるようになっている。この劇場はある意味、本当に万能ではないか。
- とよはし芸術劇場のライバルになるような劇場は、東京にはあまりない。来年4月に俳優座劇場が閉じてしまうこともあって、東京の劇団はどこで公演するのかと思って心配をしている。静岡県のグランシップの中ホールはいま一つで、ここがいいというのはあまりない。豊橋市民の自慢にしてほしいけれども、そうはなっていかないのは土地柄だろうか。

(3) とよはし芸術劇場の地域(豊橋市、東三河地域、愛知県)における役割

- 演劇専門の劇場は、愛知県では刈谷市や長久手町にできているが、名古屋にはない。「なぜ豊橋にあって名古屋にないのか、愛知県内でもこんな劇場があったのか」と名古屋市の職員が驚いている。
- 東三河、それから名古屋に、愛知県芸術文化センターとはまた別に、演劇を主体にした専門劇場があるといいとは思っている。(東三河や愛知県という中でのとよはし芸術劇場の存在感について)もっとアピールしたほうがいいのだが、自分たちもアピールしているものの、やはりなかなか限界がある。
- 「いつかはあそこに行って芝居を観てやろう」という思いの市民が大勢にならないと、劇場は親しまれていかないのではないか。愛する人が増えていかないと、劇場はすぐ廃れてしまうのではないか。だから、そういう意味ではとよはし芸術劇場はいま一生懸命やっていると思う。
- いま学校で定期的に芝居を観る学校公演も本当に少なくなっている。だから、そういうことを率先してやれるようになると、もっと演劇好きが増えるのではないか。
- (劇場が外に向けて発信するプロデュース作品について)今のところ基本的に、とよはし芸

術劇場でのそういう公演と、鑑賞会の例会でやる劇団の公演は、取り決めているわけではないけれども、不文律があり、うまく棲み分けができている。

- ただ、それはやはりスタッフや上に立つ人たちが演劇の事情を知らないとできないと思う。そういう意味ではプロデューサーの矢作さんたちが、その辺の事情をよく知っているので、こういう方たちがみえている間はいい。上層部が替わると「今度はダンスを優先にしよう」と変わっていく可能性もある。
- 鑑賞会にとって会場問題は全国的に大きな問題で、大規模改修や、もしくは自治体が劇場をお荷物と考えて、老朽化したらそのまま廃止してしまうという所も出ている。新しい劇場を設置するときの一つの懸念材料は、鑑賞会の会員が劇場側に吸い取られるのではないかというようなことを考える人がいるが、そこまではいかないのではないか。
- むしろ同じ方向性を向いて、演劇を好きな人を広げていくという意味では2倍になるのだから、そこは演目をどういうふうにするかなど少し話し合いをすれば解決する話だ。
- やはり同じ方向性を向いて、本当にこの地域で演劇というものを生活の中に取り入れる、そういうものを楽しめていけるような、そういう土壌をつくることは、鑑賞会だけでは大変で、劇場があるということはすごく大きなことだ。

(4) とよはし芸術劇場への期待や要望等

- とよはし芸術劇場を主に使う文化団体と運営委員会みたいなものをつくって、2カ月か3カ月に一度、これからこの劇場をどうやって運営していくのか、あるいは企画をどう考えるかを一緒に話し合えるような場がほしい。
- 財団の行事が増えてきたので(劇場での貸館利用の)日程がなかなか取りにくいということが一つ悩みの種だ。同時に、演劇をする場合に会場費の免除があれば大助かりだ。
- (計画時に)自分が大風呂敷を広げて、「せっかく劇場ができるのであれば、愛知大学に舞台総合芸術学部という学部を開設してもらい、劇場を主舞台にして連携できないだろうか」と要望した。
- さらに劇場が発展していくには、とよはし芸術劇場専属のプロの市民劇団や子どものプロのミュージカル劇団のようなものを抱えて、定期的な公演ができるような体制ができるといい。それで愛知大学かどこかの大学と提携して指導をしたり、一緒に共演したりするというような姿が生まれると、豊橋のまちは本当にがらっと変わるのではないか。
- 演劇に理解のある人たちが増えて、日常的に芝居を観るということが当たり前のようになっていくということが私たちの思いだ。
- コロナの時にドイツの文化大臣が「芸術家とは生命維持装置だ」と言った。なかなかの名言だと思い、その言葉をかなり使わせてもらった。自分たちの周りで一度も劇場に行って芝居を観たことがない人に対して、「一度観てください、あそこに行けば全然違う夢の世界がありますよ」という話を一生懸命しているのだが、なかなかそうはいかない。
- ただ、市民の税金を使うのだから、やはり市民が自慢できる、誇れるような劇場にしていかないとまずい。「あそこにいけば面白いことに出会える」というようなものを常に作っていれば、市民のコンセンサスは得られるのではないか。
- 今の政府の文化政策を見ても、何かお金になる文化には補助金を出すけれども、そうでないものは出さないというのは、偏向しているのではないかと思えてならない。これからは、公共が集う場というのは、もう一度市民のものにしていくような時代に向かっていくのではないか。必要なものは必要で、きちんとお金をかけて維持していくべきだ。

4．劇場運営の関係団体（愛知大学文学部メディア芸術専攻）

吉野さつき様（愛知大学文学部人文社会学科現代文化コースメディア芸術専攻教授）

（1）とよはし芸術劇場との連携や協働の経緯、現在の活動内容

- 愛知大学文学部人文社会学科現代文化コースメディア芸術専攻で教員をしている。大学の教員という肩書は2012年着任からで、実務家教員という位置付け。大学では、社会包摂に結び付いていくアーツマネジメントについて、実践の経験も交えながら学んでもらうようなことをやっている。
- 愛知大学は公務員人材を多数輩出してきた大学で、今もそのイメージは強く、学生も公務員志望は多い。その大学の文学部人文社会学科という幅の広い学科に芸術系の新設専攻を立ち上げることととよはし芸術劇場との連携やその担当窓口になることが最初から着任の条件に入っていた。
- とよはし芸術劇場のオープンと私の専攻のスタートは同じ時期で、建設準備期間と専攻の設置準備期間も重なっていたため、矢作さんと私はほぼ同じタイミングで東京からこちらに来た。事前に、矢作さんは「大学が新しい芸術関係の専攻を新設するのでそこと連携してください」と聞いていたそうで、私は「劇場ができるのでそこと連携する窓口をやってください」と言われていた。劇場に矢作さんが入ることを知り、矢作さんならお互いに知っているし、うまくやれそうだと感じていた。
- 劇場と連携して大学でやろうと思ったことは、クリエーターやデザイナー、もしくは専門的なアーツマネージャーの養成ではない。社会包摂と結びつく芸術表現の場で人と関わり、芸術が地域や人や社会にどのような影響をもたらすのか、体験を通して学ぶ機会を作りたいと考えた。
- 大学生のうちに少しでもそういう体験をして、実践を通じて考え学ぶ。卒業後は劇場職員やアートの専門家や研究者になるのではなく（なってももちろん良いが）、むしろJAや地元の銀行や企業の職員、公務員などになり、経験を通して芸術の可能性を理解している人が、芸術以外の分野に増えていくことのほうが、この地域と学科の状況に合っていると考えた。狭い意味での専門家を目指さないということだ。
- 大学の授業に演劇論という科目があり、選択制の専攻の関連科目の一つで、矢作さんをはじめ劇場の事業制作部の職員数名が非常勤講師として担当するリレー講義となっている。専攻の学生が多く履修している。劇場見学もあり、劇場と関わる機会をつくることも意図した内容となっている。
- ゼミや実習の授業では、とよはし芸術劇場も含め学外の人たちと関わり、社会包摂につながるアートの実践的なプロジェクトなどを行なっている。実践を通して一回でも関わりを持つことができれば、障がいのある人や認知症の高齢者や外国にルーツを持つ人たちなどさまざまな人たちが地域にいることを少しは想像しやすくなるかもしれない。また、将来彼ら自身が、もしくは家族や近しい人が障がい者となる、障がいのある子どもを持つこともあるかもしれないし、認知症の親の介護が大変になることもあるかもしれない。学生たちの将来に何が起きるかわからないが、ゼミや実習の経験が役に立つこともあるだろうと考えている。
- とよはし芸術劇場という劇場があって、多様な人たちに開かれた劇場を目指すスタッフがそこにいて、ここで行われているような社会包摂につながるアート活動が世の中にあることを少しでも知っておいて欲しい。特に公務員になる人はそういうことを分かっていてもらいたいと思っている。劇場でやっているワークショップファシリテーター養成講座ともつながってい

る話でもある。

- ワークショップファシリテーター養成講座をゼロから一緒につくってきて、今もずっと伴走している。とよはし芸術劇場とのつながりは、それが一番大きい。他には、この劇場の社会包摂につながるプログラムの一部について、アドバイスをしたり相談に乗ったり、共同でプロジェクトを行うなどしてきた。ジェニー・シーレイ（ロンドン・パラリンピック競技大会開会式の共同ディレクターも務めた聴覚障がいのある演出家）によるワークショップや講演など、海外からのゲストのコーディネートなどもしてきた。
- ワークショップファシリテーター養成講座は例年の継続企画で、始めのうちは前期も後期も両方全面的に講師として関わったが、大学の仕事が忙しくなり、後期は共に講師をしている柏木陽さんとすずきこーたさんに大体お任せするようになった。
- 昨年度は九州大学大学院芸術工学研究院の長津結一郎准教授との共同研究をとよはし芸術劇場とも共同で行った。長津さんが研究代表者の科研費による研究「公立劇場の社会包摂に向けた技術的・社会的観点に基づくデザインの実証研究」で、私が研究分担者。劇場が社会包摂的な事業を行うための、舞台技術スタッフの理解や対応の重要性に関する実証研究の一環として、障がいのあるパフォーマーを交えたプロジェクトを行った。
- 前年度の同研究で、別の劇場で実施したプロジェクトの経験から、舞台技術スタッフの理解や彼らとのコミュニケーションに課題を感じた。とよはし芸術劇場の場合はそれまでの積み重ねもあり、より発展性のある実践が行えるのではと考えた。また、場所が近いため、私の学生たちも関わりやすく、劇場にとっても有益なものになると予想できた。
- とよはし芸術劇場と九州大学の長津研究室と私のゼミとの共同プロジェクトは、昨年12月に実施した。野村誠（作曲家、ピアニスト）、遠田誠（ダンサー、振付家）、倉品淳子（俳優、演出家）と私が共に活動している「門限ズ」というグループと、福岡の福祉事業所認定NPO法人ニコちゃんの会の利用者で、障がいのあるパフォーマーとして活動する森裕生、里村歩、廣田渓が、劇場でショート・パフォーマンスを創り上演した。
- ショート・パフォーマンスの上演は、視覚聴覚に障がいのある人たちを対象とした劇場体験ツアーの一部として行われた。とよはし芸術劇場の劇場体験ツアーはこれまでにも実施されていたが、視覚聴覚に障がいのある人たちを対象としたのはこれが初めて。異なる障がいのある人たちがそれぞれに楽しむことができるように、ショート・パフォーマンスも劇場ツアーも工夫した。
- 劇場ツアーは、劇場の事業制作部の担当メンバーが、それぞれの障がいの特性に合わせて楽しめるように工夫して内容を考えガイドも行っていた。聴覚障がいのある人には手話通訳やボードに文字を書くなどのサポートをつけ、視覚障がいのある人には音で劇場空間を感じられるような工夫があり、それぞれチームに分かれて劇場ツアーを行った。また、このツアーにワークショップファシリテーター養成講座の過去の受講生たちが、ボランティアスタッフで参加していた。
- ショート・パフォーマンスは、門限ズと福岡のパフォーマーたちが中心となって創った。視覚聴覚に障がいのある観客がともに楽しめる作品にするため、ダンスの場面ではマイクを持った出演者が舞台上で、その状況や動きや印象を解説する「実況中継」のようなことを行い、即興演奏の場面では音楽に合わせてライブで図形を描いていく様子をスクリーンに投影するなどした。演劇の場面では舞台手話通訳や字幕なども取り入れた。
- 出演者に重度の身体障がいがあり、クリエーションに何日もかけることが難しく、直前まで決まらないことが多々あったが、劇場の舞台技術スタッフが非常に柔軟に対応してくれた。こ

ちらの状況を先回りして考え、事前にお願いしていなかった機材なども用意してくれていて、「こういうのがあったら面白いかなと思って。要らなかったらすぐ片付けますから言ってください」など、ともに創作に関わる姿勢が常に感じられた。

- 健常者やプロのカンパニーであれば得られる事前の情報が得られなかったり、決まらなかったり、小屋入りしてから急に言われたりしたと思うが、事後のインタビュー調査で「大変ではなかったか」と質問すると、「他の普通のアーティストと仕事をするのと何ら変わらない」との答えが返ってきた。
- 例えば、車椅子の人が出演すると聞いて、音響ケーブルなどを床に這わせると移動の妨げになるので、上を通すようにしておく。そうした対応についても「僕らは出演者が誰であれアーティストだと思っています」、「その人がパフォーマンスしやすいように整えるのは自分たちの仕事で、車椅子と聞いたからケーブルを上げることにした」との返答があった。プロの姿勢として素晴らしいと思う。
- 他の劇場など全ての舞台技術スタッフが同じように対応できるわけではないという課題もある。その背景に雇用形態の問題もあることも、事後のインタビュー調査では話題となった。直接雇用ではなく、業務委託で別会社が入っている場合だと、業務契約の範囲でどこまで対応できるかが難しく、また、所属する会社組織が違うため、事業制作スタッフと技術スタッフとの間に溝が生じやすい。
- とよはし芸術劇場の場合は、公演規模などにより部分的に委託会社からのサポートが入る場合もあるが、基本的に直接雇用のスタッフが主となり仕事をしている。事業制作スタッフも技術スタッフも同じ事務所にいて、常に情報が共有でき、普段から自然とコミュニケーションが取れ、ともに働くという意識を持ちやすい環境になっている。
- 自主制作の事業がそこまで多くない地方の劇場では、舞台技術スタッフは管理業務が主となることが多いが、とよはし芸術劇場の場合は、普段の管理業務に加えて、無理のない範囲でバランスを取りながら、自主制作事業などでクリエーションにも参加できるようにしていると、後日矢作さんからも聞きくことができた。そうしたことも、技術スタッフのモチベーションを高めていると感じた。

(2) とよはし芸術劇場による文化振興面、教育、福祉、まちづくりなどでの成果、効果

- 視覚聴覚に障がいのある人たちを対象とした劇場体験ツアーの際、ワークショップファシリテーター養成講座の過去の受講生たちがボランティアスタッフとして参加していた。こうした人たちが地域で育っていることと、劇場がこれまで行ってきた社会包摂の取り組みがつながり、非常に良い成果として結実していた。
- 事業制作部の若い職員たちが、劇場体験ツアーの内容、進行、ガイドの仕方も全て企画し、とても良いプログラムになった。これまでの事業での関わりもあり、信頼関係も築かれていて、参加者も安心して楽しんでいる様子だった。地域のさまざまな人たちと関わる事業や社会包摂の取り組みを経て、職員の質も高まっていることが実感できた。
- 「文化振興とはなにか」という問いを改めて考えさせられた。文化を振興することが目的なのではなく、文化の振興によって地域や社会や人に何がもたらされるかが大事なことだ。
- 2016年に市の文化振興指針の改訂があり、とよはし芸術劇場が果たす役割もより明確化された。この時アドバイザーとして会議に参加した。人材育成や教育、福祉との連携についても明記され、予算化する根拠となった。
- 議員に文化行政や文化政策の専門知識がどの程度あるのかはわからないが、人材育成や

社会包摂など、数字でわかりやすい成果を示しにくい事業の意義への理解は得にくい部分もあるだろう。それでも一定の予算をしっかり確保し続けていることは評価されるべきだ。

- 市の職員との関係づくりや、現場への理解を得るための働きかけを、劇場職員たちがさまざまな形で続けてきたことも、そうした状況につながっていると思う。
- 公演事業、創造事業、人材育成事業、普及教育事業、社会包摂事業など、予算申請や事業計画を行う上では事業を区分する必要はあるが、地域の中で何が育ち醸成され、どのような関係や結びつきが生まれ発展しているかは、区分通りには整理できないことが多いのではないか。むしろ区分けせずつないでいく意識を持つことや、そうした視点からも評価されることで、劇場も人も地域もさらに育っていくのではないか。

（3）とよはし芸術劇場への期待や要望等

- 今年度は私のゼミと共同で、2年前にALSの確定診断を受けたダンスアーティストの新井英夫さんとのプロジェクトを行う予定だ。「進行していく病気なので先がどうなるかわからないが、協力して欲しい」と相談したところ、矢作さんより快諾を得られた。
- これまでの仕事を通じて新井さんとの付き合いは長く、とよはし芸術劇場にもアウトリーチの講師として紹介した。ALSに罹患するまでは、新井さんは劇場のコーディネートで市内の特別支援学校などで多くのワークショップを行っていた。病状が進行する中、東京から豊橋に来ることさえ困難になることも予想されるが、前年の障がいのあるパフォーマーを交えたプロジェクトの成功があり、とよはし芸術劇場でなら可能なのではないかと考えている。
- 感染症の蔓延や自然災害など、明日や先のことなどわからない、全てが予定通りにいくわけではない世界に私たちは生きているはずなのに、予算も事業計画も、大学の授業の計画も基本的には全て先に決めてしまう。物事を進めるにあたり、それも必要なことではあるが、あえて予測不可能な要素を含め、その時々に変化する状況に合わせて何かを進めていくことも同時に必要ではないか。作曲家の野村誠さんの言葉を引用するなら「計画しないことを計画する」ということを、経験しておくことも重要なのではないか。今年度の新井さんとのプロジェクトでは、そうした経験をとよはし芸術劇場と学生たちと共有したい。
- 現時点でワークショップファシリテーター養成講座を修了した人は111人。その人たちの中には、はじめは舞台芸術にはそれほど関心が強くなく、特に先鋭的な作品や抽象的な作品は観たこともないという人も多くいた。しかし講座をきっかけにとよはし芸術劇場での公演や他の事業に関心を持ち始め、先鋭的な作品についても「今度はこれを観る」と楽しそうに言う人や、SNSなどに感想をあげている人が増えてきている。
- ワークショップファシリテーター養成講座が、さまざまな形で劇場に関わり多様な作品に触れる入り口となっている。市民劇の出演者にもそうした傾向はあるようだ。しかし同時に、未だ劇場を「観るだけの場所」と思っている人や、自分が参加する活動以外にはあまり関心が広がらない人たちもいるとも聞く。
- そうした人たちを全て同じようにつなげる必要はない。いろいろな観客、参加者、利用者がいて、それぞれの楽しみ方があり、多様な芸術を享受する場としての地域の劇場の役割もある。一方で、そこにある境界線を越えていく人が少しずつ出てくることで、これまでとは違った新しい変化が起きることも期待したい。
- 劇場の事業も、はじめのうちはそれぞれに実施され完結していたと思うが、次第に横のつながりが生まれ、有機的な様相を見せ始めている。
- 劇場の中だけではなく外でも、新しいコミュニティや分野との連携、共同をさらに進め広げ

ること、そこにこれまで育ててきた人たちやそのネットワークをどのようにいかせるか、具体的なアクションが必要となってくる。劇場は「観る場所」と思っている人と、既にさまざまな活動に積極的に参加している人が接点を持てる機会を作ることも、関心のなかったことに関心を持てるようになる機会を作ることも、地域の中のある種の分断を解消することにつながるのではないか。そうした活動を学生たちも交えともに行って行きたい。

5. 主催公演来場者のリピーター（5人）

(1) とよはし芸術劇場への来場の頻度、公演のご感想、ご意見

- 主なライフワークとしては親子劇場の活動をしている。本当に芝居が大好きで、チャンスがあればできるだけたくさん見たいという思っている。とよはし芸術劇場へは年間で20から30公演ほど観ている。演劇鑑賞会、親子劇場、知り合いの劇団などとのつながりもあるが、数だけをいえば、年間で20から30回ぐらい劇場には来ている。
- とよはし芸術劇場ができてからはバラエティーに富んだ作品で、今まで豊橋では見られなかったような東京発の大きな芝居が来たり、アートスペースの小劇場の公演や継続している作品もあり、変化に富んでいて楽しい。
- 自営業をしているが、そろそろ引退して無職になりかかっているところだ。自由な時間ができて、今は演劇しか趣味がないというか、それだけが生きがいだから、あちこちの劇場を飛び回っている。これまで見た演劇公演は700回ぐらいで、とよはし芸術劇場だけで200回見てきた。
- 今まで見ていなかった小劇団が公演するのは名古屋ぐらいで、豊橋を含めて愛知県には来なかった。（とよはし芸術劇場ができたことで）それを初めて知れたことはすごくうれしかった。
- この街に劇場ができてうれしくて、東京などいろいろな所へ舞台を見に行くために、「とよはし芸術劇場よいう劇場ができます」という新聞記事のコピーを取って、知り合いに会うたびにコピーを渡していたら、本当にすごくたくさんの方が来てくれた。豊橋の人が見るのにもいい劇場になってほしいし、演劇をやる方にとっても豊橋はいい街だ、行きたい、あの劇場はいいと思ってもらえるといいと思いながら芝居を見ている。
- とよはし芸術劇場で見た公演をざっと数えてみると150本で、年間10本ぐらい見ている計算になる。運よく新国立劇場と豊橋がタイアップされるようになり、小劇場系も見られるようになった。劇団チョコレートケーキのような公演を見てしまうと、これはまた見に行かなければいけないと、どんどん選択肢が増えていった。今でもこれを見たのであれば、今度はこれを見ないと悪いと。一緒に出たこの人がこちらに出ていたらこれも見て、とどめなく広がっていってしまう。
- 静岡県浜松市に在住で、仕事は公務員だ。演劇を見ることが本当に好きだが、最近は戯曲講座のワークショップに出て、それもとても面白かった。
- 劇団チョコレートケーキの松本紀保さんは、すごく印象に残った舞台。このような所でこのようなものが見られるのだと思った。一番衝撃を受けたのは、藤田貴大さんの「コクーン」の初演の時で、本当に驚いた。このような演劇、この空間はすごいと思い、そこからやはりとよはし芸術劇場に結構来るようになった。
- 仕事は高校の非常勤で美術講師をしたり、自分でテキスタイル、布や繊維の作品を作ったりしている。とよはし芸術劇場ができた時からお芝居を見ている。自分は20代のころから演劇鑑賞会に入っていて、出産などでやめてしまったが、その頃、事務局長が芸術劇場の設立運動をしていて、20年、30年ぐらいして劇場ができた。それで、すぐに演劇鑑賞会にまた戻って見ていた。
- 毎月1回ぐらい来ていた時もあれば、今は2カ月に1回ぐらい見ている感じだ。ものすごく衝撃を受けたとよはし芸術劇場での公演は、2014年6月の演劇鑑賞会の例会で、劇団東演でロシアのベルコビッチさんという方が演出した『ハムレット』だった。

- とよはし芸術劇場のロビーに行くと、いろいろなチラシやワークショップのチラシがあって、これは何だ、面白そうなことをやっていると思った。単なる器だけではないという衝撃を受けたのが劇場に入れ込んだ始まりだった。
- とよはし芸術劇場の大劇場もいいが、私は小さな空間で密なアトリエ公演が好きだ。特に、マームとジプシー、木ノ下歌舞伎、こふく劇場はすごく斬新だった。特徴があると思うのは、ダンスが多いことで、平山素子さん、伊藤郁女さん、北村明子さん、鈴木ユキオさんなど、アートの可能性を広げる舞台が多いと思う。
- 市民劇に1回参加した。市民劇は毎年どんどん進化していて、岡田利規さんの『階層』という映像演劇は、私たち自身も登場人物で「あなたはどう生きるのだ」と、問われていると思った。今年3月の『地を渡る舟』は市民劇の集大成だと思うほど素晴らしく、刺激を頂いている。

(2) 公演以外の事業(ワークショップやアウトリーチなど)の印象

- とよはし芸術劇場はハードだけではなく、ソフト面も充実している。その理由は、ワークショップやアウトリーチ、講演会など、いろいろ学ぶ機会が多いからだ。劇場は鑑賞だけではなく、普及や教育に力を入れていると思う。
- ファシリテーター養成講座の最初に、音楽家の野村誠さんが老人ホームに行って一緒に音楽を作る映像を見せてもらった。その時、「これは私も学んでみたい」と思い、早速、養成講座に入った。そこの学びも多かったが、アウトリーチの講師と一緒に学校に行ったりしたのも活気的だと思った。
- 自分自身も高校で芸術教育に関わっていて、アール・ブリュットという多様性のある子どもたちの美術に一番興味がある。ちょうどとよはし芸術劇場ができてから障害者差別禁止法(正式名称「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」)ができた。
- 2016年にイギリスからジェニー・シーレイさんがとよはし芸術劇場に来て、『多様性を認め合う社会を創る!−劇場から始まる新しい地域とアートの可能性−』という講演が素晴らしかった。そのような学ぶ機会がこんなに近くにあり、私もいろいろ学びたいと思っている。
- ワークショップに出たのは今年、俳優の平田満さんと精神科医の斎藤環さんの『オープンダイアローグをめぐる対話』で心を和らげる講座に初めて出て、それが面白かったので、その流れで戯曲講座にも出て、それもあまりにも面白かった。
- 平田さんと斎藤さんの『オープンダイアローグをめぐる対話』は、仕事でも役に立つような示唆をもらい、すごく有益だと思った。どうしてこれがこんな安い参加費でできるのかと思うほどだった。戯曲講座では、いらっしゃっている方の中には戯曲を書いている方や俳優をやっている方もいて、日常では出会えない人たちばかりで、それは面白かった。
- 舞台公演を観る以外ではトークを見に来ることが割と多いが、参加した人は楽しめるのですが、参加していない人に「このようなことをやっている」と、もっと出せないかといつも思っている。
- 仕事でろう学校にも出入りしているので、そのような(ろう者や難聴者の)子どもたちが舞台を見る機会をつくりたい。最近、国の補助で無料公演が多くなってきてそれはすごくいいことだと思うが、劇場としてそのような動きがあればいいと思っている。
- アウトリーチに関して、とよはし芸術劇場はせっかくこんなにいい劇場なのに、行ったことがない市民は多数いる。特に子どもたちとなると、親が連れていかなければ、全然見る機会がない。ただ、最近、学校が遠足のように劇場に来ている姿を見ることがあって、本当にうれしいと思う。

- 特に豊橋や、愛知県全体は子どもたちが文化に接する機会は本当に限られている。教育委員会などが、もっと子どものために、ぜひとよはし芸術劇場を有効活用してほしい。いろいろな人が来ていてもワークショップを体験しているのが数十人だと本当にもったいない。
- アウトリーチに関しては、自分は子どもがいないので、そのようなことに関しては興味もなく、関わることもなかったので、それに対して意見はない。裾野を広げるという意味では、アウトリーチや子どもを招待して劇を見せるのは意味があるとは思う。ただ、それに対して具体的に関わることもなく、特に見たこともない。ワークショップには結構参加してきた。あと、ボランティアで大道芸の付き人をやったりした。ボランティアグループがあったので、そこに入ってチケットのもぎりやチラシ配りなどをした。
- 豊川市の小中学校ではアウトリーチはないし、豊橋でも高校はないようだが、受けたい。今、教育の現場では、例えば情報的なプレゼンテーションを力に入れていると思うが、芸術活動や表現活動、自分の内面をありのまま表現してもいいということは重視されていないと思う。そのようなアウトリーチはものすごく価値がある。
- 小さい子はバーチャルの世界に本当に浸ってしまっていて、そのような中で劇場離れしていると、すごく思う。生の、対面でその時に作り出せる感動からどんどんかけ離れていると思うので、アウトリーチはものすごく価値があると思う。自分は孫がいるのだが、孫たちはもっと体験できたらいい。

(3) とよはし芸術劇場の地域(豊橋市、東三河地域、愛知県)における役割

- ライフポートとよはしというコンサートホールができた時に、最初は演劇専門劇場もコンサートホールのそばにできるという話があった。市長が代わって計画が無くなり、そこからとよはし芸術劇場ができるまで20年かかったが、最後まで粘って、多目的ホールではなく演劇に特化したホールを造ることでゴーサインになった。私はそこが一番の肝だと思っている。
- 最近の劇場では、名古屋のメニコンシアターAoiや、メ〜テレ(名古屋テレビ)が招聘する公演との連携というか。とよはし芸術劇場は全国的に見ても新幹線を降りたらすぐに位置していて、ある意味、非常に有利だ。劇場の大きさに合ったものをお互いに分けてやってもらうといいと思う。
- コロナ禍の前と後で、劇団としては経済的な面でもどうしてもやはり1回の公演で回収したいので、大きい1,200〜1,300席の劇場に行きやすくなっているのではないか。800席は意外とネックにならないか。
- とよはし芸術劇場が文化にすごくいい影響を与えていて、素晴らしいと思っている。静岡県では静岡県舞台芸術センターSPACがあり、学校にも結構行っていると思う。県立高校で芸術科演劇専攻ができた所がある。新潟市にも新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)の専属舞踊団Noismがある。だから、それは非常に特徴的だと思いつつ、とよはし芸術劇場は、役者や劇団がいろいろなので面白いと思っている。
- 豊橋でこんなにたくさん観客が集まっているが、浜松で同じようなことをやってもたぶん集まらないと思う。
- とよはし芸術劇場は地域の活性化にすごく役立っていると思う。例えばかつて百貨店があったのですが、なくなってしまって駅前が衰退してしまうのかと思っていたところ、劇場ができて盛り上がった。「sebone」という都市型アートイベントをやり始めたら、その会場の1つがとよはし芸術劇場になった。そのような動きをあいちトリエンナーレの事務局がキャッチして、劇場が2016年に会場になって、大巻伸嗣さんという現代美術を代表する方の作品が劇場

に展示された。地域における役割という意味では、すごく地域の活性化になっている。

- 美術館ではなく、とよはし芸術劇場のほうがアートと連携して美術系の作家を呼ぶなど頭の使い方がうまい。市民劇も高校生の演劇にすごくお金を使っている。とよはし芸術劇場が文化庁の助成金に申請するのは、予算をうまく使える頭脳があり、そのようなことを熟知している人材がいろいろな場所から劇場に集合しているからできる。公務員ではなかなか難しいだろう。
- とよはし芸術劇場が駅にあることは、東三河全般にとって本当に要だと思う。豊橋鉄道、市内電車、飯田線も含めて電車で行けば、東三河全体から劇場に行けることは利便的にはいい。
- 豊橋は豊橋市内だけを考えなくてもいい。東京と大阪の中間なので、どちらも同じ移動時間で新幹線代は同じくらいだから、大阪の人を呼んでもいいし、東京の人を呼んでもいい。

(4) とよはし芸術劇場への期待や要望等

- 粛々と、あまり肩肘張らずにいい芝居をやっていただければ来る。
- アートスペースで驚きたい。新しい劇団を見たいという思いはすごくある。出会いたい。
- とよはし芸術劇場で何が一番困るかというと、車がなかなか置けないこと。特に西駅の駐車場がなくなってしまったので、土日は1時間か2時間前に来て、隣の立体駐車場に入れて車の中で待っている。そうではないと、30分前に来て駐車場に入れる保証がない。
- 劇場の椅子がすごく座りにくくて滑る。反発するから2時間がせいぜい、3時間以上になると、私はバルコニー席を取るようにしている。あと、背もたれに厚さがなく、肘掛けの位置がおかしい。肘掛けの位置はなぜあんなに低いのか。
- バルコニー席が真っすぐ向いているのが見にくい。
- 電車の音が気になる。しーんとした場面でガンガンと。一朝一夕には直らないので、繰り返し直訴していただきたい。
- 年を取ってくると、階段が怖いのだが、手すりがない。金がかかることなので、年寄りが多くなってきているから何とかしてほしいという希望を出したらいい。
- (人気のあるタレントが出演する公演で)ファンクラブで買っている人が多いのか、一時的な会員をどのようにするか。継続する意思があるかないか。有料会員をつくってもいいのではないかと、考えてもらっていい時期に入っている。
- 豊川で親子劇場に入っているが、子どもがどんどん演劇離れしていると、ものすごく肌で感じている。ただ、とよはし芸術劇場を見ていると、高校生は1,000円ぐらいで見られたり、最近は無料だったり、保護者は半額だったり、すごく力を入れているのを感じている。
- 60代、70代の上の人たちは本物を見る目があり、演劇劇にお金を使う。投資できるぐらい文化が大事だと思っているが、若い世代の人たちは、本物になかなかお金を使わなくなってしまっている。
- 今とよはし芸術劇場は、若い子たちが見る機会をつくって、未来を担う子をつくろうとしていることはすごいと思う。1,000円であれば、映画を見に行くより安いぐらい。使ってほしいと思う。子どもたちにとっては絶対に大事だと思うし、学校や国、文化庁はなかなか力を入れていないので、劇場がやっていることの意義の大切さを伝えていって盛り上がるといい。
- とよはし芸術劇場に芝居をやりたい人たちがもっと集まって拠点にするものが続かないと、それこそ若い世代は劇場に来ない。地域にある劇団が表現する場所として劇場が利用できる拠点になるといい。

6.「市民と創造する演劇」過去出演者

(1) とよはし芸術劇場との出会いのきっかけ、来館の頻度

- 豊橋の鍼灸院、接骨院で仕事をやっている。20年ぐらい前に脳梗塞で、しゃべれない、歩けないという状態で、リハビリが長かった。それまでは、劇団花組芝居という劇団をやっていた。
- 出身は豊川で、高校で豊橋に通っていた。高校ぐらいから演劇をやろうと思って、最初は大阪の芸術大学で5年やってみて、それから東京に行って、いろいろな演劇学校で経験して、その中で花組芝居を見つけて入った。
- とよはし芸術劇場に一番最初に行ったのは、2年目の市民劇のころから来るようになった。1年目はまだ病気で、今ほどもしゃべれなくて、せりふどころではないという状態だった。その時の舞台の出演者が所属していた劇団の先輩で、「今度ここで市民劇をやるけれども、おまえはやらないの？」と言われて、ちょっとやってみようかなと思ってオーディションを受けたら合格した。
- それから毎年、参加できるようになった。また、仕事で必ず豊橋の駅を通るので、ふらっと来て、どのような劇団の公演があるかな、どのような作品があるかなとチラシを見たり、市民劇をやっていると友達になってくるので、ふらっと来て「ああ、どうも」と顔を見に来たりする。市民劇の稽古がある時期など多い時は毎日ですが、月に1回という時もある。

(2)「市民と創造する演劇」の記憶に残るエピソード、ご意見

- 市民劇を一番最初にやった時の『夏の夜の夢』の稽古で、自分が全然しゃべれないので、演出の方と稽古をやっていると、（吉川さんが）ふらふらっと来て、「もっとゆっくりゆっくり」って、すごく（指導を）やってくれた。それがうれしかった。
- （吉川さんの補足説明）「森川さん、ちょっと行こう」と言って、別室に行って2時間くらい、台本で1ページ半ぐらい1人のシーンがあって、台詞が聞き取れないから、「反復練習しよう。聞き取れなかったら、もう一回頭からやろう」と。ずっと「聞こえない、もう一回。聞こえない、もう一回」というのを2時間ぐらいやった。最初に「遠慮しませんよ」と言った。
- 市民劇では、プロでも難しいぐらいのことをやっていて、出演者の間でもけんかが起きたり、体力も消耗して病気やけがをしたりする。30年以来の付き合いのあるプロの舞台監督が、その状況を見て「プロだったらば、それだけやるのだけれども、（アマチュアの市民が）仕事をやって疲れているのに、このような演劇をやっている。よっぽどみんな好きなんだな」と感心していた。それもうれしかった。
- （一緒に市民参加劇に参加する他の方とのコミュニケーションの中で）、自分は障害者だけれども、「普通だよ」という感じで優しく接してくれる。例えば、「何時に休憩に入る」という案内が、自分には数が分からない。周囲がそのことをだんだん分かってくると、「あと15分だよ」、「ありがとうございます」とか。自分が分からないときは、こちらから、手書きメモを書いて聞くと「ああ、はいはい」と答えてくれて、それが普通なので、やりやすかった。みんな優しいなと思っていた。
- （吉川さんの補足説明）別に劇場スタッフから促したわけではない。元々つくり手たちが自分たちで、「森川さんにもこう言ったほうがいいな」とか、森川さんも分からなかったら聞いてくれるという関係性が自然とできあがっている。特に何も気にしていないし、遠慮もしない。
- （障害を理由に過剰に気を使われたり、気遣いがかえって、ぎこちない関係になることはあ

るのかという質問に）最初はあったが、ここに来ると、舞台の時は一切それがない感じ。それぞれできるところはやってあげて、できない時にはそれぞれができることとできないことをやっているのが、すごく普通にしていた。すごいと思った。

- 例えば稽古をやっても、中には、どうしても台詞を覚えるのが苦手な人や、何回やってもダンスができない人がいると、「一緒に練習やろうか」となる。その中で「森川さんは、しゃべるのが分からなかったら、何かあったら言ってね」となる。だから障害者だということをあまり考えたことはなかった。
- 市民劇の出演者にはいろいろな人がいて、演劇の経験がある・ないもあるので、それぞれに舞台をつくることの目標はばらばらに違う。（花組芝居で行う舞台と市民劇との差について）ある意味、全く同じだと思っているところもあるし、やっていることは同じだと思う。オーディションから熱くて、やりたい人のために「おいで」という感じだから、「覚悟のある人だけ来い」というような感じだ。
- 市民劇を毎年やっていると、1年ぶりに会う人が見に来てくれて、「お久しぶりです」と話すと、「だいぶ、去年よりもしゃべったね」と、毎回毎回それを言われるので、そんなに自分はできるようになったのかなと、自分でも分からない変化を見てくれている。
- 最近は、見えない人や聞こえない人のための舞台説明がある。あれはすごく便利だなと思う。舞台を見ていて台詞が聞き取れないこともたくさんある。テレビだとテロップを見ているが、舞台はそれができない。そのためのいろいろな仕掛けが今はある。
- （吉川さんの補足説明）地方の劇場だと、鑑賞サポートはオリジナルの作品のほうがやりやすい。自分たちでつくる作品に関しては制作まで時間があり、台本があるので、字幕を用意できたり、市民スタッフがいるので舞台上の模型を作ってもらったりしている。森川さんが鍼灸院に勤めているので、目の見えない方々の同僚の方を連れてきていただいて、触れる舞台模型を触って、小道具や衣装を触って、舞台上に移動して「いま何歩、歩きました。こういう広さですよ」と説明して、粗筋を説明する舞台説明会を40分ぐらいかけてやって、本番を見てもらう。そうした取り組みも、劇場が制作するオリジナルの公演だからこそやりやすい。その実験の場ではないが、ここでできたものを違う公演にもブラッシュアップして持っていくのが、スキームとして出来上がっている。
- 自分が勤めている鍼灸院の同僚で目が見えない子いて、元々すごく音楽をやる子で、ヴァイオリンやキーボードが演奏できる。彼に「今度、僕は舞台でお芝居をやるのだけれども、音楽隊というのがあって、あなたも出てみる？」と誘ったら「僕も出ていいのですか」と。それで彼は『地を渡る舟』に出ることになった。障害者ということをすっかり忘れてしまう感じでやっている。
- 目が見えない人だけの仕事があるのだが、心の障害の人もいるけれども、まったく普通なのだ。だけれども普通と障害者との壁があって、健常者から見るとこちらは「障害者」というのがあった。その中で、市民劇の集まりに行くと、「全然変わらないのだな」、「普通だな」というのが分かるから、その目の見えない彼には「安心しておいで」と連れてきた。
- （市民参加劇に参加した前と後での変化について）参加する前にやっていた仕事場が気分的に腐っていたことがあって「もう仕事が嫌だな」という時に、そのガス抜きをするのに、市民劇に出会った。あれはいいタイミングで良かった。演劇を使って発散ができるというのはすごくうれしいと思った。

(3) とよはし芸術劇場の地域（豊橋市、東三河地域、愛知県）における役割

- 大阪に5年、東京に5年住んでいたので、舞台を見たいのであれば東京まで行くといっても3時間で行く。自分には場所や地域はあまり関係がない。逆に「豊橋から見に来たよ」という人も多い。ちょうどいい場所だ。東京のものも大阪のものも見られる。そういう場所だというだけで、独特の場所だなというのは思う。
- （劇場と地域住民との関係や役割について）例えば、この間の市民劇をやった時に、地元の目が見えない方々が10人ぐらい来てくださって、見る前に、舞台はこうだよと模型を触ってもらった。演劇を見るためにここまでフォローしてくれることに、驚かれていた。
- （聴覚に障害のある演出家のジェニー・シーレイのワークショップに参加して）あの経験も、自信がついたことの一つでもある。障害者だけの劇団を主宰して、パラリンピックの開会式の演出で世界的に有名な人で「本当にプロだな」と。障害者である人の自信がないところを、普通にふわっと軽くしてくれて「楽になったな」という気持ち。
- （障害のある人が生活していく上で）みんながそれぞれに自信を持っているはずだが、逆にそのせいで頑張っていることもあって、「そこまでやらなくていいからね」というのが分かって、あの時スッと入って来た。自分もやはりしゃべれない、でも頑張ってしゃべっているので、「頑張っていたのだな」、「やっても分からないところは分からないよな」と、いろいろな意味ですごく入って来たのを覚えている。

(4) とよはし芸術劇場への期待や要望等

- とよはし芸術劇場には期待しかない。今度は何をやってくれるかなと思っていて、本当に楽しい。市民劇で、演出家は毎回違う、脚本も違う。毎回違っていて、一般的な市民劇とは違う方向に行っている。例えば、障害者の配役であれば、もっといろいろな工夫があれば面白いかな、面白そうだなというのはある。
- もちろん、どのような作品が来るのか、一般の劇団や劇場でもあることだが、本当にとよはし芸術劇場はハズレがない思う。

7.「高校生と創る演劇」過去出演者（4人）

(1) とよはし芸術劇場との出会いのきっかけ、来館の頻度

- 高校演劇をやっていた。その高校演劇の大会がとよはし芸術劇場でやっていて、高校1年生、16歳の時が多分出会いのきっかけではないか。演劇が500円か1,000円で見られたので、高校2年生、3年生辺りから結構な頻度で演劇を見にいっていた。月に3回ぐらい行っていたのではないか。予定が空いていて演劇をやっていたら行っていた気がする。
- おやこ劇場に所属しているので小さい頃からお母さんも演劇などを見るのが好きで、劇場にも結構なじみがあった。地元の合唱団に所属していて、小学校の頃から舞台には立っていた。とよはし芸術劇場のことを中学校3年生のときに『穂の国の「転校生」』の応募の募集を見て、「あと1年早ければ」と思ったのを覚えている。私も月に1回は少なくとも行っていたような気がする。お母さんと見にいくこともたくさんあった。
- 高校2年生の時の2016年に『広報とよはし』で、「高校生と創る演劇」の募集を見た。高校生の今しかできないことをしたいなと思って初めて入った。「JK（女子高生）ってこんなふうに消費しちゃっていいのか、青春していない」と思っていました。それで、高校生募集という、去年の様子が写真であって、とても青春っぽいと思って、それで受けにいった。
- 「高校生と創る演劇」で初めて演劇に触れて、劇場に触れて「面白いかも」と思って、友達を誘って、劇場でやっている演劇と名の付くワークショップに片っ端から行っていた。高校生の時は二月に1回はワークショップに行ったり、友達と観劇に行ったりした。

(2)「高校生と創る演劇」の記憶に残るエピソード、ご意見

- 高校の3年間、「創る演劇」に関わらせていただいた。3年間やって、いろいろな人に会えるのはとても楽しかった。いろいろな地域から、演劇をやってきた子ばかりではなく、いろいろな活動をしてきた子たちに会えたのが一番宝だなと思った。私はそのまま演劇を続けているので、大人のスタッフチームの方たちとも、プロの方たちとも知り合えて、話ができたのはとてもいい経験だった。
- 『赤鬼』（2015年）の時が結構熱量が高かった。他の公演が低かったわけではないが、『赤鬼』の時は熱中できていたのに、「今は集中できていないのではないか」と思ってしまった時期があって、それは制作の方に相談させてもらった。気軽に言える関係性でいてくださったので、そこはすごくありがたかった。
- 『赤鬼』に出て、この世界を目指そうと思った。それ以前にも、演劇にはすごく興味があって、高校も演劇部に入りたくて選んで入った高校なので、前から興味はあったが、仕事にしようと思ったのはここ（とよはし芸術劇場）の経験だった。
- 演劇に触れたことがないので、演劇をつくっている人に会うのも初めて、演技をやっている高校生に会うのも初めてで、劇場はファンタジーの場所、自分の常識が毎日覆るような場所だった。
- 初めて「高校生と創る演劇」のワークショップに行った時に、「ワカメになってください」と言われて、「えっ、エビデンスは？」となってしまって戸惑っていたのだが、戸惑っているのは私だけで、（ほかのみんなは）適応力が高く、（演出家に）「合っていますか」と聞いたら「合っているとかではないよ、答えはないから」と言われて、難しいなと思ったが、そこにみんなは飛び込んでいた。
- どんどん自分を使って、知らない領域に自分を投げ出していく力がとてもあった。「ここは失

敗してもいい場所なんだ」と思ったのも大きかった。失敗してもいいし、自由に自分を試せるのも楽しかった。

- 照明の方に、いろいろと教わったのがすごく記憶にある。今、照明スタッフになろうと思ったのは、その方との出会いがあったおかげだと思う。今、自分がつくっている照明は、その方のデザインが根底にあるのかなと自分も勝手に思っている。私は高校演劇でも照明をやっていて、これを仕事にするとなると、劇団四季や宝塚などの大きな世界でないと仕事にならないだろうなと勝手に思っていた。「高校生と創る演劇」に出会って、四季や宝塚に比べると小さい規模でも、フリーランスという形で照明家として生きている人がいるのは、自分の中でかなりの衝撃だった。それでこの世界で生きていけたらいいなと思った。
- （現在、戯曲講座などを受けられていて、劇作家を目指していて）少しずつお仕事というか、ささやかなギャランティーで書かせていただいている。「高校生と創る演劇」で一緒にやってきた友達がたくさんできた中で、高校を卒業したら「演劇をやる場がないぞ」となって、もう一度とよはし芸術劇場で公演をやりたいという声がどこからともなくたくさん聞こえてきた。場所を借りて脚本があればできそうだとなって、自分が本を書いて場所を借りた。書きたかったわけではないが、「できるよ。諦めないで」ということを言いたかった。照明のやりたい子、役者をやりたい子がいるのに、もったいないなという思いがきっかけで、脚本を書き始めた。
- 自分たちでやったささやかな公演が終わって、看護師として就職した。看護師として働いている間も、あの本を読んで「物語を書ける人を探しているんだよね」という声をいただいて、PVや短い映像の脚本を頼まれて受けていた。看護師で働いている時の息抜きといった感じでやっていたのが、すごく自分の精神状態が良かった。毎日怒られることがあるけれども、これ（脚本）ですごく褒めていただき、喜んでいただけて、すごくうれしいなと思って、その二つのバランスで楽しく書いていた。
- まさか劇作家を本格的に目指すと思っていなかったのだが、5年後ぐらい、30代のうちには、また「高校生と創る演劇」を、次は大人のスタッフの側で行けたらいいなと思っている。
- 演劇部の友達に「高校生と創る演劇」を見にこないかと誘った時に、あまり見にきてもらえないことがあって、もう少し身近な人に見にきてもらえたらよかったのになとは思った。
- 私の学校は演劇部もなく、一緒の学校に参加する子がいたので、その子と宣伝活動を頑張っていたのだが、ある日、ポスターを持って全クラスを回ろうとしたら、学校の先生に「学校を営利目的で使うな」といった理由でとても怒られた。私たちにお金が入ってくるわけでもないのに、怪しい動きをしている集団のようになってしまい、すごく理不尽な気持ちになった。そういった思いをする高校生が少なくなればいいなと思う。
- 学校としては「学業をおろそかにしては駄目でしょう」ということだと思うが、私たちにとっては、「この期間だけはこっちを優先させてほしい」と、違うものと闘いながら稽古に参加していたのが印象としてあった。そういうことがあると、心が折れてしまうこともあると思う。どうしたらいいのか分からないが、そういった高校生を救ってあげたい。
- 高校生という、自分の存在に迷いが出てくるような時期に、演劇という自由な表現、自分の思いの表出を助けてくれる芸術に出会ったことで、自分が何をしたいのかを周りに伝える力や、人の意見を聞く力というのがとても伸びたと感じている。
- 仕事で顧客の声を聞くこと、上司とのコミュニケーションや自分の意見を言うことにすごくつながって、それが身に付いたことで自分自身がとても楽になった。そういった意味で、高校生と創る演劇をやる意味が、かなりあると思っている。
- 精神論にはなってしまうが、「高校生の時にあれだけ頑張れたんだから、今は全然行けるよ」

というあの経験が今の私を元気付けてくれる、勇気付けてくれるということは何度もあった。勉強もして、学校にも毎日通って、それでも毎日劇場に行って稽古して、あの忙しい高校時期を過ごしたということが、今の私をすごく支えてくれている。

- 小中高と普通に生きている人たちにとっては、いわゆる親と先生以外の大人の人と話をするということはなかなかないと思う。「高校生と創る演劇」に参加すると、例えば劇場の職員の方など、話す大人と言っても演劇人なので世の中からすると特殊かもしれないが、そういう大人の方と話をするという経験を高校生の時にできるのはすごく大きいと思う。

(3) とよはし芸術劇場の地域（豊橋市、東三河地域、愛知県）における役割

- 私は今、大阪にいるが、こういうことを経験している高校生は全くいない。こういう活動がもっと他の全国に広まったらいいと思った。関西にいると、こういうことをしている劇団、劇場はないに等しい。あるにはあるけれども、やはり営利目的になってしまう。教育という面でも、私は演劇の道に行こうという選択肢をもらえた。照明の世界で生きてくという選択肢をもらえたきっかけがこの劇場だ。
- とよはし芸術劇場はとにかく入りやすくて、オープンになっていて、何がやっているのかすぐ分かる。外で大道芸やっている時に街の人が見に来てくれることがあるので、街の人たちと文化をつなげてくれるのにはすごく適した形になっていると思っている。
- 高校生と創る演劇は1カ月あるけれども、2～3日のワークショップもたくさんあるので、少し興味を持った人がふらっと行ける感じがすごくいいなと思っている。
- とよはし芸術劇場に関わって7～8年ぐらいだが、戯曲講座やワークショップの幅も広くて、市民の方が演じるワークショップ、書くワークショップもあり、あとは見て感想を言い合うといった鑑賞会のようなこともやっている。そうすると、市民の皆さんが演劇を見る目がすごく養われているなと感じている。
- とよはし芸術劇場に行くと、市民の方ともだんだんと顔なじみが増えてくる。「あの講座にいましたよね」、「あの作品を見ました」といった感じで声を掛けていただくことがすごく多くなった。その中で、作品の感想が、東京でお芝居を見ている役者の感想よりも深い読解をされていることが結構ある。劇場がやっているワークショップ的な取り組みが、市民の皆さんの芸術を見る目をかなり養っているのではないか。「すごいな、PLAT[1]」と思っている。
- 私が東京に出てきて、「PLATで演劇をやっていました」とか、「豊橋市の『高校生と創る演劇』でやっていました」と言うと、「ああ、あの豊橋の。いい劇場だよね」と、もう全員がオープンマインドになる感じで、豊橋市にとってのとよはし芸術劇場のネームバリューがすごい。私はそれが楽なので、2日に1回ぐらいは「豊橋」と言っている。名刺代わりに「PLATで」と、勝手に使わせていただいている。そうすると受け入れが早い。この世界は人脈がとても大事なので、打ち解けるきっかけにとても役に立っている。
- 私も、とよはし芸術劇場と言えば、大体演劇やっている方はうなずいてくださる。
- 東京に行けば「PLATね」という反応はたしかにあるのだが、大阪だとまったくない。大阪の団体が豊橋市に行く、豊橋市でツアーをするというのがまずない。

(4) とよはし芸術劇場への期待や要望等

- 演劇を離れてしまった人も、また参加できるワークショップや、全然知らない人も参加できるワークショップを、これからもぜひやっていただいて、私が帰れる場所にずっとなっていただ

[1] とよはし芸術劇場の施設の愛称を「PLAT」と呼ぶ。

ければと思う。私も「高校生と創る演劇」を、高校を卒業して大学の頃からずっと「創る側で参加したい」というのを目標にしているので、ぜひ行かせていただきたい。

- この高校生と創る演劇というものをきっかけに、とよはし芸術劇場を知って、演劇を知って、とても人生が豊かになったなと感じている。できれば末永く、本当に末永く続けていただきたい。
- 現実的なことだが、とよはし芸術劇場は立地的に駅から近いので、高校生は通いやすいが、親世代が見に行く時に、駐車場がない。観劇をすると2～3時間は駐車料金がかかる。観劇料が安いからいいのかもしれないが、市民の皆さんに周知させようと思った時には、そこは割と壁ではないかと一般市民として思っている。
- 演劇はすごく教育と交わる部分がとても多い。自分も、ミュージカルを通して英語が学べたり、コミュニケーション能力を上げていくことができたりという経験を、体を通して感じることができた。とよはし芸術劇場が小学校に出張で行かれているワークショップがあるのは聞いているが、中学生や高校生にも出張でワークショップをもっとしてもらえたら、教育者側、学校側からの演劇に対するハードルも下がっていくのではないかと思った。教育と演劇の部分で、市を挙げて劇場が架け橋となるようにお願いしていきたい。
- 今やっていることを、10年、20年、とにかく続けていってほしいと思う。今はどちらかというと見る、体験する方向性が主だと思うが、演劇活動をやりたい人たちのバックアップがあるといい。関西では、ロームシアター京都、伊丹アイホールは、若い劇団で面白い団体をピックアップして劇場の企画として公演を打っている。若い人たちが公演をする方向性で、もう少し考えてもらえるとうれしい。

Ⅷ

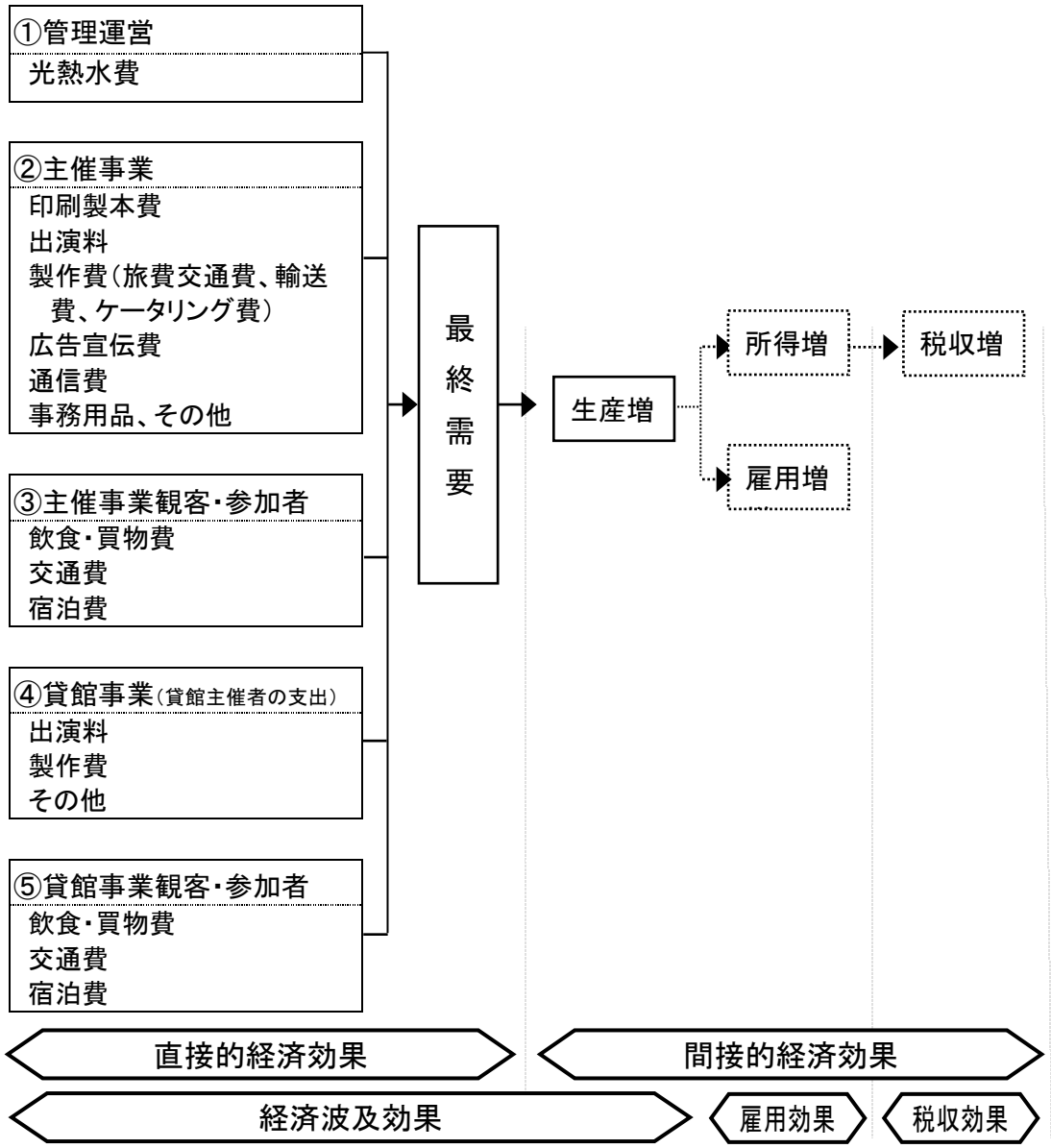
経済波及効果分析

経済波及効果の分析

1．とよはし芸術劇場の運営に伴う経済波及効果の基本構造

- とよはし芸術劇場の運営に伴う経済波及効果としては、図表-1に整理したように5種類の支出からなる最終需要（直接的経済効果）、それに伴う生産増、そしてそれらからもたらされる所得増、雇用増、税収増などが考えられる。
- 経済波及効果としてどこまでを含めるかについては、ケースバイケースであるが、今回の調査でも、基礎的な経済波及効果として、産業連関表に基づいた生産増に加え、愛知県の雇用表を用いて雇用効果まで試算することとした。
- なお、管理運営（①）にかかる支出について、<u>とよはし芸術劇場では、建設事業と15年間の維持管理を行う一体的に行うPFI事業として整備されたため、ここでの経済波及効果の調査対象に光熱水費以外の施設の警備、清掃、メンテナンス等の維持管理にかかる支出は含めないものとする</u>。

図表-1 とよはし芸術劇場における経済波及効果の基本構造



- 前記の4種類の支出は、劇場の事業に伴うもの（①、③）と、観客の消費支出に伴うもの（②、④）に分けられるが、経済波及効果も、それぞれ、劇場の運営や事業の実施に伴う波及効果、観客の消費支出に伴う波及効果、に分けられる。

- 産業連関表に基づいて、経済波及効果を把握するためには、運営や事業に伴う支出、観客の消費支出を、産業連関表の産業分類に分類し直す必要がある。
- 産業連関表の部門別の定義や範囲と、劇場の支出内容、観客の消費支出の内容を照らし合わせて、図表-2の対応表を作成した。

図表-2 愛知県産業連関表と劇場における支出費目の関係

産業部門名	管理運営に伴う最終需要	事業に伴う最終需要			
		主催事業	主催事業観客	貸館事業	貸館事業観客
農業 林業 漁業 鉱業 飲食料品 繊維製品 パルプ・紙・木製品 化学製品 石油・石炭製品 プラスチック製品 ゴム製品 陶磁器 その他の窯業・土石製品 鉄鋼 非鉄金属 金属製品 はん用機械 生産用機械 業務用機械 電子部品 電気機械 情報通信機器 自動車 航空機 その他の輸送機械					
その他の製造工業製品		印刷・製本費		印刷・製本費	
建設					
電力・ガス・熱供給	電力、都市ガス、熱供給業				
水道	上水道・簡易水道、下水道				
廃棄物処理		廃棄物処理		廃棄物処理	
商業		物品購入（小売）	ショッピング（小売）	物品購入（小売）	ショッピング（小売）
金融・保険		保険料		保険料	
不動産					
運輸・郵便		旅費交通費、輸送費	旅費交通費	旅費交通費、輸送費	旅費交通費
情報通信		郵便・電話		通信費	
公務 教育・研究 医療・福祉 他に分類されない会員制団体					
対事業所サービス		広告宣伝、出演料（委託、謝金）、デザイン料		広告宣伝、出演料（委託、謝金）、デザイン料	
対個人サービス		宿泊費、ケータリング等	飲食（飲食店） 宿泊費（旅館）	宿泊費、ケータリング等	飲食（飲食店） 宿泊費（旅館）
事務用品		消耗品費		消耗品費他	
分類不明					

2. 劇場運営に伴う最終需要と観客の消費支出

(1) 管理運営における最終需要

- まず、劇場の管理運営に伴う電力・ガス・熱供給及び水道にかかる支出は下表である。

図表-3 管理運営に伴う支出額

産業分類項目	支出費目	金額(千円)		
		愛知県内	愛知県外	合計
電力・ガス・熱供給	光熱費、燃料費	38,209	0	38,209
水道	上下水道費	3,020	0	3,020
計		41,229	0	41,229

(2) 主催事業における最終需要

- 劇場の主催事業の実施に伴う支出を費目別に整理したものが、図表-4である。
- 主催事業では、広告宣伝や出演料などの対事業所サービス、豊橋までの交通費などの運輸、宿泊費などの対個人サービスへの支出が大きい。
- 主催事業の実施に伴う最終需要額は、約4億3,349万円、うち56.3%(約2億4,390万円)が愛知県内への支出となっている。

図表-4 主催事業に伴う支出額

産業分類項目	支出費目	金額(千円)		
		愛知県内	愛知県外	合計
その他の製造工業製品	チラシ・ポスター・パンフレット等の印刷・製本費(デザイン料除く)	6,288	1,477	7,765
廃棄物処理	廃棄物処理	98	0	98
商業	物品購入(小売)	504	309	814
金融・保険	保険料	412	237	649
運輸・郵便	スタッフ、出演者等の旅費交通費、輸送費	7,592	6,830	14,422
情報通信	郵便・電話	4,713	164	4,877
対事業所サービス	広告宣伝、出演料(委託料、謝金)、デザイン料	65,622	148,088	213,710
対個人サービス	宿泊費、一般飲食費、ケータリング等	155,708	31,482	187,190
事務用品	コピー用紙、封筒、筆記具	2,967	1,000	3,966
計		243,9042	189,587	433,491

注)上記の表中の数値は、実数に基づく計算結果を転載したものである。消費行動の割合と一人あたりの平均金額は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表中の数値を再計算したものと、合計支出額が異なる箇所がある(以下、いずれの表にも共通)。

(3) 主催事業の観客の消費支出

- 次に、主催事業の観客の消費支出の試算を行った(図表-5)。
- 2023年度の観客アンケートの調査結果を見ると、回答者数全体の1,236人のうち、60.5%の人が公演の前後に飲食もしくはショッピングをしたと回答しており、これを飲食、ショッピングの別に整理すると、飲食金額の回答者数634人から、飲食をした人の割合は51.3%、一人あたりの平均金額は2,354.1円となっている。また、ショッピング金額の回答者数305人から、ショッピングした人の割合は24.7%、一人あたりの平均金額は3,132.9円となっている。観劇前後の消費行動としては、飲食をする人の割合の方が高いが、消費単価はショッピングが飲食の約1.3倍となっている。
- 主催事業のうち、とよはし芸術劇場(愛知県内)での公演の入場者は18,993人であることから、観劇に伴う飲食の支出額は約2,293万円、ショッピングの支出額は約1,468万円、計約3,762万円と推計される。

図表-5 観劇前後の消費行動と消費支出

	飲食	ショッピング
アンケートでの金額の回答者数(人)	634	305
消費行動の割合	51.3%	24.7%

一人あたりの平均金額(円)	2,345.1	3,132.9

	観客数(人)	合計支出額(千円)		
		飲食	ショッピング	合計
とよはし芸術劇場での公演(愛知県内)	18,993	22,934	14,683	37,618
とよはし芸術劇場以外での公演(愛知県外)	2,746	3,316	2,123	5,439
合計	21,739	26,250	16,806	43,056

- 交通費については、同じく観客アンケート調査の居住地のデータから、平均的な往復の交通費を設定し、推計を行った。その際の前提条件は以下のとおりとした。
  - 豊橋市内の居住者の交通費については、劇場までの交通手段として、相当数の観客が自家用車を利用していると思われるが、すべてJR・豊橋鉄道の利用で、片道300円と想定した。
  - 愛知県内の居住者、愛知県外の三重県・岐阜県、静岡西部の交通費については、居住地別に最寄り駅から豊橋駅までのJR運賃で試算した。
  - その他の地域には、東京、神奈川、関西などの回答があったため、新横浜から新幹線利用と想定した。
  - 観客アンケート調査の宿泊の有無の回答では回答者の8.2%が宿泊をしているため、1,537人(とよはし芸術劇場での公演来場者18,993人の8.2%)が一人当たり宿泊費6,000円、宿泊に伴う飲食費3,000円を支出したものと想定した。
- 以上の結果、主催事業の観客の消費支出額は、図表- 6のとおり、合計で約1億3,275万円と推計される。

図表-6 主催事業の観客の消費支出額

産業分類項目	消費支出費目	金額(千円)		
		愛知県内	愛知県外	合計
商業	ショッピング(公演前後)	14,683	2,123	16,806
運輸・郵便	旅費・交通費	17,392	42,835	60,227
対個人サービス	食費(公演前後)	22,934	3,316	26,250
	宿泊費	9,220	0	9,220
	食費(宿泊に伴う)	4,610	0	4,610
合計		68,839	48,274	117,113

(4) 貸館事業に伴う最終需要(参考値)

- 貸館事業の場合も、劇場の主催事業と同様、主催者の様々な支出が経済波及効果を生み出すものと考えられる。貸館事業の事業主催者の支出額については、アンケート調査等で把握する必要があるが、該当する調査を実施していないため、便宜的に、貸館事業の1公演(講演含む)当たりの支出額について、主催公演の30%と想定し、それらがすべて愛知県内での支出だったと仮定して、参考値を試算することとした。
- 23年度の主催事業の公演は68回で、貸館事業の公演は203回の利用があった。そこから試算した結果は、下表のとおりであり、貸館事業の1公演当たりの支出額が主催公演の30%と想定した場合、約3億8,823万円となった。
- この試算は、貸館事業の実際の支出額に基づいていないため、最終需要額はあくまでも参考値である点に留意が必要である。

図表-7 貸館事業に伴う最終需要(参考値)

	金額(千円)		
	愛知県内	愛知県外	合計
1公演あたりの支出が主催公演の30%の場合	388,230	0	388,230

(5) 貸館事業(市主催・共催含む)の観客の消費支出

- 貸館事業の観客についてはアンケート調査の対象外だったため、主催事業の観客のデータを援用

して、消費支出を試算した。試算の結果、貸館事業における観客の消費支出の金額は、約3億2,302万円であった（図表-8）。試算の前提条件は以下のとおりである。

- 主催事業の観客アンケート調査の結果をみると、愛知県内だけではなく、関東、関西からも幅広く観客を集めているのに対し、貸館の事業内容をみると、同じように幅広いエリアから集客しているとは考えにくいため、貸館入場者の交通費については、80%が豊橋市内、20%が東三河周辺に居住しているものと想定した。
- 23年度の貸館事業での公演の総入場者数は、133,446人とした。

図表-8 貸館事業の観客の消費支出額（参考値）

産業分類項目	消費支出費目	金額（千円）		
		愛知県内	愛知県外	合計
商業	ショッピング（公演前後）	103,165	0	103,165
運輸	旅費・交通費	58,716	0	58,716
対個人サービス	食費（公演前後）	161,139	0	161,139
合計		323,021	0	292,461

3. 経済波及効果の計算結果

- 以上の最終需要および消費支出に基づき、愛知県内の支出に伴う経済波及効果は、「平成27年度愛知県産業連関表」を使って、愛知県外への支出に伴う経済波及効果は、「平成27年度全国産業連関表」を使って計算した。
- なお支出額は令和5年度の金額であるが、物価変動にともなうデフレート計算は行っていない。

(1) 管理運営に伴う経済波及効果

- まず、管理運営に伴う経済波及効果（図表-9）は、愛知県内で約5,208万円、最終需要に対する生産誘発係数は1.26である。

図表-9 管理運営に伴う経済波及効果

愛知県内	（千円）
最終需要（支出額）	41,229
農業	1
林業	0
漁業	0
鉱業	109
飲食料品	1
繊維製品	3
パルプ・紙・木製品	49
化学製品	17
石油・石炭製品	856
プラスチック製品	85
ゴム製品	16
陶磁器	0
その他の窯業・土石製品	9
鉄鋼	15
非鉄金属	5
金属製品	31
はん用機械	18
生産用機械	14
業務用機械	5
電子部品	11
電気機械	9
情報通信機器	0
自動車	61
航空機	2
その他の輸送機械	11
その他の製造工業製品	138
建設	91
電力・ガス・熱供給	39,655
水道	3,324
廃棄物処理	300
商業	732
金融・保険	663
不動産	335
運輸・郵便	1,455
情報通信	718
公務	90
教育・研究	21
医療・福祉	4
他に分類されない会員制団体	75
対事業所サービス	2,755
対個人サービス	10
事務用品	19
分類不明	366
合計	**52,077**
生産誘発係数	**1.26**

注）各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの小計、合計と一致しない箇所がある。

(2) 主催事業に伴う経済波及効果

- また、主催事業に伴う経済波及効果（図表-10）は、愛知県内が約3億3,034万円、愛知県外が約3億690万円、合計が約6億3,724万円で、それぞれ最終需要に対する生産誘発係数は1.35、1.62、1.47である。

図表-10 主催事業に伴う経済波及効果

愛知県内	（千円）
最終需要（支出額）	243,904
農業	1,484
林業	19
漁業	200
鉱業	14
飲食料品	6,834
繊維製品	116
パルプ・紙・木製品	1,127
化学製品	349
石油・石炭製品	1,135
プラスチック製品	833
ゴム製品	415
陶磁器	10
その他の窯業・土石製品	89
鉄鋼	270
非鉄金属	90
金属製品	559
はん用機械	224
生産用機械	423
業務用機械	215
電子部品	347
電気機械	264
情報通信機器	10
自動車	1,864
航空機	18
その他の輸送機械	179
その他の製造工業製品	7,260
建設	103
電力・ガス・熱供給	3,274
水道	1,784
廃棄物処理	3,032
商業	12,838
金融・保険	2,952
不動産	4,142
運輸・郵便	15,767
情報通信	13,846
公務	228
教育・研究	164
医療・福祉	47
他に分類されない会員制団体	537
対事業所サービス	85,367
対個人サービス	157,472
事務用品	3,509
分類不明	926
合計	**330,337**
生産誘発係数	**1.35**

愛知県外	（千円）
最終需要（支出額）	189,587
農林漁業	1,573
鉱業	104
飲食料品	4,381
繊維製品	278
パルプ・紙・木製品	2,585
化学製品	2,116
石油・石炭製品	2,231
プラスチック・ゴム製品	2,944
窯業・土石製品	400
鉄鋼	1,902
非鉄金属	552
金属製品	787
はん用機械	1,278
生産用機械	1,695
業務用機械	545
電子部品	1,668
電気機械	1,009
情報通信機器	116
輸送機械	6,705
その他の製造工業製品	3,820
建設	653
電力・ガス・熱供給	3,855
水道	633
廃棄物処理	858
商業	9,194
金融・保険	3,287
不動産	3,055
運輸・郵便	14,852
情報通信	17,867
公務	257
教育・研究	203
医療・福祉	42
他に分類されない会員制団体	542
対事業所サービス	179,974
対個人サービス	32,446
事務用品	1,456
分類不明	1,041
合計	**306,902**
生産誘発係数	**1.62**

(3) 主催事業の観客の消費支出に伴う経済波及効果

- 次に、主催公演の観客の消費支出に伴う経済波及効果の計算結果（図表-11）をみると、愛知県内が約9,330万円、愛知県外が約8,148万円、合計が約1億7,478万円である。それぞれ最終需要に対する生産誘発係数は1.36、1.69、1.49となっている。

図表-11 主催公演の観客の消費支出に伴う経済波及効果

愛知県内	（千円）
最終需要（支出額）	68,839
農業	349
林業	4
漁業	47
鉱業	7
飲食料品	1,613
繊維製品	32
パルプ・紙・木製品	174
化学製品	64
石油・石炭製品	913
プラスチック製品	149
ゴム製品	58
陶磁器	2
その他の窯業・土石製品	14
鉄鋼	47
非鉄金属	10
金属製品	138
はん用機械	17
生産用機械	28
業務用機械	28
電子部品	23
電気機械	22
情報通信機器	1
自動車	132
航空機	24
その他の輸送機械	118
その他の製造工業製品	173
建設	43
電力・ガス・熱供給	955
水道	507
廃棄物処理	799
商業	17,631
金融・保険	1,050
不動産	1,650
運輸・郵便	21,058
情報通信	1,793
公務	100
教育・研究	49
医療・福祉	31
他に分類されない会員制団体	127
対事業所サービス	5,575
対個人サービス	37,178
事務用品	161
分類不明	406
合計	**93,303**
生産誘発係数	**1.36**

愛知県外	（千円）
最終需要（支出額）	48,274
農林漁業	178
鉱業	113
飲食料品	476
繊維製品	60
パルプ・紙・木製品	498
化学製品	256
石油・石炭製品	4,368
プラスチック・ゴム製品	403
窯業・土石製品	60
鉄鋼	316
非鉄金属	70
金属製品	179
はん用機械	73
生産用機械	77
業務用機械	31
電子部品	90
電気機械	80
情報通信機器	11
輸送機械	1,356
その他の製造工業製品	285
建設	410
電力・ガス・熱供給	1,196
水道	265
廃棄物処理	350
商業	4,316
金融・保険	1,504
不動産	1,317
運輸・郵便	49,287
情報通信	1,739
公務	127
教育・研究	71
医療・福祉	61
他に分類されない会員制団体	105
対事業所サービス	7,669
対個人サービス	3,437
事務用品	131
分類不明	514
合計	**81,477**
生産誘発係数	**1.69**

注）各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの小計、合計と一致しない箇所がある。

(4) 貸館事業に伴う経済波及効果（参考値）

- 次に、貸館主催者の最終需要（事業支出）、ならびに貸館事業の観客の消費支出に伴う経済波及効果の計算結果は図表- 12のとおりで、1公演・講演当たりの事業費が主催公演の30%の場合は約5億2,436万円で、生産誘発係数は1.35である。
- また、貸館事業の観客の消費支出に伴う経済波及効果は、約4億3,373万円、生産誘発係数は1.34である。
- なお、貸館事業の場合は、公演の事業支出、観客の消費支出とも、全額が愛知県内内への支出と想定した。

図表-12 貸館の公演事業、貸館の観客の消費支出に伴う経済波及効果（参考値）

愛知県内	貸館事業（千円）	観客消費支出（千円）
最終需要（支出額）	388,230	323,021
農業	1,612	1,533
林業	22	19
漁業	216	205
鉱業	19	27
飲食料品	7,367	7,073
繊維製品	162	157
パルプ・紙・木製品	1,479	854
化学製品	489	283
石油・石炭製品	1,638	3,373
プラスチック製品	1,206	741
ゴム製品	947	243
陶磁器	12	10
その他の窯業・土石製品	138	65
鉄鋼	550	212
非鉄金属	158	47
金属製品	809	672
はん用機械	589	78
生産用機械	1,132	130
業務用機械	463	139
電子部品	873	109
電気機械	687	104
情報通信機器	25	7
自動車	4,999	596
航空機	27	84
その他の輸送機械	376	427
その他の製造工業製品	8,481	829
建設	146	191
電力・ガス・熱供給	4,017	4,415
水道	2,091	2,234
廃棄物処理	3,383	3,469
商業	16,677	116,105
金融・保険	4,584	4,880
不動産	6,081	8,032
運輸・郵便	24,289	74,677
情報通信	22,262	8,982
公務	339	471
教育・研究	269	205
医療・福祉	69	116
他に分類されない会員制団体	813	562
対事業所サービス	229,408	25,732
対個人サービス	169,695	162,972
事務用品	4,391	761
分類不明	1,375	1,909
合計	**524,364**	**433,732**
生産誘発係数	**1.35**	**1.34**

注）各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの合計と一致していない。

(5) 雇用効果

- ここまでの計算結果に基づき、愛知県産業連関表の雇用表を用いて、愛知県内の雇用効果を試算した。

  具体的には、先に計算した劇場の主催事業、主催公演の観客の消費支出、貸館の公演事業、貸館の観客の消費支出、それぞれに伴う愛知県内の生産額と、福岡県の雇用表の就業係数、雇用係数を用いて雇用効果を計算した。その結果は、図表-13に示したとおり、就業者数（労働量）で約167人、雇用者数（有給の役員・雇用者、常勤・臨時含む）で150人の労働誘発効果、雇用効果があったという結果となった。
- 分野別にみると、対個人サービス、対事業所サービス、商業、運輸・郵便の分野での雇用効果が大きい。

図表-13 とよはし芸術劇場の雇用効果（人）

	就業者数	雇用者数
農業	1	0
飲食料品	1	1
その他の製造工業製品	1	1
廃棄物処理	1	1
商業	16	15
金融・保険	1	1
運輸・郵便	9	9
情報通信	2	2
対事業所サービス	37	33
対個人サービス	98	87
合計	167	150

(6) まとめ

- ここまでの経済波及効果の分析結果を整理すると、図表-14のとおりとなる。
- とよはし芸術劇場の管理運営と主催事業の実施に伴う最終需要は、観客の消費支出によるものも含め、約5億9,200万円で、そのうち、59.8%にあたる約3億5,400万円が、愛知県内での最終需要となっている。
- とよはし芸術劇場の管理運営と主催事業の実施に伴う経済波及効果は、観客の消費支出によるものも含め、約8億6,400万円で、そのうち55.1%にあたる約4億7,600万円が愛知県内での経済波及効果となっている。生産誘発係数は、全体で1.46、愛知県内で1.34である。
- また、参考値ではあるが、貸館の事業主催者の支出および貸館の観客の消費支出による経済波及効果（愛知県内のみと想定）は、約9億5,800万円で、生産誘発係数は1.35である。
- それらをあわせた経済波及効果の総合計は、約18億2,200万円で、愛知県内に限ってみると、約14億3,400万円となっている。
- とよはし芸術劇場の2023年度予算での豊橋市からの補助金収入（豊橋市補助金収入及び文化事業受託収入）は約1億7,700万円、指定管理料が6,600万円で、市からの財源の合計は2億4,300万円となっているため、とよはし芸術劇場がもたらす経済波及効果は市の投入額のおよそ7.5倍となっている。
- また、愛知県内の雇用効果は、就業者ベースで約167人、雇用者ベースで約150人である。

注）上記数字は、試算結果の計算値を転載したものである。図表- 14の各データは百万円未満を四捨五入しているため、表中に掲載している数値を再計算したものと、合計値やパーセンテージが一致しない場合がある。

図表-13 とよはし芸術劇場の経済波及効果、雇用効果（23年度）

注）下段の括弧内の数字は、愛知県内の最終需要、経済波及効果。貸館については、最終需要、経済波及効果とも愛知県内のみと想定した試算結果である。各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの小計、合計と合わない箇所がある。

Ⅸ

パブリシティ効果分析

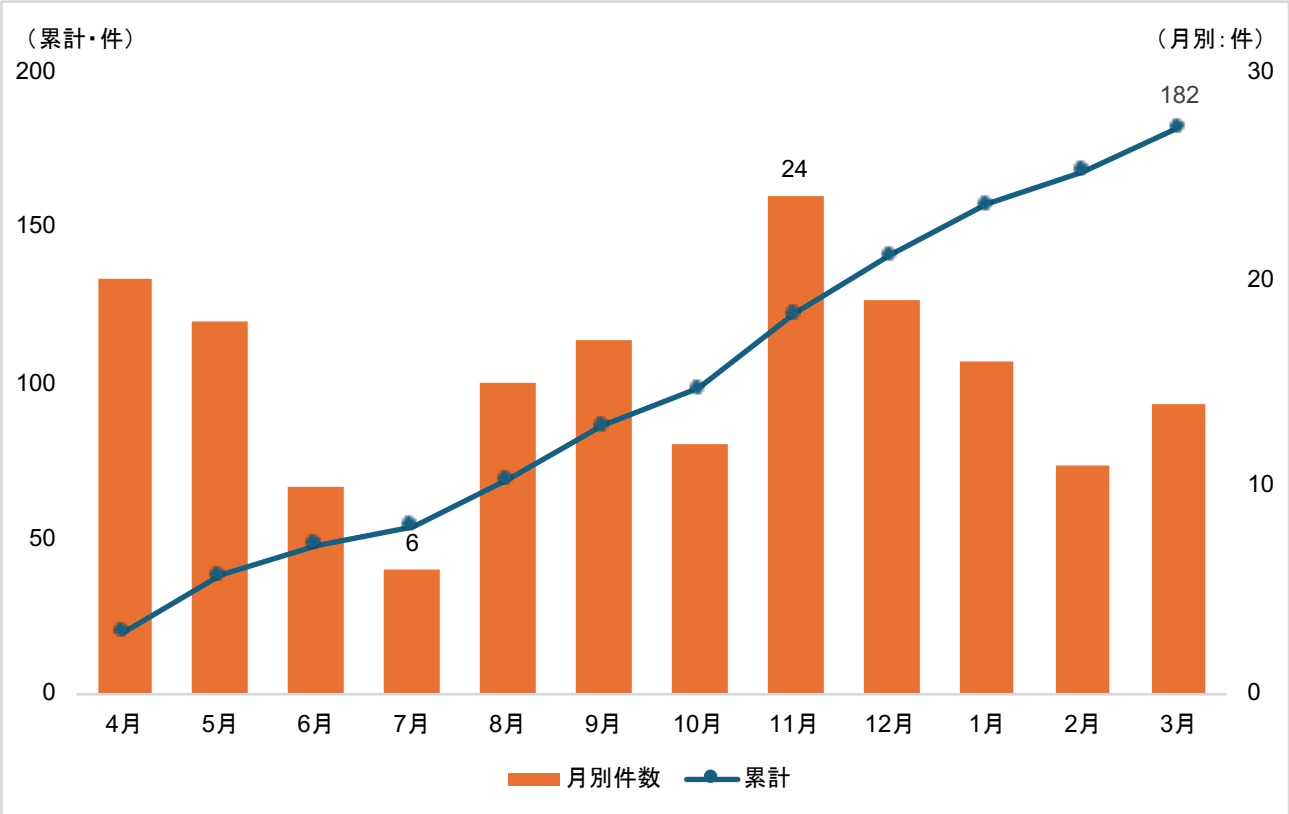
(1) 月ごとの掲載件数と累計

2023年度のパブリシティ効果は「日経テレコン」記事検索と地元紙（東日新聞、東愛知新聞）のインターネット記事検索に基づいてカウントした。「とよはし芸術劇場」をキーワードに検索された新聞記事の件数は182件で、掲載のあった記事は、以下のような内容である。

・自主事業（財団の主催・共催事業）の公演紹介、取材記事、劇評など
・貸館事業での文化芸術関連の公演紹介・取材記事、劇評など
・情報コーナーなどでの自主・貸館事業の公演情報の提供等
・劇場全般に関する取材記事等
・芸術文化以外のイベント、講演の紹介記事（会場名が「とよはし芸術劇場」）
・情報コーナーなどでの芸術文化以外のイベント情報（会場名が「とよはし芸術劇場」

月ごとの掲載件数では、1月の掲載件数が24件で最も多く、7月が6件で最も少なくなっている。

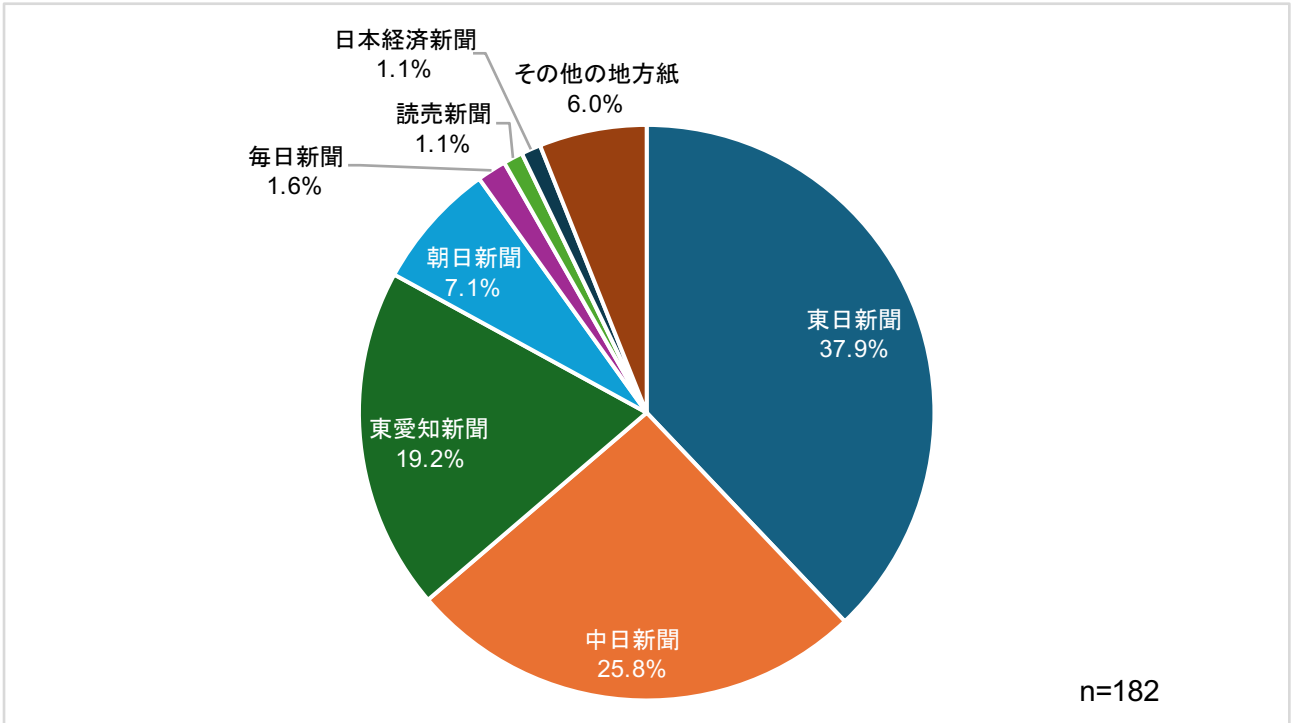
年	月	月別件数	累計
2023年度	4月	20	20
	5月	18	38
	6月	10	48
	7月	6	54
	8月	15	69
	9月	17	86
	10月	12	98
	11月	24	122
	12月	19	141
	1月	16	157
	2月	11	168
	3月	14	182



(2) 新聞別件数一覧

新聞別に見ると、2023年度で掲載が最も多いのは東日新聞(69件、全体の37.9%)、次いで、中日新聞(47件)25.8%、東愛知新聞(35件、19.2%)、朝日新聞(13件、7.1%)となっており、地元紙だけでなく、全国紙や東海地方以外の地方紙にも数多く掲載されている。
東日新聞や東愛知新聞では、貸館事業で開催されている地域に根差した市民の文化芸術活動、講演会、企業の式典などの情報が紹介されることが多く、全国紙では、自主事業での公演で全国各地を巡回する公演などの紹介が多い。

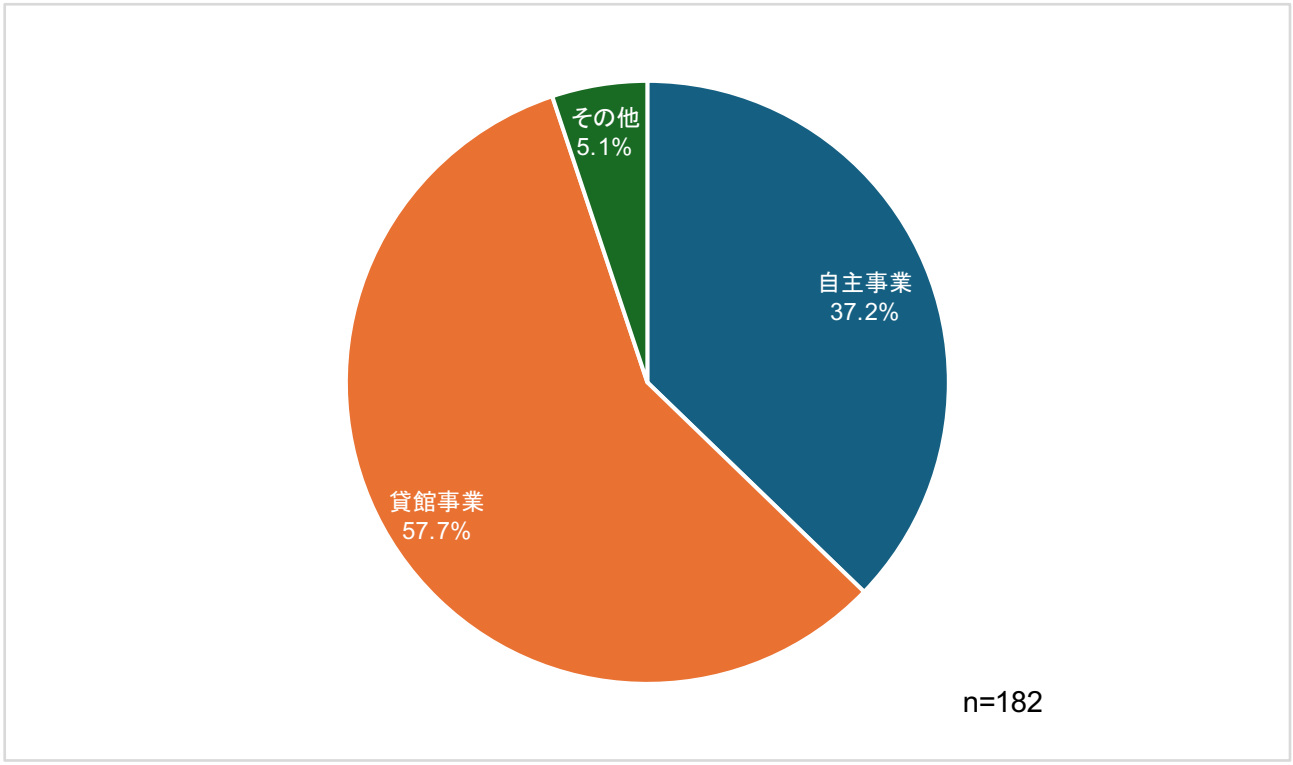
新聞紙名	掲載件数	割合
東日新聞	69	37.9%
中日新聞	47	25.8%
東愛知新聞	35	19.2%
朝日新聞	13	7.1%
毎日新聞	3	1.6%
読売新聞	2	1.1%
日本経済新聞	2	1.1%
その他の地方紙	11	6.0%
京都新聞	2	
岩手日報	1	
河北新報	1	
東京新聞	1	
山陽新聞	1	
中国新聞	1	
高知新聞	1	
西日本新聞	1	
琉球新報	1	
沖縄タイムス	1	
合計	182	100.0%



(3) 新聞掲載記事の内容と件数

とよはし芸術劇場として記事性が高く、公演の内容紹介が掲載されている情報提供を抽出したところ、2023年度は137件であった。 その内容を、「自主事業」、「貸館事業」、「その他（劇場全般、劇場職員への取材記事等）」に分類すると、それぞれ、51件、79件、7件であった。
自主事業で掲載される記事では、劇場10周年記念公演で芸術監督の桑原裕子の作・演出による「たわごと」の掲載が目立つ。貸館事業では市民映画祭の「とよはしまちなかスロータウン映画祭」の掲載が多い。

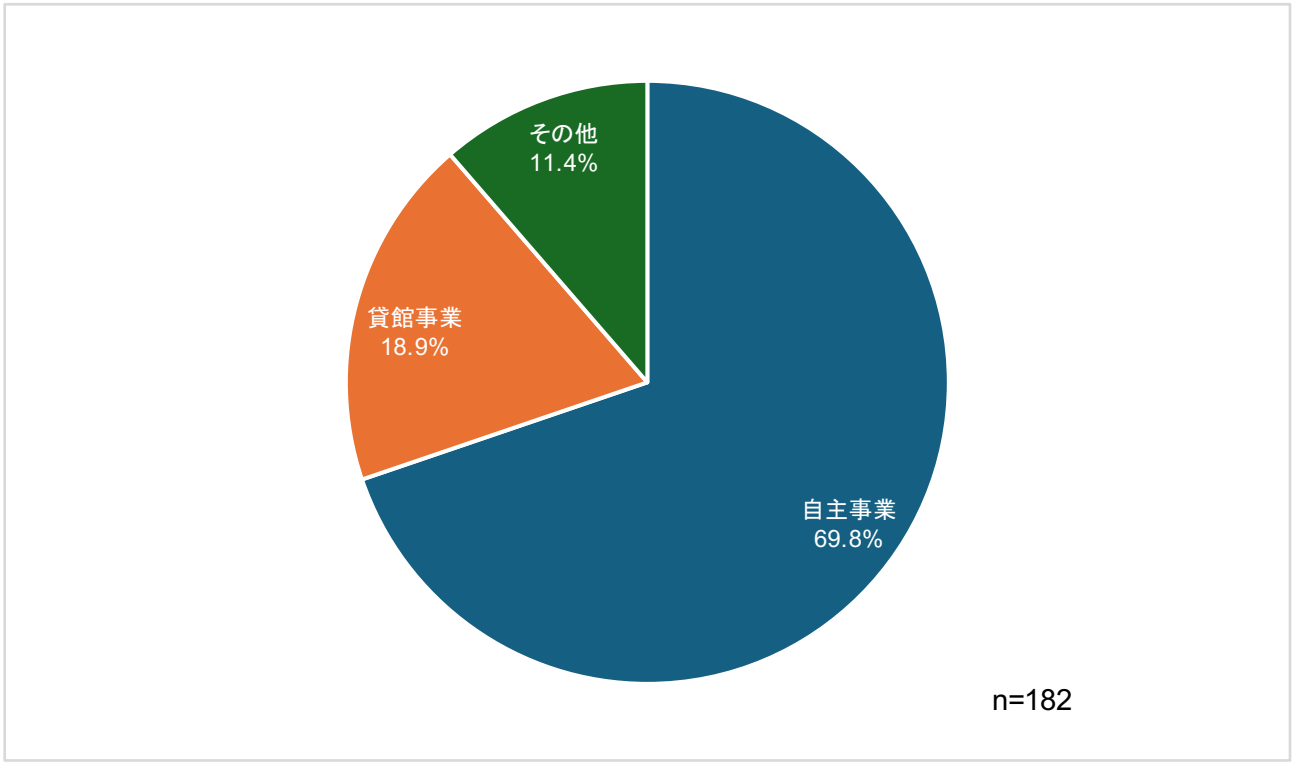
	掲載件数	割合
自主事業	51	37.2%
貸館事業	79	57.7%
その他	7	5.1%
計	137	100.0%



(4) 新聞掲載記事の内容と金額換算

とよはし芸術劇場として記事性が高く、公演の内容紹介が掲載されている137件の掲載記事について広告掲載料をベースに金額換算すると、約1億653万円という規模になる。金額換算の合計のうち、「自主事業」に関する記事の割合が69.8%、「貸館事業」に関する記事の割合が18.9%、「その他」が11.4%となっている。
なお、東日新聞と東三河新聞では、インターネット検索で掲載実績が確認できたものの、金額換算の試算に必要な文字数をカウントできなかった61件の記事は、ここでの金額換算には含まれていない。

	金額換算（単位：千円）	割合
自主事業	74,334	69.8%
貸館事業	20,098	18.9%
その他	12,098	11.4%
計	106,529	100.0%



(5) 自主事業などに関する新聞記事の掲載実績リスト

2023年度の新聞記事の掲載実績のうち、自主事業の公演に関する記事（51件）と、その他の劇場運営に関連する記事（7件）の掲載日、見出し、新聞紙名をリスト化した。

No	掲載日	新聞記事見出し	事業分類	新聞紙名
1	4月6日	個の声すくえぬ、80年代の矛盾 「エンジェルス・イン・アメリカ」演出、上村聡史	自主事業	朝日新聞
2	4月14日	GW催し次々再開	自主事業	東日新聞
3	4月20日	豊橋市のGWまちなかイベント復活へ	自主事業	東愛知新聞
4	4月28日	大豊ビルにイベント空間　豊橋　月1、2回　芸術行事やライブ	その他	中日新聞
5	5月1日	水上ビルにクリエイティブ拠点	その他	東日新聞
6	5月3日	7月31日松竹大歌舞伎	自主事業	東日新聞
7	5月5日	とよはしアートフェス開幕	自主事業	東日新聞
8	5月11日	プラット芸術監督に桑原氏	その他	東日新聞
9	5月11日	GW人出、コロナ禍以前の水準に回復	自主事業	東愛知新聞
10	5月21日	手話×音声、一緒に創る舞台　ろう者の俳優・聴者の演出、異なる言語で新表現	自主事業	朝日新聞
11	5月24日	エイズ禍　米社会の群像劇　舞台「エンジェルス・イン・アメリカ」 3日に愛知公演	自主事業	中日新聞
12	6月15日	Interview：大竹しのぶ　自分も頭の中で遊べる　一人芝居「ヴィクトリア」に挑む	自主事業	毎日新聞
13	6月29日	おはよう 出番です　一人芝居「ヴィクトリア」出演　大竹しのぶ　私の幻想　見えるように	自主事業	中日新聞
14	7月6日	おはよう 出番です　コロナ経て4年越しの上演　舞台「ピエタ」プロデュース・出演　小泉今日子	自主事業	中日新聞
15	7月21日	社告　劇団四季ファミリーミュージカル 「ジョン万次郎の夢」	自主事業	中日新聞
16	8月1日	第76回中部日本高校演劇大会県東三河地区大会	自主事業	中日新聞
17	8月3日	みんな笑顔　楽しくダンス　聴覚障害の子向け体験会　康本さん　豊橋公演に合わせ企画	自主事業	中日新聞
18	8月5日	聴覚障害のある子どもたち コンテポラリーダンスを体感	自主事業	東愛知新聞
19	8月24日	一人芝居 「すてきなこと」を観客と 「エブリ・ブリリアント・シング」の佐藤隆太　生と死テーマ	自主事業	中日新聞
20	8月30日	だだくさをひとさじ　吉川トリコ　舞台「ピエタ」 美しい魂の循環	自主事業	中日新聞
21	9月1日	きょうから整理券配布	自主事業	東日新聞
22	9月1日	360度囲み観客参加し物語展開	自主事業	東日新聞
23	9月5日	「秋の市民茶会」茶券販売	自主事業	東日新聞
24	9月6日	豊橋で17日初来日公演	自主事業	東日新聞
25	9月11日	新世代音楽家、競う創意　名器ピアノ導入・朗読劇…演劇に新潮流	自主事業	日本経済新聞
26	9月14日	南イタリアに伝わる伝統音楽と舞踊披露　豊橋で　17日コンサート	自主事業	中日新聞
27	9月15日	地域文化振興活動功労賞と豊橋文化賞が決まる	その他	東愛知新聞
28	9月21日	あすプラットで狂言公演	自主事業	東日新聞
29	10月2日	重度脳性まひ者の生きた声届ける	自主事業	東日新聞
30	10月4日	ジョン万次郎の物語　豊橋の小学生が満喫　劇団四季の招待公演	自主事業	中日新聞
31	10月5日	子どもたちミュージカル満喫	自主事業	東日新聞
32	10月7日	脳性まひ患者題材に演劇　豊橋　きょう「プラット」で公演	自主事業	中日新聞
33	10月7日	19日からプラットで上演	自主事業	東日新聞
34	10月25日	Interview：三浦透子　人生の時間が演技に現れる　舞台「ロスメルスホルム」でヒロイン	自主事業	毎日新聞
35	10月26日	三浦透子が舞台「ロスメルスホルム」 複雑さ　観客に委ねたい 「ドライブ・マイ・カー」は私の指針	自主事業	中日新聞
36	10月28日	[トレンド]現地滞在型の演劇製作 「地方から発信」高い評価	その他	読売新聞
37	10月31日	高校生とプロが創る演劇　来月3～5日、とよはし芸術劇場で　／愛知県	自主事業	朝日新聞
38	11月1日	悩みや成長　高校生が演じる 「101年目の夏休み」 豊橋で3日から　東三河の魅力取り入れ	自主事業	中日新聞

No	掲載日	新聞記事見出し	事業分類	新聞紙名
39	11月2日	「高校生と創る演劇」10作目	自主事業	東日新聞
40	11月9日	若い主人公に自身を重ねて 看護師から転身 劇作家の鎌倉さん 故郷・豊橋で来月、初の有料公演	その他	中日新聞
41	11月10日	桑原裕子さん 新作の舞台「たわごと」 信用できない言葉に焦点	自主事業	日本経済新聞
42	11月15日	穂の国とよはし芸術劇場プラット 芸術監督・桑原裕子が作・演出 16～19日「たわごと」	自主事業	中日新聞
43	11月15日	プラット10周年「たわごと」	自主事業	東日新聞
44	11月16日	豊橋の劇場10年 記念公演 きょうから 渡辺いっけいさん出演＝愛知	自主事業	読売新聞
45	11月16日	豪華出演陣の人間ドラマ きょうから PLATで新作舞台上演	自主事業	中日新聞
46	11月17日	劇団 口字ックが「剥愛」 山田佳奈が演出・脚本 「つまずいている人を肯定したい」	自主事業	中日新聞
47	11月20日	何かしら心に残せる舞台 26日に岡山ハレノワ 渡辺いっけい出演「たわごと」	自主事業	山陽新聞
48	11月21日	「誰もが心に残る」群像劇 渡辺いっけい―京で23日舞台「たわごと」	自主事業	京都新聞
49	11月24日	役者の傍らで手話通訳 新しいスタイルの映画	その他	東愛知新聞
50	11月25日	★演劇プラス★ 何かしら心に残せる作品 「たわごと」渡辺いっけい	自主事業	岩手日報
51	11月29日	舞台「たわごと」出演の渡辺いっけい／何かしら心に残せる群像劇	自主事業	河北新報
52	11月29日	舞台「たわごと」出演 渡辺いっけい 万人の心に残る群像劇を	自主事業	中国新聞
53	12月1日	「たわごと」の渡辺いっけい 何かしら心に残せる舞台／エンタメ	自主事業	西日本新聞
54	12月5日	舞台：イブの夜描くダークコメディー「海をゆく者」 帰ってくる5人のおやじたち	自主事業	毎日新聞
55	12月14日	（評・舞台）穂の国とよはし芸術劇場PLAT「たわごと」 人間模様を腰据えたセリフで	自主事業	朝日新聞
56	2月29日	演劇の舞台や楽屋、見学者ら興味津々 とよはし芸術劇場	自主事業	朝日新聞
57	2月29日	「地を渡る舟」舞台裏 豊橋で劇場のツアー 来月2、3日公演	自主事業	中日新聞
58	3月6日	『小社会』 2024．3．6	自主事業	高知新聞

穂の国とよはし芸術劇場　事業・運営評価調査（2024年度）
報告書

調査・発行　公益財団法人豊橋文化振興財団　穂の国とよはし芸術劇場 PLAT
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
Tel 0532-39-8810 / FAX 0532-55-8192

調査委託　合同会社文化コモンズ研究所
〒231-0021 横浜市中区日本大通33番地
関内フューチャーセンター#156

調査協力　一般財団法人地域創造

助成　一般財団法人地域創造

発行日　2025年3月

主催　公益財団法人豊橋文化振興財団

共催　豊橋市